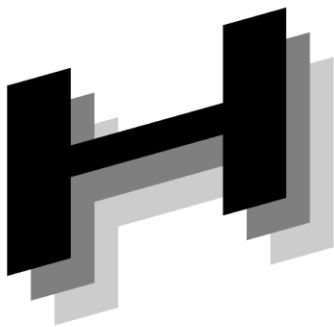




Japanese



Association of



Healthcare



Information



Systems Industry

J A H I S

データ交換規約（共通編）

V e r . 1 . 3

202x年x月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会  
医療システム部会 相互運用性委員会

### << 告知事項 >>

本規約は利用者が本工業会の会員であるか否かに関わらず、規約の引用を明示することで自由に利用することができるものとします。本規約に対する適合性を宣言する際には、部分実装や拡張がある場合を含めその適合範囲を所定のフォーマットに記述した適合性宣言書を作成し、実装したシステムの関係者に提供、公開することを推奨します。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本工業会は何らの責任を負わないものとします。ただし、本工業会の会員は本規約についての疑義を申し入れることができ、担当委員会はこれに誠意をもって対応するものとします。

# 目 次

1. はじめに.....	1
2. 使用している HL7 について.....	3
2.1. 概要.....	3
2.2. メッセージ.....	4
2.2.1. メッセージならびにメッセージ構成.....	4
2.2.2. HL7 メッセージコーディング及び処理規則.....	4
2.2.3. 文字コードのサポート.....	5
2.3. フィールド.....	7
2.3.1. (セグメント内の) 位置.....	7
2.3.2. 最大長.....	7
2.3.3. データ型.....	8
2.3.4. オプション指定.....	8
2.3.5. 反復.....	8
2.3.6. 表.....	9
2.3.7. ID 番号.....	9
2.3.8. 名称.....	9
2.4. メッセージ区切り文字.....	10
2.4.1. テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用.....	10
2.4.2. エスケープ文字の例外的解釈.....	11
2.5. データ型.....	13
Data Types データ型解説.....	15
AD 住所.....	15
AUI 承認情報.....	15
CCD 請求コードと日付.....	16
CCP チャンネル調整パラメータ.....	16
CD チャンネル定義.....	17
CE コード化要素.....	18
CF 書式付コード化値.....	19
CK チェックデジット付き複合 ID.....	24
CM 複合.....	24
CN 複合化 ID 番号と名前.....	24
CNE 例外なしコード化値.....	24
CNN 単純化複合 ID 番号と名称.....	25
CP 複合価格.....	27
CQ 単位付複合数量.....	28
CSU チャンネル感度.....	29
CWE 例外を含むコード化値.....	30
CX チェックデジット付き拡張複合 ID.....	32
DDI 日割控除情報.....	38
DIN 日付と施設名称.....	39

DLD	退院先と日付	39
DLN	運転免許証番号	39
DLT	デルタ	40
DR	日付／時刻の範囲	40
DT	日付	40
DTM	日付／時刻	41
DTN	日付型および数値	42
ED	カプセル化されたデータ	42
EI	実体識別子	44
EIP	実体識別子ペア	45
ELD	エラー場所および説明	45
ERL	エラー位置	46
FC	保険種別	47
FN	姓	47
FT	書式付テキストデータ	48
GTS	汎用タイミング指定	48
HD	階層的指定子	48
ICD	保険証明定義	50
ID	HL7 表コード化値	50
IS	使用者定義表コード化値	51
JCC	職種コード／種類	51
LA1	住所を含む位置 形式1	51
LA2	住所を含む位置 形式2	52
MA	多重送信配列	53
MO	金額	54
MOC	金額および請求コード	54
MOP	金額または百分率	54
MSG	メッセージ型	55
NA	数値配列	66
NDL	日付と位置を伴う名前	67
NM	数値	68
NR	数値範囲	69
OCD	発生コードおよび日付	69
OSD	オーダ連鎖定義	70
OSP	発生スパン・コードおよび日付	73
PIP	医療従事者の施設内の権限	73
PL	人の位置	74
PLN	医療従事者免許またはその他の ID 番号	75
PPN	実施者タイムスタンプ	76
PRL	親結果リンク	79
PT	処理タイプ	80
PTA	保険タイプおよび金額	80
QIP	照会入力パラメータリスト	81
QSC	照会选择基準	81
RCD	行列定義	82

RFR	基準範囲	83
RI	繰り返し間隔	84
RMC	病室填補範囲	85
RP	参照ポイント	86
RPT	繰り返しパターン	89
SAD	通りの住所	91
SCV	予約クラスと値	91
SI	連番 ID	92
SN	構造化数値	92
SPD	専門資格の記述	93
SPS	検体採取場所	93
SRT	ソート順	95
ST	文字列データ	96
TM	時刻	96
TN	電話番号	97
TQ	タイミング付き数量	97
TS	タイムスタンプ	97
TX	テキストデータ	98
UVC	UB 値コードおよび額	98
VH	来院時間	99
VID	バージョン識別子	99
VR	値範囲	100
WVI	チャンネル識別子	100
WVS	波形の信号源	101
XAD	拡張住所	101
XCN	拡張複合 ID 番号および人の名前	103
XON	拡張複合組織名称および識別子番号	105
XPN	拡張人名	107
XTN	拡張遠距離通信番号	111
<b>3.</b>	<b>主な用語と参照規格</b>	<b>113</b>
3.1.	主な用語	113
3.2.	参照する他規格・マスタ	114
<b>4.</b>	<b>JAHIS 標準テーブル</b>	<b>115</b>
4.1.	命名規則	115
4.2.	共通編にて定義する JAHIS 標準テーブル	115
4.3.	JAHIS 標準テーブル等を用いた患者プロファイルの表現	117
4.3.1.	OBX セグメントに記載する患者プロファイル項目	118
4.3.2.	薬剤アレルギーのアレルゲンコード	120
4.3.3.	食物アレルギーのアレルゲンコード	120
<b>5.</b>	<b>本規約の対象範囲</b>	<b>121</b>
5.1.	基本方針	121
5.1.1.	HL7 のバージョンについて	121
5.1.2.	文字コードについて	121

5.1.3.	MLLP(Minimal Lower Layer Protocol)について .....	121
5.1.4.	テキスト内の改行の表現方法について .....	122
5.1.5.	マルチ文字セットをサポートするエスケープシーケンスについて .....	122
5.1.6.	各種セパレータの変更について .....	122
5.1.7.	NTE セグメントについて .....	122
5.1.8.	DSC セグメントについて .....	122
5.1.9.	その他の固有事項 .....	122
5.2.	対象範囲 .....	123
<b>6.</b>	<b>メッセージ構文 .....</b>	<b>125</b>
6.1.	情報照会(QBP/RSP).....	126
6.1.1.	QBP 患者基本属性照会メッセージ イベント(Q22).....	126
6.1.2.	RSP 患者基本属性応答メッセージ イベント(K22) .....	126
6.1.3.	QBP 患者基本属性及び所在照会メッセージ イベント(ZV1) .....	127
6.1.4.	RSP 患者基本属性及び所在応答メッセージ イベント(ZV2).....	127
6.2.	患者情報通知(ADT/ACK).....	129
6.3.	ADT/ACK 入院/来院の通知 イベント(A01) .....	130
6.3.1.	ADT/ACK 転科転棟・外部からの移送メッセージ イベント(A02) .....	131
6.3.2.	ADT/ACK 退院/通院終了メッセージ イベント(A03) .....	132
6.3.3.	ADT/ACK 患者の登録メッセージ イベント(A04).....	134
6.3.4.	ADT/ACK 患者情報の更新メッセージ イベント(A08) .....	135
6.3.5.	ADT/ACK 入院/来院の通知(A01)の取消メッセージ イベント(A11) .....	136
6.3.6.	ADT/ACK 患者の転科転棟・外部からの移送(A02)の取消メッセージ イベント(A12) 137	
6.3.7.	ADT/ACK 退院、通院終了(A03)の取消メッセージ イベント(A13) .....	138
6.3.8.	ADT/ACK 患者の外出外泊開始メッセージ イベント(A21) .....	139
6.3.9.	ADT/ACK 患者の帰院メッセージ イベント(A22).....	140
6.3.10.	ADT/ACK 患者情報の関連付けメッセージ イベント(A24) .....	141
6.3.11.	ADT/ACK 個人情報の追加メッセージ イベント(A28) .....	142
6.3.12.	ADT/ACK 個人情報の更新メッセージ イベント(A31) .....	144
6.3.13.	ADT/ACK 患者情報の関連付けの解除メッセージ イベント(A37) .....	145
6.3.14.	ADT/ACK 患者情報のマージ-患者 ID リストメッセージ イベント(A40) .....	146
6.3.15.	ADT/ACK 患者 ID リストの変更メッセージ イベント(A47).....	147
6.3.16.	ADT/ACK 患者の外出外泊開始(A21)の取消メッセージ イベント(A52) .....	148
6.3.17.	ADT/ACK 患者の帰院(A22)の取消メッセージ イベント(A53).....	149
6.3.18.	ADT/ACK 副作用情報の更新メッセージ イベント(A60).....	150
<b>7.</b>	<b>関連セグメント詳細 .....</b>	<b>151</b>
7.1.	AL1 - PATIENT ALLERGY INFORMATION SEGMENT 患者アレルギー情報セグメント .....	151
7.2.	ERR - ERROR SEGMENT エラーセグメント .....	153
7.3.	EVN - EVENT TYPE SEGMENT イベントタイプセグメント .....	156
7.4.	IN1 - INSURANCE SEGMENT 保険セグメント .....	158
7.5.	MSA - MESSAGE ACKNOWLEDGMENT SEGMENT メッセージ確認応答セグメント .....	166
7.6.	MSH - MESSAGE HEADER SEGMENT メッセージ・ヘッダ・セグメント .....	168
7.7.	NTE - NOTES AND COMMENTS SEGMENT 注釈・コメントセグメント .....	173
7.8.	OBX - OBSERVATION/RESULT SEGMENT 検査結果セグメント .....	174

7.9.	ORC - ORDER COMMON SEGMENT 共通オーダセグメント .....	189
7.10.	PID - PATIENT IDENTIFICATION SEGMENT 患者識別セグメント.....	208
7.11.	PV1 - PATIENT VISIT SEGMENT 来院情報セグメント.....	220
7.12.	QAK - QUERY ACKNOWLEDGMENT SEGMENT 照会認知セグメント.....	232
7.13.	RCP - RESPONSE CONTROL PARAMETER SEGMENT 応答制御パラメータセグメント....	234
7.14.	TQ1 - TIMING/QUANTITY SEGMENT タイミング/数量セグメント .....	236
付録 - 1.	メッセージ例 .....	241
付録 - 2.	適合性宣言書作成ガイドライン .....	259
付録 - 3.	本規約及び個別編関連 <b>OID</b> .....	267
付録 - 4.	作成者名簿.....	268

# 1. はじめに

## (1) 背景

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)では、医療情報のデータ交換を促進するために、従来 HL7 V2.5 を利用したデータ交換規約を制定する活動を行ってきた。1999年10月に最初のデータ交換規約を制定して以来、現在までに以下の9つの領域において制定してきた。

- ・臨床検査データ交換規約
- ・処方データ交換規約
- ・放射線データ交換規約
- ・生理検査データ交換規約
- ・病名情報データ交換規約
- ・内視鏡データ交換規約
- ・注射データ交換規約
- ・病理・臨床細胞データ交換規約
- ・放射線治療データ交換規約

各データ交換規約は、各領域の委員会やワーキンググループにて、個々の領域の事情に応じて規約の制定・改定が行われてきた。

近年では、各領域を跨いでデータ交換を行うことが一般的となって、領域間共通の規約が求められるようになってきた。そのため、各データ交換規約の共通内容を整理した本規約の制定を行った。上記の9つのデータ交換規約を個別編と呼ぶ。

## (2) 制定の基本方針

本規約の制定では、各データ交換規約で重複している内容を記載し、その使い方の共通指針を整理することを基本方針とした。具体的には下記の内容である。

### 1) HL7の仕様・用語の説明

各データ交換規約での下記の説明を対象としている。

- ・HL7 概要
- ・主な用語
- ・HL7 メッセージ、フィールド、メッセージ区切り文字、データ型

### 2) データ交換規約で制定するテーブルの命名規則

各データ交換規約で定義した固有のテーブルに対し、統一的な命名規則を定義した。

### 3) 患者基本情報および入退転(ADT)のメッセージ構文

患者基本情報および入退転は各データ交換規約の領域で共通に利用されるため、本規約で定義した。

### 4) 共通利用するセグメントの説明

各データ交換規約で共通的に利用され、かつ、利用方法に差異が少ない下記のセグメントを記載した。

- ・AL1
- ・ERR
- ・EVN
- ・IN1
- ・MSA
- ・MSH
- ・NTE
- ・OBX
- ・ORC
- ・PID



- ・PV1
- ・QAK
- ・RCP
- ・TQ1

上記セグメントの各フィールドに対して JAHIS データ交換規約で共通となる Option 指定を「JAHIS 値」として制定した。

#### 5) 患者基本情報および入退転(ADT)サンプルメッセージ

### (3) 今回の改定内容

今回の改定では、主に下記の対応を行った。

- ・ 日本 HL7 協会が 2020 年 6 月に公開した HL7 V2.5 日本語訳見直し版の表現を元に見直した
- ・ 各ベンダが提供する製品の JAHIS データ交換規約への適合性を評価した適合性宣言書を採用した  
(詳細は付録 2 を参照のこと)
- ・ 被保険者証の枝番に対応した(IN1)
- ・ セグメント(OBX,ORC)を追加した
- ・ 患者プロフィール項目の感染レベルで使用するコード表を見直した
- ・ 参照している外部の標準規約や標準マスタを整理して 3. 2 節に記述した
- ・ HL7 V2.5 で CE データ型であったデータ項目について CWE データ型から元の CE データ型に戻した
- ・ HL7 FHIR 等から JAHIS 標準で定義したコード表を参照する際に必要となる OID を採番した

本規約は各データ交換規約の共通内容のみを記載しているため、各領域のシステム実装にあたっては、その領域のデータ交換規約を併読する必要があることを留意いただきたい。

## 2. 使用している HL7 について

### 2.1. 概要

(HL7 とは)

ヘルスケア関連情報の電子的データ交換のための応用規約であり、また、規約の制定団体の名称でもある。異なるベンダの異なるシステム間のインタフェースとなる標準的書式である。本規約は OSI 手順の第 7 層であるアプリケーション層に由来して HL7 と名付けられたものであり、物理的規約は制定していない。

(なぜ標準化なのか)

基本的目的は増大する医療費の削減と医療の質の向上である。それは医療費の効率化のためコスト計算を明らかにするとともにヘルスケア品質の計測化による質の向上を目指すものである。

1960 年代、各部門システムは、単独処理で他の部門システムとの接続は必要なかったが、1970-85 年にかけて部門システム間の接続が始まり、1985 年以降様々なシステム間での接続が要望され、インタフェース標準化の必要性が増大し現在に至っている。

病院単独から病院の統廃合も手伝ってヘルスケア共同体が拡大し、今日のヘルスケアは病院を中心に事務所、製造業、販社、支払者、診療所、政府機関が一体となった情報連携が必要で、かつ患者を取り巻くすべての部門とのトランザクションが通信で出来ることが必要となってきた。

技術の進歩、通信環境の進歩、場所の多様化、システムの巨大化が背景となり標準化されたデータ交換が可能であり不可欠となっている。

(HL7 プロトコル概要)

HL7 は OSI 第 7 層 (アプリケーション層) での規約であり、データの型や要素、要素の構成やグループ、コードや用語、機密保持、管理規約などが定義される。HL7 の包含する対象は HL7 V2.1 では入退転院、患者基本情報、オーダ、検査報告、財務的处理、照会などである、さらに HL7 V2.2 では、マスタファイル更新、HL7 V2.3 では、文書管理、予約、患者紹介、患者看護、HL7 V2.4、HL7 V2.5 では検査自動化、人事管理、保険請求、材料管理などが追加された。

HL7 の基本的体系は、メッセージタイプ ID 付電文で構成され、複数セグメントで論理的意味をなすメッセージとなる。メッセージ (例えば、入退転) は、具体的なきっかけとなる事象 (例えば、患者入院) により、データ構成要素 (例えば、患者名) からなるセグメント (例えば患者属性) の集合として構成される。メッセージ交換は会話的にもバッチ処理的にも行われるものである。

(他の標準化組織との関連)

ASTM E1238 検査システム間データ交換をもとに検査関連をまとめているので互換性がある。HL7 を含めた標準化団体の調和を図るため ANSI では、HISPP (現 HISB:Healthcare Informatics Standards Board) 部門を設置し、NCPDP (薬剤情報)、ACR/NEMA (画像 DICOM)、IEEE MEDIX (医療情報記述交換)、ASTM (検査関連臨床情報交換)、ASC X12 (会計保険情報の電子データ交換) と協調している。また国際的にも CEN-TC251(European Committee for Standardization Technical Committee 251)などと連絡を取り合っている。これら協調は重複の縮小、標準化のスピードアップ、コスト低減、国際関係の促進、政府によらない開発、販売者の共同作業の促進などのため必要なことである。さらに ISO/TC215(Health Informatics)と HL7 は Pilot Project として HL7 規格を ISO 規格にすることが決定されている。

(日本 HL7 協会他国内の標準化組織との関連)

日本 HL7 協会が 1998 年 7 月に設立された。これを受け、JAHIS でも HL7 標準化規約の日本国内における普及を日本 HL7 協会と協力し、進めている。

なお、JAHIS 標準では、ISO 登録された初めての版である HL7 V2.5 を採用している。

## 2.2. メッセージ

### 2.2.1. メッセージならびにメッセージ構成

メッセージとは、システム間でやり取りするデータの最小単位であり、メッセージは順序を定義したセグメントの集合からなる。メッセージ（例えば検査依頼）は具体的なトリガーイベント（例えばオーダー）により発生する。

全てのメッセージはメッセージヘッダ(MSH)セグメントで始まり、データ構成要素フィールド（例えば患者名）からなるデータをもったセグメント（例えば患者属性）、およびメッセージを記述したファイルの終了、入出力バッファなどの記述単位のターミネータを持って構成する。

メッセージは可読的なコード化規則によるセパレータで区切り、可変長である。下記のように構成する。

メッセージ:

MSH セグメント <CR> (0x0D)

xxx セグメント <CR> (0x0D)

yyy セグメント <CR> (0x0D)

zzz セグメント <CR> (0x0D)

セグメント: セグメントID | フィールド1 | フィールド2 | フィールド3 | ... <CR> (0x0D)

フィールド: エレメント1^ エレメント2^ エレメント3^...

患者情報の更新 ADT^A08^ADT\_A01メッセージ構成例:

```
MSH    . . . . .
EVN    . . . . .
PID    . . . . .
PV1    . . . . .
AL1    . . . . .
```

### 2.2.2. HL7 メッセージコーディング及び処理規則

#### メッセージの組立（送信側）

送信側アプリケーションは生成したメッセージデータに適切な MSH セグメントを付加し、下位層を通じて送信先へ送信する。

1. トリガーイベントに対応したメッセージ仕様に基づき各セグメントを配置する
2. 記述したセグメントの先頭にセグメント ID を置く
3. 各データフィールドの前にフィールドセパレータを置く
4. 各フィールドのデータを定義されたデータ型に基づきコード化する
  - ・データが存在しないフィールドに文字（スペースを含む）を入れてはならない
  - ・フィールド中に後のデータがない場合、後の成分セパレータを省略できる
  - ・セグメント中に後のフィールドがない場合、後のフィールドセパレータを省略できる
  - ・セグメントの終了はセグメントターミネータ(<CR>)とする

#### メッセージの検証と応答（受信側）

1. 受信側の応答システムは受信したメッセージを受諾すべきか否か検証する

MSH-15-受諾応答型と MSH-16-アプリケーション応答型が null あるいは存在しない場合や基本応答

規則を使用する場合、受信したメッセージに対して下記の検証を行う。

- a) MSH-9-メッセージ型の内容を、応答システムが受諾可能か否か
- b) MSH-12-バージョン ID の値を、応答システムが受諾可能か否か
- c) MSH-11-処理 ID の値が、メッセージを扱うアプリケーション処理に適切な値であるか否か

上記のいずれかの基準が満たされない場合、受信側はメッセージを拒否することができる。つまり、受信側は MSA-1-応答コードが AR (アプリケーション拒否応答) の ACK メッセージを生成し送信側に通知する。

## 2. 受信アプリケーションのメッセージ受諾と検証/処理

応答システムによる検証に成功後、メッセージを受信アプリケーションに引き渡す。受信アプリケーションはメッセージについて以下のいずれかの処理を行う。

- a) メッセージの処理に成功した場合、MSA-1 応答コードに AA (アプリケーション肯定応答) をセットした機能応答メッセージを生成し送信する。
- b) エラーが発生した場合、MSA-1 応答コードに AE (アプリケーションエラー応答) をセットした応答メッセージと、機能セグメントにエラー情報をセットし送信する。
- c) メッセージの内容やフォーマット以外の理由 (システムダウンや内部エラーなど) により、メッセージの処理に失敗 (拒絶) した場合、多くは、再処理により受信側システムが後で同じメッセージを処理できる可能性が高い。従って、メッセージを自動的に再送するか否かはシステム実装者が決定する。この応答メッセージは MSA-1 応答コードに AR の値をセットする。

## 3. メッセージの応答

応答する際には、上記の規則にのっとり新しい MSH セグメントを生成する。その際注意すべき事は、MSH-7-メッセージ日時および MSH-10-メッセージ制御 ID は応答メッセージ独自に生成したもので、受信したメッセージのコピーではない点である。MSH-5 (送信先) 受信アプリケーション、MSH-6 (送信先) 受信施設、MSH-11-処理 ID は、受信メッセージの内容から送受信先の入れ替え、コピーなどを行う。

### メッセージの処理 (受信側)

- ・期待されるデータセグメントがない場合、その全てのデータフィールドを null として扱う
- ・予期しないいかなるデータセグメントも無効 — これは誤りである
- ・データセグメント終わりの予期せぬデータフィールドは無視 — これは誤りではない

## 2.2.3. 文字コードのサポート

- ・ HL7 は、日本の文字のための下記の規格をサポートする

JIS X 0201                      対象 ISO-IR 13 (日本の片仮名) 対象 ISO-IR14 (日本のローマ字)

JIS X 0208                      対象 ISO-IR 87 (日本の漢字、平仮名および片仮名)

JIS X 0212                      対象 ISO-IR 159 (補足的な日本の漢字)

- ・ HL7 は欧州 の文字のための下記の規格をサポートする

ISO-8859(1-9)                      対象 ISO-IR100、101、109、110、144、127、126、138 および 148。

文字セットは、HL7 の中で ASCII、8859/1..8859/2、JAS2020 および JIS X 0202 として引用されている。DICOM は、形式「ISO-IR xxx」の、ISO 2375 の中にレイアウトされたコードを使用する。HL7 はこの命名法をサポートするが、それは相互操作性を促進するためである。

HL7 は、ISO 646 : 1990(ISO IR-6)の国際参照バージョンの基本の G0 セットを、文字列に対するデフォルト文字レパートリーとして使用する。これは単一のバイト文字セットであり、ASCII と同一である。

XPN フィールドの各反復はデフォルト文字セットから始まると仮定される。別の文字セットを使用することになっ

ている場合、HL7に定義されたエスケープであって文字セットを宣言するため使用されるものが、反復の初めになければならない。また、HL7に定義されたエスケープであってデフォルト文字セットを始めるため使用されるものが、反復の終わりになければならぬ。さらに注意すべきことは、いくつかの文字セットを単一の反復内に混ぜ合わせてもよいが、反復がデフォルト文字セットへの復帰で終わることが条件であるということである。

アプリケーションは、その適合文およびフィールド・MSH-18文字セットの中でどの文字セットをアプリケーションがサポートするか明示しなければならぬ。送信および受信アプリケーションは、をエスケープするために文字セット名(すなわちISO-IR xxx)をマップするか知っているかと仮定されている。

例えば、多くの日本語のメッセージでは、ローマ字(すなわちローマ文字)、片仮名(外国の単語の発音表現)、平仮名(日本語の単語の発音表現)および漢字(絵文字)の混合がある。そのようなメッセージは、4つの文字セットがMSHの中で指定されることを要求する。

• 参考文献

1. ["Understanding Japanese Information Processing" by Ken Lunde, O'Reilly Press](#)
2. ["DICOM Supplement 9: Multi-Byte Character Set Support", ACR-NEMA](#)
3. [ANSI X3.4:1986](#)                      [ASCII character set](#)
4. [ISO 646:1990](#)                      [Information Processing - ISO 7-bit coded character set for information interchange](#)
5. [ISO/IEC 2022:1994](#)                [Information Technology - Character code structure and extension techniques](#)
6. [ISO 2375:1986](#)                      [Data Processing - Procedure for the registration of escape sequences](#)
7. [ISO 6429:1990](#)                      [Information Processing - Control functions for 7-bit and 8-bit coded character sets](#)
8. [ISO 8859 \(1-9\)](#)                      [Information Processing - 8-bit single-byte coded graphic character sets - parts 1-9](#)
9. [ENV 41 503:1990](#)                    [Information systems interconnection - European graphic character repertoires and their coding](#)
10. [ENV 41 508:1990](#)                    [Information systems interconnection - East European graphic character repertoires and their coding](#)
11. [JIS X 0201-1976](#)                      [Code for Information Exchange](#)
12. [JIS X 0212-1990](#)                      [Code of the supplementary Japanese Graphic Character set for information interchange](#)
13. [JIS X 0208-1990](#)                      [Code for the Japanese Graphic Character set for information interchange](#)
14. [RFC 1468](#)                            [Japanese Character Encoding for Internet Messages](#)

この方法はDICOMと整合している。

DICOMによってサポートされた文字レパートリーは、補遺9の第5部、節62E1の中で定義されている。それによれば、「テキストまたは文字列である値は、図形および制御文字から構成されることができる。図形文字セットは、そのコード化と無関係に、文字レパートリーと呼ばれる。アプリケーションエンティティがDICOM規格を使用してデータを交換したい元来の文脈に依存して、異なる文字レパートリーが使用されている。DICOMによってサポートされた文字レパートリーはISO 8859の中で定義されている。」

さらに、DICOMは、日本語のための次の文字レパートリーをサポートする。

- |  |   |
|--|---|
| <a href="#"><u>JIS X 0201-1976</u></a> | <a href="#"><u>情報交換のためのコード対象ISO-IR 14 (日本のローマ字)</u></a> |
| <a href="#"><u>JIS X 0208-1990</u></a> | <a href="#"><u>情報交換のための日本の図形文字セットのコード</u></a>           |
| <a href="#"><u>JIS X 0212-1990</u></a> | <a href="#"><u>情報交換のための補足の日本の図形文字セットのコード</u></a>        |

## 2.3. フィールド

各セグメントは（MSH セグメントで規定される）フィールドセパレータにより分離されたフィールドの集まりとして記述される。

注）各フィールドは、送信側の3種類の意図があり、受信側は次の通りの処理を行わなければならない

### 1. 有効な文字列で記述：

各フィールドには文字、数値で示されたデータが記載されていて、その内容に沿って受信側は表示、データベースの更新などを行わなければならない。

例： |abc| データが abc であることを示している

### 2. 省略記述：

セパレータ（標準では|が使用される）||により記述されている。つまりデータが空の場合は「データが存在しない」を示している。この場合、受信側はデータベース等の更新は行わない。

例： || データが無いことを示している

### 3. null 記述：

|""|のように二重引用符が2つ""のように記述されている場合は、「値が無い」というデータが存在することを明示している。この場合、受信側データベース等は値無し(null)に更新しなければならない。

例： |""| 値が無い(null)ことを示している

本規約のさまざまな章にセグメント属性表が含まれている。これらの表は、そのセグメント内のデータフィールドとその使用上の特徴を一覧、記述している。セグメントを定義する際、以下の情報が各フィールドについて述べられている。

### 2.3.1. (セグメント内の) 位置

セグメント内のデータフィールドの標準的な位置。この数値はセグメント定義表に続くテキストコメントのデータフィールドの説明を参照するために用いられる。セグメント属性表では、この数値は SEQ と表記された項目で与えられる。

### 2.3.2. 最大長

一つのデータフィールドの1回の出現が占める文字の最大値。セグメント属性表では、この情報は LEN と表記された項目で与えられる。

HL7 V2.5 では最大長はフィールドのデータ型によって決まる。フィールドの長さは標準であるが、関係者間の同意のもとに最大長を決めることもできる。後に定義する成分セパレータと副成分セパレータは文字数として計算する。最大長はフィールドに指定したデータ型によるので、反復セパレータは、最大長を計算するときに含めない（HL7 V2.5 5.2.5 節 反復を参照）。値 65536 と 64K と略記した記述は同じである。

「HL7 表 0440—データ型」を参照。

注：本規約での最大長の表現ならびに注意事項 本規約では原則として、各 HL7 セグメント属性表中の各フィールドの最大長は、HL7 V2.5 2 章の定義に準拠し当該フィールドのデータ型に依存し定めている。ただし、以下に注意のこと。

- ・構造を持たない ST、TX、NM 型等のフィールドについては、HL7 V2.5 原文のセグメント属性表中の各フィールドで定義されている最大長をそのまま踏襲した。
- ・ID 型フィールドは引用される HL7 表のコード値の長さに依存する。
- ・IS 型フィールドは引用される使用者定義表のコード値の長さに依存するので、本規約に記載の当該フィールドの最大

長は参考である。

- ・最大長に無限大という概念を含める場合は、ユーザに注意を促すために 65536 という数を表示する。
- ・フィールドのデータ型が可変で最大長が正確に表現できないときは、99999 で象徴的に表現する。

### 2.3.3. データ型

データフィールドの内容を組立たり制限するために用いられる基礎のブロック。セグメント属性表では、この情報は DT と表記された項目で与えられる。もしフィールドのデータ型が不定なときは"varies"を注記する。

HL7によって定義された多くのデータ型がある。これらについては「2.5 データ型」で説明する。

### 2.3.4. オプション指定

フィールドが入力必須か、オプションか、セグメントの状態によるか、を表す。セグメント属性表では、この情報は OPT と表記された項目で与えられる。

HL7での指定は以下のとおりである。

- R - 必須。
- O - オプション。  
トリガーイベントか他のフィールド（複数可）の状態による。
- C - セグメント属性表に続くフィールド定義は、このフィールドの条件を定義するアルゴリズムを明示すべきである。
- X - 対象のトリガーイベントでは使用しない。  
HL7の旧バージョンとの下位互換のために残されている。
- B - セグメント属性表に続くフィールド定義は、旧バージョンのためにフィールドのオプションを示すべきである。
- W - 取り消し。

JAHIS仕様（本規約）での取り扱いは以下のとおりである。（RE,N以外はHL7に同じ）セグメント属性表では、この情報はJAHISというコラムにある。

- R - 必須。
- RE - 存在すれば必須（送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する）。
- O - オプション。  
トリガーイベントか他のフィールド（複数可）の状態による。
- C - セグメント属性表に続くフィールド定義は、このフィールドの条件を定義するアルゴリズムを明示すべきである。
- X - 共通編では「X」を規定しない。個別編で「対象のトリガーイベントでは使用しない」の意味で「X」をつけたい場合に使用する。  
HL7の旧バージョンとの下位互換性のために残されているフィールド。
- B - セグメント属性表に続くフィールド定義は、旧バージョンのためにフィールドのオプションを示すべきである。
- N - 使用しない（関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可）。
- W - 取り消し。

### 2.3.5. 反復

フィールドが繰り返し可能かどうか。反復列に入る値はフィールドが繰り返す最大値である。例えば、'3' という値はフィールドが'3回繰り返すこと'を意味する。もし明記されないならば、1回だけ、すなわち繰り返さないことを示す。

セグメント属性表では、この情報は RP/#と表記された項目で与えられる。

指定は以下のとおりである。

N または空白	—	反復なし。
Y	—	無限回または施設で決定した回数だけフィールドを繰り返す。
(整数)	—	フィールドは、整数で指定された最大回数まで繰り返しが可能。

繰り返しの場合、そのデータ型の最大長を繰り返した分の長さで反復セパレータを加えたものがそのフィールドの最大長となる。ただし、関係者間の同意のもとに最大長を決めることもできる。

### 2.3.6. 表

HL7 の表には、使用者定義表、HL7 表、外部表の 3 種類ある。

#### 使用者定義表(User-defined Tables)

ローカル若しくは各施設によって定義される値の集合である。これにより PV1-3-Assigned patient location (割り当てられた患者のロケーション) のような特定のフィールドに収容し、施設ごとに異なる値を持ち得る。本標準ではこれらの表は定義しないが、実現を容易にするために使用者定義表番号を与える。HL7 標準では、複数の施設が初期値として使えそうな推奨値を発行する (例えば表 0001-性別) IS データ型は、このような表で使う値をコード化するのによく使われる。このような表のなかには、表 0302-治療の場所など、共通のマスタファイルを参照する表もあるということに注意すること。

#### HL7 表(HL7 Tables)

HL7 表は、HL7 によって定義、公開される値の集合である。その表を含むメッセージの解釈に影響するので、HL7 表は HL7 標準の一部である。これらの値は、施設で再定義してはならないが、その施設で定義した値を含めるために、表自体を拡張することができる。

#### 外部表(External Tables)

外部表は他の標準化組織が定義/発行したものである。例えば ICD10 のような診断コードがある。CF、CNE あるいは CWE データ型はこれらのフィールドの値を表すために使用する。9000 とそれ以上の表番号は HL7 が発行する外部定義表のために予約している。そのような表は、外部の機関が制定する概念やコードを、HL7 と他の標準化機関との間で規格化要求し合意を得た場合に発生する。これらは HL7 が他の機関に代わって HL7 規約と共に発行する。しかし、これらは HL7 規約より頻繁に改訂されるかもしれない。

### 2.3.7. ID 番号

規格内全体でデータ項目を識別する整数。セグメント定義では、この情報は ITEM# と表記された項目で与えられる。

### 2.3.8. 名称

データ項目の説明を含んだ名前。セグメント属性表では、この情報は ELEMENT NAME と表記された項目で与えられる。

複数のセグメントで同じ名称が使われている場合、同じ ID 番号を持つと同時に、各セグメント内で同じデータ型と同じ意味を持たなくてはならない。この決まりによってあいまいな点が生じないように、フィールドが参照されるときはいつでも、セグメント名称と位置を含めなくてはならない。



## 2.4. メッセージ区切り文字

メッセージを構成するときに、特殊な文字が使われる。特殊な文字とは、セグメントターミネータ、フィールドセパレータ、成分セパレータ、副成分区切りセパレータ、反復セパレータとエスケープ文字の特殊文字を使用する。セグメントターミネータは、必ずキャリッジリターン(ASCII では、16 進法の 0D)を用いる。その他の区切り文字は MSH セグメント内で定義されるが、フィールド区切り文字は 4 番目の位置にある文字で定義され、残りの区切り文字は、セグメント ID (MSH-1 のこと)の次に位置するフィールド(符号化文字と呼ばれる)内で定義される。MSH セグメント内で使用される区切り文字の値は、メッセージの全体で使われる区切り文字の値でもある。特段の理由がなければ、HL7 では表 2.4-1 区切り文字の値で示す値を使用することを推奨する。

いずれの施設においても、使用可能な区切り文字のサブセットはアプリケーション間の取り決めによって規定することができる。このことは、受信側アプリケーションは、メッセージを解析する際に、メッセージヘッダセグメント(MSH)で指定されている、合意された区切り文字を使う必要があることを意味する。

表 2.4-1. Delimiter Values 区切り文字の値

文字位置	区切り文字	推奨値	用法
-	Segment Terminator セグメントターミネータ	<CR> 0x0D	セグメントレコードを終わらせる。この値は実装者では変更できない。
-	Field Separator フィールドセパレータ (フィールド区切り文字)		セグメント内の隣り合ったデータフィールドをセパレートする。セグメント内の第 1 データフィールドとセグメント ID をセパレートするのにも用いる。
1	Component Separator 成分セパレータ (成分区切り文字)	^	隣り合ったデータフィールドの成分をセパレートする。
2	Repetition Separator 反復セパレータ	~	複数のフィールドの反復をセパレートする。
3	Escape Character エスケープ文字	\ 0x5C	データ型 ST, TX, FT で表現されるフィールド、または ED データ型の (第 4) データ要素で使用されるエスケープ文字。メッセージ内にエスケープ文字がない場合は、この文字は省略してよい。しかし、副成分がメッセージ内にあるときには、エスケープ文字は省略できない。
4	Subcomponent Separator 副成分セパレータ	&	隣り合うデータフィールドの副成分をセパレートする。副要素がない場合は省略可能。

文字位置 1~4 は、各セパレータを定義するコード化文字フィールド内の位置 (MSH セグメントの MSH およびフィールドセパレータ (通常 |) に続く位置) を示す。

注 1: 区切り文字で囲まれる文字列中で ASCII 以外の文字セットを使用した場合 (escape, invoke) 区切り文字に先立ち ASCII 文字セットに戻すこと。もし区切り文字が検出された場合は、文字セットを ASCII へリセットしたものとみなす。

注 2: エスケープ文字の "\" (バックスラッシュ) は、日本語 OS の環境では "¥" (円マーク) と表示される場合があるため、その場合は本規約の "\" (バックスラッシュ) を "¥" (円マーク) と読み替えること。

### 2.4.1. テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用

TX、FT、ST または CF データ型のフィールドを符号化する場合、エスケープ文字を使用してテキストフィールドの特殊処理部を伝えることができる。エスケープ文字は、表示可能な任意の ASCII 文字で、MSH-2 符号化文字のエスケープ文字要素に指定する。本節の説明のためには、文字 "\" を使用して、メッセージに設定されたエスケープ文字を表現することとする。エスケープシーケンスは、エスケープ文字とそれに続く 1 文字のエスケープ・コード ID、0 個以上のデータ文字、それにもう 1 つのエスケープ文字から構成する。エスケープシーケンスの中の子エスケープシーケンスは禁止する。

フィールドセパレータ、成分セパレータ、副成分セパレータ、反復セパレータ、およびエスケープ文字

に対するエスケープシーケンスは、ST データフィールド内でも有効である。

以下のエスケープシーケンスが定義されている。

\F\	フィールドセパレータ
\S\	成分セパレータ
\T\	副成分セパレータ
\R\	反復セパレータ
\E\	エスケープ文字

MSH-2 に ^~\& をセットしている場合に、円記号¥(0x5C)を用いた表現（例えば、”¥9,800”）を使用したい場合、以下のように記述する。

\E\9,800

- FT、ST および TX データ型のためのマルチ文字セットをサポートするエスケープシーケンス

FT、ST および TX データ型として定義されているフィールド、成分、副成分では、次の HL7 エスケープシーケンスを用いて複数文字セットをサポートすることができる。

\Cxyy\                      \Mxyyzz\

- 強調表示

\H\                              \N\

先の強調表示指定をどのように実現するかについては、受信側アプリケーションで扱うこととする。

- 16 進法

\Xdd...dd\

このデータの扱い/解釈は HL7 規格の範囲外であり、送信アプリケーションと受信アプリケーション間の取り決めにより決定される。

- フォーマット化テキスト

\.sp<数>\    \.br\            \.fi\            \.nf\  
\.in<数>\    \.ti<数>\    \.sk<数>\    \.ce\

（報告書等の）書式制御は受信側アプリケーションで扱うこととする。

- ローカル

\Zdd...dd\

このデータの扱い、解釈は HL7 規格の範囲外であり、本規約でも規定できない。

## 2.4.2. エスケープ文字の例外的解釈

エスケープ文字は他の表示可能な文字、区切り文字と違って、その一文字だけでは意味を成さない。エスケープシーケンスは一对のエスケープ文字を使い、前項に示す記述以外の使い方をしない。しかし、下記に示すケースが想定され、本節ではその場合の解釈を示す。説明では、文字 \ を使用して、メッセージに指定するエスケープ文字とする。

- 一对のエスケープ文字の間にエスケープ・コード ID、データ文字がない場合

表示可能な文字 \ と見なす。つまり、\E\ を記述したのと同じとする。

記述例	解釈
\\	\ (エスケープ文字)
\E\\\\	\\ (エスケープ文字が3個)

- エスケープ文字の後のエスケープ・コード ID が前項以外である場合

一対のエスケープ文字の間を無視する。つまり、そのエスケープシーケンスを無視する。受信アプリケーションは警告を発するべきである。

記述例	解釈
\ABC\	省略または null (受信アプリケーションに害のない処理)

- エスケープ文字が対を成さない場合

フィールドの終わりでそのエスケープシーケンスが完結したと見なす。

但し、受信アプリケーションは警告を発するべきである。

記述例	解釈
...\X0506LM 	...16 進数の 05,06 (最後の LM は 16 進数のデータのはず だが誤りである。その処置は本規約では規定外)
...\S	...^ (\S\と見なされる)
...\	... (最後の \ のみは無視する)

## 2.5. データ型

HL7 Data Types データ型 (HL7表 0440-データ型より抜粋)

Data Type	Data Type Name	LEN	Category	Comments
AD	住所	415	患者属性	HL7 V2.3でXADに変更。
AUI	承認情報	239		HL7 V2.5より、6.5.6.14節のIN1-14で使用されているCMデータ型を置き換える。
CCD	請求コードと日付	28		HL7 V2.5より、4.5.2.1節のBLG-1で使用されているCMデータ型を置き換える。
CCP	チャンネル調整パラメータ	20	専門/章固有: 波形	HL7 V2.5より、OBX-5測定値(*)がCDデータ型であるときに7.14.1.5節のOBX-5.3で使用されているCMデータ型を置き換える。
CD	チャンネル定義	581	専門/章固有: 波形	波形データ用のみ。
CE	コード化要素	483	コード値	v 2.3.1時でCNEとCWEと取り替えられた。v 2.5時では下位互換性のみのために保持された。
CF	書式付コード化値	65536	コード値	
CK	チェックデジット付き複合ID		コード値	取り下げ。
CM	複合		一般	取り下げ。HL7 V2.5ではいくつかの新しい明瞭なデータ型となった。
CN	複合化ID番号と名前		コード値	取り下げ。HL7 V2.3でXCNIに変更。
CNE	例外なしコード化値	705	コード値	
CNN	単純化複合ID番号と名称	406	コード値	4.5.3.32節および7.4.1.32節のOBR-32、4.5.3.33節および7.4.1.33節のOBR-33、4.5.3.34節および7.4.1.34節のOBR-34、4.5.3.35節および7.4.1.35節のOBR-35で使用されているCMデータ型で実現できる、もともとのCNデータ型を改良。しかしながら、現在の実施例と整合性を持ち、HL7旧バージョンとの互換性を壊さないよう、第7成分と第8成分は、ISデータ型に昇格した。
CP	複合価格	543	価格データ	
CQ	単位付複合数量	500	数値	CQデータ型は、他のデータ型に埋め込まれた場合、正式には表現できない。よってこのデータ型の使用はセグメントフィールドに限定される。
CSU	チャンネル感度	490	専門/章固有: 波形	HL7 V2.5より、OBX-5観測値(*)がCDデータ型であるときに、7.14.1.5節のOBX-5.3で使用されているCMデータ型を置き換える。
CWE	例外を含むコード化値	705	コード値	
CX	チェックデジット付き拡張複合ID	1913	コード値	
DDI	日割除情報	25		HL7 V2.5より、6.5.7.30節のIN2-30で使用されているCMデータ型を置き換える。
DIN	日付と施設名称	510		HL7 V2.5より、15.4.6.12節のSTF-12および15.4.6.14節のSTF-13で使用されているCMデータ型を置き換える。
DLD	退院先と日付	47	一般	HL7 V2.5より、8.5.4.9節のOM2-9で使用されているCMデータ型を置き換える。
DLN	運転免許証番号	66	拡張照会	
DLT	デルタ	45		
DR	日付/時刻の範囲	53	時系列	
DT	日付	8	日付/時間	
DTM	日付/時刻	24	日付/時間	
DTN	日付型および数値	6		HL7 V2.5より、6.5.8.11節のIN3-11で使用されているCMデータ型を置き換える。
ED	カプセル化されたデータ	65536	専門/章は特定 波形	バイナリデータのASCII MIME-エンコーディングをサポート。
EI	実体識別子	427	識別子	
EIP	実体識別子ペア	855	一般	HL7 V2.5より、4.5.1.8節のORC-8、4.5.3.29節のOBR-29、7.3.1.29節のOBR-29で使用されているCMデータ型を置き換える。

Data Type	Data Type Name	LEN	Category	Comments
ELD	エラー場所および説明	493	一般	HL7 V2.5より、2.16.5.1節のERR-1で使用されているCMデータ型を置き換える。HL7 V2.5ではHL7旧バージョンとの互換性のためにのみ保持される。ERRセグメント参照のこと。
ERL	エラー場所	18	一般	
FC	保険種別	47	患者管理/財政情報	
FN	姓	194	患者属性	PNもしくはPNを含むデータ型(PPN, XCN, XPN)中のみ出現
FT	書式付テキストデータ	65536	英数	
GTS	汎用タイミング指定	199		
HD	階層的指定子	227	識別子	
ICD	保険証明定義	40		HL7 V2.5より、IN3-20中の6.5.8.20節の中で使用されるCMデータ型を置き換える。
ID	HL7 表コード化値	Variable	識別子	
IS	使用者定義表コード化値	20	識別子	
JCC	職種コード/種類	292	拡張照会	
LA1	住所を含む位置 形式1	415		HL7 V2.5より、RXE-8中の4.14.4.8節およびRXO-8中の4.14.1.8節の中で使用されるCMデータ型を置き換える。HL7 V2.5で後方互換性のためにのみ保持された。
LA2	住所を含む位置 形式2	790		HL7 V2.5でRXD-13中の4.14.5.13節およびRXG-11中の4.14.6.11節およびRXA-11中の4.14.7.11節の中で使用されるCMデータ型を置き換える。HL7 V2.5で後方互換性のためにのみ保持された。
MA	多重化された配列	65536	専門/章は特定 波形	波形データ用のみ。
MO	金額	20	数値	
MOC	金額および請求コード	504	一般	HL7 V2.5より、OBR-23およびOBR-23に用いられるCMデータ型を置き換える。
MOP	金額またはパーセンテージ	23		HL7 V2.5より、IN3-5中の6.5.8.5節の中で使用されるCMデータ型を置き換える。このデータ型は、このフィールドに制限される。
MSG	メッセージ型	15	一般	HL7 V2.5より、MSH-9に用いられるCMデータ型を置き換える。
NA	数値配列	65536	専門/章は特定 波形	波形データ用のみ。
NDL	日付と場所を伴う名前	835	一般	HL7 V2.5より、OBR-32、OBR-33、OBR-34、OBR-35のCMデータ型を置き換える。
NM	数値	16	数値	
NR	数値範囲	33	一般	HL7 V2.5より、OM2-6.1,OM2-6.3,OM2-6.4のCMデータ型を置き換える。
OCD	発生コードおよび日付	714		HL7 V2.5、6.5.10.10節UB1-16 and 6.5.11.7節UB2-7で使用されるCMデータ型を置き換える。
OSD	オーダ連鎖定義	110	一般	HL7 V2.5より、TQデータ型に用いられているCMデータ型を置き換える。
OSP	発生スパン・コードおよび日付	723		HL7 V2.5より、6.5.11.8節UB2-8で使用されるCMデータ型を置き換える。
PIP	医療従事者の施設内の特権	1413		HL7 V2.5より、15.4.5.7節PRA-7で使用されるCMデータ型を置き換える。
PL	患者所在	1230	識別子	
PLN	医療従事者免許あるいは他のID番号	101		HL7 V2.5より、15.4.5.6節PRA-6、11.6.3.7節PRD-7および11.6.4.7節CTD-7で使用されるCMデータ型を置き換える。
PN	個人名		患者属性	取り下げ
PPN	実施者タイムスタンプ	2993	カルテ/情報管理	TS データ型を結合した XCN データ型と等価
PRL	親結果リンク	755	一般	HL7 V2.5より OBR-26,OBR-26 に用いられる CM データ型を置き換える。
PT	処理タイプ	3	識別子	
PTA	保険タイプおよび金額	56		HL7 V2.5 で 6.5.7.29 節 IN2-29 で使用される CM データ型を置き換える。
QIP	照会入力パラメータリスト	212	拡張照会	

Data Type	Data Type Name	LEN	Category	Comments
QSC	照会选择基準	219	拡張照会	
RCD	行・列定義	19	拡張照会	
RFR	基準範囲	352	一般	HL7 V2.5 より OM2-6,OM2-7,OM2-8 で用いられ CM データ型を置き換える。
RI	繰り返し間隔	206	時系列	
RMC	病室填補範囲	82		HL7 V2.5 の 6.5.7.28 節 IN2-28 で使用される CM データ型を置き換える。
RP	参照ポインタ	273	識別子	
RPT	繰り返しパターン	984		
SAD	通りの住所	184	患者属性	XAD データ型中(にのみ出現
SCV	予約クラスと値	41	時系列	スケジューリングデータ用のみ。
SI	シーケンス ID	4	数値	
SN	構造化数値	36	数値	
SPD	専門性の説明	112		HL7 V2.5 の 15.4.5.5 節 PRA-5 で使用される CM データ型を置き換える。
SPS	検査材料	4436	一般	HL7 V2.5 より OBR-15,SAC-6,TCC-3 を置き換える。このデータ型は HL7 V2.5 に限り HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。
SRT	ソート順	15	英数	
ST	文字列データ	199	英数	
TM	時間	16	日付/時間	
TN	電話番号	199	患者属性	取り下げ。内向的
TQ	タイミング数量	1209	時系列	HL7 V2.5 では、HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持される。
TS	タイムスタンプ	26	日付/時間	
TX	テキストデータ	65536	英数	
UVC	UB 値コードおよび額	41		HL7 V2.5 の 6.5.10.10 節 UB1-10 および 6.5.11.6 節 UB2-6 で使用される CM データ型を置き換える。
VH	来院時間	41	拡張照会	
VID	バージョン識別子	973	識別子	
VR	値の範囲	13	一般	HL7 V2.5 より QRD-11 に用いられる CM データ型を置き換える。
WVI	チャンネル識別子	22	一般	HL7 V2.5 より OBX-5.1 で OBX-5 観測値(*)が CD データ型であるときの CM データ型を置き換える。
WVS	波形ソース	17	一般	HL7 V2.5 より OBX-5.2 で OBX-5 観測値(*)が CD データ型であるときの CM データ型を置き換える。
XAD	拡張住所	631	患者属性	HL7 V2.3 で AD から変更
XCN	拡張複合 ID と名前	3002	コード値	HL7 V2.3 で CN から変更
XON	拡張複合組織 ID と名称	567	患者属性	
XPN	拡張人名	1103	患者属性	HL7 V2.3 で PN から変更
XTN	拡張テレコミュニケーション番号	850	患者属性	HL7 V2.3 で TN から変更

## Data Types データ型解説

注記：

SCV型の第一要素はCWEであるが、HL7 V2.5原本では最大長は20となっているのをそのまま反映している。

### AD 住所

HL7 V2.3でXADに変更。

### AUI 承認情報

### HL7成分表－AUI - Authorization Information 承認情報

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	30	ST	O		Authorization Number 承認番号
2	8	DT	O		Date 日付
3	199	ST	O		Source 承認元

このデータ型は保険の承認および承認に付随する詳細事象について用いられる識別子やコードを表す。

最大長：239

注記：HL7 V2.5より、6.5.6.14節のIN1-14で使用されているCMデータ型を置き換える。

#### 第1成分 Authorization Number 承認番号 (ST)

承認に割り当てられる識別子。

#### 第2成分 Date 日付 (DT)

承認の日付。

#### 第3成分 Source 承認元 (ST)

承認の発行元。

## CCD 請求コードと日付

### HL7成分表－CCD - Charge Code and Date 請求コードと日付

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	1	ID	R	0100	Invocation Event 発効イベント
2	26	TS	O		Date/time 日付/時刻

請求がイベントの発生に伴うものか、時間に基づくものかを示す。

最大長：28

注記：HL7 V2.5より、4.5.2.1節のBLG-1で使用されているCMデータ型を置き換える。

#### 第1成分 Invocation Event 発効イベント (ID)

請求行為を発生させる/引き起こすイベントのコードを示す。有効な値については「HL7表 0100－発効イベント」を参照のこと。

#### HL7表0100－Invocation Event 発効イベント

Value	Description	Comments
D	On discharge 退院	
O	On receipt of order オーダの受信	
R	At time service is completed サービス完了時	
S	At time service is started サービス開始時	
T	At a designated date/time 指示された日時	

#### 第2成分 Date/Time 日付/時刻 (TS)

オーダされたサービスに対する請求の正確な時刻を表現するために使用される。この成分は CCD.1 の値が T であるときのみ使用される。この成分が使用されるときには、TS データ型で表現される。

## CCP チャンネル調整パラメータ

### HL7成分表－CCP－Channel Calibration Parameters チャンネル調整パラメータ

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	6	NM	O		Channel Calibration Sensitivity Correction Factor チャンネル調整感度補正因子
2	6	NM	O		Channel Calibration Baseline チャンネル調整基底値
3	6	NM	O		Channel Calibration Time Skew チャンネル調整時差

このデータ型は、検査結果の波形を送信する際の、チャンネル感度の補正、基底値、チャンネルの時差を示す。

最大長：20

注記：HL7 V2.5より、OBX-5測定値(\*)がCDデータ型であるときに7.14.1.5節のOBX-5.3で使用されているCMデータ型を置き換える。

### 第1成分 Channel Calibration Sensitivity Correction Factor チャンネル調整感度補正因子 (NM)

この成分は、直近に行われた補正操作から求められたであろう、チャンネル感度の補正因子を示す。実際のチャンネル感度は、先行する成分で与えられる名目チャンネル感度とユニット共通補正因子との積となる。

### 第2成分 Channel Calibration Baseline チャンネル調整基底値 (NM)

この成分は、実際のチャンネル基底値（名目入力信号値が0の際のデータ値）を示す。実際の基底値は、ADCに接続された増幅器のDCオフセットにより理想値からは異なることがある。全てのチャンネルに対する実際の基底値（整数値であるとは限らない）は、調整操作の際に0信号を各チャンネルに接続したときに得られる、平均のデジタル変換値によって定められることもある。

### 第3成分 Channel Calibration Time Skew チャンネル調整時差 (NM)

この成分は、公称サンプリング（デジタル化）時刻（全てのチャンネルで同一とされる時刻）とそのチャンネルの実際のサンプリング時刻との差を秒（またはその分数）で示す。一定の時間間隔にもとづいて継続的にチャンネル毎にサンプルするシステムのような、全チャンネルが同時にサンプルされるわけではない場合、この値は0ではなくなる。この値は、同一の時間変化信号を全チャンネルに送信してチャンネル間の時間差を推測するような調整操作により決定したり、より一般的には、使用しているデジタル化システムの製造元仕様書から値を取得したりする。例えば、一定の時間間隔  $t$  で連続するチャンネルをサンプリングするシステムの場合は、そのシステムでのチャンネル番号  $n$  の時差は  $(n-1)t$  となる。このようなシステムでは、チャンネル番号  $n$  におけるサンプル番号  $m$  の実際のサンプリング（デジタル化）時刻は、 $R$  をあるサイクルの開始時刻を表す参照時刻、 $f$  をチャンネルサンプリング周波数 ( $t < 1/f$ ) としたとき、 $R + (m-1)/f + (n-1)t$  で表される。

## CD チャンネル定義

HL7成分表—CD—Channel Definition チャンネル定義

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	22	WVI	O		Channel Identifier チャンネル識別子
2	17	WVS	O		Waveform Source 波形の発生源
3	478	CSU	O		Channel Sensitivity/Units チャンネル感度/単位
4	20	CCP	O		Channel Calibration Parameters チャンネル調整パラメータ
5	6	NM	O		Channel Sampling Frequency チャンネルサンプリング周波数
6	33	NR	O		Minimum/Maximum Data Values 最小/最大データ値

デジタル波形データを標識付けするために、このデータ型を使用する。

最大長：581

### 第1成分 Channel Identifier チャンネル識別子 (WVI)

この成分は波形データが送信される記録チャンネルの番号と名称を示す。

### 第2成分 Waveform Source 波形の発生源 (WVS)

この成分はチャンネルに接続された波形の発生源を明記する。1つの波形について2つの入力を個別に特定する必要があるときには、2つの名称が示される。チャンネルが単独の入力に接続されている場合は、名称は1つだけ示す必要がある。例えば、心電図の記録の場合は、普通 (IやIIといった) 1つの名称だけが用いられる；脳波の場合は、普通 (F3やC3といった) 差動アンプのそれぞれの入力に1つずつ、計2つの名称が用いられる。

### 第3成分 Channel Sensitivity/Units チャンネル感度/単位 (CSU)

この成分は、チャンネル感度（ゲイン）および測定に用いられる単位を示す。

### 第4成分 Channel Calibration Parameters チャンネル調整パラメータ (CCP)

この成分は、チャンネル感度に対する補正值、基底値およびチャンネル時差を示す。

### 第5成分 Channel Sampling Frequency チャンネルサンプリング周波数 (NM)

この成分はチャンネルのサンプリング周波数をヘルツで示す。すなわち連続するサンプル間の秒数の逆数である。これは送信されたデータの周波数であり、アナログ→デジタル変換器あるいはその他のデジタルデータ源により取得されたデータの実際の周波数である場合も、そうでない場合もあることに注意。（すなわち、送信されたデータは、元々取得されたデータから、サブサンプリング、すなわち間引きされたものである場合がある。）

### 第6成分 Minimum/Maximum Data Values 最小/最大データ値 (NR)

この成分は、このチャンネルのデジタル波形データが取り得る最小および最大のデータ値、すなわち、アナログ→デジタル変換の範囲を示す。またこの成分は、このチャンネルのデジタル波形データが小数値を取り得るか否かも示す。最小値および最大値がともに整数である（または提示されていない）場合は、このチャンネルでは整数のデータ値のみが用いられ、最小値または最大値のいずれかが小数点を含んでいる場合、このチャンネルでは整数だけでなく小数のデータ値も用いられる。 $n$  ビットのアナログ→デジタル変換の場合、表示上の基底値は  $B=0$  である場合、最小値(L)と最大値(H)は次のように計算される。



$$L = -2n^{-1}$$

$$H = 2n^{-1} - 1$$

符号無し の n ビットの アナログ デジタル 変換 の場合、最小値 L=0 であり、表示上の基底値(B)と最大値(H)は次の公式で計算される。

$$B = 2n^{-1}$$

$$H = 2n - 1$$

実際の信号増幅率 A (差分増幅での電位測定の場合は、番号 1 の電極の電位から番号 2 の電位の差) は、波形データの D (L と H の間の幅) から、実際のベースライン値 B と表示上の感度 S と実行感度補正因子 C から次の公式により求められる。

$$A = SC(D-B)$$

## CE コード化要素

HL7成分表—CE—Coded Element コード化要素

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	ST	O		Identifier 識別子
2	199	ST	O		Text テキスト
3	20	ID	O	0396	Name of Coding System コード体系名称
4	20	ST	O		Alternate Identifier 代替識別子
5	199	ST	O		Alternate Text 代替書式付テキスト
6	20	ID	O	0396	Name of Alternate Coding System 代替コード体系名称

このデータ型は、コードとコードに関連づけられたテキストを送信する。

最大長：483

例：

[F-11380^CREATININE^I9^2148-5^CREATININE^LN]

### 第 1 成分 Identifier 識別子 (ST)

第 2 成分により参照する項目を一意に識別する文字列 (コード) コード体系が異なると、ここに入る識別子も異なる。

### 第 2 成分 Text テキスト (ST)

対象となる項目の名称あるいは記述であり、例えば、心筋梗塞あるいは X 線検査。

### 第 3 成分 Name of Coding System コード体系名称 (ID)

第 1 成分 (識別子) で用いられているコード体系を示す。識別子とコード体系名称の 2 つの成分の組み合わせで、データの品目に対する一意的なコードとなる。それぞれのコード体系は一意的な識別子を持つ。

有効な値については、節 2.17.5 の HL7 表 0396 を参照のこと。このテーブルは ASTM E1238-94、診断、処置、検査、薬物 ID、健康上のアウトカムおよび他のコード体系を示す。

コードセットを発行している機関は、複数のコードセットを作成していることがある。そのため、コード体系を一意に表現するためには、コード化専門機関の名称と、コードセットまたはテーブルの名称の組み合わせで表現する。

CE データ型に HL7 のテーブルが用いられた場合、コード体系継承の欄には、HL7 表番号 nnnn に対し、HL7nnnn と定義される。同様に ISO のテーブルは ISO 番号が nnnn の場合、ISOnnnn と名づけられる。

### 第 4 成分 Alternate Identifier 代替識別子 (ST)

参照する項目を一意に識別するもう一組の文字列 (コード)。この節の冒頭の使用上の注記を参照のこと。

### 第 5 成分 Alternate Text 代替テキスト (ST)

対象となる項目の第 4 成分 (代替識別子) の叙述的あるいはテキスト表現による名称。この節の冒頭の使用上の注記を参照のこと。

### 第 6 成分 Name of Alternate Coding System 代替コード体系名称 (ID)

第 4 成分 (代替識別子) で用いられているコーディングシステムを示す。

有効な値については、節 2.17.5 の HL7 表 0396 を参照のこと。CE データ型に HL7 表が用いられた場合、コード化体系の名称の欄には、HL7 表番号 nnnn に対し、HL7nnnn と定義される。

## CF 書式付コード化値

HL7成分表—CF—Coded Element with Formatted Values 書式付コード化値

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	ST	O		Identifier 識別子
2	65536	FT	O		Formatted Text 書式付テキスト
3	20	ID	O	0396	Name of Coding System コード体系名称
4	20	ST	O		Alternate Identifier 代替識別子
5	65536	FT	O		Alternate Formatted Text 代替書式付テキスト
6	20	ID	O	0396	Name of Alternate Coding System 代替コード体系名称

このデータ型は、コード、およびそのコードと関連する書式付テキストを送信する。このデータ型は、レポートの定型文の部分に対する書式付テキスト（たとえば、単純胸部X線について標準的に記述された放射線所見など）を初めて送信する場合に使用する。受信側のシステムは、この情報を保存するので、次のメッセージでその識別子だけを送信すればよい。このデータ型のもう一つの考えられる使用法は、書式付テキストを含むマスタファイルレコードを送信することである。

最大長：65536

例：

OBX||CF|71020^CXR^CPMC||79989^H\Description:\N\ \.sp\ \ti+4\Heart is not enlarged.

There is no evidence of pneumonia, effusion, pneumothorax or any masses.

\.sp+3\H\Impression:\N\ \.sp\ \ti+4\Negative chest.^CPMC

### 第1成分 Identifier 識別子 (ST)

第2成分（書式付きテキスト）が参照する項目を一意に識別する文字列（コード）である。コード体系が異なると、ここに入る識別子も異なる。

### 第2成分 Formatted Text 書式付テキスト (FT)

対象となる項目の名称あるいは記述で書式用の指示が埋め込まれている。

### 第3成分 Name of Coding System コード体系名称 (ID)

識別子成分で用いられているコード体系を示す。

有効な値については「HL7表0396—コード体系表」を参照のこと。

HL7表0396—Coding Systems コード体系表

Value	Description	Comments / Source	Category
99zzz or L	Local general code (where z is an alphanumeric character)	送信側または受信側の目的のためにローカルに定義されたコード。ローカルコードはL（後方互換性）または、99zzz（zはアルファベットと数字を組み合わせた文字）によって見分けられる。	一般的なコード
ACR	American College of Radiology finding codes	American College of Radiology, Reston,VA の Radiological Diagnosis Revised, 3 <sup>rd</sup> Edition 1986 からの索引。	医薬品以外の特定のコード
ART	WHO Adverse Reaction Terms	WHO Collaborating Centre for International Drug Monitoring, Box 26, S-751 03, Uppsala, Sweden.	医薬品コード
ANS+	HL7 set of units of measure	HL7の測量ユニットセットはANSI X3.50 – 1986、ISO 2988-83 および US customary unitsの chapter 7 section 7.4.2.6 を基本にしている。	
AS4	ASTM E1238/ E1467 Universal	American Society for Testing & Materials and CPT4（参考：Appendix X1 of Specification E1238 and Appendix X2 of Specification E1467）。	医薬品以外の特定のコード
AS4E	AS4 Neurophysiology Codes	神経生理学のための ASTM の診断コードと検査結果コード/グレードシステム。参考：ASTM Specification E1467, Appendix 2.	医薬品以外の特定のコード
ATC	American Type Culture Collection	生物学的材料と関連するデータに関する培養（微生物、組織培養、など）の参照のこと。 American Type Culture Collection, 12301 Parklawn Dr, Rockville MD, 20852. (301) 881-2600. <a href="http://www.atcc.org">http://www.atcc.org</a>	医薬品以外の特定のコード
C4	CPT-4	American Medical Association, P.O. Box 10946, Chicago IL 60610.	医薬品以外の特定のコード
C5	CPT-5	(発展途上のため、上記と同じ連絡先)	医薬品以外の特定のコード

Value	Description	Comments / Source	Category
CAS	Chemical abstract codes	これらは、後発品も含めてすべての一般的な薬を含む。コードはちがった形態の服用のなかでは区別されない。様々な同等の CAS 番号が 存在したとき,USAN に最初に記載されているものを使う。 USAN 1990 and the USP dictionary of drug names, William M. Heller, Ph.D., Executive Editor, United States Pharmacopeial Convention, Inc., 12601 Twinbrook Parkway, Rockville, MD 20852.	医薬品コード
CD2	CDT-2 Codes	American Dental Association's Current Dental Terminology (CDT-2) code. American Dental Association, 211 E. Chicago Avenue, Chicago, Illinois 60611.	医薬品以外の特定のコード
CDCA	CDC Analyte Codes	As above, for CDCM	
CDCM	CDC Methods/Instruments Codes	Public Health Practice Program Office, Centers for Disease Control and Prevention, 4770 Buford Highway, Atlanta, GA, 30421. Also available via FTP: <a href="ftp://ftp.cdc.gov/pub/laboratory_info/CLIA">ftp.cdc.gov/pub/laboratory_info/CLIA</a> and Gopher: <a href="gopher.cdc.gov:70/11/laboratory_info/CLIA">gopher.cdc.gov:70/11/laboratory_info/CLIA</a>	医薬品コード
CDS	CDC Surveillance	CDC 監視コード。公衆衛生監視に必要な独自のデータ。Epidemiology Program Office, Centers for Disease Control and Prevention, 1600 Clifton Rd, Atlanta, GA, 30333. (404) 639-3661.	医薬品以外の特定のコード
CE	CEN ECG diagnostic codes	CEN PT007. ECG の診断コード (略記) と説明の包括的なセットが CEN TC251 によって副標準として発行された。以下から入手可能: CEN TC251 secretariat, c/o Georges DeMoor, State University Hospital Gent, De Pintelaan 185-5K3, 9000 Gent, Belgium or Jos Willems, University of Gathuisberg, 49 Herestraat, 3000 Leuven, Belgium.	医薬品以外の特定のコード
CLP	CLIP	Simon Leeming, Beth Israel Hospital, Boston MA. Codes for radiology reports.	医薬品以外の特定のコード
CPTM	CPT Modifier Code	上記 CPT に明記した AMA から得られる。これらのコードは Appendix A of CPT 2000 Standard E. (CPT 2000 Standard Edition, American Medical Association, Chicago, IL)により創られた。	医薬品以外の特定のコード
CST	COSTART	薬副作用の反対のための国際コードシステム。In the USA, maintained by the FDA, Rockville, MD.	医薬品コード
CVX	CDC Vaccine Codes	国民免疫プログラム, Centers for Disease Control and Prevention, 1660 Clifton Road, Atlanta, GA, 30333	医薬品コード
DCM	DICOM Controlled Terminology	DICOM コンテンツの原文でコードが定義されている。Digital Imaging and Communications in Medicine (DICOM). NEMA Publication PS-3.16 National Electrical Manufacturers Association (NEMA). Rosslyn, VA, 22209. Available at: <a href="http://medical.nema.org">http://medical.nema.org</a>	医薬品以外の特定のコード
E	EUCLIDES	Euclides Foundation International nv, Excelsiorlaan 4A, B-1930 Zaventem, Belgium; Phone: 32 2 7. 17 90 60 から得られる。	医薬品以外の特定のコード
E5	Euclides quantity codes	Euclides Foundation International nv (上記参照) から得られる。	医薬品以外の特定のコード
E6	Euclides Lab method codes	Euclides Foundation International nv,Excelsiorlaan 4A, B-1930 Zaventem, Belgium; Phone: 32 2 720 90 60 から得られる。	医薬品以外の特定のコード
E7	Euclides Lab equipment codes	Euclides Foundation International nv (上記参照) から得られる。	医薬品以外の特定のコード
ENZC	Enzyme Codes	生化学と分子生物学の国際協会の酵素委員会。Enzyme Nomenclature: Recommendations on the Nomenclature and Classification of Enzyme-Catalysed Reactions. London: Academic Press, 1992.	医薬品以外の特定のコード
FDDC	First DataBank Drug Codes	全国医薬品データファイル。First DataBank, Inc. (800) 633-3453, or <a href="http://www.firstdatabank.com">http://www.firstdatabank.com</a> の所有物	医薬品コード
FDDX	First DataBank Diagnostic Codes	薬-診断上の相互作用チェックに使う。First DataBank, Inc. の所有物。FDDC 参照のこと。	医薬品コード
FDK	FDA K10	Dept. of Health & Human Services, Food & Drug Administration, Rockville, MD 20857. (device & analyte process codes).	医薬品以外の特定のコード
HB	HIBCC	Health Industry Business Communications Council, 5110 N. 40 <sup>th</sup> St., Ste 120, Phoenix, AZ 85018.	医薬品以外の特定のコード
HCPCS	CMS (formerly HCFA) Common Procedure Coding System	医療の設備、注射薬、交通サービスなど CPT4 には含まれていないサービスのためのコードがふくまれる。	医薬品以外の特定のコード

Value	Description	Comments / Source	Category
HCPT	Health Care Provider Taxonomy	X12 に外部のものとして、コード構造が分類されるように、BlueCross および Blue Shield 協会は、供給者分類学の管理者の役割をするだろう。進行中のメンテナンスは ANSI ASC X12N の内に単独でワークグループ 15 (供給者情報)、あるいは仕事グループの後継者にまかされている。Blue Cross and Blue Shield Association, 225 North Michigan Avenue, Chicago, IL 60601, Attention: ITS Department, ECNS Unit. <a href="http://www.wpc-edi.com/taxonomy/">http://www.wpc-edi.com/taxonomy/</a> 第一次配布は上記ウェブサイトで、そのワールドワイド・ウェブ・サイトを通して、ワシントン出版社にゆだねられている。	医薬品以外の特定のコード
HHC	Home Health Care	Home Health Care Classification System; Virginia Saba, EdD, RN; Georgetown University School of Nursing; Washington, DC.	医薬品以外の特定のコード
HI	Health Outcomes	Stratis Health (以前の Health Care Evaluation と Health Outcomes Institute) の治療効果を表す Health Outcomes Institute コード; 2901 Metro Drive, Suite 400, Bloomington, MN, 55425-1525; (612) 854-3306 (voice); (612) 853-8503 (fax); <a href="mailto:dziegen@winteret.com">dziegen@winteret.com</a> . See examples in the Implementation Guide.	医薬品以外の特定のコード
HL7nnnn	HL7 Defined Codes where nnnn is the HL7 table number	nnnn は HL7(Health Level Seven) 表 ナンバー	一般的なコード
HOT	Japanese Nationwide Medicine Code		
HPC	CMS (formerly HCFA )Procedure Codes (HCPCS)	修正を含む、Health Care Financing Administration (HCFA) Common Procedure Coding System (HCPCS)。	医薬品以外の特定のコード
I10	ICD-10	World Health Publications, Albany, NY.	医薬品以外の特定のコード
I10P	ICD-10 Procedure Codes	Procedure Coding System (ICD-10-PCS.) See <a href="http://www/hcfa.gov/stats/icd10.icd10.htm">http://www/hcfa.gov/stats/icd10.icd10.htm</a> for more information. Procedure Coding System (ICD-10-PCS.)参照のこと : <a href="http://www/hcfa.gov/stats/icd10.icd10.htm">http://www/hcfa.gov/stats/icd10.icd10.htm</a>	医薬品以外の特定のコード
I9	ICD9	World Health Publications, Albany, NY.	医薬品以外の特定のコード
I9C	ICD-9CM	Commission on Professional and Hospital Activities, 1968 Green Road, Ann Arbor, MI 48105 (includes all procedures and diagnostic tests).	医薬品以外の特定のコード
IBT	ISBT	HL7 V2.5 では後方互換性のために保持された。このコード値は IBTnnnn によって取って代わられた。 International Society of Blood Transfusion. Blood Group Terminology 1990. VOX Sanguines 1990 58(2):152-169	医薬品以外の特定のコード
IBTnnnn	ISBT 128 codes where nnnn specifies a specific table within ISBT 128.	International Society of Blood Transfusion. (specific contact information will be supplied to editor.) The variable suffix (nnnn) identifies a specific table within ISBT 128.	医薬品以外の特定のコード
IC2	ICHPPC-2	International Classification of Health Problems in Primary Care, Classification Committee of World Organization of National Colleges, Academies and Academic Associations of General Practitioners (WONCA), 3 <sup>rd</sup> edition. An adaptation of ICD9 intended for use in General Medicine, Oxford University Press.	医薬品以外の特定のコード
ICD10A M	ICD-10 Australian modification		
ICD10C A	ICD-10 Canada		
ICDO	International Classification of Diseases for Oncology	International Classification of Diseases for Oncology, 2nd Edition. World Health Organization: Geneva, Switzerland, 1990. Order from: College of American Pathologists, 325 Waukegan Road, Northfield, IL, 60093-2750. (847) 446-8800.	医薬品以外の特定のコード
ICS	ICCS	Commission on Professional and Hospital Activities, 1968 Green Road, Ann Arbor, MI 48105.	医薬品以外の特定のコード
ICSD	International Classification of Sleep Disorders	International Classification of Sleep Disorders Diagnostic and Coding Manual, 1990, available from American Sleep	医薬品以外の特定のコード

Value	Description	Comments / Source	Category
ISOnnn	ISO Defined Codes where nnnn is the ISO table number	Disorders Association, 604 Second Street SW, Rochester, MN 55902 International Standards Organization where nnnn is the ISO table number	一般のコード
ISO+	ISO 2955.83 (units of measure) with HL7 extensions	HL7 V2.5 7章, 7.4.2.6 節参照のこと。	
IUPP	IUPAC/IFCC Property Codes	International Union of Pure and Applied Chemistry/International Federation of Clinical Chemistry. The Silver Book: Compendium of terminology and nomenclature of properties in clinical laboratory sciences. Oxford: Blackwell Scientific Publishers, 1995. Henrik Olesen, M.D., D.M.Sc., Chairperson, Department of Clinical Chemistry, KK76.4.2, Rigshospitalet, University Hospital of Copenhagen, DK-2200, Copenhagen. <a href="http://inet.uni-c.dk/~qukb7642/">http://inet.uni-c.dk/~qukb7642/</a>	医薬品以外の特定のコード
IUPC	IUPAC/IFCC Component Codes	成分の数量を見分ける IUPAC/IFF によって使われるコード。Contact Henrik Olesen, 上記の IUPP のように。	医薬品以外の特定のコード
JC8	Japanese Chemistry	医療検査分別コード。Japan Association of Clinical Pathology. Version 8, 1990. A multiaxial code including a subject code (e.g., Rubella = 5f395, identification code (e.g., virus ab IGG), a specimen code (e.g., serum =023) and a method code (e.g., ELISA = 022)	取り下げ
JC10	JLAC/JSLM, nationwide laboratory code	Source: Classification & Coding for Clinical Laboratory. Japanese Society of Laboratory Medicine (JSLM, Old: Japan Society of Clinical Pathology). Version 10, 1997. A multiaxial code including a analyte code (e.g., Rubella = 5f395), identification code (e.g., virus ab IGG=1431), a specimen code (e.g., serum =023) and a method code (e.g., ELISA = 022)	
JJ1017	Japanese Image Examination Cache		
LB	Local billing code	特定地域内の支払コードまたは名前 (もし必要なら、拡張有り)。	一般のコード
LN	Logical Observation Identifier Names and Codes (LOINC®)	Regenstrief Institute, c/o LOINC, 1050 Wishard Blvd., 5 <sup>th</sup> floor, Indianapolis, IN 46202. 317/630-7433. Available from the Regenstrief Institute server at <a href="http://www.Regenstrief.org/loinc/loinc.htm">http://www.Regenstrief.org/loinc/loinc.htm</a> . Also available via HL7 file server: FTP/Gopher ( <a href="http://www.mcis.duke.edu/standards/termcode/loinc/loinc.htm">www.mcis.duke.edu/standards/termcode/loinc/loinc.htm</a> and <a href="http://www.mcis.duke.edu/standards/termcode/loinc/loinc.htm">www.mcis.duke.edu/standards/termcode/loinc/loinc.htm</a> ) and World Wide Web ( <a href="http://www.mcis.duke.edu/standards/termcode/loinc/loinc.htm">http://www.mcis.duke.edu/standards/termcode/loinc/loinc.htm</a> ) . January 2000 version has identifiers, synonyms and cross-reference codes for reporting over 26,000 laboratory and related observations and 1,500 clinical measures.	医薬品以外の特定のコード
MCD	Medicaid	Medicaid 支払コード/名前。	医薬品以外の特定のコード
MCR	Medicare	Medicare 支払コード/名前	医薬品以外の特定のコード
MDDX	Medispan Diagnostic Codes	薬-診断上の相互作用チェック。所有権のある製品。MediSpan, Inc., 8425 Woodfield Crossing Boulevard, Indianapolis, IN 46240. Tel: (800) 428-4495. WWW: <a href="http://www.espan.com/medispan/pages/medhome.html">http://www.espan.com/medispan/pages/medhome.html</a> . As above for MGPI.	医薬品コード
MEDC	Medical Economics Drug Codes	薬を識別するための所有権のあるコード。Medical Economics Data, Inc. (800) 223-0581 の製品	医薬品コード
MEDR	Medical Dictionary for Drug Regulatory Affairs (MEDDRA)	Dr. Louise Wood, Medicines Control Agency, Market Towers, 1 Nine Elms Lane, London SW85NQ, UK Tel: (44)0 171-273-0000 WWW: <a href="http://www.open.gov.uk/mca/mcahome.htm">http://www.open.gov.uk/mca/mcahome.htm</a>	医薬品コード
MEDX	Medical Economics Diagnostic Codes	薬-診断上の相互作用チェック。 Medical Economics Data, Inc. (800) 223-0581 の製品	医薬品コード
MGPI	Medispan GPI	薬の製造元やサイズまでのレベルで薬を識別する Medispan hierarchical drug コード。 MediSpan, Inc., 8425 Woodfield Crossing Boulevard, Indianapolis, IN 46240. Tel: (800) 428-4495 の製品	医薬品コード
MXV	CDC Vaccine Manufacturer Codes	CVX と同様	医薬品コード e

Value	Description	Comments / Source	Category
NDA	NANDA	North American Nursing Diagnosis Association, Philadelphia, PA.	医薬品以外の特定のコード
NDC	National drug codes	このコードは投薬形式、メーカーおよびパッケージングに関して、個々の薬に一意的なコードを与える。(National Drug Code Directory, FDA, Rockville, MD および他の文献より)	医薬品コード
NIC	Nursing Interventions Classification	Iowa Intervention Project, College of Nursing, University of Iowa, Iowa City, Iowa	医薬品以外の特定のコード
NPI	National Provider Identifier	Health Care Finance Administration, US Dept. of Health and Human Services, 7500 Security Blvd., Baltimore, MD 21244.	医薬品以外の特定のコード
NUBC	National Uniform Billing Committee Code		
OHA	Omaha System	Omaha Visiting Nurse Association, Omaha, NB.	医薬品以外の特定のコード
OHA	Omaha	Omaha Visiting Nurse Association, Omaha, NB.	医薬品以外の特定のコード
POS	POS Codes	HCFA Place of Service Codes for Professional Claims (see <a href="http://www.hcfa.gov/medicare/poscode.htm">http://www.hcfa.gov/medicare/poscode.htm</a> ) .	医薬品以外の特定のコード
RC	Read Classification	The Read Clinical Classification of Medicine, Park View Surgery, 26 Leicester Rd., Loughborough LE11 2AG (includes drug procedure and other codes, as well as diagnostic codes).	医薬品以外の特定のコード
SDM	SNOMED- DICOM Microglossary	College of American Pathologists, Skokie, IL, 60077-1034. (formerly designated as 99SDM).	医薬品以外の特定のコード
SNM	Systemized Nomenclature of Medicine (SNOMED)	Systemized Nomenclature of Medicine, 2 <sup>nd</sup> Edition 1984 Vols 1, 2, College of American Pathologists, Skokie, IL.	医薬品以外の特定のコード
SNM3	SNOMED International	SNOMED International, 1993 Vols 1-4, College of American Pathologists, Skokie, IL, 60077-1034.	医薬品以外の特定のコード
SNT	SNOMED topology codes (anatomic sites)	College of American Pathologists, 5202 Old Orchard Road, Skokie, IL 60077-1034.	医薬品以外の特定のコード
UC	UCDS	Uniform Clinical Data Systems. Ms. Michael McMullan, Office of Peer Review Health Care Finance Administration, The Meadows East Bldg., 6325 Security Blvd., Baltimore, MD 21207; (301) 966 6851.	医薬品以外の特定のコード
UMD	MDNS	Universal Medical Device Nomenclature System. ECRI, 5200 Butler Pike, Plymouth Meeting, PA 19462 USA. Phone: 215-825-6000, Fax: 215-834-1275.	装置コード
UML	Unified Medical Language	National Library of Medicine, 8600 Rockville Pike, Bethesda, MD 20894.	医薬品以外の特定のコード
UPC	Universal Product Code	The Uniform Code Council. 8163 Old Yankee Road, Suite J, Dayton, OH 45458; (513) 435 3070	医薬品以外の特定のコード
UPIN	UPIN	Medicare/CMS's (formerly HCFA) universal physician identification numbers, available from Health Care Financing Administration, U.S. Dept. of Health and Human Services, Bureau of Program Operations, 6325 Security Blvd., Meadows East Bldg., Room 300, Baltimore, MD 21207	医薬品以外の特定のコード
USPS	United States Postal Service	各州を表す2文字からなる略記が Publication 28, Postal Addressing Standards にリストされている。これは Address Information Products, National Address Information Center, 6060 Primacy Parkway, Suite 101, Memphis, Tennessee 38188-0001 で手に入れられる。 質問やコメントは the Office of Address and Customer Information Systems, Customer and Automation Service Department, US Postal Service, 475 Lenfant Plaza SW Rm 7801, Washington, DC 20260-5902 へ。	医薬品以外の特定のコード
W1	WHO record # drug codes (6 digit)	World Health organization record number code。一意的な連続した番号は、それぞれ一意的な成分薬とそれぞれ一意的な多成分薬に割り当てられる。8つの数は次のようなコードに割り当てられる：6つの数は効果のある薬剤を識別し、2つの数は塩を識別する。6つの数は調剤ユニットで一意的な薬剤を示している。6つの指数コードはW1によって分類され、8つの指数はW2によって分類される。	医薬品コード
W2	WHO record # drug codes (8 digit)	World Health organization record number code。一意的な連続した番号は、それぞれ一意的な成分薬とそれぞれ一意的な多成分薬に割り当てられる。8つの数は次のようなコードに割り当てられる：6つの数は効果のある薬剤を識別し、2つの数は塩を識別する。6つの数は調剤ユニットで	医薬品コード

Value	Description	Comments / Source	Category
W4	WHO record # code with ASTM extension	意的な薬剤を示している。6つの指数コードはW1によって分類され、8つの指数はW2によって分類される。ASTM extensions (参照：実装ガイド) といっしょにWHO コードは、血清レベルレポート、薬使用教育での患者応諾、平均日常服用量などに使用される (参考：Appendix X1 実装ガイド)。	医薬品コード
WC	WHO ATC	WHO の ATC コードは治療上の部類によって薬の階層的分類を与える。それらは上記に記したレコード番号にリンクする。	医薬品コード

#### 第4成分 Alternate Identifier 代替識別子 (ST)

代替整形済みテキストが参照する項目を一意に識別するもう一組の文字の並び (コード)。この識別子は第1成分のものと同義となる。

#### 第5成分 Alternate Formatted Text 代替書式付テキスト (FT)

代替識別子の叙述的あるいはテキスト表現による名称で、埋め込み型の整形用の指示が付加されている。

#### 第6成分 Name of Alternate Coding System 代替コード体系名称 (ID)

代替識別子で用いられているコード体系を示す。有効な値については「HL7 表 0396-コード体系表」を参照のこと。

### CK チェックデジット付き複合 ID

取り下げ。

### CM 複合

取り下げ。HL7 V2.5ではいくつかの新しい明瞭なデータ型となった。

### CN 複合化 ID 番号と名前

取り下げ。HL7 V2.3でXCNに変更。

### CNE 例外なしコード化値

HL7成分表—CNE—Coded with No Exceptions 例外なしコード化値

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	ST	R		Identifier 識別子
2	199	ST	O		Text テキスト
3	20	ID	O	0396	Name of Coding System コード体系名称
4	20	ST	O		Alternate Identifier 代替識別子
5	199	ST	O		Alternate Text 代替テキスト
6	20	ID	O	0396	Name of Alternate Coding System 代替コード体系名称
7	10	ST	C		Coding System Version ID コード体系バージョンID
8	10	ST	O		Alternate Coding System Version ID 代替コード体系バージョンID
9	199	ST	O		Original Text 元のテキスト

コード化された要素と、そのコードに関連付けられた詳細を示す。CNEデータ型は必須あるいは強制のコードのフィールドが必要な場合に用いる。指定されたHL7あるいは外部定義された表を使わなければならない。ローカルの値で拡張することは許されない。テキストはコードを置き換えてはならない。CNEフィールドには、そのフィールドと関連付けられたHL7表か、外部定義の表が必ず存在しなければならない。その表は標準規格で明記されていなければならない。

最大長：705

#### 第1成分 Identifier 識別子 (ST)

第2成分により参照する項目を一意に識別する文字列 (コード) である。コード体系が異なると、ここに入る識別子も異なる。

注記：この識別子は必須であり、有効なコードである必要がある。

### 第2成分 Text テキスト (ST)

識別子の叙述的あるいはテキスト表現による名称、例えば、心筋梗塞あるいはX線検査。この成分のデータ型は文字列(ST)である。識別子に対してコード体系が割り当てたテキストである。

注記：コードに対するテキストの記述はオプションであるが、特に接続テストやデバッグの際に、メッセージの正確性の確認を容易にするため、その使用は推奨されている。

### 第3成分 Name of Coding System コード体系名称 (ID)

それぞれのコード体系は一意的な識別子を割り当てる。この成分は識別子成分で用いられているコード体系を示す。識別子とコード体系名称の組み合わせで、データの品目に対する一意的なコードとなる。それぞれのコード体系は一意的な識別子を持っている。

有効な値については「HL7表 0396-コード体系表」を参照のこと。表には ASTM E1239-94、診断、処置、検査、薬物 ID、健康上のアウトカムおよびその他のコード体系を含む。

コードセットを発行している機関は、複数のコードセットを作成していることがある。そのため、コード体系を一意に表現するためには、コード化専門機関の名称と、コードセットまたはテーブル名称の組み合わせで表現する。

CEデータ型にHL7のテーブルが用いられた場合、コード化体系名称の欄には、HL7表番号nnnnに対し、HL7nnnnと定義される。同様にISOのテーブルはISO番号がnnnnの場合、ISOnnnnと名づけられる。

注記：コード体系は、明示され、許されているコード体系の集合に含まれる値を持つか、明示されない場合は、HL7コード体系を意味するコードの値を持つと同じ意味に解釈されるかのいずれかである。有効な値については「HL7表 0396-コード体系表」を参照のこと。

### 第4成分 Alternate Identifier 代替識別子 (ST)

第1成分の「識別子」と類似。

注記：代替識別子はローカルのコードまたは記述した際にユーザが想定したコードを表現するのに用いられる。明示された場合は、第1成分で述べられたのと同じ規則や解釈に従う。もし、双方が明示された場合には、第4成分の識別子と第1成分の識別子は全く同じ意味を持つ必要がある。すなわちこれらは正確な同義語である必要がある。

### 第5成分 Alternate Text 代替テキスト (ST)

代替識別子の叙述的あるいはテキスト表現による名称。第2成分の「テキスト」と同様。より詳細な説明については、節の冒頭の使用上の注記を参照のこと。

注記：第5成分が明示された場合は、第2成分について述べられたのと同じ規則および解釈に従う。

### 第6成分 Name of Alternate Coding System 代替コード体系名称 (ID)

代替識別子成分で用いられているコード体系を示す。第3成分の「コーディングシステム名称」と同様。有効な値については「HL7表 0396-コード体系表」を参照のこと。

注記：第6成分が明示された場合、第3成分と同じ使用規則および解釈に従う。

### 第7成分 Coding System Version ID コード体系バージョンID (ST)

第3成分で特定されるコード体系バージョンID。この成分は概念的には第1成分から第3成分に属するが、HL7旧バージョンとの互換性のためにのみこの場所に現れている。

注記：コード体系が「HL7コード体系」以外のどの体系であっても、バージョンIDの値を指定しなければならない。コード体系が「HL7コード体系」の場合は、バージョンIDは実際の値を持って、空白でもよい。バージョンIDが空白の場合は、メッセージヘッダのHL7バージョン番号と同じ値を持つと解釈される。コードのテキスト記述は省略可能であるが、特にインターフェーステストやデバックに役立つので、この成分を使用することが推奨されている。

### 第8成分 Alternate Coding System Version ID 代替コード体系バージョンID (ST)

第6成分で特定されたコード体系バージョンID。この成分は概念的には代替成分に含まれるがこの場所に現れるのはHL7旧バージョンとの互換性のためにのみである。

注記：第8成分が明示された場合は、第7成分で記述された使用規則と解釈に従う。

### 第9成分 Original Text 元のテキスト (ST)

特定のコードが割り当てられる前に、自動処理または人間に提示されていた元のテキスト。

## CNN 単純化複合 ID 番号と名称

HL7成分表—CNN—Composite ID Number and Name Simplified 単純化複合ID番号と名称

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	15	ST	O		ID Number ID番号
2	50	ST	O		Family Name 姓
3	30	ST	O		Given Name 名
4	30	ST	O		Second and Further Given Names or Initials Thereof 2番目以降の名またはそれらのイニシャル



SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
5	20	ST	O		Suffix (e.g., JR or III) 接尾辞 (例, JR または III)
6	20	ST	O		Prefix (e.g., DR) 接頭辞 (例 DR)
7	5	IS	O	0360	Degree (e.g., MD) 学位 (例 MD)
8	4	IS	C	0297	Source Table 出典表
9	20	IS	C	0363	Assigning Authority-Namespace 割当権限者-ネームスペース ID
10	199	ST	C		Assigning Authority-Universal ID 割当権限者-汎用 ID
11	6	ID	C	0301	Assigning Authority-Universal ID Type 割当権限者-汎用 ID 型

識別子と人の名前の両方を使って、人物を明記する。

最大長：406

注記： 4.5.3.32節および7.4.1.32節のOBR-32、4.5.3.33節および7.4.1.33節のOBR-33、4.5.3.34節および7.4.1.34節のOBR-34、4.5.3.35節および7.4.1.35節のOBR-35で使用されているCMデータ型で実現できる、もともとのCNデータ型を改良。しかしながら、現在の実施例と整合性を持ち、HL7旧バージョンとの互換性を壊さないよう、第7成分と第8成分は、ISデータ型に昇格した。

### 第1成分 ID Number ID番号 (ST)

使用者定義表によるコード化されたID。第1成分が明示された場合には第8成分または第9成分、または第10成分と第11成分の両方の値を入れる必要がある。

### 第2成分 Family Name 姓 (FN)

この成分は人物の姓を文字列形式で含む。

### 第3成分 Given Name 名 (ST)

名を明記するのに用いる。

### 第4成分 Second and Further Given Names or Initials Thereof 2番目以降の名またはそれらのイニシャル (ST)

2番目以降の名、またはそれらのイニシャル。

### 第5成分 Suffix (e.g., JR or III) 接尾辞 (例, JR または III) (ST)

名前の接尾語を明記するのに用いる。(例 JR または III)

### 第6成分 Prefix (e.g., DR) 接頭辞 (例 DR) (ST)

名前の接頭語を明記する。(例 DR)

### 第7成分 Degree (e.g., MD) 学位 (例 MD) (IS)

教育における学位 (例, MD) を明記するのに用いる。提案されている値については「使用者定義表 0360—学位/免許/資格」を参照のこと。

使用者定義表0360—Degree/License/Certificate 学位/免許/資格

Value	Description	Value	Description
PN	Advanced Practice Nurse 高度実践看護師	MD	Doctor of Medicine 博士 (医学)
AAS	Associate of Applied Science 短期大学士	DO	Doctor of Osteopathy [日本には該当するものが無い]
AA	Associate of Arts 短期大学士 (文科系一般)	EMT	Emergency Medical Technician 救急救命士
ABA	Associate of Business Administration 短期大学士 (経営学)	EMTP	Emergency Medical Technician – Paramedic [日本には該当するものが無い]
AE	Associate of Engineering 短期大学士 (工学)	FPNP	Family Practice Nurse Practitioner [日本には該当するものが無い]
AS	Associate of Science 短期大学士 (理科系一般)	HS	High School Graduate 高校卒業
BA	Bachelor of Arts 学士 (文科系一般)	JD	Juris Doctor 法学博士 (専門職)
BBA	Bachelor of Business Administration 学士 (経営学)	MA	Master of Arts 修士 (学術)
BE	Bachelor of Engineering 学士 (工学)	MBA	Master of Business Administration 修士 (経営学)
BFA	Bachelor of Fine Arts 学士 (美術)	MCE	Master of Civil Engineering [日本には該当するものが無い]
BN	Bachelor of Nursing [日本には該当するものが無い]	MDI	Master of Divinity 修士 (神学)
BS	Bachelor of Science	MED	Master of Education

Value	Description	Value	Description
	学士 (理学)		修士 (教育学)
BSL	Bachelor of Science – Law 学士 (法学)	MEE	Master of Electrical Engineering [日本には該当するものが無い]
BSN	Bachelor on Science – Nursing 学士 (看護学)	ME	Master of Engineering 修士 (工学)
BT	Bachelor of Theology 学士 (神学)	MFA	Master of Fine Arts 修士 (美術)
CER	Certificate [日本には該当するものが無い]	MME	Master of Mechanical Engineering [日本には該当するものが無い]
CANP	Certified Adult Nurse Practitioner [日本には該当するものが無い]	MS	Master of Science 修士 (理学)
CMA	Certified Medical Assistant [日本には該当するものが無い]	MSL	Master of Science – Law [日本には該当するものが無い]
CNP	Certified Nurse Practitioner 認定診療看護師	MSN	Master of Science – Nursing 修士 (看護学)
CNM	Certified Nurse Midwife 助産師	MT	Master of Theology 修士 (神学)
CRN	Certified Registered Nurse 看護師	MDA	Medical Assistant [日本には該当するものが無い]
CNS	Certified Nurse Specialist 専門看護師	MT	Medical Technician 臨床検査技師
CPNP	Certified Pediatric Nurse Practitioner [日本には該当するものが無い]	NG	Non-Graduate 在学中
DIP	Diploma [日本には該当するものが無い]	NP	Nurse Practitioner 診療看護師
DBA	Doctor of Business Administration 博士 (経営学)	PA	Physician Assistant [日本には該当するものが無い]
DED	Doctor of Education 博士 (教育学)	RMA	Registered Medical Assistant [日本には該当するものが無い]
PharmD	Doctor of Pharmacy 博士 (薬学)	RPH	Registered Pharmacist 薬剤師
PHE	Doctor of Engineering 博士 (工学)	SEC	Secretarial Certificate [日本には該当するものが無い]
PHD	Doctor of Philosophy 博士 (学術)	TS	Trade School Graduate 商業学校卒業
PHS	Doctor of Science 博士 (理学)		

### 第 8 成分 Source Table 出典表 (IS)

提案されている値については「使用者定義表 0297–CN ID 出典」を参照のこと。最初の成分を記述するのに用いる。第 1 成分が値を持つとき、第 8 成分または第 9 成分または第 10 成分と第 11 成分の両方に値が必要である。

使用者定義表0297–CN–ID Source CN ID出典

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

### 第 9 成分 Assigning Authority-Namespace ID 割当権限者-ネームスペース ID (IS)

割当権限者は通常 HD データ型で表現されるが、このデータ型では全ての情報を表現できる 3 つの成分に展開されている (CNS.9, CNS.10 および CNS.11)。将来 HD データ型に成分が追加される場合は、このデータ型にも同様の調整が必要となることに注意。第 1 成分が値を持つときには、第 8 成分または第 9 成分または第 10 成分と第 11 成分の両方に値を設定する必要がある。

### 第 10 成分 Assigning Authority-Universal ID 割当権限者-汎用 ID (ST)

第 11 成分が値を持つとき、この成分に値を設定する必要がある。第 1 成分が値を持つときには、第 8 成分または第 9 成分または第 10 成分と第 11 成分の両方に値を設定する必要がある。

### 第 11 成分 Assigning Authority-Universal ID Type 割当権限者-汎用 ID 型 (ID)

第 10 成分が値を持つとき、この成分に値を設定する必要がある。第 1 成分が値を持つときには、第 8 成分または第 9 成分または第 10 成分と第 11 成分の両方に値を設定する必要がある。有効な値については、「HL7 表 0301–汎用 ID 型」を参照のこと。

## CP 複合価格

HL7成分表—CP—Composite Price 複合価格

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	MO	R		Price 価格
2	2	ID	O	0205	Price Type 価格型
3	16	NM	O		From Value 始点の値
4	16	NM	O		To Value 終点の値
5	483	CE	O		Range Units 範囲単位
6	1	ID	O	0298	Range Type 範囲型

最大長：543

注記：このデータ型は、与えられたセグメント内の反復フィールドを定義するためにしばしば用いられる。

|100.00&USD^UP^0^9^min^P~50.00&USD^UP^10^59^min^P~10.00&USD^UP^60^999^P~50.00&USD^AP~200.00&USD^PF~80.00&USD^DC|

第1成分 Price 価格 (MO)

唯一必須成分であり、小数点を通常含んでいる。MO データ型の各成分がここでは副成分であることに注意すること。

第2成分 Price Type 価格型 (ID)

コード化された値、データ型 ID。有効な値については、「HL7 表 0205—Price Type 価格型」を参照のこと。

HL7表0205—Price Type 価格型

Value	Description
AP	administrative price or handling fee 管理上の価格あるいは手数料
DC	direct unit cost 直接の単位原価
IC	indirect unit cost 間接の単位原価
PF	professional fee for performing provider 実行提供者に対する専門職料金
TF	technology fee for use of equipment 機器の使用に対する技術料金
TP	total price 価格の合計
UP	unit price, may be based on length of procedure or service 単価、手続きまたはサービスの長さに基づいてもよい。

第3成分 From Value 始点の値 (NM)

次の<終点の値>と共に NM データ型であり「範囲」を示す。範囲は時間または量として定義される。例えば、範囲は処置の最初の 10 分間はある 1 つの価格であり、さらにもう 1 つこのデータ型を繰り返すことで、次の 10 分後から 60 分後まではまた別の単価が設定され、最後の繰り返しで、60 分後から N 分後までの単価が 3 番目の価格で指定することができる。

<価格型>成分が TP であるときには、<始点の値>と<終点の値>のいずれも null の値をとることに注意。

第4成分 To Value 終点の値 (NM)

上記の始点の値を参照のこと。

第5成分 Range Units 範囲単位 (CE)

コード化された値、CE データ型。時あるいは量のいずれかの単位の標準の表によって定義されたもの。これは、範囲、例えば秒、分、時間、日、量（例えばカウント）に関連した単位について記述する。それは、<始点の値>および<終点の値>が存在するとき、必要とされる。

第6成分 Range Type 範囲型 (ID)

有効な値については、「HL7 表 0298—CP Range Type CP範囲型」を参照のこと。

HL7表0298—CP Range Type CP範囲型

Value	Description
P	Pro-rate. Apply this price to this interval, pro-rated by whatever portion of the interval has occurred/been consumed 比例配分。この間隔にこの価格を適用する。発生/消費した間隔の部分によって比例配分される。
F	Flat-rate. Apply the entire price to this interval, do not pro-rate the price if the full interval has not occurred/been consumed 定額。この間隔に価格全体を適用する。価格全体が発生/消費しない場合価格の比例配分をしない。

CQ 単位付複合数量

HL7成分表—CQ—Composite Quantity with Units 単位付複合数量

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	16	NM	O		Quantity 数量

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
2	483	CE	O		Units 単位

最大長：500

注記：CQ データ型は、他のデータ型に埋め込まれた場合、正式には表現できない。よってこのデータ型の使用はセグメントフィールドに限定される。

### 第1成分 Quantity 数量 (NM)

この成分はある実体の数や量を表す。

### 第2成分 Units 単位 (CE)

この成分は、量の表現に際して用いられている単位を表す。フィールドごとに、デフォルトの単位が仕様の中で定義されていることがある。量がデフォルトの単位で測定されている場合、単位を送信する必要はない。量がデフォルトとは違う単位で記録されている場合は、単位を送信しなければならない。

例：

|123.7^kg| キログラムはISOの単位である。

|150^lb&&ANSI+| ポンド重量はANSI+に定義された米国の慣習的な単位である。

## CSU チャンネル感度

HL7成分表－CSU－Channel Sensitivity チャンネル感度

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	60	NM	R		Channel Sensitivity チャンネル感度
2	20	ST	C		Unit of Measure Identifier 測定単位識別子
3	199	ST	C		Unit of Measure Description 測定単位記述
4	20	ID	C	0396	Unit of Measure Coding System 測定単位コード体系
5	20	ST	O		Alternate Unit of Measure Identifier 代替測定単位識別子
6	199	ST	O		Alternate Unit of Measure Description 代替測定単位記述
7	20	ID	O	0396	Alternate Unit of Measure Coding System 代替測定単位コード体系

このデータ型はチャンネルの感度（ゲイン）と、波形検査結果のそのチャンネルの測定単位を示す。

最大長：490

注記：HL7 V2.5より、OBX-5測定値(\*)がCDデータ型であるときに、7.14.1.5節のOBX-5.3で使用されているCMデータ型を置き換える。

### 第1成分 Channel Sensitivity チャンネル感度 (NM)

この成分は、波形データの中の1ユニットに関する表示上の値、すなわちアナログデジタル変換の最小ビットの有効解像度とチャンネルの極性を送信する。

### 第2成分 Unit of Measure Identifier 測定単位識別子 (ST)

チャンネル感度についての単位の指定。このフィールドは、測定単位記述が提示されない場合は必須である。

### 第3成分 Unit of Measure Description 測定単位記述 (ST)

測定単位識別子の省略なしのテキスト表現の名称。このフィールドは、測定単位識別子が提示されない場合は必須である。

### 第4成分 Unit of Measure Coding System 測定単位コード体系 (ID)

指定された単位系を示す。提案されている値については「HL7表0396-コード体系表」を参照のこと。このフィールドは、測定単位識別子が提示された場合は必須である。

### 第5成分 Alternate Unit of Measure Identifier 代替測定単位識別子 (ST)

チャンネル感度についての代替単位の指定。

### 第6成分 Alternate Unit of Measure Description 代替測定単位記述 (ST)

代替測定単位識別子の省略なしのテキスト表現による名称。

### 第7成分 Alternate Unit of Measure Coding System 代替測定単位コード体系 (ID)

指定された代替単位系を示す。このフィールドは、代替測定単位識別子が提示された場合は必須である。提案されている値については「HL7表0396-コード体系表」を参照のこと。

## CWE 例外を含むコード化値

HL7成分表-CWE-Coded with Exceptions 例外を含むコード化値

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	ST	O		Identifier 識別子
2	199	ST	O		Text テキスト
3	20	ID	O	0396	Name of Coding System コード体系名称
4	20	ST	O		Alternate Identifier 代替識別子
5	199	ST	O		Alternate Text 代替テキスト
6	20	ID	O	0396	Name of Alternate Coding System 代替コード体系名称
7	10	ST	C		Coding System Version ID コード体系バージョンID
8	10	ST	O		Alternate Coding System Version ID 代替コード体系バージョンID
9	199	ST	O		Original Text 元のテキスト

コード化された要素と、その要素に結びついた詳細を表す。CWEデータ型は、1) 1つ以上の表が適用されることがある、あるいは、2) 指定されたHL7表または外部定義の表がローカルの値で拡張されることがある、あるいは、3) 文字列が指定された場合にコードが省略されることがある場合に用いられる。

最大長：705

注記：これは、一般的にはコードを用いて送信されるが、例外的な個体について、あるいは施設での合意に基づいて、コードが省略されることがあるフィールドである。例外的な実例は、使用されているコード体系が、文字列で表現されている概念を記述できるコードを持たないときに生じる。

第1成分～第3成分と第7成分は以下の3つの方法のうちの1つで用いられる：

a) コード化

識別子はあるコード体系からの有効なコードを含んでいる。コード体系は明示され、許されているコード体系の集合に含まれる値を持つか、コード体系は明示されていないが、HL7コード体系と同じ意味を持つコードが指定されていると解釈されるかのいずれかである。有効な値については「HL7表0396-コード体系表」を参照のこと。このテーブルにはASTM E1238-94、診断、処置、検査、薬剤IDおよび健康上のアウトカムに関するコード体系が含まれる。コード体系が"HL7コード体系"とは異なるいずれかのコード体系であるときには、バージョンIDに実際のバージョンIDの値を設定する必要がある。コード体系が"HL7コード体系"であるときには、バージョンIDには実際のバージョンIDの値を設定するか、指定されていなくても良い。バージョンIDが指定されていない場合には、メッセージヘッダのHL7バージョン番号と同じと解釈される。文字列の記述は省略可能だが、テストやデバッグの際のメッセージの可読性のために、文字列の記述を使うことが推奨されている。

例1a：検査の識別子としてLOINCが指定されており、検査の値がCWEの値として送られようとし、その検査の値はSNOMEDからとられているOBXセグメント。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|F-D1250^Type O^SNM3^^^^3.4||N|F<CR>
```

例2a：検査内容の識別子がLOINCコードで、検査結果の値がCWEの値として送信される場合で、その値は（現在は仮想の）HL7表からとられている、OBXセグメント。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|O^Type O^HL74875^^^^2.3.1||N|F<CR>
```

b) 非コード化

テキストの値は設定されているが識別子は値を持たず、コード体系名称とバージョンIDは上記の選択肢a)と同様の規則に従う場合。

例2：検査内容の識別子がLOINCコードで、検査結果の値がCWEの値として送信される場合で、その値は、正しい診療上の値が"Wesnerian"であり、これが許される値の集合に見当たらないため、文字列で送信されているOBXセグメント。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|^Wesnerian^SNM3^^^^3.4||A|F<CR>
```

c) データ欠落

コード体系名称（第3成分）に「HL7 CWE状態」をセットし、バージョンIDが実際の値が

指定されたか、バージョンID（第7成分）本来のバージョン（もしセットされなければメッセージヘッダのバージョンと同じことを意味する）をセットする。さらに、識別子（第1成分）には、CWEフィールドの状態として許容される値を選んでセットする。CWEフィールドの状態は以下に示すとおりであり、HL7用語集の一部として今後管理される。コードに対する文字列による記述は省略可能。

例3：検査内容の識別子がLOINCコードで、検査結果の値はLCEデータ型の値として送られる場合で検査が実施されなかったため検査値が送れない場合のOBXセグメント。

OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|NAV^Not Available^HL70353^^^^2.3.1||N||F<CR>

#### 第9成分：

この成分は特定のコードが割り当てられる前に、自動処理または人間に提供される元の文字列を表す。このフィールドは省略可能である。

#### 第3成分～第6成分および第8成分：

第3成分～第6成分および第8成分は省略可能である。これらはローカルのコードまたは記述した際にユーザが想定したコードを表現するのに用いられる。明示された場合は、（CWEデータ型の）第1成分～第3成分および第7成分で述べられたのと同じ規則や解釈に従う。もし、双方が明示された場合には、第4成分の識別子と第1成分の識別子は全く同じ意味を持つ必要がある。すなわちこれらは正確な同義語である必要がある。

例4：検査内容の識別子はLOINCコードで、検査結果はCWEで送信される場合で、その値はSNOMEDから取られる場合のOBXセグメント。ユーザが想定したコードを記述するフィールドがローカルのコード体系(99LAB)を表現するために送信側のシステムで使用されている。

OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|F-D1250^Type O^SNM3^O^O Type Blood^99LAB^3.4^|||F<CR>

#### 値を取らない様々な状態に対し、状態値の表をCWEで使う場合の使用上の注意のまとめ：

CWEデータ型は、コード値が省略可能である場合、またはコード値としてまだ認められていない項目に関してテキストをセットすることが許容できる場合に使用すべきである。通常、識別子（第1成分）は、とりうる値の集合を元としたコードが値となる。もし、フィールドの値が既知であるがとりうる値の集合に含まれていない場合、値を文字列（第2成分）としてセットし、識別子（第1成分）を空とする。もし、フィールドの値がよくわからない状態である場合、先のデータ欠落の場合で述べた第3の書式となり、値の状態として許容される以下の表からフィールド状態を適切に表す値を選択する。コードが存在しない場合についての有効な値は「HL7表0353－CWE状態」を参照のこと。

HL7表0353－CWE States CWE状態

Value	Description
U	Unknown 不明
UASK	Asked but Unknown 照会したが不明
NAV	Not available 利用不能
NA	Not applicable 対象外
NASK	Not asked 未照会

コードに対し文字列による修飾子が付随する場合、HL7メッセージの「フィールド」はCWEデータ型となり、繰り返し可能である。最初の「フィールド」は第1成分に相当し、つまり、識別子である有効な値を持つものである。第2の「フィールド」は第2成分に相当し、テキスト（第2成分）はテキスト修飾子としての自由な値となる。（第4成分から第6成分のこと）

#### 第1成分 Identifier 識別子 (ST)

第2成分により参照される項目をユニークに識別する文字列（コード）である。コード体系が異なると、ここに入る識別子も異なる。

#### 第2成分 Text テキスト (ST)

識別子の叙述的あるいはテキスト表現による名称、例えば、心筋梗塞あるいはX線検査。

#### 第3成分 Name of Coding System コード体系名称 (ID)

第1成分（識別子）で用いられているコード体系を示す。

識別子とコード体系名称の組み合わせで、データの品目に対する一意的なコードとなる。それぞれのコード体系は一意的な識別子を持っている。有効な値については「HL7 表 0396-コード体系表」を参照のこと。表には ASTM E1239-94、診断、処置、検査、薬物 ID、健康上のアウトカムおよびその他のコード体系を含む。

コードセットを発行している機関は、複数のコードセットを作成していることがある。そのため、コード体系を一意に表現するためには、コード化専門機関の名称と、コードセットまたはテーブル名称の組み合わせで表現する。CEデータ型にHL7のテーブルが用いられた場合、コード化体系名称の欄には、HL7表番号nnnnに対し、HL7nnnnと定義される。同様にISOのテーブルはISO番号がnnnnの場合、ISOnnnnと名づけられる。

#### 第4成分 Alternate Identifier 代替識別子 (ST)

参照する項目を一意に識別するもう一組の文字の並び(コード)。「CWE 例外を含むコード化値一注」を参照のこと。

#### 第5成分 Alternate Text 代替テキスト (ST)

代替識別子の叙述的あるいはテキスト表現による名称。第2成分の「文字列」と類似。「CWE 例外を含むコード化値一注」を参照のこと。

#### 第6成分 Name of Alternate Coding System 代替コード体系名称 (ID)

代替識別子成分で用いられているコード体系を示す。第3成分の「コード体系名称」と類似。「CWE 例外を含むコード化値一注」を参照のこと。

#### 第7成分 Coding System Version ID コード体系バージョンID (ST)

第1成分～第3成分で特定されるコード体系バージョンID。この成分は概念的には成分1～成分3のグループに属するが、HL7旧バージョンとの互換性のためにのみこの場所に現れている。

#### 第8成分 Alternate Coding System Version ID 代替コード体系バージョンID (ST)

第4成分～第6成分で特定されるコード体系バージョンID。この成分は概念的には代替成分のグループ(「CWE 例外を含むコード化値一注」を参照)に属するが、HL7旧バージョンとの互換性のためにのみこの場所に現れている。

#### 第9成分 Original Text 元のテキスト (ST)

特定のコードが割り当てられる前に、自動処理または人間に提示されていた元の文字列。

## CX チェックデジット付き拡張複合ID

HL7成分表-CX-Extended Composite ID with Check Digit チェックデジット付き拡張複合ID

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	15	ST	R		ID Number ID 番号
2	1	ST	O		Check Digit チェックデジット
3	3	ID	O	0061	Check Digit Scheme チェックデジット形式
4	227	HD	O	0363	Assigning Authority 割当権限者
5	5	ID	O	0203	Identifier Type Code 識別子型コード
6	227	HD	O		Assigning Facility 割当施設
7	8	DT	O		Effective Date 発効日付
8	8	DT	O		Expiration Date 失効日付
9	705	CWE	O		Assigning Jurisdiction 割当管轄
10	705	CWE	O		Assigning Agency or Department 割当機関または行政組織

このデータ型はIDとそれに付随する管理上の詳細を示すのに使われる。

最大長：1913

注記：IDが英数字の場合、チェックデジットとチェックデジット形式はnullとなる。

例： |1234567^4^M11^ADT01^MR^University Hospital|

#### 第1成分 ID Number ID 番号 (ST)

識別子の値そのもの。

#### 第2成分 Check Digit チェックデジット (ST)

このデータ型でのチェックデジットは、メッセージ処理系により生成された後付けのものではない。識別番号の一部で、送信側アプリケーションで使用される部分が、この成分でいうチェックデジットである。送信側のアプリケーションが自己生成のチェックデジットを識別番号に含めていない場合は、この成分はnullにしなければならない。

#### 第3成分 Check Digit Scheme チェックデジット形式 (ID)

使用されているチェックデジット形式を識別するコードである。有効な値について「HL7 表 0061-チェックデジット形式」を参照のこと。

HL7表0061—Check Digit Scheme チェックデジット形式

Value	Description
NPI	Check digit algorithm in the US National Provider Identifier 米国医療提供者識別子に使用されているチェックデジットアルゴリズム
ISO	ISO 7064: 1983
M10	Mod 10 algorithm Mod 10 アルゴリズム
M11	Mod 11 algorithm Mod 11 アルゴリズム

Mod10 チェックデジットを計算するためのアルゴリズムは以下の通り。

識別子が 12345 の場合、右側から数えて奇数桁、つまり 531 を 2 倍して 1062 を得る。右から数えて偶数桁、すなわち 42 を取り、これに 1062 を付加して 421062 を得る。この数字の 6 桁すべてを加算して 15 を得る。15 の次に大きい 10 の倍数からこの数を減ずる、つまり 20-15 により 5 を得る。これが Mod10 である。401 の場合の Mod10 チェックデジットは 0 である。9999 の場合は 4 である。99999999 の場合は 8 である。

用語

- D = 1 の位から初めて、10 の位、100 の位と続く順番で振った、桁をあらわす数
- W = 1 の位から初めて、10 の位、100 の位の順番で、2, 3, 4, 5, 6, 7, 2, 3, 4, 5, 6, 7 と 6 桁ごとに繰り返す重みの数値
- C = チェックデジット

計算

- (Step 1) m = 1 の位から順に 1 番目、2 番目、...の(d\*w)の総和  
ただし、d=1 の位から最上位の方向に数える桁番号  
かつ、w=1 の位から始めて 6 桁ごとに繰り返す 2 から 7 までの重み付けの数字
- (Step 2) c1 = m mod 11
- (Step 3) if c1 = 0 ならば、c1=1 にリセットする
- (Step 4) = (11 - c1) mod 10

例：番号が 1234567 であれば、mod 11 チェックデジット=4

計算は以下の通り

$$\begin{aligned}
 M &= (7*2)+(6*3)+(5*4)+(4*5)+(3*6)+(2*7)+(1*2) \\
 &= 14 + 18 + 20 + 20 + 18 + 14 + 2 \\
 &= 106 \\
 c1 &= 106 \text{ mod } 11 \\
 &= 7 \\
 c &= (11-c1) \text{ mod } 10 \\
 &= 4 \text{ mod } 10 \\
 &= 4
 \end{aligned}$$

上記以外のチェックデジットは、関係者双方の取り決めにより使うことができる。

#### 第 4 成分 Assigning Authority 割当権限者 (HD)

割当権限者は、データを生成したシステム（組織、政府機関、部署）の一意的な名称である。有効な値については「使用者定義表 0363—割当権限者」を参照のこと。

##### 使用者定義表0363—Assigning Authority 割当権限者

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

割当権限者に加えて、あるいはその代わりに、割当管轄、割当行政組織、割当機関について意味のある値を送信する必要がある場合、CX.9 および CX.10 を参照すること。しかしながら、3 つの成分全てに値が与えられることがある。その際、CX.9 および/または CX.10 の値が CX.4 と矛盾を起こすことが判明した場合は、ユーザはメッセージプロファイル、あるいはその他の実装規約を調べて、どちらを優先すべきかの記述を見つけることになる。

注記：

HD データ型が別のデータ型のフィールドのコンポーネントとして特定のセグメントで使用されている場合、「使用者定義表0300-ネームスペースID」（HD コンポーネントの最初のサブコンポーネントによって参照される）は、そのセグメントを担当する技術委員会によって再定義（異なる使用者定義表番号と名前を指定）されることがある。施設利用者間での合意により、実装者は最初のサブコンポーネントに「使用者定義表0300-ネームスペースID」を使い続けることができる。

#### 第 5 成分 Identifier Type Code 識別子型コード (ID)

ID の型に対応するコード。場合によっては、このコードが「割当権限者」成分の修飾語として用いられることもある。有効な値については「HL7 表 0203—ID 型」を参照。



HL7表0203—Identifier Type ID型

Value	Description	Comments
AM	American Express アメリカン・エクスプレス	HL7 V2.5 で非推奨となり、BC に置き換えられた
AN	Account number 勘定番号	勘定に対する一意的な識別子 生物に対する識別子で、その本当の出自が保護されているか、制限されているもの。 理由：公衆衛生報告には、特定の結果の報告をする際に患者の出自を保護するため、匿名識別子が時々使用される。例えば、州の健康局は HIV 抗体が陽性となった患者の報告に、ある生成規則による匿名識別子を使用するかもしれない。 匿名識別子は PID 3 で、医療記録番号やその他の匿名でない識別子の代わりに用いることができる。匿名識別子の割当権限者は州や地域の健康局であろう。
ANON	Anonymous identifier 匿名識別子	
ANC	Account number Creditor 債権者勘定番号	クラス：会計 勘定番号のより正確な定義；2つの別の勘定番号が同じメッセージで送信する必要があるときがあり、ひとつは債権者のものであり、もうひとつは債務者のものである。 Kreditorenkontonummer (ドイツ語で) 「債権者勘定番号」
AND	Account number debtor 債務者勘定番号	クラス：会計 勘定番号のより正確な定義；2つの別の勘定番号が同じメッセージで送信する必要があるときがあり、ひとつは債権者のものであり、もうひとつは債務者のものである。 Debitorenkontonummer (ドイツ語で) 「債務者勘定番号」
ANT	Temporary Account Number 暫定勘定番号	クラス：会計 勘定番号の暫定版 ユースケース：通常は勘定番号を割り当てしない補助システムが最初に患者を登録する。補助システムが、公式な勘定番号が割り当てられるまで使用する暫定勘定番号を生成する。
APRN	Advanced Practice Registered Nurse number 上級診療看護師番号	認定委員会の管轄下で重複しない上級診療看護師に対する識別子
BA	Bank Account Number 銀行口座番号	クラス：会計
BC	Bank Card Number 銀行カード番号	クラス：会計 個人の銀行カードについて一意的な識別子。HL7 V2.5 より、AM、DI、DS、MS および VS を置き換える。
BR	Birth registry number 出生記録番号	
BRN	Breed Registry Number 品種登録番号	
CC	Cost Center number コストセンター番号	クラス：会計 ユースケース：特に伝票に関する情報を送信する場合に必要となる。
CY	County number 郡番号	
DDS	Dentist license number 歯科医免許番号	免許委員会の管轄内で重複しない歯科医に対する識別子
DEA	Drug Enforcement Administration registration number 薬物施行管理登録番号	統制されている物質の管理や取り扱いに関わる個人や組織に対する識別子 ユースケース：これは、統制されている物質の管理や取り扱いに関わる個人や組織に対する識別子である。 DEA 番号は米国内では非常に明確で広く受け入れられた意味をもっている。米国内では米国麻薬取締局だけが DEA 番号だけを割り当てていてではない。病院は、そこに勤務する研修医師に DEA 番号を発行する権限をもつ。これらの DEA 番号は病院の DEA 番号に基づくが、研修医師への割り当て権限は病院にある。このため識別子型としての DEA と共に、割当権限者としての DEA が必要である。
DI	Diner's Club card ダイナースクラブカード	HL7 V2.5 で非推奨となり、BC に置き換えられた
DFN	Drug Furnishing or prescriptive authority Number 薬剤調達あるいは処方権限者 番号	医療従事者に割り当てられる識別子で、その人に薬剤オーダーを書く権限を与える ユースケース：診療看護師は薬剤を調達または処方する権限を持つ；第1成分にこの識別子を含む。
DL	Driver's license number 運転免許証番号	
DN	Doctor number 医師番号	
DPM	Podiatrist license number 足病医免許番号	免許委員会の管轄内で重複しない足病医に対する識別子
DO	Osteopathic License number 整骨医免許番号	免許委員会の管轄内で重複しない整骨医に対する識別子

Value	Description	Comments
DR	Donor Registration Number ドナー登録番号	
DS	Discover Card ディスカバーカード	HL7 V2.5 で非推奨となり、BC に置き換えられた
EI	Employee number 被雇用者番号	ある雇用者について被雇用者を唯一特定する番号
EN	Employer number 雇用者番号	
FI	Facility ID 施設 ID	
GI	Guarantor internal identifier 保証人内部識別子	クラス：会計
GL	General ledger number 総元帳番号	クラス：会計
GN	Guarantor external identifier 保証人外部番号	クラス：会計
HC	Health Card Number 健康カード番号	
JHN	Jurisdictional health number (Canada) 管轄下健康番号 (カナダ)	クラス：保険 2通りの使い方があり： a) UK 管轄下の CHI 番号； b) カナダの州の健康カード番号；
IND	Indigenous/Aboriginal 先住民/原住民	カナダ外の先住民あるいは原住民集団のメンバーに割り当てられた番号
LI	Labor and industries number 労働および産業番号	
LN	License number 免許番号	
LR	Local Registry ID 地方登録 ID	
MA	Patient Medicaid number 患者メディケイド番号	クラス：保険
MB	Member Number 会員番号	ある保険契約の被保険者に対する識別子（この被保険者は必ず契約者を持つ）で通常保険会社によって割り当てられる。 ユースケース：ある人が保険契約によって保証される。この人はその契約の契約者である場合も、契約者でない場合もある。
MC	Patient's Medicare number 患者のメディケア番号	クラス：保険
MCD	Practitioner Medicaid number 医療従事者 メディケイド番号	クラス：保険
MCN	Microchip Number マイクロチップ番号	
MCR	Practitioner Medicare number 医療従事者 メディケア番号	クラス：保険
MD	Medical License number 医師免許番号	免許委員会の管轄内で重複しない医師に対する識別子 ユースケース：これらの免許番号は識別子として使用される。州によっては以下の3つの識別子を同じ権限者が発行する。すなわち、医師、整骨医、医師補助者の免許が全てひとつの州の医療委員会で発行される。この場合、CX データ型では、第1成分を正確に解釈するために別個の識別子型が必要となる。さらに、これらの免許型の区別はほとんどの医療現場で非常に重要となる。（このような免許型は免許の情報を全ては伝えるためのものではない、そのためには関連する属性すべてに対応するセグメントが必要になる）
MI	Military ID number 軍 ID 番号	過去に従軍経験をもつが現在は兵役についていない個人に割り当てられる番号。この番号は国防省または在郷軍人局(VA)が割り当てる。
MR	Medical record number 診療記録番号	一組の診療記録の中で患者について一意的な識別子で、必ずしもひとつのアプリケーションの中でユニークである必要はない。
MRT	Temporary Medical Record Number 暫定診療記録番号	診療記録番号の暫定版 ユースケース：通常は診療記録番号を割り当てしない補助システムが最初に患者を登録する。補助システムが、公式な診療記録番号が割り当てられるまで使用する暫定診療記録番号を生成する。
MS	MasterCard マスターカード	HL7 V2.5 で非推奨となり、BC に置き換えられた
NE	National employer identifier 国定雇用者番号	米国では、この値の割当権限者は一般的に CMS（メディケア・メディケイドセンター）だが、HIPPA に関する取引については、全ての医療従事者および保険会社がこの番号を使用しうる。

Value	Description	Comments
NH	National Health Plan Identifier 国定健康プラン識別子	クラス：保険 英国の NHS（国民健康保健サービス）の国定識別子。 米国では、この値の割当権限者は一般的に CMS（メディケア・メディケイドセンタ）だが、HIPPA に関する取引については、全ての医療従事者および保険会社がこの番号を使用しうる。
NI	National unique individual identifier 国定個人特定識別子	クラス：保険 米国では、この値の割当権限者は一般的に CMS（メディケア・メディケイドセンタ）だが、HIPPA に関する取引については、全ての医療従事者および保険会社がこの番号を使用しうる。
NII	National Insurance Organization Identifier 国定保険機関識別子	クラス：保険 ドイツでの国制定の保険会社に対する識別子。この識別子は保険カード（健康カード）に印刷されている。健康カード自体の番号と混同しないこと。 Krankenkassen-ID der KV-Karte（ドイツ語）KV カードの健康保険組合 ID
NIIP	National Insurance Payor Identifier (Payor) 国定保険支払者識別子（保険料の支払者）	クラス：保険 ドイツでの保険料の支払者を指す保険組合識別子 Krankenkassen-ID des Rechnungsempfängers （ドイツ語）領収書受取人の健康保険組合 ID ユースケース：下部団体がその識別子でカードを発行するが、その上部団体が保険料の請求に対して支払う場合
NNxxx	National Person Identifier where the xxx is the ISO table 3166 3-character (alphabetic) country code xxx は ISO 表 3166 に基づく（アルファベット）3 文字による国コードで、その国が定める個人特定識別子	
NP	Nurse practitioner number 診療看護師番号	認証委員会の管轄下で一意的な診療看護師の番号
NPI	National provider identifier 国定医療従事者識別子	クラス：保険 米国では、この値の割当権限者は一般的に CMS（メディケア・メディケイドセンタ）だが、HIPPA に関する取引については、全ての医療従事者および保険会社がこの番号を使用しうる。
OD	Optometrist license number 視力測定医免許番号	免許委員会の管轄下で一意的な視力測定医の番号
PA	Physician Assistant number 医師補助者番号	免許委員会の管轄下で一意的な医師補助者の番号
PCN	Penitentiary/correctional institution Number 刑務所/矯正施設番号	収監されている人に割り当てられる番号
PE	Living Subject Enterprise Number 法人生物体番号	ある（医療）法人（割当権限者より特定される）内での生物体の番号
PEN	Pension Number 年金番号	
PI	Patient internal identifier 患者内部識別子	割当権限者の内部で一意的な患者の番号
PN	Person number 個人番号	割当権限者で一意的な生物体の番号
PNT	Temporary Living Subject Number 暫定生物体番号	生物体番号の暫定版
PPN	Passport number パスポート番号	個人をある国の市民であることを保証する文書に与えられる一意的な番号 米国ではこの番号は連邦政府のみによって発番される。
PRC	Permanent Resident Card Number 永住者カード番号	
PRN	Provider number 医療従事者番号	割当権限者の管轄下で、個々の医療従事者、医療従事者のグループまたは組織について一意的な番号 ユースケース：PRN は個人（看護師）を指すこともグループ/組織（整形外科手術チーム）を指すこともできる。
PT	Patient external identifier 患者外部識別子	
QA	QA number QA 番号	

Value	Description	Comments
RI	Resource identifier リソース識別子	一般化されたリソース識別子。 ユースケース：リソースという名で一般に知られるものを入れるために必要となった識別子型。リソースには人間（例、呼吸療法士）、人間以外の生物（例、伴侶動物）、非生物（例、検査室）、組織（糖尿病教育クラス）やその他物理的、論理的実体が含まれる。
RPH	Pharmacist license number 薬剤師免許番号	免許委員会の管轄下で一意的な薬剤師の識別子。
RN	Registered Nurse Number 登録看護婦番号	免許委員会の管轄下で一意的な登録看護婦の識別子。
RR	Railroad Retirement number 鉄道退職番号	
RRI	Regional registry ID 地域登録ID	
SL	State license 州免許	
SN	Subscriber Number 加入者番号	クラス：保険 健康保険の加入者に対する識別子で、保険会社の中で重複がなく、また通常保険会社によって割り当てられる。 ユースケース：ある人が健康保険の加入者である。その人の家族はその健康保険の対象でありうるが、加入者ではない。
SR	State registry ID 州登録ID	
SS	Social Security number 社会保険番号	
TAX	Tax ID number 税ID番号	
TN	Treaty Number/ (Canada) 条約番号/ (カナダ)	カナダの先住民グループの構成員に割り当てられる番号 ユースケース：ファースト・ネイション
U	Unspecified identifier 不特定の識別子	
UPIN	Medicare/CMS (formerly HCFA)'s Universal Physician Identification numbers メディケア/CMS メディケア・メディケイドセンター (以前の HCFA 医療保険財政管理局) の全米医師識別番号	クラス：保険
VN	Visit number 受診番号	
VS	VISA ビザ	HL7 V2.5 で非推奨となり BC に置き換えられた。
WC	WIC identifier WIC 母子センター識別子	
WCN	Workers' Comp Number ワーカーズ・コンプ (保険組合) 番号	
XX	Organization identifier 組織識別子	

### 第6成分 Assigning Facility 割当施設 (HD)

患者に最初に識別子が割り当てられた、建物・場所の識別子。この成分は識別子の固有の部分ではないが、識別子の履歴に関する部分である。この成分は、特定の相互通信システムのために存在している。

注記：HD データ型が別のデータ型のフィールドのコンポーネントとして特定のセグメントで使用されている場合、「使用者定義表 0300-ネームスペース ID」（HD コンポーネントの最初のサブコンポーネントによって参照される）は、そのセグメントを担当する技術委員会によって再定義（異なる使用者定義表番号と名前を指定）されることがある。

### 第7成分 Effective Date 発効日付 (DT)

判明している場合、識別子が正当で有効となる最初の日付。

### 第8成分 Expiration Date 失効日付 (DT)

判明している場合、識別子が正当で有効となる最後の日付。

### 第9成分 Assigning Jurisdiction 割当管轄 (CWE)

第1成分の識別子を割り当てた、地勢的行政的機関。発行された識別子についての管轄の管理単位が国である場合、有効な値については「HL7 表 0399-国コード」を参照

発行された識別子についての管轄の管理単位が都道府県である場合、有効な値については「使用者定義表 0347-都道府県」を参照。

発行された識別子についての管轄の管理単位が市町村である場合、有効な値については「使用者定義表 0289—市町村」を参照。

**HL7表0399—Country Code 国コード**

Value	Description
	use 3-character (alphabetic) form of ISO 3166 ISO3166 の 3 文字 (アルファベット) を使用

**使用者定義表0347—State/Province 都道府県**

Value	Description
	No suggested values defined 定義されている推奨値はなし

**使用者定義表0289—County/Parish 市町村**

Value	Description
	No suggested values defined 定義されている推奨値はなし

この情報を OID として送信する必要がある場合、第 4 成分を参照すること。

**第 10 成分 Assigning Agency or Department 割当機関または行政組織 (CWE)**

第 1 成分の識別子を割り当てた機関あるいは行政組織。発行された識別子についての管轄の管理単位が組織、機関、行政組織である場合、提案されている値については「使用者定義表 0530—組織、機関、行政組織」を参照のこと。これには、施設固有の割り当て権限がある。

また、第 5 成分の ID 型が政府または組織単位内の複数の機関によって割り当てられる場合は、国内または国際コードも含める必要がある。

たとえば、連邦政府には、軍の識別子を割り当てる 2 つの部門、その退役軍人部門および防衛部門がある。社会保障管理局(SSA)、移民帰化局(INS)、メディケアセンター、およびメディケイドサービス(CMS)などの実体の値は識別子タイプテーブルに含まれているため、含めることは推奨しない。

このような場合、国の名前と識別子の種類を足したものが、構成要素 1 の識別子の正しい解釈になる。

同様に、州と識別子の種類の組み合わせによってコンポーネント 1 の識別子が正しく解釈されるため、自動車部門(DMV)やライセンスングボードなどのエンタリは含めることは推奨しない。

このアプローチは、正確な交付機関を特定し、人事管理メッセージに必要な機関情報を発行することを規定している 15 章「人事管理」のセグメントに記載されている詳細情報と混同しないこと。

**使用者定義表0530—Organization, Agency, Department 組織、機関、行政組織**

Value	Description
AE	American Express アメリカン・エクスプレス
DEA	Drug Enforcement Agency 麻薬取締局
DOD	Department of Defense 国防省
MC	Master Card マスターカード
VA	Veterans Affairs 在郷軍人局
VI	Visa ビザ

**DDI 日割控除情報**

**H7成分表—DDI—Daily Deductible Information 日割控除情報**

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	3	NM	O		Delay Days 据え置き日数
2	16	MO	R		Monetary Amount 金額
3	4	NM	O		Number of Days 日数

このデータ型は日割控除の詳細情報を表す。

最大長：25

注記：HL7V2.5より、6.5.7.30節のIN2-30で使用されているCMデータ型を置き換える。

**第 1 成分 Delay Days 据え置き日数 (NM)**

何日後から日割控除が始まるかの日数。

**第 2 成分 Monetary Amount 金額 (MO)**

控除の金額。

**第 3 成分 Number of Days 日数 (NM)**

控除が適用される日数。この成分に値が入っていない場合は、日数は不定であることを意味する。

## DIN 日付と施設名称

HL7成分表－DIN－Date and Institution Name 日付と施設名称

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	26	TS	R		Date 日付
2	483	CE	R	0531	Institution Name 施設名称

スタッフの一員が有効ないし無効になる日付と施設を示す。

最大長：510

注記：HL7 V2.5より、15.4.6.12節のSTF-12および15.4.6.14節のSTF-13で使用されているCMデータ型を置き換える。

### 第1成分 Date 日付 (TS)

スタッフの一員が有効ないし無効になる日付を示す。

### 第2成分 Institution Name 施設名称 (CE)

スタッフの一員が勤務するあるいはしていた施設を示す。提案されている値については「使用者定義表 0531－施設」を参照のこと。

使用者定義表0531－Institution 施設

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

## DLD 退院先と日付

HL7成分表－DLD－Discharge Location and Date 退院先と日付

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	IS	R	0113	Discharge Location 退院先
2	26	TS	O		Effective Date 発効日付

患者の退院先の医療施設と日付を示す。

最大長：47

注記：HL7 V2.5より、3.4.3.37節のPV1-37で使用されているCMデータ型を置き換える。

### 第1成分 Discharge Location 退院先 (IS)

患者の退院先を示す。提案されている値については「使用者定義表 0113－退院先」を参照のこと。

使用者定義表0113－Discharged to Location 退院先

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

### 第2成分 Effective Date 発効日付 (TS)

患者が別の医療施設へ退院した日を示す。

## DLN 運転免許証番号

H7成分表－DLN－Driver's License Number 運転免許証番号

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	ST	R		License Number 免許証番号
2	20	IS	O	0333	Issuing State, Province, Country 発行州、省、国
3	24	DT	O		Expiration Date 失効日付

運転免許証番号、発行地、有効期限を表す。このフィールドは運転免許の情報を格納する。

最大長：66

### 第1成分 License Number 免許証番号 (ST)

運転免許証番号を格納する。

### 第2成分 Issuing State, Province, Country 発行州、省、国 (IS)

運転免許証の発行権限者。州または省については公式な郵便コード、国のコードについては ISO 3166 を参照のこと。ISO 3166 は3つの異なる形式の国コードをもっている。HL7は国コードには3文字（のアルファベット）を

使うことを定めている。「使用者定義表 0333—運転免許証発行権限者」が、この成分に対する値の使用者定義表についての HL7 識別子として使用される。

**使用者定義表0333—Driver's License Issuing Authority 運転免許証発行権限者**

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

**第3成分 Expiration Date 失効日付 (DT)**

運転免許証の失効日付(DT)。

**DLT デルタ**

HL7成分表—DLT—Delta デルタ

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	33	NR	O		Normal Range 基準値範囲
2	4	NM	O		Numeric Threshold 閾値
3	1	ID	O	0523	Change Computation 変化量の計算
4	4	NM	O		Days Retained 保持日数

デルタチェック警告を制御する情報を記述する。

最大長：45

注記：HL7 V2.5より、8.5.4.9節のOM2-9で使用されているCMデータ型を置き換える。

**第1成分 Normal Range 基準値範囲 (NR)**

参照データの基準値範囲を示す。

**第2成分 Numeric Threshold 閾値 (NM)**

変化が検出される閾値。

例えば、閾値は10に設定。

**第3成分 Change Computation 変化量の計算 (ID)**

変化量の計算が、パーセント変化あるいは絶対値変化のいずれで行われるかを示す。

採り得る値は「HL7 表 0523—計算型」を参照のこと。

HL7表0523 – Computation Type 計算型

Value	Description
%	Indicates a percent change パーセント変化量で表記
a	Absolute Change 絶対値変化量

**第4成分 Days Retained 保持日数 (NM)**

デルタチェックの計算のために、値を保持する時間の長さを日数で表す。

**DR 日付／時刻の範囲**

HL7成分表—DR—Date/Time Range 日付／時刻の範囲

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	26	TS	O		Range Start Date/Time 開始日付／時刻
2	26	TS	O		Range End Date/Time 終了日付／時刻

書式：YYYY[MM[DD[HHMM[SS[.S[S[S[S]]]]]]][+/-ZZZZ] & <精度>

最大長：53

注記：DRデータ型は、他のデータ型に埋め込まれた場合、正式には表現できない。よってこのデータ型の使用はセグメントフィールドに限定される。

**第1成分 Range Start Date/Time 開始日付／時刻 (TS)**

指定された範囲内の最初の日付／時刻（タイムスタンプ）を含んでいる。

**第2成分 Range End Date/Time 終了日付／時刻 (TS)**

指定された範囲内の最後の日付／時刻を含んでいる TS（タイムスタンプ）データ型によって精度の指定ができることに注意すること。

**DT 日付**

### HL7成分表—DT—Date 日付

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
	8				Date 日付

常に書式YYYY[MM[DD]]で表記、桁数により精度が規定される。

例： |19880704|

西暦と年をオプションの精度で月と日に指定する。

最大長：8

HL7 V2.3 以降、入力される桁数は書式：YYYY [MM [DD]] を使用して精度を示す。

したがって：

- a) 「年」の精度まで示すには最初の4文字のみを用いる。
- b) 「月」の精度まで示すには最初の6文字を用いる。
- c) 「日」の精度まで示すには最初の8文字を用いる。

例：

|19880704|

|199503|

HL7 V2.3 以前では、このデータ型はYYYYMMDDの形式で指定されていた。

HL7 V2.3 以降、「月」と「日」は不要になった。

施設特有の合意により、下位互換性を維持する必要がある場合はYYYYMMDDが使用できる。

### DTM 日付／時刻

#### HL7成分表—DTM—Date/Time 日付／時刻

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
	24				Date/Time 日付／時刻

ある時刻の一点を24時間制の時計表記で示す。

最大長：25

格納されている文字の数（タイムゾーンの指定を除く）で時刻の精度を示す。

書式： YYYY[MM[DD[HH[MM[SS[.S[S[S[S]]]]]]]]][+/-ZZZZ]

従って：

「年」の精度まで示すには最初の4文字のみ用いる。

「月」の精度まで示すには最初の6文字を用いる。

「日」の精度まで示すには最初の8文字を用いる。

「時」の精度まで示すには最初の10文字を用いる。

「分」の精度まで示すには最初の12文字を用いる。

「秒」の精度まで示すには最初の14文字を用いる。

「1/10秒」の精度まで示すには最初の16文字を用いる。

「1/10000秒」の精度まで示すには最初の19文字を用いる。

例：|199904| は1999年4月を示す。

タイムゾーン(+/-ZZZZ)は、協定世界時(UTC)（以前のグリニッジ標準時(GMT)）から+/-HHMMの時差があることを示し、+0000あるいは-0000は共にUTC（時差なし）を示す。HL7符号化規則で用いられる個々のデータ表現はISO 8824-1997(E)に準拠している。

タイムゾーンが含まれない場合は、タイムゾーンは送信側の現地時間とすることに注意。またDTMやTSの値を持つフィールドでHHMMの部分を持つものについては、0000はYYYYMMDDの部分で与えられる日の前の日から続く夜の真夜中を表すことにも注意（以下の例を参照）。

例：

Time	Description
19760704010159-0500	東部標準時間（米国）の1976年7月4日の1:01:59
19760704010159-0400	東部夏時間（米国）の1976年7月4日の1:01:59
198807050000	送信側の現地時間の1988年7月4日から7月5日の間の夜の真夜中
19880705	前の例と同じ、ただし精度は日までである。出生時刻が不明の時の生年月日に用いることができる。



|19981004010159+010| | オランダ、アムステルダムでの 1998年10月4日 1:01:59 (タイムゾーンは+0100)

HL7標準規格はタイムゾーンの時差を定期的送信することを強く推奨しているが、必須とはしていない。全てのHL7システムはタイムゾーンの時差を受け付けることを必須とされているが、その実装はアプリケーション固有である。多くのアプリケーションにとって関心のある時刻は、送信側の現地時間である。

注記：タイムゾーン[+/-ZZZZ]を使う場合は、法的に定義されたタイムゾーンを用い、HHMMの形式で表すことに注意。

この規則のひとつの例外としては、たまたま違うタイムゾーンに属する診療所と近くの病院で収集された患者データを処理する診療システムの場合が挙げられる。このようなアプリケーションは共通の表示に変換することを選択するだろう。同じような問題がサマータイムの導入と終了時にも当てはまる。HL7はこのような要件に対し、情報の送信時にタイムゾーン情報を必須とすることで対応している。しかしながら、HL7は受信側でここに論じたいずれの処置をとるのかについては言及していない。

## DTN 日付型および数値

HL7成分表－DTN－Day Type and Number 日付型および数値

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	2	IS	R	0149	Day Type 日付型
2	3	NM	R		Number of Days 日数

このデータ型は日付型と承認が有効な日数を示す。

最大長：6

注記：HL7 V2.5より、6.5.8.11節のIN3-11で使用されているCMデータ型を置き換える。

### 第1成分 Day Type 日付型 (IS)

日付が否認されたか、保留されたか、承認されたかを示す。

提案されている値については、「使用者定義表 0149 -日付型」を参照のこと。

使用者定義表0149－Day Type 日付型

Value	Description	Comments
AP	Approved 承認	
DE	Denied 否認	
PE	Pending 保留	

### 第2成分 Number of Days 日数(NM)

承認が有効な日数を示す。

## ED カプセル化されたデータ

HL7成分表－ED－Encapsulated Data カプセル化されたデータ

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	227	HD	O		Source Application 送信元アプリケーション
2	9	ID	R	0191	Type of Data データ型
3	18	ID	O	0291	Data Subtype データサブ型
4	6	ID	R	0299	Encoding 符号化
5	65536	TX	R		Data データ

このデータ型は、カプセル化されたデータを送信元システムから送信先システムへ送信する。それは、送信元システムの識別、データの型、データの符号化方式およびデータ自身を含んでいる。このデータ型は、RP-参照ポインタデータ型に似ているが、このデータ型は一方のシステム上のデータを指すべき代わりに、そのシステムへ送られるべきデータを含んでいる。

最大長：65536

### 第1成分 Source Application 作成アプリケーション (HD)

データの生成元であるシステムを特定する一意的な名称。参照ポインタにおけるのと同一の形式と制限を持つ。

### 第2成分 Type of Data データ型 (ID)

参照ポインタ (RP) データ型の「データの型」成分と同一。有効な値については「HL7表0191-参照データの型」

を参照のこと。

**HL7表0191– Type of Referenced Data 参照データの型**

Value	Description
AP	Other application data, typically uninterpreted binary data (HL7 V2.3 and later) 他のアプリケーションのデータ、特に翻訳されないバイナリデータ (HL7 V.2.3 以降)
AU	Audio data (HL7 V2.3 and later) 音声データ (HL7 V.2.3 以降)
FT	Formatted text (HL7 V2.2 only) 書式付テキスト (HL7 V.2.2 のみ)
IM	Image data (HL7 V2.3 and later) 画像データ (HL7 V.2.3 以降)
Multipart	MIME multipart package MIME マルチパートパッケージ
NS	Non-scanned image (HL7 V2.2 only) スキャン以外の画像 (HL7 V.2.2 のみ)
SD	Scanned document (HL7 V2.2 only) スキャンされた文書 (HL7 V.2.2 のみ)
SI	Scanned image (HL7 V2.2 only) スキャンされた画像 (HL7 V.2.2 のみ)
TEXT	Machine readable text document (HL7 V2.3.1 and later) 機械可読のテキスト文書 (HL7 V2.5 以降)
TX	Machine readable text document (HL7 V2.2 only) 機械可読のテキスト文書 (HL7 V.2.2 のみ)

### 第3成分 Data Subtype データサブ型 (ID)

参照ポインタ (RP) データ型の「サブ型」成分と同一。有効な値については「HL7 表 0291–参照データのサブ型」を参照。

**HL7表0291–Subtype of Referenced Data 参照データのサブ型**

Value	Description
BASIC	ISDN PCM 音声データ
DICOM	Digital Imaging and Communications in Medicine
FAX	ファクシミリデータ
GIF	Graphics Interchange Format
HTML	Hypertext Markup Language
JOT	電子インクデータ (Jot 1.0 標準)
JPEG	Joint Photographic Experts Group
Octet-stream	解釈されないバイナリデータ
PICT	PICT 形式画像データ
PostScript	PostScript プログラム
RTF	Rich Text Format
SGML	Standard Generalized Markup Language (HL7 V.2.3.1 以降)
TIFF	TIFF 画像データ
x-hl7-cda-level-one	HL7 Clinical Document Architecture Level One 文書
XML	Extensible Markup Language (HL7 V.2.3.1 以降)

### 第4成分 Encoding 符号化 (ID)

続く2進数8ビットの列をASCII文字で表現するのに使用された符号化形式。有効な値については「HL7 表 0299 –符号化」を参照。

**HL7表0299–Encoding 符号化**

Value	Description
A	コーディングはない。データは表示可能なASCII文字である。
Hex	16進法のコーディング。連続するペアの16進数字は連続する単一オクテットを表す。
Base64	MIME (多目的インターネットメール拡張) 標準のRFC1521によって定義されるコーディング。4つの連続するASCII文字が、二進法データの連続する3つのオクテットを表す。Base64は、米国ASCIIの65文字サブセットを利用し、これを構成するのは大文字および小文字の英字、数字「0」から「9」まで、「+」、「/」および「=」である。

【共通編】注記：MIMEインターネット標準のRFC1521により、Base64を以下のように定義する。24ビットの入力グループ(3つのオクテット)を横切って左から右に進むので、各6ビットのグループは印刷可能な64文字の配列として使用する。指標によって参照された文字が、コード化された文字列に置かれる。これらの文字は「HL7 表 0290–MIME base64 コード化文字」に示され、普遍的に表現可能なように選択される。

24ビット未満がデータの終わりで入力グループにおいて利用可能な場合、特別の処理を実行する。十分なコーディング量はデータの終わりで常に完成される。24入力ビット未満が入力グループにおいて利用可能な場合、6ビット・グループの整数を形成するために、右側にゼロビットを付加する。

入力データのない出力フィールド文字は文字「=」に設定される。コード化された出力はすべてオクテットの整数であるので、次の場合だけが発生する。

(1) 入力の最終量は24ビットの不可欠な倍数である。

ここで、コード化された出力の最終単位は「=」のバディングなしの4文字の不可欠な倍数になる。

(2) 入力最終量はちょうど 8 ビットである。

ここで、コード化された出力最終単位は 2 つの「=」パッド文字が後続する 2 文字になる。

(3) 入力最終量はちょうど 16 ビットである。

ここで、コード化された出力最終単位は 1 つの「=」パッド文字が後続する 3 文字になる。

HL7表0290—MIME Base64 コード化文字

Value/Code	Value/Code	Value/Code	Value/Code
0 A	17 R	34 l	51 z
1 B	18 S	35 j	52 0
2 C	19 T	36 k	53 1
3 D	20 U	37 l	54 2
4 E	21 V	38 m	55 3
5 F	22 W	39 n	56 4
6 G	23 X	40 o	57 5
7 H	24 Y	41 p	58 6
8 I	25 Z	42 q	59 7
9 J	26 a	43 r	60 8
10 K	27 b	44 s	61 9
11 L	28 c	45 t	62 +
12 M	29 d	46 u	63 /
13 N	30 e	47 v	
14 O	31 f	48 w	(pad) =
15 P	32 g	49 x	
16 Q	33 h	50 y	

コード化されたオクテットが、なんらかのコーディング方法によって解釈され、それが暗黙のものかまたは表わされたデータ型で指定されるものを超えるとき（例えば目的地アプリケーション上の、16 ビットあるいは 32 ビット・二進法の語の中のそれらのオーダリング）、それは目的地アプリケーションによって決定され、この規格の範囲外である。

ソースアプリケーションから目的地アプリケーションまで送信されるべきデータを構成する表示可能な ASCII 文字。もしコード化された二進数であれば、「データの型」によってコード化される。

### 第 5 成分 Data データ (TX)

生成元アプリケーションから受信アプリケーションに送信されるデータを構成する表示可能な ASCII 文字列。文字は、「ST 型」で定義されている通り、ST データ型における正当な文字に限定され、またバイナリデータの場合は、「データの型 (ID)」による方法によって符号化されている。

## EI 実体識別子

HL7成分表—EI—Entity Identifier 実体識別子

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	199	ST	O		Entity Identifier 実体識別子
2	20	IS	O	0363	Namespace ID ネームスペース ID
3	199	ST	C		Universal ID 汎用 ID
4	6	ID	C	0301	Universal ID Type 汎用 ID 型

最大長：427

EIは機械もしくはソフトウェアで生成された識別子に適しているが、用途をそれに限定するものではない。生成された識別子は第1成分にセットする。残りの第2成分から第4成分は、割当権限者を示し、第1成分の識別子の生成に責任を負う機械/システムを識別する。

指定された一連の識別子、すなわち割当権限者は、第2成分から第4成分で定義される。割当権限者は階層的指定子(HD)データ型であるが、単独の成分ではなく、EIデータ型の別々の3成分として定義される。これはいくつかの既に存在しているデータフィールドの成分としてのEIの使われ方について下位互換性を維持するためである。それ以外は、第2成分から第4成分は

「HD 階層的指定子」で定義されているとおりである。階層的指定子(HD)は、特定のHL7実装の全体で重複が起こらない。

### 第 1 成分 Entity Identifier 実体識別子 (ST)

実体識別子は通常、第 2 成分から第 4 成分で表現される階層的指定子で定義される割当権限者が生成した一連の識別子の範囲で重複がない。

### 第 2 成分 Namespace ID ネームスペース ID (IS)

定義については「HD-Namespae ID ネームスペース ID (IS)」を参照のこと。

### 第3成分 Universal ID 汎用 ID (ST)

定義については「HD-Universal ID 汎用 ID (ST)」を参照のこと。

### 第4成分 Universal ID Type 汎用 ID 型 (ID)

有効な値については「HL7 表 0301—汎用 ID 型」を参照のこと。

## EIP 実体識別子ペア

HL7成分表—EIP—Entity Identifier Pair 実体識別子ペア

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	427	EI	O		Placer Assigned Identifier 依頼者割当識別子
2	427	EI	O		Filler Assigned Identifier 実施者割当識別子

ひとつの実体に対して、依頼側のシステムあるいは実施側のシステムで割り当てられた識別子を示す。両方の成分が値を持つときは、それらは同じ実体を参照しなければならない。

最大長：855

注記：HL7 V2.5より、4.5.1.8節のORC-8、4.5.3.29節のOBR-29、7.3.1.29節のOBR-29のCMデータ型を置き換える。

#### 第1成分 Placer Assigned Identifier 依頼者割当識別子 (EI)

依頼側のシステムである実体に割り当てられた識別子を示す。例えば、この成分は以下を伝えるために使われる。

- a) 依頼側の元オーダのオーダ番号
- b) 依頼者が割り当てた検体識別子
- c) 依頼者が割り当てた（あるいは使っている）場所識別子

#### 第2成分 Filler Assigned Identifier 実施者割当識別子 (EI)

実施側にシステムである実体に割り当てられた識別子を示す。例えば、この成分は以下を伝えるために使われる。

- a) 実施側での元オーダのオーダ番号
- b) 実施者が割り当てた検体番号
- c) 実施者が割り当てた（あるいは使っている）場所識別子

## ELD エラー場所および説明

HL7成分表—ELD—Error Location and Description エラー場所および説明

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	3	ST	O		Segment ID セグメント ID
2	2	NM	O		Segment Sequence セグメント連番
3	2	NM	O		Field Position フィールド位置
4	483	CE	O	0357	Code Identifying Error エラーを特定するコード

エラーを含むセグメントを示すと共にエラーの性質を記述する。

最大長：493

注記：HL7 V2.5より、2.16.5.1節のERR-1に用いられているCMデータ型を置き換える。HL7 V2.5では下位互換性のためにのみ保持される。ERRセグメントを参照のこと。

#### 第1成分 Segment ID セグメント ID (ST)

エラーを含んでいるセグメント。

#### 第2成分 Segment Sequence セグメント連番 (NM)

第1成分で示されたセグメントが、そのメッセージ中に複数現れる場合に、そのうちの何番目かを示す。

#### 第3成分 Field Position フィールド位置 (NM)

セグメント中のデータフィールドの前から数えた位置。HL7 符号化規則を用いないシステムの場合、データ項目番号を3番目の成分に使用することがある。

#### 第4成分 Code Identifying Error エラーを特定するコード (CE)

エラーの性質を記述するコード。有効な値については「HL7 表 0357—メッセージエラー条件表」を参照のこと。

HL7表0357—Message Error Condition Codes メッセージエラー条件表

Value	Description	Comments
0	Message accepted メッセージ受諾	成功。オプションでは、AA が成功を伝えるだけ。常時状態コードを返す必要があるシステムのために利用される

Value	Description	Comments
100	Segment sequence error セグメントシーケンスエラー	エラー:メッセージセグメントが適当な順番でないか、要求されたセグメントが失われている
101	Required field missing 要求されたフィールドの消失	エラー:要求されたセグメントが消失している
102	Data type error データ型エラー	エラー:フィールドが不正なエラーを含んでいる。例えばNMフィールドが"FOO"を含んでいる
103	Table value not found 表の値が見つからない	エラー: データ型 ID か IS のフィールドが対応する表と比較され、合致するものが無い
200	Unsupported message type 提供されていないメッセージ型	却下:そのメッセージ型は対応していない
201	Unsupported event code 提供されていないイベントコード	却下:そのイベントコードは対応していない
202	Unsupported processing id 提供されていない処理 ID	却下:その処理 ID は対応していない
203	Unsupported version id 提供されていないバージョン ID	却下:そのバージョン ID は対応していない
204	Unknown key identifier 不明なキー識別子	却下: 患者、オーダ等の ID が見つからない。付加以外ではトランザクションに用いられる。例えば存在しない患者の転送
205	Duplicate key identifier キー識別子の重複	却下:患者やオーダ等の ID が既に存在している。付加トランザクションの応答で用いられる (許可、新オーダ等)
206	Application record locked アプリケーションレコードがロックされている	トランザクションが、アプリケーション格納レベルで実行することができなかった (例えばデータベースのロック)
207	Application internal error アプリケーション内部エラー	却下: 他のコードで明示的に対象としていない、包括的な内部エラー用

## ERL エラー位置

HL7成分表—Error Location ERL—エラー位置

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	3	ST	R		Segment ID セグメント ID
2	2	NM	R		Segment Sequence セグメント連番
3	2	NM	O		Field Position フィールド位置
4	2	NM	O		Field Repetition フィールド繰り返し番号
5	2	NM	O		Component Number 成分番号
6	2	NM	O		Sub-Component Number 副成分番号

このデータ型はエラーが起こったセグメントおよびその構成要素を示す。  
最大長: 18

### 第1成分 Segment ID セグメント ID (ST)

セグメントの3文字名称を示す。

### 第2成分 Segment Sequence セグメント連番 (NM)

メッセージ中の同じセグメントの何番目かを示す。

### 第3成分 Field Position フィールド位置 (NM)

セグメントの中の何番目のフィールドかを示す。最初のフィールドには1が割り当てられる。セグメント全体を示すときには、フィールド番号は指定してはならない。

### 第4成分 Field Repetition フィールド繰り返し番号 (NM)

フィールドの繰り返し番号を示す。最初の繰り返しを1と数える。フィールド位置が指定されているが、フィールド繰り返し番号は指定されていない場合は、フィールド繰り返し番号は1と仮定される。フィールド位置が指定されていない場合はフィールド繰り返し番号を指定してはならない。

### 第5成分 Component Number 成分番号 (NM)

フィールド中の成分の番号を示す。最初の成分の番号としては1が割り当てられる。フィールド全体を示す場合には成分番号を指定してはならない。

### 第6成分 Sub-Component Number 副成分番号 (NM)

成分中の副成分の番号を示す。最初の副成分の番号としては1が割り当てられる。成分全体を示す場合には副成分番号を指定してはならない。

## FC 保険種別

HL7成分表—FC—Financial Class 保険種別

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	IS	R	0064	Financial Class Code 保険種別コード
2	26	TS	O		Effective Date 発行日付

最大長：47

### 第1成分 Financial Class Code 保険種別コード (IS)

この成分は、人に割り当てられた保険種別を含んでいる。推奨値については「使用者定義表 0064—保険種別コード」を参照のこと。

使用者定義表0064—Financial Class Code 保険種別コード

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

### 第2成分 Effective Date 発行日付 (TS)

この成分は最初の成分で示されたこの個人に割り当てられる保険種別が有効になる日時を格納する。

## FN 姓

HL7 成分表—FN—Family Name 姓

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	50	ST	R		Surname 姓
2	20	ST	O		Own Surname Prefix 自身の姓の接頭辞
3	50	ST	O		Own Surname 自身の姓
4	20	ST	O		Surname Prefix From Partner/Spouse 配偶者からの姓の接頭辞
5	50	ST	O		Surname From Partner/Spouse 配偶者からの姓

このデータ型はある個人の姓を完全に示すことを可能とする。必要なときは、このデータ型は個人の名前が、もともとの姓と配偶者の姓を含んでいる場合に、そのそれぞれを区別する。このデータ型はまた、メッセージにおいて、姓の接頭辞（例えば"van"や"de"のような）の部分と語根の部分とを区別することを可能にする。

最大長：194

### 第1成分 Surname 姓 (ST)

その人の姓のそれ以上に分割できない部分。ほとんどの西洋での使用では、これはその人のラストネームである。

### 第2成分 Own Surname Prefix 自身の姓の接頭辞 (ST)

ゲルマン言語を国際的に扱う方法。この成分は省略可能である。姓の接頭辞の例は"Ludwig van Beethoven"の"van"の部分である。<姓の接頭辞>は完全にはアルファベット順にソートされないため、これをPNおよび拡張PN (XPN または XCN) データ型の分離可能な副成分とするのは合理的である。

### 第3成分 Own Surname 自身の姓 (ST)

姓（ほとんどの西洋での使用ではラストネーム）の自身の姓から得られた部分で、その人の姓の配偶者から得られた部分からは別の部分。この成分は省略可能である。その人の姓が法的に変わり、その人の配偶者の姓になった（またはそれを取り込んだ）場合は、この成分はその人のその変化の直前の姓である。しばしばこれはその人の「旧姓」である。

### 第4成分 Surname Prefix From Partner/Spouse 配偶者からの姓の接頭辞 (ST)

ゲルマン言語を国際的に扱う方法。この成分は省略可能である。姓の接頭辞の例は"Ludwig van Beethoven"の"van"の部分である。<姓の接頭辞>は完全にはアルファベット順にソートされないため、これをPNおよび拡張PN (XPN または XCN) データ型の分離可能な副成分とするのは合理的である。

### 第5成分 Surname From Partner/Spouse 配偶者からの姓 (ST)

姓（西洋での使用ではほとんどがラストネーム）の配偶者から得られた部分で、その人の姓の自身の姓から得られた部分からは別の部分。この成分は省略可能である。もし、その人の姓のどの部分も配偶者の姓から得られていない場合は、この成分に値を入れてはいけない。反対に、その人の姓が法的に変わり、その人の配偶者の姓になった（またはそれを取り込んだ）場合は、この成分はその人の配偶者のその変化の直前の姓である。

## FT 書式付テキストデータ

HL7成分表—FT—Formatted Text Data 書式付テキストデータ

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	65536				Coded Value for HL7-Defined Tables HL7表に対するコード化された値

最大長：65536

このデータ型は、文字列データ型に対して整形指示を許容したものである。この整形指示は、本質的な整形であり、フィールドの使用状況から独立したものとしてのみ使用が許されている。FTデータ型のフィールドは（STデータ型と違い）、長さが任意（64kまで）で、エスケープ文字で囲まれた書式指定を含む。

|\.sp\(skip one vertical line)|

## GTS 汎用タイミング指定

HL7成分表—GTS—General Timing Specification 汎用タイミング指定

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
	199				General Timing Specification 汎用タイミング指定

汎用タイミング指定データ型は複雑な相互に関連するタイミングの情報を伝達するために用いられる。このようなフィールドの値はSTデータ型のフィールドの整形規則に従う。

最大長：199

## HD 階層的指定子

HL7成分表—HD—Hierarchic Designator 階層的指定子

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	IS	O	0300	Namespace ID ネームスペースID
2	199	ST	C		Universal ID 汎用ID
3	6	ID	C	0301	Universal ID Type 汎用ID型

HDデータ型の基本の定義は、定義された一組の個体識別子（たとえば依頼者または実施者番号、患者識別子、医療提供者識別子、その他）の管理あるいは、割当を担う（管理上あるいはシステムあるいはアプリケーションあるいはその他の）実体を示すということである。

この実体は、患者識別子を割り当てる登録システムといった特定の保健医療アプリケーションであることもあれば、医療専門職にたいする識別子や運転免許番号を割り当てる行政上の実体であることもあれば、このような識別子が割り当てられる施設であったりする。

最大長：227

HDデータ型は、HL7 V2.1およびHL7 V2.2におけるアプリケーション識別子の、より強力であり普遍的な代替となるべく設計されている。HDデータ型には2つの追加の成分<汎用ID>と<汎用ID型>が、従前のアプリケーションID（より普遍的にネームスペースIDと改称されている）に追加されている。

あるHD型のデータが、ある特定の患者登録システムのような、個体識別子を割り当て／生成するような実体を指す場合、そのHD型のデータは「割当権限者」を指していることになる。あるHD型のデータが、ある特定の「車両管理局事務所位置」のような、個体識別子が配布される（とはいえ、その個体識別子は別の場所で別の実体により生成されるかもしれないが）位置を指す場合、そのHD型のデータは「割当施設」を指していることになる。これら2つの異なるHDデータ型の使用法は、拡張データ型の多くに登場する。

HDデータ型で示された割当権限は、コード化要素データ型の、コード体系（およびバージョン）の部分の役割に似ている。いずれも、一組のより個別な個体識別子を指定している点である。違いはHD型のデータで示されるより個別な個体の集合は、患者や医療に関するオーダと言う「実世界」の事物の識別子を持っているが、コード化要素で示されるより個別な個体の集合は概念の識別子（コード）であるという点である。

HDデータ型はローカル識別子（＜ネームスペースID＞のみ指定された状態）としても、公的に割り当てられた識別子、UID（＜汎用ID＞と＜汎用ID 型＞の両方が指定された状態）としても、両方使えるよう設計されている。文法的には、HDデータ型は2つの識別子の組である。最初の成分で定義されるローカル識別子と、2番目、3番目の成分で示される汎用識別子である。3番目の成分（汎用ID型）が設定されているHDデータ型では、その3番目の成分で示される一連のIDの中で一意的な値を持った2番目の成分を設定しなければならない。

### 第1成分 Namespace ID ネームスペース ID (IS)

「使用者定義表 0300—ネームスペース ID」がこの成分に対する値の使用者定義表が HL7 識別子として使用される。

使用者定義表0300—Namespace ID ネームスペースID

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

### 第2成分 Universal ID 汎用 ID (ST)

HDデータ型の2番目の成分＜汎用ID＞(UID)は、3番目の成分＜汎用ID 型＞(UID 型)で示される体系に基づいて整形された文字列である。UIDはUID型内で期間に関わらず重複がないことが意図されている。これは厳格に決められている。各々のUIDは(UID型で示される)は明確に列挙された体系のひとつに属さなければならない。UID(2番目の成分)は特定の汎用識別子体系(3番目の要素で示される)の文法規則に従わなければならない。これらの文法規則はHL7内部で定義されているのではなく、特定の汎用識別子体系(3番目の要素で示される)にて定義されていることに注意すること。

### 第3成分 Universal ID Type 汎用ID型 (ID)

HDデータ型の2番目成分の解釈を決定する。3番目の成分が、「HL7表0301—汎用ID型」に存在する既知のUIDである場合、2番目の成分はその型の汎用IDである。

HL7表0301—Universal ID Type 汎用ID型

Value	Description
DNS	インターネットで指定された名前。ASCII文字あるいは整数値のいずれか
GUID	UUIDと同じ
HCD	CENヘルスケアコード体系デジグネータ(DICOMで使用される識別子はこの割当計画に従う)
HL7	将来のHL7登録計画のためにリザーブ
ISO	国際標準化機構オブジェクト識別子
L, M, N	ローカルで定義されたコード体系のためにリザーブ
Random	一般的にランダムビットのBase64コード化文字列。一意性は、ビットの長さ依存する メール・システムは、ランダムビットおよびシステム名の組み合わせから、ASCII文字列の「一意的な名」を生成することが多い 明らかに、そのような識別子はbase64文字集合によって束縛されない
UUID	DCE 汎用一意性ID
x400	X400 MHS 書式ID
x500	X500 ディレクトリ名

2番目と3番目の成分のみが指定されている、ISOについての例:

|^1.2.344.24.1.1.3^ISO|

|^1.2.34.4.1.5.1.5.1,1.13143143.131.3131.1^ISO|

2番目の成分の形式は、HL7ではなく(HL7では2番目の成分はSTデータ型であると定義している)オブジェクト識別子についてのISO標準で定義されている。従って、2番目の成分のピリオド(".")やコンマ(",")はISOの形式の一部であり、HL7のSTデータ型の定義にしたがっているのではない。

GUIDの例:

|^14344.14144321.4122344.14434.654^GUID|

インターネットの例:

|^falcon.iupui.edu^DNS|

乱数UID:

|^40C983F09183B0295822009258A3290582^Random|

ローカルな識別子を使ったISデータ型類似のHD:

|LAB1|

|RX.PIMS.SystemB.KP.CA.SCA|

最初の成分の文法はHL7で定義されているのではなく、施設でその固有の必要に応じて決まっていることに注意すること。:唯一の必要条件は最小成分の構造は、ISデータ型において値として使われていた、HL7の文字列(ST)データ型で許されている形式であることである。

2番目と3番目の成分のみ使ったローカルな識別子

|^RX.PIMS.SystemB.CA.SCA^M|



前の例をコード化する別の方法として、3番目の要素の値に"M"（上の「HL7表 0301－汎用ID型」を参照）をローカルに定義された識別子集合を示すための使用することを説明している。2番目の成分は前の例と同じであるが、この例では施設により定義された、識別子集合"M"について使用可能な値集合の要素として定義されている。

2番目3番目の成分を伴うローカル識別子

[PathLab^PL.UCF.UC^L]

「PathLab」アプリケーションは、ネームスペース成分で示されるが、同時に2番目、3番目の成分でも（すなわち、ローカル定義のUID体系"L"によって）示される。2つの識別子は等価である。

これは、ローカル定義される2番目の成分が、それ自体が構造化されている、より複雑なHDである。上のISOの例にあるように、2番目の成分の構造はHL7出定義されているのではなく、施設でその固有の必要性によって定義される：唯一の必要条件は2番目の成分の構造が、HL7文字列(ST)データ型で許容されていることである。

ローカル識別子とユニバーサルID

[LAB1^1.2.3.3.4.6.7^ISO]

UIDとしてのISOの「オブジェクト識別子」とローカル定義のシステム名をもつHDデータ型。最初の成分と2番目、3番目（あわせて解釈される）の成分が同じ実態を指す。この例はローカルの値とユニバーサルIDの値がひとつのHDデータ型のフィールドで送信されうることを示す。

## ICD 保険証明定義

HL7成分表－ICD－Insurance Certification Definition 保険証明定義

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	11	IS	O	0150	Certification Patient Type 承認患者タイプ
2	1	ID	R	0136	Certification Required 承認の必要性
3	26	TS	O		Date/Time Certification Required 承認の必要な日時

このデータ型は特定の患者タイプについて保険の承認が必要かどうか、承認を得る時の範囲を示す。

最大長：40

注記：HL7 V2.5より、6.5.8.20節のIN3-20に用いられるCMデータ型を置き換える。

### 第1成分 Certification Patient Type 承認患者タイプ (IS)

承認が必要となる患者の範疇またはタイプを示す。推奨値については「使用者定義表 0150－承認患者タイプ」を参照のこと。

使用者定義表0150－Certification Patient Type 承認患者タイプ

Value	Description
ER	Emergency 救急
IPE	Inpatient elective 予約入院患者
OPE	Outpatient elective 予約外来患者
UR	Urgent 緊急

### 第2成分 Certification Required 承認の必要性 (ID)

承認が必要とされるか否かを示す。有効な値についてはY/N識別子を使用。

Y－正確なタイミングはスケジュールを実行するスタッフによる。

N－正確なタイミングは指定された通り。

### 第3成分 Date/Time Certification Required 承認が必要な日時 (TS)

それまでに承認を得る必要がある日時。

## ID HL7表コード化値

HL7成分表－ID－String Data HL7表コード化値

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
	Variable				Coded Value for HL7-Defined Tables HL7で定義された表のコード化された値

最大長：可変コード集合の最も長いコードの長さによる。

この種のフィールドで使う値は、正当な表の値から引用される以外はSTデータ型のフィールドで使う書式規則に従う。IDデータ型のフィールドの例として性別などがある。

## IS 使用者定義表コード化値

HL7成分表-IS-String Data 使用者定義表コード化値

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
	20				Coded Value for User-Defined Tables 使用者定義表のコード化された値

最大長：30

このフィールドの値は、使用者定義表から引用し、STデータ型のフィールドの書式規則に従う。ISデータ型に関連したHL7表番号があるものとする。例えば事象理由コードである。

## JCC 職種コード／種類

HL7成分表-JCC-Job Code/Class 職種コード／種類

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	IS	O	0327	Job Code 職コード
2	20	IS	O	0328	Job Class 職クラス
3	250	TX	O		Job Description Text 職を記述するテキスト

最大長：292

職種と雇用種別を表す。

### 第1成分 Job Code 職コード (IS)

この成分はその人のジョブコードを含む。「使用者定義表 0327-職コード」がこの成分の値の使用者定義表に対するHL7識別子として用いられる。

使用者定義表0327-Job Code 職コード

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

### 第2成分 Job Class 職クラス (IS)

この成分はその人の職員の分類を含む。推奨値については「使用者定義表 0328-職分類」を参照のこと。

使用者定義表0328-Employee Classification 職分類

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

### 第3成分 Job Description Text 職を記述するテキスト (TX)

この成分は職を記述するテキストを含む。これは職の記述がコード化されていないシステムの便宜を図るものである。

## LA1 住所を含む位置 形式1

HL7成分表-LA1-Location with Address Variation 1 住所を含む位置 形式1

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	IS	O	0302	Point of Care ケアの場所
2	20	IS	O	0303	Room 病室
3	20	IS	O	0304	Bed 病床
4	227	HD	O		Facility 施設
5	20	IS	O	0306	Location Status 位置の状態
6	20	IS	O	0305	Patient Location Type 患者の位置タイプ
7	20	IS	O	0307	Building 建物
8	20	IS	O	0308	Floor 階
9	415	AD	O		Address 住所

位置とその住所を示す。

最大長：790

注記：HL7 V2.5より、4.14.1.8節のRXO-8 および4.14.4.8節のRXE-8に用いられるCMデータ型を置き換える。HL7 V2.5より下位互換性のためだけに保持される。

### 第1成分 Point of Care ケアの種類 (IS)

この成分は患者のケアを行う場所のコードを示す。これには患者の位置タイプ（例えば、病棟あるいは診療科あるいは診療所）による条件がつく。推奨値については、「使用者定義表 0302—ケアの種類」を参照のこと。

### 第2成分 Room 病室 (IS)

この成分は患者の病室のコードを示す。ケアの場所の次に、人の位置の指定として最も一般的である。推奨値については「使用者定義表 0303—病室」を参照のこと。

### 第3成分 Bed 病床 (IS)

この成分は患者の病床のコードを示す。病室の次に最も一般的な人の位置の指定である。推奨値については「使用者定義表 0304—病床」を参照のこと。

### 第4成分 Facility 施設 (HD)

この成分は施設での解釈によるが、一般的には医療機関、病院あるいは医療法人の一番高いレベルでの物理的な位置の指定である。最も一般的な人の位置の指定である。

### 第5成分 Location Status 位置の状態 (IS)

この成分は位置の状態や空き状況のコードを示す。例えば、この成分は病床の状況を表すことがある。推奨値については「使用者定義表 0306—位置の状態」を参照のこと。

### 第6成分 Patient Location Type 患者位置タイプ (IS)

患者位置タイプは、施設、建物、階、ケアの種類、病室あるいは病床によって示される人の位置の範疇である。必須のフィールドではないが、使用される場合は唯一値を持つフィールドとなる場合がある。この成分は通常、病棟、診療科、診療所、SNF（熟練看護施設）や診察室といった値を含む。推奨値については「使用者定義表 0305—患者位置タイプ」を参照のこと。

### 第7成分 Building 建物 (IS)

この成分は、その人が位置する建物のコードを示す。施設の次に最も一般的な人の位置の指定である。推奨値については「使用者定義表 0307—建物」を参照のこと。

### 第8成分 Floor 階 (IS)

この成分は、その人が位置する階を示す。建物の次に最も一般的な人の位置の指定である。推奨値については「使用者定義表 0308—階」を参照のこと。

### 第9成分 Address 住所 (AD)

この成分はこの位置の住所を示す。

## LA2 住所を含む位置 形式2

HL7成分表—LA2—Location with Address Variation2 住所を含む位置 形式2

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	IS	O	0302	Point of Care ケアの種類
2	20	IS	O	0303	Room 病室
3	20	IS	O	0304	Bed 病床
4	227	HD	O		Facility 施設
5	20	IS	O	0306	Location Status 位置の状態
6	20	IS	O	0305	Patient Location Type 患者の位置タイプ
7	20	IS	O	0307	Building 建物
8	20	IS	O	0308	Floor 階
9	120	ST	O		Street Address 通りの住所
10	120	ST	O		Other Designation その他の表示
11	50	ST	O		City 市
12	50	ST	O		State or Province 州または省
13	12	ST	O		Zip or Postal Code ZIP コードまたは郵便番号
14	3	ID	O	0399	Country 国
15	3	ID	O	0190	Address Type 住所タイプ
16	50	ST	O		Other Geographic Designation その他の地理表示

位置のその住所を示す。

最大長：790

注記：HL7 V2.5より、4.14.5.13節のRXD-13 および4.14.6.11節のRXG-11および4.14.7.11節のRXA-11に用いられるCMデータ型を置き換える。HL7 V2.5より下位互換性のためだけに保持される。

### 第1成分 Point of Care ケアの種類 (IS)

この成分は患者のケアを行う場所のコードを示す。これには患者の位置タイプ（例えば、病棟あるいは診療科あるいは診療所）による条件がつく。推奨値については、「使用者定義表 0302—ケアの種類」を参照のこと。

いは診療所) による条件がつく。推奨値については、「使用者定義表 0302-ケアの場所」を参照のこと。

## 第2成分 Room 病室 (IS)

この成分は患者の病室のコードを示す。ケアの場所の次に、人の位置の指定として最も一般的である。推奨値については「使用者定義表 0303-病室」を参照のこと。

## 第3成分 Bed 病床 (IS)

この成分は患者の病床のコードを示す。病室の次に最も一般的な人の位置の指定である。推奨値については「使用者定義表 0304-病床」を参照のこと。

## 第4成分 Facility 施設 (HD)

この成分は施設での解釈によるが、一般的には医療機関、病院あるいは医療法人の一番高いレベルでの物理的な位置の指定である。最も一般的な人の位置の指定である。

## 第5成分 Location Status 位置の状態 (IS)

この成分は位置の状態や空き状況のコードを示す。例えば、この成分は病床の状況を表すことがある。推奨値については「使用者定義表 0306-位置の状態」を参照のこと。

## 第6成分 Patient Location Type 患者の位置タイプ (IS)

患者位置タイプは、施設、建物、階、ケアの場所、病室あるいは病床によって示される人の位置の範疇である。必須のフィールドではないが、使用される場合は唯一値を持つフィールドとなる場合がある。この成分は通常、病棟、診療科、診療所、SNF (熟練看護施設) や診察室といった値を含む。推奨値については「使用者定義表 0305-患者位置タイプ」を参照のこと。

## 第7成分 Building 建物 (IS)

この成分は、その人が位置する建物のコードを示す。施設の次に最も一般的な人の位置の指定である。推奨値については「使用者定義表 0307-建物」を参照のこと。

## 第8成分 Floor 階 (IS)

この成分は、その人が位置する階を示す。建物の次に最も一般的な人の位置の指定である。提案されている推奨値については「使用者定義表 0308-階」を参照のこと。

## 第9成分 Street Address 通りの住所 (ST)

この成分は個人や施設の通りまたは集配単位の住所を表す。施設を示すときには、この最初の成分は施設名を表すのに用いる。個人に関して使用される場合は、この成分は住所の最初の1行を表す。

## 第10成分 Other Designation その他の表示 (ST)

この成分は住所の2行目を表す。一般に住所の2行目は住所を修飾する。例: 555号室あるいは4階。施設を示すときには、この成分は通りの住所を表す。

## 第11成分 City 市 (ST)

この成分は郵便用の住所を定める国の法制に基づいて、この住所の所在を管理する市、地区、場所を示す。市はその州の公式な郵便サービスコードによって表現されなければならない。

## 第12成分 State or Province 州または省 (ST)

この成分はこの住所が所在する州または省を示す。州または省には、その国の公式な郵便番号が割り振られる。

## 第13成分 Zip or Postal Code ZIPコードまたは郵便番号 (ST)

この成分はこの住所が所在するZIPコードまたは郵便番号を表す。ZIPコードまたは郵便番号はその国の公式なコードとして表現される。米国ではZIPコードは9999[9999]の形をとり、カナダの郵便番号はA9A9A9の形をとり、オーストラリアの郵便番号は9999の形をとる。

## 第14成分 Country 国 (ID)

この成分はこの住所が所在する国を表す。HL7は国コードとしてISO 3166形式の3文字(のアルファベット)を使用するよう定めている。有効な値については「HL7表 0399-国コード」を参照のこと。

## 第15成分 Address Type 住所タイプ (ID)

この成分は住所の種類またはタイプを表す。有効な値については「HL7表 0190-住所タイプ」を参照のこと。

## 第16成分 Other Geographic Designation その他の地理表示 (ST)

この成分は必要となり得る、その他のあらゆる地理表示を表す。国、生物学的地域、SMSA等を含む。

## MA 多重送信配列

HL7成分表-MA-Multiplexed Array 多重送信配列

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	16	NM	O		Sample 1 From Channel 1 チャンネル1のサンプル値1
2	16	NM	O		Sample 1 From Channel 2 チャンネル2のサンプル値2
3	16	NM	O		Sample 1 From Channel N チャンネルNのサンプル値1

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
4	16	NM	O		Sample 2 From Channel 1 チャンネル1のサンプル値2
5	16	NM	O		Sample 2 From Channel N チャンネルNのサンプル値2
6	16	NM	O		Sample N From Channel N チャンネルNのサンプル値N

このデータ型はチャンネル多重の波形データ（すなわちアナログ・デジタル変換機やその他のデジタルデータ発生源からのデジタル化されたデータ）を表現するのに用いる。各値はNMデータ型でチャンネルからのある時間のサンプル値を表す。このセグメントは複数チャンネルからの情報を含むことができる。波形データはチャンネル多重された形式（すなわち、最初の時間のサンプル値を全てのチャンネル分送信された後、次の時間のサンプル値が送信され、そして順に必要なとされる数だけの時間のサンプル値が送信されるまで繰り返される。）各時間のサンプル値は反復デリミタ(~)によって区切られ、各サンプル値のチャンネルの区切りは成分デリミタ(^)で区切られる。サンプル値の間の時間（サンプリング間隔）は、デジタル化周波数の逆数であり、CDデータ型を用いて表現される。

最大長：65536

例1： 3チャンネル（同値）、6つの時間のサンプル値

|0^0^0~1^1^1~2^2^2~3^3^3~4^4^4~5^5^5|

例2： 1チャンネル、11の時間のサンプル値

|0~1~2~3~4~5~6~7~8~9~10|

## MO 金額

HL7成分表—MO—Money 金額

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	16	NM	O		Quantity 金額
2	3	ID	O		Denomination 通貨

このデータ型は金額と、表示に用いられている通貨を示す。

最大長：20

### 第1成分：Quantity 金額 (NM)

最初の成分は金額である。

### 第2成分：Denomination 通貨 (ID)

2番目の成分は金額が表示されている通貨である。通貨成分の値はISO 4217で指定されているものである。通貨が指定されなかった場合、MSH-17の国コードがデフォルトを決めるために用いられる。例えば

|99.50^USD|

において、USDはISO 4217コードで米国ドルを表す。

## MOC 金額および請求コード

HL7成分表—MOC—Money and Code 金額および請求コード

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	MO	O		Monetary Amount 金額
2	483	CE	O		Charge Code 請求コード

注記：HL7 V2.5より、4.5.3.23節のOBR-23、および7.4.1.23節のOBR-23に用いられるCMデータ型を置き換える。

金額に関する情報と、行われたサービスに付随する請求コードを送信する。

最大長：504

### 第1成分 Monetary Amount 金額 (MO)

請求コードと結び付けられた金額と通貨。

### 第2成分 Charge Code 請求コード (CE)

行われたサービスの依頼した実体に対する請求を特定するコード。

## MOP 金額または百分率

### HL7成分表—MOP—Money or Percentage 金額または百分率

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	2	ID	R	0148	Money or Percentage Indicator 金額と百分率の区別
2	16	NM	R		Money or Percentage Quantity 金額または百分率の数字
3	3	ID	O		Currency Denomination 通貨表示

このデータ型は通貨あるいは百分率のどちらかである量を示す。これは通過した扱えないMOデータ型の変形である。

最大長：23

注記：HL7 V2.5 より、6.5.8.5 節の IN3-5 に用いられる CM データ型を置き換える。このデータ型はそのフィールドのみに制限される。

例：USD は IS4217 の米国ドルを意味するコードである。

[AT^99.50^USD]

#### 第1成分 Money or Percentage Indicator 金額と百分率の区別(ID)

量が通貨であるか百分率であることを示す。

有効な値については「HL7 表 0148—金額と百分率の区別」を参照のこと。

#### HL7成分表0148 — Money or Percentage Indicator 金額と百分率の区別

Value	Description	Comments
AT	Currency amount 通貨	
PC	Percentage 百分率	

#### 第2成分 Money or Percentage Quantity 金額または百分率の数字 (NM)

通貨または百分率の数字を示す。

#### 第3成分 Currency Denomination 通貨表示 (ID)

量が通貨であるときに、その量が表示されている通貨表示。通貨表示成分の値は ISO 4217 で定められている。もし通貨が指定されない場合は、メッセージの文脈または「MSH-17 国コード」がデフォルトを決定する。

## MSG メッセージ型

### HL7成分表—MSG—Message Type メッセージ型

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	3	ID	R	0076	Message Code メッセージコード
2	3	ID	R	0003	Trigger Event トリガーイベント
3	7	ID	R	0354	Message Structure メッセージ構造

このフィールドは、メッセージのメッセージ型、トリガーイベントおよびメッセージ構造IDを含む。

最大長：15

注記：HL7 V2.5 より、2.16.9.9節のMSH-9に用いられるCMデータ型を置き換える。

#### 第1成分 Message Code メッセージコード (ID)

メッセージの種類を表すコードを示す。推奨値については、「HL7 表 0076—メッセージ型」を参照のこと。

この表には ACK、ADT、ORM、ORU といった値が含まれる。

詳細についての議論は、HL7 V2.5 2.5.1 節のメッセージを参照のこと。

#### HL7成分表0076—Message Type メッセージ型

Message	Description
ACK	General acknowledgment message 一般的な確認応答メッセージ
ADR	ADT response 患者管理応答
ADT	ADT message 患者管理メッセージ
BAR	Add/change billing account 会計口座番号の追加/変更
CRM	Clinical study registration message 治験登録メッセージ
BPS	Blood product dispense status message 血液製剤調剤ステータスメッセージ
BRP	Blood product dispense status acknowledgement message 血液製剤調剤ステータス応答メッセージ
BRT	Blood product transfusion/disposition acknowledgement message 血液製剤輸血/配剤応答メッセージ
BTS	Blood product transfusion/disposition message 血液製剤輸血/配剤メッセージ
CSU	Unsolicited study data message 非要求の治験データメッセージ
DFT	Detail financial transactions 詳細な会計取引
DOC	Document response ドキュメント応答

Message	Description
DSR	Display response 表示応答
EAC	Automated equipment command message 自動化装置コマンドメッセージ
EAN	Automated equipment notification message 自動化装置通知メッセージ
EAR	Automated equipment response message 自動化装置応答メッセージ
EDR	Enhanced display response 拡張表示応答
EQQ	Embedded query language query 埋め込み照会言語による照会
ERP	Event replay response イベント再生応答
ESR	Automated equipment status update acknowledgment message 自動化装置ステータス更新応答メッセージ
ESU	Automated equipment status update message 自動化装置ステータス更新メッセージ
INR	Automated equipment inventory request message 自動化装置在庫要求メッセージ
INU	Automated equipment inventory update message 自動化装置在庫更新メッセージ
LSR	Automated equipment log/service request message 自動化装置ログ/サービス要求メッセージ
LSU	Automated equipment log/service update message 自動化装置ログ/サービス更新メッセージ
MCF	Delayed Acknowledgment (Retained for backward compatibility only) 遅延確認応答 (下位互換のために保持)
MDM	Medical document management 診療録管理
MFD	Master files delayed application acknowledgment マスタファイル遅延アプリケーション応答
MFK	Master files application acknowledgment マスタファイルアプリケーション応答
MFN	Master files notification マスタファイル通知
MFQ	Master files query マスタファイル照会
MFR	Master files response マスタファイル応答
NMD	Application management data message アプリケーション管理データメッセージ
NMQ	Application management query message アプリケーション管理照会メッセージ
NMR	Application management response message アプリケーション管理応答メッセージ
OMB	Blood product order message 血液製剤オーダーメッセージ
OMD	Dietary order 食事オーダー
OMG	General clinical order message 一般的な診療オーダーメッセージ
OMI	Imaging order 画像オーダー
OML	Laboratory order message 1 検体 1 容器に対する複数依頼の臨床検査オーダーメッセージ
OMN	Non-stock requisition order message 非在庫品要求オーダーメッセージ
OMP	Pharmacy/treatment order message 薬剤/治療オーダーメッセージ
OMS	Stock requisition order message 在庫品要求オーダーメッセージ
ORB	Blood product order acknowledgement message 血液製剤オーダー応答メッセージ
ORD	Dietary order acknowledgment message 食事オーダー応答メッセージ
ORF	Query for results of observation 検査結果照会
ORG	General clinical order acknowledgment message 一般臨床オーダー確認応答メッセージ
ORI	Imaging order acknowledgement message OMI に対する画像オーダー応答メッセージ
ORL	Laboratory acknowledgment message (unsolicited) 1 検体 1 容器 OML に対する臨床検査応答メッセージ
ORM	General order message 一般オーダーメッセージ
ORN	Non-stock requisition - General order acknowledgment message 非在庫品要求確認応答メッセージ
ORP	Pharmacy/treatment order acknowledgment message 薬剤/治療オーダー応答メッセージ
ORR	General order response message response to any ORM ORM に対する一般オーダー応答メッセージ
ORS	Stock requisition - Order acknowledgment message 在庫品要求オーダー確認応答メッセージ
ORU	Unsolicited transmission of an observation message 検査の非要求転送
OSQ	Query response for order status オーダー状況に対する照会要求
OSR	Query response for order status オーダー状況に対する照会応答
OUL	Unsolicited laboratory observation message 非要求臨床検査メッセージ
PEX	Product experience message 市販後調査メッセージ
PGL	Patient goal message 患者ゴールメッセージ
PIN	Patient insurance information 患者保険情報
PMU	Add personnel record 個人記録追加
PPG	Patient pathway message (goal-oriented) 患者クリニカルパスメッセージ (ゴール指向)
PPP	Patient pathway message (problem-oriented) 患者クリニカルパスメッセージ (問題指向)
PPR	Patient problem message 患者プロブレムメッセージ

Message	Description
PPT	Patient pathway goal-oriented response 患者クリニカルパス (ゴール指向) 応答
PPV	Patient goal response 患者ゴール応答
PRR	Patient problem response 患者プロブレム応答
PTR	Patient pathway problem-oriented response 患者クリニカルパス (問題志向) 応答
QBP	Query by parameter パラメータによる照会
QCK	Deferred query 遅延照会
QCN	Cancel query 照会取消し
QRY	Query, original mode オリジナルモード照会
QSB	Create subscription 加入申し込みの作成
QSX	Cancel subscription/acknowledge message 申し込みの取り消し/確認メッセージ
QVR	Query for previous events 以前の出来事の照会
RAR	Pharmacy/treatment administration information 薬剤/治療投薬情報
RAS	Pharmacy/treatment administration message 薬剤/治療投薬メッセージ
RCI	Return clinical information 診療情報の返信
RCL	Return clinical list 診療リストの返信
RDE	Pharmacy/treatment encoded order message 薬剤/治療コード化したオーダーメッセージ
RDR	Pharmacy/treatment dispense information 薬剤/治療調剤情報
RDS	Pharmacy/treatment dispense message 薬剤/治療調剤メッセージ
RDY	Display based response ディスプレイ応答
REF	Patient referral 患者紹介
RER	Pharmacy/treatment encoded order information 薬剤/治療コード化したオーダー情報
RGR	Pharmacy/treatment dose information 薬剤/治療服用量情報
RGV	Pharmacy/treatment give message 薬剤/治療与薬メッセージ
ROR	Pharmacy/treatment order response 薬剤/治療オーダー応答
RPA	Return patient authorization 患者認可の返信
RPI	Return patient information 患者認可情報の返信
RPL	Return patient display list 患者選択表示リストの返信
RPR	Return patient list 患者選択リストの返信
RQA	Request patient authorization 患者認可の要求
RQC	Request clinical information 臨床情報の要求
RQI	Request patient information 患者情報の要求
RQP	Request patient demographics 患者基本情報の要求
RQQ	Event replay query イベント再生照会
RRA	Pharmacy/treatment administration acknowledgment message 薬剤/治療投薬応答メッセージ
RRD	Pharmacy/treatment dispense acknowledgment message 薬剤/治療調剤応答メッセージ
RRE	Pharmacy/treatment encoded order acknowledgment message 薬剤/治療コード化したオーダー応答メッセージ
RRG	Pharmacy/treatment give acknowledgment message 薬剤/治療与薬応答メッセージ
RRI	Return referral information 紹介情報の返信
RSP	Segment pattern response セグメントパターン応答
RTB	Tabular response 表形式の応答
SIU	Schedule information unsolicited スケジュール情報 (非要求)
SPQ	Stored procedure request 保存手順要求
SQM	Schedule query message スケジュール照会メッセージ
SQR	Schedule query response スケジュール照会応答
SRM	Schedule request message スケジュール要求メッセージ
SRR	Scheduled request response 予定された要求への応答
SSR	Specimen status request message 検体ステータス要求メッセージ
SSU	Specimen status update message 検体ステータス更新メッセージ
SUR	Summary product experience report 市販後調査要約報告書
TBR	Tabular data response 表形式データの応答
TCR	Automated equipment test code settings request message 自動化装置検査項目コード設定要求メッセージ
TCU	Automated equipment test code settings update message 自動化装置検査項目コード設定更新メッセージ
UDM	Unsolicited display update message 非要求ディスプレイ更新メッセージ
VQQ	Virtual table query 仮想表照会
VXQ	Query for vaccination record ワクチン接種記録の照会
VXR	Vaccination record response ワクチン接種記録の応答
VXU	Unsolicited vaccination record update 非要求のワクチン接種記録の更新
VXX	Response for vaccination query with multiple PID matches 多数のPID照合を伴うワクチン接種照会への応答



## 第2成分 Trigger Event トリガーイベント (ID)

トリガーイベントコードを指定。提案される値については、「HL7 表 0003—イベント型」を参照のこと。

この表はA01、O01、R01 といった値を含む。

詳細についての議論は、HL7 V2.5 2.3.1 節のメッセージを参照のこと。

HL7成分表0003—Event Type イベント型

Message	Description
A01	ADT/ACK - Admit/visit notification 入院/来院の通知
A02	ADT/ACK - Transfer a patient 転科転棟・外部からの移送
A03	ADT/ACK - Discharge/end visit 退院/来院終了
A04	ADT/ACK - Register a patient 患者の登録
A05	ADT/ACK - Pre-admit a patient (入院前観察) 患者の事前登録
A06	ADT/ACK - Change an outpatient to an inpatient 外来患者が入院患者に変更
A07	ADT/ACK - Change an inpatient to an outpatient 入院患者を外来患者に変更
A08	ADT/ACK - Update patient information 患者情報の更新
A09	ADT/ACK - Patient departing – tracking 患者の移動開始—移動中
A10	ADT/ACK - Patient arriving – tracking 患者の到着—移動終了
A11	ADT/ACK - Cancel admit/visit notification 入院/来院通知(A01)の取消
A12	ADT/ACK - Cancel transfer 転科転棟・外部からの移送(A02)の取消
A13	ADT/ACK - Cancel discharge/end visit 退院/来院終了(A03)の取消
A14	ADT/ACK - Pending admit 入院待ち
A15	ADT/ACK - Pending transfer 転科転棟・外部からの移送待ち
A16	ADT/ACK - Pending discharge 退院待ち
A17	ADT/ACK - Swap patients ベッド交換—患者の入替り
A18	ADT/ACK - Merge patient information (for backward compatibility only) 患者情報のマージ (下位互換用)
A19	QRY/ADR - Patient query 患者情報の照会
A20	ADT/ACK - Bed status update ベッド状態の更新
A21	ADT/ACK - Patient goes on a “leave of absence” 患者の外泊開始
A22	ADT/ACK - Patient returns from a “leave of absence” 患者の帰院
A23	ADT/ACK - Delete a patient record 患者記録の削除
A24	ADT/ACK - Link patient information 患者情報の関連付け
A25	ADT/ACK - Cancel pending discharge 退院待ち(A16)の取消
A26	ADT/ACK - Cancel pending transfer 転科転棟・外部からの移送待ち(A15)の取消
A27	ADT/ACK - Cancel pending admit 入院待ち(A14)の取消
A28	ADT/ACK - Add person information 個人情報の追加
A29	ADT/ACK - Delete person information 個人情報の削除
A30	ADT/ACK - Merge person information (for backward compatibility only) 個人情報のマージ (下位互換用)
A31	ADT/ACK - Update person information 個人情報の更新
A32	ADT/ACK - Cancel patient arriving – tracking 患者到着(A10)の取消
A33	ADT/ACK - Cancel patient departing – tracking 患者の移動開始(A09)の取消
A34	ADT/ACK - Merge patient information - patient ID only (for backward compatibility only) 患者情報 (患者 ID のみ) のマージ (下位互換用)
A35	ADT/ACK - Merge patient information - account number only (for backward compatibility only) 患者情報 (会計口座番号のみ) のマージ (下位互換用)
A36	ADT/ACK - Merge patient information - patient ID and account number (for backward compatibility only) 患者情報 (患者 ID と会計口座番号) のマージ (下位互換用)
A37	ADT/ACK - Unlink patient information 患者情報の関連付け(A24)の解除
A38	ADT/ACK - Cancel pre-admit 患者の事前登録(A05)の取消
A39	ADT/ACK - Merge person - patient ID (for backward compatibility only) 個人のマージ-患者 ID (下位互換用)
A40	ADT/ACK - Merge patient - patient identifier list 患者情報のマージ—患者 ID リスト
A41	ADT/ACK - Merge account - patient account number 会計情報のマージ—患者会計口座番号
A42	ADT/ACK - Merge visit - visit number 来院情報のマージ—来院番号
A43	ADT/ACK - Move patient information - patient identifier list 患者情報の移動—患者 ID リスト
A44	ADT/ACK - Move account information - patient account number 会計情報の移動—患者会計口座番号
A45	ADT/ACK - Move visit information - visit number 来院情報の移動—来院番号
A46	ADT/ACK - Change patient ID (for backward compatibility only) 患者 ID の変更 (下位互換用)
A47	ADT/ACK - Change patient identifier list 患者 ID リストの変更

Message	Description
A48	ADT/ACK - Change alternate patient ID (for backward compatibility only) 代替患者 ID の変更 (下位互換用)
A49	ADT/ACK - Change patient account number 患者会計口座番号の変更
A50	ADT/ACK - Change visit number 来院番号の変更
A51	ADT/ACK - Change alternate visit ID 代替来院番号の変更
A52	ADT/ACK - Cancel leave of absence for a patient 患者の外出外泊開始(A21)の取消
A53	ADT/ACK - Cancel patient returns from a leave of absence 患者の帰院(A22)の取消
A54	ADT/ACK - Change attending doctor 担当医の変更
A55	ADT/ACK - Cancel change attending doctor 担当医の変更(A54)の取消
A60	ADT/ACK - Update allergy information 副作用情報の更新
A61	ADT/ACK - Change consulting doctor 診察医の変更
A62	ADT/ACK - Cancel change consulting doctor 診察医の変更(A60)の取消
B01	PMU/ACK - Add personnel record 個人情報の追加
B02	PMU/ACK - Update personnel record 個人情報の更新
B03	PMU/ACK - Delete personnel record 個人情報の削除
B04	PMU/ACK - Active practicing person 診療活動中の個人
B05	PMU/ACK - Deactivate practicing person 診療活動中でない個人
B06	PMU/ACK - Terminate practicing person 診療中の個人の終了
B07	PMU/ACK - Grant Certificate/Permission 証明許可の付与
B08	PMU/ACK - Revoke Certificate/Permission 証明許可の削除
C01	CRM - Register a patient on a clinical trial 患者を治験に登録する
C02	CRM - Cancel a patient registration on clinical trial (for clerical mistakes only) 治験の患者登録を取り消す (意図した登録が、事務上の間違いで取り消されてはならない)
C03	CRM - Correct/update registration information 登録情報を是正/更新する
C04	CRM - Patient has gone off a clinical trial 患者は治験から外れた
C05	CRM - Patient enters phase of clinical trial 患者は、治験の段階に入った
C06	CRM - Cancel patient entering a phase (clerical mistake) 患者が段階に入るのを取り消す (事務上の間違い)
C07	CRM - Correct/update phase information 段階情報を是正/更新する
C08	CRM - Patient has gone off phase of clinical trial 患者は治験の段階から外れた
C09	CSU - Automated time intervals for reporting, like monthly 報告のための自動化された時間間隔, 例えば毎月
C10	CSU - Patient completes the clinical trial 患者が治験を完了する
C11	CSU - Patient completes a phase of the clinical trial 患者が治験の段階を完了する
C12	CSU - Update/correction of patient order/result information 患者オーダー/結果情報の更新/是正
CNQ	Cancel Query 照会の取り消し
I01	RQI/RPI - Request for insurance information 保険情報の要求
I02	RQI/RPL - Request/receipt of patient selection display list 患者選択表示リストの要求/受取
I03	RQI/RPR - Request/receipt of patient selection list 患者選択リストの要求/受取
I04	RQD/RPI - Request for patient demographic data 患者属性データの要求
I05	RQC/RCI - Request for patient clinical information 患者診療情報の要求
I06	RQC/RCL - Request/receipt of clinical data listing 診療データリスト作成の要求/受取
I07	PIN/ACK - Unsolicited insurance information 非要求の保険情報
I08	RQA/RPA - Request for treatment authorization information 処置権限情報の要求
I09	RQA/RPA - Request for modification to an authorization 権限の修正要求
I10	RQA/RPA - Request for resubmission of an authorization 権限の再発行要求
I11	RQA/RPA - Request for cancellation of an authorization 権限の取り消し要求
I12	REF/RR1 - Patient referral 患者紹介
I13	REF/RR1 - Modify patient referral 患者紹介の修正
I14	REF/RR1 - Cancel patient referral 患者紹介の取り消し
I15	REF/RR1 - Request patient referral status 患者紹介状態の要求
J01	QCN/ACK - Cancel query/acknowledge message 照会取り消し/確認
J02	QSN/ACK - Cancel subscription/acknowledge message 申し込み取り消し/確認
K11	RSP - Segment pattern response in response to QBP^Q11 セグメントパターン応答
K13	RTB - Tabular response in response to QBP^Q13 QBP ^ Q11 への表形式応答
K15	RDY - Display response in response to QBP^Q15 QBP ^ Q15 への表示応答
K21	RSP - Get person demographics response 個人属性応答の受取
K22	RSP - Find candidates response 候補応答の探索
K23	RSP - Get corresponding identifiers response 該当する識別子応答の受取
K24	RSP - Allocate identifiers response 識別子応答の割り当て
K25	RSP - Personnel Information by Segment Response セグメント応答による個人情報

Message	Description
M01	MFN/MFK - Master file not otherwise specified (for backward compatibility only) どこでも指定されていないマスタファイル (下位互換用)
M02	MFN/MFK - Master file - staff practitioner マスタファイル - 職員医師
M03	MFN/MFK - Master file - test/observation (for backward compatibility only) マスタファイル - 検査/観察 (下位互換用)
M04	MFN/MFK - Master files charge description マスタファイル - 請求明細
M05	MFN/MFK - Patient location master file 患者位置のマスタファイル
M06	MFN/MFK - Clinical study with phases and schedules master file フェーズとスケジュールを備えた臨床研究マスタファイル
M07	MFN/MFK - Clinical study without phases but with schedules master file フェーズ無しだがスケジュールを備えた臨床研究マスタファイル
M08	MFN/MFK - Test/observation (numeric) master file 検査/観察 (数値) マスタファイル
M09	MFN/MFK - Test/observation (categorical) master file 検査/観察 (分類) マスタファイル
M10	MFN/MFK - Test /observation batteries master file 検査/観察に関するセット検査マスタファイル
M11	MFN/MFK - Test/calculated observations master file 検査/計算された観測値のマスタファイル
M12	MFN/MFK - Master file notification message 通知メッセージに関するマスタファイル
M13	MFN/MFK - Master file notification - general 通知に関するマスタファイル—一般的なもの
M14	MFN/MFK - Master file notification - site defined 通知に関するマスタファイル—施設により定義
M15	MFN/MFK - Inventory item master file notification 財産目録アイテム・マスタ・ファイル通知
N01	NMQ/NMR - Application management query message アプリケーション管理照会メッセージ
N02	NMD/ACK - Application management data message (unsolicited) アプリケーション管理データメッセージ (要求無し)
O01	ORM - Order message (also RDE, RDS, RGV, RAS) 一般オーダー (さらに RDE, RDS, RGV, RAS)
O02	ORR - Order response (also RRE, RRD, RRG, RRA) 一般オーダー応答 (さらに RRE, RRD, RRG, RRA)
O03	OMD - Diet order 食事オーダー
O04	ORD - Diet order acknowledgment 食事オーダー応答
O05	OMS - Stock requisition order 在庫品要求オーダー
O06	ORS - Stock requisition acknowledgment 在庫品要求確認応答
O07	OMN - Non-stock requisition order 非在庫品要求オーダー
O08	ORN - Non-stock requisition acknowledgment 非在庫品要求確認応答
O09	OMP - Pharmacy/treatment order 薬剤/治療オーダー
O10	ORP - Pharmacy/treatment order acknowledgment 薬剤/治療オーダー応答
O11	RDE - Pharmacy/treatment encoded order 薬剤/治療コード化したオーダー
O12	RRE - Pharmacy/treatment encoded order acknowledgment 薬剤/治療コード化したオーダー応答
O13	RDS - Pharmacy/treatment dispense 薬剤/治療調剤
O14	RRD - Pharmacy/treatment dispense acknowledgment 薬剤/治療調剤応答
O15	RGV - Pharmacy/treatment give 薬剤/治療与薬
O16	RRG - Pharmacy/treatment give acknowledgment 薬剤/治療与薬応答
O17	RAS - Pharmacy/treatment administration 薬剤/治療投薬
O18	RRA - Pharmacy/treatment administration acknowledgment 薬剤/治療投薬応答
O19	OMG - General clinical order 一般臨床オーダー
O20	ORG/ORL - General clinical order response 一般臨床オーダー確認応答
O21	OML - Laboratory order 臨床検査オーダー
O22	ORL - General laboratory order response message to any OML OML に対する一般臨床検査オーダー応答
O23	OMI - Imaging order 画像オーダー
O24	ORI - Imaging order response message to any OMI OMI に対する画像応答
O25	RDE - Pharmacy/treatment refill authorization request 薬剤/治療補充承認要求
O26	RRE - Pharmacy/Treatment Refill Authorization Acknowledgement 薬剤/治療補充承認応答

Message	Description
O27	OMB - Blood product order 血液製品オーダー
O28	ORB - Blood product order acknowledgment 血液製品オーダー承認
O29	BPS - Blood product dispense status 血液製品調剤ステータス
O30	BRP - Blood product dispense status acknowledgment 血液製品調剤ステータス承認
O31	BTS - Blood product transfusion/disposition 血液製品 輸血/調剤
O32	BRT - Blood product transfusion/disposition acknowledgment 血液製品 輸血/調剤承認
O33	OML - Laboratory order for multiple orders related to a single specimen 1 検体に応答する複数依頼の検査オーダー
O34	ORL - Laboratory order response message to a multiple order related to single specimen OML 1 検体に 応答する複数依頼の検査オーダー応答
O35	OML - Laboratory order for multiple orders related to a single container of a specimen 1 検体 1 容器に応答する複数依頼のための検査オーダー
O36	ORL - Laboratory order response message to a single container of a specimen OML 1 検体 1 容器に応答する複数依頼のための検査オーダー応答
P01	BAR/ACK - Add patient accounts 患者口座の追加
P02	BAR/ACK - Purge patient accounts 患者口座の削除
P03	DFT/ACK - Post detail financial transaction 詳細な会計取引の送信
P04	QRY/DSP - Generate bill and A/R statements 請求書と A/R 明細書の生成
P05	BAR/ACK - Update account 口座の更新
P06	BAR/ACK - End account 口座の終了
P07	PEX - Unsolicited initial individual product experience report 非要求の個別製品に関する初期経験レポート
P08	PEX - Unsolicited update individual product experience report 非要求の個別製品に関する経験レポートの更新
P09	SUR - Summary product experience report 製品に関する経験レポートの要約
P10	BAR/ACK - Transmit Ambulatory Payment Classification(APC) 変更可能な支払分類(APC)の送信
P11	DFT/ACK - Post Detail Financial Transactions - New 詳細な会計取引の送信—新規
P12	BAR/ACK - Update Diagnosis/Procedure 診断/手順の更新
PC1	PPR - PC/ problem add プロblemsの追加
PC2	PPR - PC/ problem update プロblemsの更新
PC3	PPR - PC/ problem delete プロblemsの削除
PC4	QRY - PC/ problem query プロblemsの照会
PC5	PRR - PC/ problem response PC/ プロblemsの応答
PC6	PGL - PC/ goal add ゴールの追加
PC7	PGL - PC/ goal update ゴールの更新
PC8	PGL - PC/ goal delete ゴールの削除
PC9	QRY - PC/ goal query ゴールの照会
PCA	PPV - PC/ goal response ゴールの応答
PCB	PPP - PC/ pathway (problem-oriented) add クリニカルパス (プロブレム指向) の追加
PCC	PPP - PC/ pathway (problem-oriented) update クリニカルパス (プロブレム指向) の更新
PCD	PPP - PC/ pathway (problem-oriented) delete クリニカルパス (プロブレム指向) の削除
PCE	QRY - PC/ pathway (problem-oriented) query クリニカルパス (プロブレム指向) の照会
PCF	PTR - PC/ pathway (problem-oriented) query response クリニカルパス (プロブレム指向) 照会応答
PCG	PPG - PC/ pathway (goal-oriented) add クリニカルパス (ゴール指向) の追加
PCH	PPG - PC/ pathway (goal-oriented) update クリニカルパス (ゴール指向) の更新
PCJ	PPG - PC/ pathway (goal-oriented) delete クリニカルパス (ゴール指向) の削除
PCK	QRY - PC/ pathway (goal-oriented) query クリニカルパス (ゴール指向) の照会
PCL	PPT - PC/ pathway (goal-oriented) query response クリニカルパス (ゴール指向) 照会応答
Q01	QRY/DSR - Query sent for immediate response ディスプレイ照会—即時応答
Q02	QRY/QCK - Query sent for deferred response 遅延照会
Q03	DSR/ACK - Deferred response to a query 照会に対する遅延応答
Q04	EQQ - Embedded query language query 埋め込み照会言語照会
Q05	UDM/ACK - Unsolicited display update message 非要求 ディスプレイ更新
Q06	OSQ/OSR - Query for order status オーダ状態に対する照会応答

Message	Description
Q07	VQQ - Virtual table query 仮想テーブルの照会
Q08	SPQ - Stored procedure request 保存手順請求
Q09	RQQ - event replay query イベント再生照会
Q11	QBP - Query by parameter requesting an RSP segment pattern response RSP セグメントパターン応答を要求するパラメータによる照会
Q13	QBP - Query by parameter requesting an RTB - tabular response RTB 表形式応答を要求するパラメータによる照会
Q15	QBP - Query by parameter requesting an RDY display response RDY デisplay応答を要求するパラメータによる照会
Q16	QSB - Create subscription 加入申し込みの作成
Q17	QVR - Query for previous events 以前の出来事の照会
Q21	QBP - Get person demographics 個人基本情報の取得
Q22	QBP - Find candidates 候補者の探索
Q23	QBP - Get corresponding identifiers 相当する識別子の取得
Q24	QBP - Allocate identifiers 識別子の割り当て
Q25	QBP - Personnel Information by Segment Query セグメント照会による個人情報
Q26	ROR - Pharmacy/treatment order response 薬剤/処置オーダー応答
Q27	RAR - Pharmacy/treatment administration information 薬剤/処置管理情報
Q28	RDR - Pharmacy/treatment dispense information 薬剤/処置調剤・実施情報
Q29	RER - Pharmacy/treatment encoded order information 薬剤/処置の符号化されたオーダー情報
Q30	RGR - Pharmacy/treatment dose information 薬剤/処置の用量情報
R01	ORU/ACK - Unsolicited transmission of an observation message 検査の非要求転送
R02	QRY - Query for results of observation 検査結果の照会
R03	QRY/DSR Display-oriented results, query/unsol. update (for backward compatibility only) (Replaced by Q05) 表示指向の結果、照会/非要求の更新（下位互換用）（Q05に変更）
R04	ORF - Response to query; transmission of requested observation 検査結果の照会に対する応答；要求された検査結果の送信
ROR	ROR - Pharmacy prescription order query response 薬剤の処方オーダー照会に対する応答
R07	EDR - Enhanced Display Response 拡張された表示応答
R08	TBR - Tabular Data Response 表形式データの応答
R09	ERP - Event Replay Response イベント再生応答
R21	OUL - Unsolicited laboratory observation 臨床検査の非要求転送
R22	OUL - Unsolicited Specimen Oriented Observation Message 非要求検体ベース検査メッセージ
R23	OUL - Unsolicited Specimen Container Oriented Observation Message 非要求検体採取容器ベース検査メッセージ
R24	OUL - Unsolicited Order Oriented Observation Message 非要求オーダーベース検査メッセージ
R30	ORU - Unsolicited Point-Of-Care Observation Message Without Existing Order - Place An Order 非要求 Point-Of-Care 検査メッセージ-依頼部門オーダーなし
R31	ORU - Unsolicited New Point-Of-Care Observation Message - Search For An Order 非要求新 Point-Of-Care 検査メッセージ-オーダーの検索
R32	ORU - Unsolicited Pre-Ordered Point-Of-Care Observation 非要求依頼済 Point-Of-Care 検査オーダー
S01	SRM/SRR - Request new appointment booking 新規予約設定の要求
S02	SRM/SRR - Request appointment rescheduling 予約の再スケジュールリングの要求
S03	SRM/SRR - Request appointment modification 予約の修正要求
S04	SRM/SRR - Request appointment cancellation 予約の取消し要求
S05	SRM/SRR - Request appointment discontinuation 予約の停止要求
S06	SRM/SRR - Request appointment deletion 予約の削除要求
S07	SRM/SRR - Request addition of service/resource on appointment 予約上のサービス/リソース追加要求
S08	SRM/SRR - Request modification of service/resource on appointment 予約上のサービス/リソース修正要求
S09	SRM/SRR - Request cancellation of service/resource on appointment 予約上のサービス/リソース取消し要求
S10	SRM/SRR - Request discontinuation of service/resource on appointment 予約上のサービス/リソース停止要求
S11	SRM/SRR - Request deletion of service/resource on appointment 予約上のサービス/リソース削除要求
S12	SIU/ACK - Notification of new appointment booking 新規予約設定の通知
S13	SIU/ACK - Notification of appointment rescheduling 予約再スケジュールリングの通知

Message	Description
S14	SIU/ACK - Notification of appointment modification 予約修正の通知
S15	SIU/ACK - Notification of appointment cancellation 予約取消しの通知
S16	SIU/ACK - Notification of appointment discontinuation 予約停止の通知
S17	SIU/ACK - Notification of appointment deletion 予約削除の通知
S18	SIU/ACK - Notification of addition of service/resource on appointment 予約上のサービス/リソース追加の通知
S19	SIU/ACK - Notification of modification of service/resource on appointment 予約上のサービス/リソース修正の通知
S20	SIU/ACK - Notification of cancellation of service/resource on appointment 予約上のサービス/リソース取消しの通知
S21	SIU/ACK - Notification of discontinuation of service/resource on appointment 予約上のサービス/リソース停止の通知
S22	SIU/ACK - Notification of deletion of service/resource on appointment 予約上のサービス/リソース削除の通知
S23	SIU/ACK - Notification of blocked schedule time slot(s) ふさがった時間帯の通知
S24	SIU/ACK - Notification of opened ( "unblocked" ) schedule time slot(s) 空いている時間帯の通知
S25	SQM/SQR - Schedule query message and response スケジュール照会メッセージと応答
S26	SIU/ACK Notification that patient did not show up for schedule appointment 予約に患者が来院しなかったことの通知
T01	MDM/ACK - Original document notification オリジナルドキュメントの通知
T02	MDM/ACK - Original document notification and content オリジナルドキュメントの通知と内容
T03	MDM/ACK - Document status change notification ドキュメント状態の変更通知
T04	MDM/ACK - Document status change notification and content ドキュメント状態の変更通知と内容
T05	MDM/ACK - Document addendum notification ドキュメント追加の通知
T06	MDM/ACK - Document addendum notification and content ドキュメント追加の通知と内容
T07	MDM/ACK - Document edit notification ドキュメント編集の通知
T08	MDM/ACK - Document edit notification and content ドキュメント編集の通知と内容
T09	MDM/ACK - Document replacement notification ドキュメント置換の通知
T10	MDM/ACK - Document replacement notification and content ドキュメント置換の通知と内容
T11	MDM/ACK - Document cancel notification ドキュメント取消しの通知
T12	QRY/DOC - Document query ドキュメントの照会
U01	ESU/ACK - Automated equipment status update 自動化装置ステータス更新
U02	ESR/ACK - Automated equipment status request 自動化装置ステータス要求
U03	SSU/ACK - Specimen status update 検体ステータス更新
U04	SSR/ACK - specimen status request 検体ステータス要求
U05	INU/ACK - Automated equipment inventory update 自動化装置在庫更新
U06	INR/ACK - Automated equipment inventory request 自動化装置在庫要求
U07	EAC/ACK - Automated equipment command 自動化装置コマンド
U08	EAR/ACK - Automated equipment response 自動化装置応答
U09	EAN/ACK - Automated equipment notification 自動化装置通知
U10	TCU/ACK - Automated equipment test code settings update 自動化装置検査項目コード設定更新
U11	TCR/ACK - Automated equipment test code settings request 自動化装置検査項目コード設定要求
U12	LSU/ACK - Automated equipment log/service update 自動化装置ログ/サービス更新
U13	LSR/ACK - Automated equipment log/service request 自動化装置のログ/サービス要求
V01	VXQ - Query for vaccination record ワクチン接種記録の照会
V02	VXX - Response to vaccination query returning multiple PID matches 多数のPID マッチングを返すワクチン接種記録照会への応答
V03	VXR - Vaccination record response ワクチン接種記録の応答
V04	VXU - Unsolicited vaccination record update 非要求のワクチン接種記録の更新
Varies	MFQ/MFR - Master files query (use event same as asking for e.g., M05 - location) マスタファイル照会 (M05-患者位置の場合と同じように使用)
W01	ORU - Waveform result, unsolicited transmission of requested information 波形結果, 要求された情報に対する非要求の送信
W02	QRF - Waveform result, response to query 波形結果, 照会に対する応答

### 第3成分 Message Structure メッセージ構造 (ID)

抽象的なメッセージ構造のコードを示す。推奨値については、「HL7 表 0354—メッセージ構造」を参照のこと。

HL7成分表0354—Message Structure メッセージ構造

Value	Events
ACK	Varies
ADR_A19	A19
ADT_A01	A01, A04, A08, A13
ADT_A02	A02
ADT_A03	A03
ADT_A05	A05, A14, A28, A31
ADT_A06	A06, A07
ADT_A09	A09, A10, A11, A12
ADT_A15	A15
ADT_A16	A16
ADT_A17	A17
ADT_A18	A18
ADT_A20	A20
ADT_A21	A21, A22, A23, A25, A26, A27, A29, A32, A33
ADT_A24	A24
ADT_A30	A30, A34, A35, A36, A46, A47, A48, A49
ADT_A37	A37
ADT_A38	A38
ADT_A39	A39, A40, A41, A42
ADT_A43	A43, A44
ADT_A45	A45
ADT_A50	A50, A51
ADT_A52	A52, A53, A55
ADT_A54	A54
ADT_A60	A60
ADT_A61	A61, A62
BAR_P01	P01
BAR_P02	P02
BAR_P05	P05
BAR_P06	P06
BAR_P10	P10
BAR_P12	P12
BPS_O29	O29
BRP_O30	O30
BRT_O32	O32
BTS_O31	O31
CRM_C01	C01, C02, C03, C04, C05, C06, C07, C08
CSU_C09	C09, C10, C11, C12
DFT_P03	P03
DFT_P11	P11
DOC_T12	T12
DSR_P04	P04
DSR_Q01	Q01
DSR_Q03	Q03
EAC_U07	U07
EAN_U09	U09
EAR_U08	U08
EDR_R07	R07
EQQ_Q04	Q04
ERP_R09	R09
ESR_U02	U02
ESR_U02	U02
ESU_U01	U01
INR_U06	U06
INU_U05	U05
LSU_U12	U12, U13
MDM_T01	T01, T03, T05, T07, T09, T11
MDM_T02	T02, T04, T06, T08, T10
MFD_MFA	MFA
MFK_M01	M01, M02, M03, M04, M05, M06, M07, M08, M09, M10, M11
MFN_M01	M01
MFN_M02	M02
MFN_M03	M03
MFN_M04	M04
MFN_M05	M05
MFN_M06	M06
MFN_M07	M07
MFN_M08	M08

Value	Events
MFN_M09	M09
MFN_M10	M10
MFN_M11	M11
MFN_M12	M12
MFN_M13	M13
MFN_M15	M15
MFQ_M01	M01, M02, M03, M04, M05, M06
MFR_M01	M01, M02, M03, M04, M05, M06
NMD_N02	N02
NMQ_N01	N01
NMR_N01	N01
OMB_O27	O27
OMD_O03	O03
OMG_O19	O19
OMI_O23	O23
OML_O21	O21
OML_O33	O33
OML_O35	O35
OMN_O07	O07
OMP_O09	O09
OMS_O05	O05
ORB_O28	O28
ORD_O04	O04
ORF_R04	R04
ORG_O20	O20
ORI_O24	O24
ORL_O22	O22
ORL_O34	O34
ORL_O36	O36
ORM_O01	O01
ORN_O08	O08
ORP_O10	O10
ORR_O02	O02
ORR_O02	O02
ORS_O06	O06
ORU_R01	R01
ORU_R30	R30
ORU_R31	R31
ORU_R32	R32
OSQ_Q06	Q06
OSR_Q06	Q06
OUL_R21	R21
OUL_R22	R22
OUL_R23	R23
OUL_R24	R24
PEX_P07	P07, P08
PGL_PC6	PC6, PC7, PC8
PMU_B01	B01, B02
PMU_B03	B03
PMU_B04	B04, B05, B06
PMU_B07	B07
PMU_B08	B08
PPG_PCG	PCC, PCG, PCH, PCJ
PPP_PCB	PCB, PCD
PPR_PC1	PC1, PC2, PC3
PPT_PCL	PCL
PPV_PCA	PCA
PRR_PC5	PC5
PTR_PCF	PCF
QBP_Q11	Q11
QBP_Q13	Q13
QBP_Q15	Q15
QBP_Q21	Q21, Q22, Q23, Q24, Q25
QCK_Q02	Q02
QCN_J01	J01, J02
QRY_A19	A19
QRY_P04	P04
QRY_PC4	PC4, PC9, PCE, PCK
QRY_Q01	Q01, Q26, Q27, Q28, Q29, Q30
QRY_Q02	Q02
QRY_R02	R02
QRY_T12	T12
QSB_Q16	Q16



Value	Events
QVR_Q17	Q17
RAR_RAR	RAR
RAS_O17	O17
RCL_I05	I05
RCL_I06	I06
RDE_O01	O01
RDE_O11	O11, O25
RDR_RDR	RDR
RDS_O13	O13
RDY_K15	K15
REF_I12	I12, I13, I14, I15
RER_RER	RER
RGR_RGR	RGR
RGV_O15	O15
ROR_ROR	ROR
RPA_I08	I08, I09, I10, I11
RPL_I01	I01, I04
RPL_I02	I02
RPR_I03	I03
RQA_I08	I08, I09, I10, I11
RQC_I05	I05, I06
RQL_I01	I01, I02, I03, I07
RQP_I04	I04
RQQ_Q09	Q09
RRA_O02	O02
RRA_O18	O18
RRD_O14	O14
RRE_O12	O12, O26
RRG_O16	O16
RRI_I12	I12, I13, I14, I15
RSP_K11	K11
RSP_K21	K21
RSP_K22	K22
RSP_K23	K23, K24
RTB_K13	K13
SIU_S12	S12, S13, S14, S15, S16, S17, S18, S19, S20, S21, S22, S23, S24, S26
SPQ_Q08	Q08
SQM_S25	S25
SQR_S25	S25
SRM_S01	S01, S02, S03, S04, S05, S06, S07, S08, S09, S10, S11
SRR_S01	S01, S02, S03, S04, S05, S06, S07, S08, S09, S10, S11
SSR_U04	U04
SSU_U03	U03
SUR_P09	P09
SUR_P09	P09
TBR_R08	R08
TBR_R09	R09
TCU_U10	U10, U11
UDM_Q05	Q05
VQQ_Q07	Q07
VXQ_V01	V01
VXR_V03	V03
VXU_V04	V04
VXX_V02	V02
ORU_W01	W01
QRF_W02	W02

## NA 数値配列

HL7成分表—NA—Numeric Array 数値配列

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	16	NM	R		Value1 値1
2	16	NM	O		Value2 値2
3	16	NM	O		Value3 値3
4	16	NM	O		Value4 値4
...					

このデータ型は一連の数値（配列）を表すのに用いる。この型のフィールドは1次元の数値の配列（ベクトルまたは列）を含むことができる。またフィールドの反復を許せば、2次元の数

値の配列（表）をこの形式を使って送信することができる。このときその表の各行はこのフィールドの1繰り返しとして表現される。1つまたは複数の値が存在しない配列も送信されることがある。「存在しない」値は、2つの隣り合った成分デリミタで表現される。行の最後で値が存在しないことが起こったら、最後の成分デリミタは省略してよい。表全体の行が値を持たなかった場合、成分デリミタはひとつも必要ではない。（この場合2つの反復デリミタが隣り合うことになる。）

最大長：65536

例1： 8数字のベクトル

|125^34^22^234^569^442^212^6|

例2： 3x3の数値配列

|1.2^3.5^5.2~2.0^3.1^6.2~3.5^7.8^1.3|

例3： (1,1), (2,2), (2,3), (3,3), (3,4), (4,1), (4,2), (4,3), および(4,4)の位置に値が存在しない5x4の数値配列。

|^2^3^4~5^^8~9^10~~17^18^19^20|

## NDL 日付と位置を伴う名前

HL7成分表－NDL－Name with Date and Location 日付と位置を伴う名前

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	406	CNN	O		Name 名前
2	26	TS	O		Start Date/time 開始日時
3	26	TS	O		End Date/time 終了日時
4	20	IS	O	0302	Point of Care ケアの場所
5	20	IS	O	0303	Room 病室
6	20	IS	O	0304	Bed 病床
7	227	HD	O		Facility 施設
8	20	IS	O	0306	Location Status 位置の状態
9	20	IS	O	0305	Patient Location Type 患者位置タイプ
10	20	IS	O	0307	Building 建物
11	20	IS	O	0308	Floor 階

サービスを行う人の名前およびサービスを行う時と場所を示す。

最大長：835

注記：HL7 V2.5より、4.5.3.32節および7.4.1.32節のOBR-32、4.5.3.33節および7.4.1.33節のOBR-33、4.5.3.34節および7.4.1.34節のOBR-34、4.5.3.35節および7.4.1.35節のOBR-35のCMデータ型を置き換える。

### 第1成分 Name 名前 (CNN)

この成分はサービスを行う人の名前を示す。

### 第2成分 Start Date/Time 開始日時 (TS)

この成分はこの人がサービスを行うのを開始する日時を示す。

### 第3成分 End Date/Time 終了日時 (TS)

この成分はこの人がサービスを行うのを終了する日時を示す。

### 第4成分 Point of Care ケアの場所 (IS)

この成分は患者のケアを行う場所のコードを示す。これには患者の位置タイプ（例えば、病棟あるいは診療科あるいは診療所）による条件がつく。推奨値については、「使用者定義表 0302－ケアの場所」を参照のこと。

使用者定義表0302－Point of Care ケアの場所

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

### 第5成分 Room 病室 (IS)

この成分は患者の病室のコードを示す。ケアの場所の次に、人の位置の指定として最も一般的である。推奨値については「使用者定義表 0303－病室」を参照のこと。

**使用者定義表0303—Room 病室**

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

**第6成分 Bed 病床 (IS)**

この成分は患者の病床のコードを示す。病室の次に最も一般的な人の位置の指定である。推奨値については、「使用者定義表 0304—病床」を参照のこと。

**使用者定義表0304—Bed 病床**

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

**第7成分 Facility 施設 (HD)**

この成分は施設での解釈によるが、一般的には医療機関、病院あるいは医療法人の一番高いレベルでの物理的な位置の指定である。最も一般的な人の位置の指定である。

**第8成分 Location Status 位置の状態 (IS)**

この成分は位置の状態や空き状況のコードを示す。例えば、この成分は病床の状況を表すことがある。推奨値については、「使用者定義表 0306—位置の状態」を参照のこと。

**使用者定義表0306—Location Status 位置の状態**

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

**第9成分 Patient Location Type 患者位置タイプ (IS)**

患者位置タイプは、施設、建物、階、ケアの場所、病室あるいは病床によって示される人の位置の範疇である。必須のフィールドではないが、使用される場合は唯一値を持つフィールドとなる場合がある。この成分は通常、病棟、診療科、診療所、SNF（熟練看護施設）や診察室といった値を含む。推奨値については、「使用者定義表 0305—患者位置タイプ」を参照のこと。

**使用者定義表0305—Person location Type 患者位置タイプ**

Value	Description
C	Clinic 診療室
D	Department 診療科
H	Home 在宅
N	Nursing Unit 病棟
O	Provider's Office 診察室
P	Phone 電話
S	SNF 熟練看護施設

**第10成分 Building 建物 (IS)**

この成分は、その人が位置する建物のコードを示す。施設の次に最も一般的な人の位置の指定である。推奨値については、「使用者定義表 0307—建物」を参照のこと。

**使用者定義表0307—Building 建物**

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

**第11成分 Floor 階 (IS)**

この成分は、その人が位置する階を示す。建物の次に最も一般的な人の位置の指定である。推奨値については、「使用者定義表 0308—階」を参照のこと。

**使用者定義表0308—Floor 階**

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

**NM 数値**

### HL7成分表—NM—Numeric 数値

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	16				Numeric 数値

オプションである先行の符号（+または-）、アラビア数字およびオプションである小数点からなる、一連のASCIIの数字であらわされた数値。符号が省略された場合、数値は正数であると見なされる。小数点が存在しない場合は、数値は整数であると見なされる。

最大長：16

例：

|999|  
|-123.792|

先頭に出現する0の列や、小数点以下の末尾に出現する0の列は意味を持たない。例えば次の異なる表現による2つの値、”01.20”と”1.2”は、同一である。先頭のオプションである符号（+または-）およびオプションである小数点（.）以外は、数字以外のASCII文字は許されない。したがって、値<12は、構造化数値(SN)（推奨）または文字列(ST)（認められるが非推奨）データ型で符号化されるべきである。

## NR 数値範囲

### HL7成分表—NR—Numeric Range 数値範囲

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	16	NM	O		Low Value 下限
2	16	NM	O		High Value 上限

一連のデータにおける下限値と上限値の範囲を示す。数値範囲の一方が閉じていないときは、閉じていないほうの成分はnullとなる。範囲に端点が含まれるかどうかについては、このフィールドについての使用上の注意に定義される。

最大長：33

注記：HL7 V2.5より、8.8.4.6.1節のOM2-6.1、8.8.4.6.3節のOM2-6.3および8.8.4.6.4節のOM2-6.4のCMデータ型を置き換える

#### 第1成分 Low Value 下限 (NM)

範囲の下限値を示す数値。

#### 第2成分 High Value 上限 (NM)

範囲の上限値を示す数値。

## OCD 発生コードおよび日付

### HL7成分表—OCD—Occurrence Code and Date 発生コードおよび日付

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	705	CNE	R	0350	Occurrence Code 発生コード
2	8	DT	R		Occurrence Date 発生日付

請求に関連し、支払者の処理に影響し得る重要なイベントを指すコードおよび、そのイベントに関連付けられた日付を示す。

最大長：714

注記：HL7 V2.5より、6.5.10.10節のUB1-16 および6.5.11.7節のUB2-7に用いられるCMデータ型を置き換える。

このデータ型はCMSあるいはその他の監督機関により定義されたデータを保持する。このデータ型はUB82フィールド28-32およびUB92フィールド32a、32b、33a、33b、34a、34b、35aおよび35bに対応する。より詳しい情報についてはUBの仕様を参照のこと。

ユースケース：メディケアの受益者が、1992年1月1日から1992年1月10日まで入院していたが、その患者のPart A給付が1992年1月8日で切れ、その患者はPart B給付の資格を有しなかった。したがって位置32は、コード23と日付010892を持つことになる。

例：

|23&Benefits Exhausted&NUBC^19920108|

## 第1成分 Occurrence Code 発生コード (CNE)

支払者の処理に影響を与え得る請求に関連したイベントあるいは出来事に対する NUBC コード。  
有効な値については「HL7 表 0350-発生事象コード」を参照のこと。  
この成分の値は米国統一請求委員会(NUBC)の定義に従う必要がある。拡張は許されない。

HL7成分表0350-Occurrence Code 発生事象コード

Value	Description	Comments
	Use NUBC codes NUBC コードを使うこと	

## 第2成分 Occurrence Date 発生日付 (DT)

支払者の処理に影響を与え得る請求に関連したイベントが起こった日付。

## OSD オーダ連鎖定義

HL7成分表-OSD-Order Sequence Definition オーダ連鎖定義

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	1	ID	R	0524	Sequence/Results Flag 連鎖/結果フラグ
2	15	ST	R		Placer Order Number: Entity Identifier 依頼者オーダ番号: 実体識別子
3	6	IS	O	0363	Placer Order Number: Namespace ID 依頼者オーダ番号: ネームスペース ID
4	15	ST	R		Filler Order Number: Entity Identifier 実施者オーダ番号: 実体識別子
5	6	IS	O	0363	Filler Order Number: Namespace ID 実施者オーダ番号: ネームスペース ID
6	12	ST	O		Sequence Condition Value 連鎖条件値
7	3	NM	O		Maximum Number of Repeats 最大反復数
8	15	ST	R		Placer Order Number: Universal ID 依頼者オーダ番号: ユニバーサル ID
9	6	ID	O	0301	Placer Order Number: Universal ID Type 依頼者オーダ番号: ユニバーサル ID タイプ
10	15	ST	R		Filler Order Number: Universal ID 実施者オーダ番号: ユニバーサル ID
11	6	ID	O	0301	Filler Order Number: Universal ID Type 実施者オーダ番号: ユニバーサル ID タイプ

このデータ型は、あるオーダと別のひとつまたは複数のオーダとの関係を構成する完全にコード化されたバージョンである。その関係は連鎖あるいは循環パターンである。

OSDの仕様はTQデータ型（特にORC-7に適用された場合）に限定される。HL7 V2.5より下位互換性の目的のみで保持される。連鎖の段数や循環のパターンを送信する必要なときには、このデータ型より、TQ1およびTQ2セグメントを考慮することが推奨される。

最大長: 110

注記: HL7 V2.5より、TQデータ型に用いられているCMデータ型を置き換える。

よくある状況として、一組の静脈注射(IV)溶液のオーダ発行といった、個々の静脈注射液（それ自身にサービスを含む）の順番を明示する必要がある例えば3ボトルごとにマルチビタミンの投与が必要な中心静脈栄養のような場合がある。

別の状況として、オーダの指示の中に、「痛みのあるとき」のような、あるタイプの結果条件が含まれる場合がある。現在のところ、ORC-7-量/タイミングにあらゆる条件を定義できる、フリーテキストの「条件」成分が存在する。

連鎖の条件は、前のサービスの終了に基づく。

### 仕様上の注記

以下を仮定する:

先行するオーダの依頼者オーダ番号にあたる"OE1000&OrdEnt"が、ORC-7「量/タイミング」フィールド第10成分の第2副成分および第3副成分により示されている。

後続のオーダ、すなわちこのオーダは、依頼者オーダ番号としてORCセグメントに"OE1001^OrdEnt"がセットされている。

次の連鎖条件値は、次の意味を持っている

Value	Description	Comment
ES + 10M	Start time of the	先行するOE1000&OrdEntの終了時刻に10分を加え

	successor 後続オーダーの開始時刻	た値を後続するOE1001^OrdEnt (このオーダー) の開始時刻とする。つまり、先行するオーダーの完了した10分後にこのオーダーを開始することとなる。
SS - 10M	Start time of this order このオーダーの開始時刻	先行するオーダーの開始時刻から10分を減じた値をこのオーダーの開始時刻とする。つまり、先行するオーダーより10分早くオーダーを開始することとなる。

#### ユースケース 1 : 循環依頼者オーダーグループ

繰り返さなければならない一連のオーダーがある特別なケースでは、最初に実施するオーダーは、必ずアスタリスク(\*)ではじまった「連鎖条件値」がセットされる。最後に実施するオーダーは、必ずパウンド記号(#)ではじまる「連鎖条件値」がセットされる。

例 :

Value	Description	Comment
*FS+10M		訳：初回は第10成分で指定された条件を評価せずに実施せよ。しかし、二回目以降は、指定された他オーダーの開始または終了日時と、この条件が合致する場合にのみ反復実施せよ。この指定により、サイクル毎に繰り返すオーダーを生成できる。

注記：これはオーダーを発生するアプリケーションが、最初のオーダーの量/タイミングで指定されたサイクルにおける最後のオーダーの依頼者オーダー番号を特定できることを必要とする。

4つの静脈注射(IV)オーダーからなる反復グループをオーダーの親/子概念を用いて実現するためには、親オーダーは静脈注射(IV)のカスタムグループを定義し、以下とする：

- 2番目の子オーダーのORC-7 - 量/タイミングに1番目の子オーダーに続くことを指定する
- 3番目の子オーダーのORC-7 - 量/タイミングに2番目の子オーダーに続くことを指定する
- 4番目の子オーダーのORC-7 - 量/タイミングに3番目の子オーダーに続くことを指定する

4つの子オーダーによる一連のグループを定期的に繰り返すためには、以下とする：

- 1番目の子オーダーのORC-7 - 量/タイミングに、他のオーダーの完了有無によらず一度だけ実施することを指定する
- 二回目は4番目のオーダーが完了したのちに実施する。4章 RXOセグメントの例を参照のこと。この仕組みにより以下のような追跡が可能となる：  
オーダー全体としてのステータスは、親オーダーのレベルで報告される。個別の静脈注射(IV)オーダーのステータスは、対応する子オーダーのステータスで追跡できる。

独立したオーダーの例：

同じ一組のオーダーを（共通の親を持たない）、量/タイミングフィールドのデータのみによって結び付けられた一組の4つのオーダーとして送信することができる。この場合、独立した4つのオーダーの状態を送信することなしに、この組の状態を一括して送信するHL7で定義された都合の良い方法はない。

#### ユースケース 2 : オーダー状態の継承

取り消し/中止/保留コントロールイベント：

このロジックでは参照されている先のオーダーが実行をされることを暗黙の前提にしている。したがって、先のオーダーの取り消し（または中止または保留）は、連鎖する全てのオーダーの取り消し（または中止または保留）を暗に含む。

参照されているオーダーが取り消し（または中止または保留）された場合は、現在実行中のオー

ダは同じ状態を継承する。

保留の場合は、先のオーダの保留の解除は、それに従うオーダの保留の解除を暗に含む（したがって10番目の成分の指定に従って実行できることになる。）

### 第1成分 Sequence/Results Flag 連鎖/結果フラグ (ID)

連鎖条件あるいは繰り返すオーダの組が指定されているかを示す。有効な値については「HL7 表 0524—連鎖条件」を参照のこと。

HL7表0524—Sequence Condition 連鎖条件

Value	Description
S	Sequence conditions 連鎖条件
C	Repeating cycle of orders 繰り返すオーダの組
R	Reserved for possible future use 将来使用する可能性のため予約

### 第2成分 Placer Order Number: Entity Identifier 依頼者オーダ番号：実体識別子 (ST)

依頼者オーダ番号の最初の成分、実体識別子を含む。

### 第3成分 Placer Order Number: Namespace ID 依頼者オーダ番号：ネームスペース ID (IS)

依頼者オーダ番号の2番目の成分、ネームスペース ID を含む。推奨値については「使用者定義表 0363—割当権限者」を参照のこと。

### 第4成分 Filler Order Number: Entity Identifier 実施者オーダ番号：実体識別子 (ST)

実施者オーダ番号の最初の成分、実体識別子を含む。

### 第5成分 Filler Order Number: Namespace ID 実施者オーダ番号：ネームスペース ID (IS)

実施者オーダ番号の2番目の成分、ネームスペース ID を含む。推奨値については「使用者定義表 0363—割当権限者」を参照のこと。

### 第6成分 Sequence Condition Value 連鎖条件値 (ST)

関連する先のオーダあるいは後のオーダの開始/終了と ORC-2、3 および4 で示される現在のオーダとの関係を示す。

認められる条件の値は、以下の形式のプロジェクト計画方法論で広く使われている形をとる。

<"SS"、"EE"、"SE"あるいは"ES"のいずれか> +/- <時間>

最初の文字は、先のオーダの開始(S)または終了(E)を表し、先のオーダは副成分 1、2 または 3、4 の依頼者または実施者オーダ番号で示される。

2番目の文字は、後のオーダの開始(S)または終了(E)を表し、後のオーダはこの量/タイミングの指定を含むオーダである。

<時間>は先のオーダの開始または終了から後のオーダの時間間隔を示す（以下の例を参照）。

Where <time> is defined as <時間>の定義

Value	Description
S<整数>	do for <integer> seconds <数値>秒の間行う
M<整数>	do for <integer> minutes <数値>分の間行う
H<整数>	do for <integer> hours <数値>時間の間行う
D<整数>	do for <integer> days <数値>日の間行う
W<整数>	do for <integer> weeks <数値>週の間行う
L<整数>	do for <integer> months <数値>月の間行う

### 第7成分 Maximum Number of Repeats 最大反復数 (NM)

反復する組にのみ用いる最大の反復数。反復総数は、最後の反復が終わる日時、あるいは、親の終了日時のうちいずれか早いほうで制約される。

### 第8成分 Placer Order Number: Universal ID 依頼者オーダ番号：ユニバーサル ID (ST)

依頼者オーダ番号の最後から2つ目の成分、ユニバーサル ID を含む。

### 第9成分 Placer Order Number: Universal ID Type 依頼者オーダ番号：ユニバーサル ID タイプ (ID)

依頼者オーダ番号の最後の成分、ユニバーサル ID タイプを含む。有効な値については、「HL7 表 0301—ユニバーサル ID タイプ」を参照のこと。

### 第10成分 Filler Order Number: Universal ID 実施者オーダ番号：ユニバーサル ID (ST)

実施者オーダ番号の最後から2つ目の成分、ユニバーサル ID を含む。

### 第11成分 Filler Order Number: Universal ID Type 実施者オーダ番号：ユニバーサル ID タイプ (ID)

実施者オーダ番号の最後の成分、ユニバーサル ID タイプを含む。有効な値については、「HL7 表 0301—ユニバーサル ID タイプ」を参照のこと。

## OSP 発生スパン・コードおよび日付

HL7成分表－OSP－Occurrence Span Code and Date 発生スパン・コードおよび日付

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	705	CNE	R	0351	Occurrence Span Code 発生スパン・コード
2	8	DT	C		Occurrence Span Start Date 発生スパン開始日付
3	8	DT	C		Occurrence Span Stop Date 発生スパン終了日付

請求の支払に関連するイベントを特定するコードおよび関連する日付。例えば、先行入院日付は、ある患者の、病院またはSNF（熟練看護施設）への今回の入院から60日以内に終了した何らかの入院のあった患者について、その入院/退院の日である。

最大長：733

注記：HL7 V2.5の6.5.11.8節のUB2-8に用いられるCMデータ型を置き換える。

ユースケース：患者は小さな手術のため入院（2003年1月6日）し、翌日（2003年1月7日）に退院した。合併症が続発し、患者は次の日（2003年3月8日）に再入院した。2003年3月8日の請求を提出する際に、先行入院日付（2003年1月6日-2003年1月6日）を発生事象範囲コードおよび日付 71-先行入院日付を使って（保険プランごとに）報告しなければならない。

[71&Prior Stay Date&NUBC^20030106^20030107]

### 第1成分 Occurrence Span Code 発生スパン・コード (CNE)

請求の支払に係るイベントを示す NUBC のコード自体。

有効な値については「HL7 表 0351-発生スパン」を参照のこと。この成分の値は米国統一支払委員会(NUBC)が定めたものである。拡張は許されない。

HL7表0351－Occurrence Span 発生スパン

Value	Description	Comments
	Use NUBC codes NUBC コードを使うこと	

### 第2成分 Occurrence Span Start Date 発生スパン開始日付 (DT)

請求の支払に関するイベントが開始した日付を示す。

### 第3成分 Occurrence Span Stop Date 発生スパン終了日付 (DT)

請求の支払に関するイベントが終了した日付を示す。

## PIP 医療従事者の施設内の権限

HL7成分表－PIP－Practitioner Institutional Privileges 医療従事者の施設内の権限

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	483	CE	R	0525	Privilege 権限
2	483	CE	O	0526	Privilege Class 権限クラス
3	8	DT	O		Expiration Date 失効日付
4	8	DT	O		Activation Date 発効日付
5	427	EI	O		Facility 施設

このデータ型は医療従事者に与えられた施設内の権限とその詳細を示す。

最大長：1413

注記：HL7 V2.5より、15.4.5.7節のPRA-7 に用いられるCMデータ型を置き換える。

### 第1成分 Privilege 権限 (CE)

施設内の権限自体を示す。提案されている値については、「使用者定義表 0525-権限」を参照のこと。

使用者定義表0525－Privilege 権限

Value	Description	Comments
	No suggested values defined 推奨値なし	

### 第2成分 Privilege Class 権限クラス (CE)

施設内の権限のクラス範疇を示す。提案されている値については「使用者定義表 0526-権限クラス」を参照のこと。

使用者定義表0526－Privilege Class 権限クラス

Value	Description	Comments
	No suggested values defined 推奨値なし	



### 第3成分 Expiration Date 失効日付 (DT)

施設内の権限がもはや有効でなくなる／なくなった日付を示す。

### 第4成分 Activation Date 発効日付 (DT)

施設内の権限が有効になる／なった日付を示す。

### 第5成分 Facility 施設 (EI)

施設内の権限が有効である／あった施設を示す。

## PL 人の位置

HL7成分表－PL－Person Location 人の位置

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	IS	O	0302	Point of Care ケアの場所
2	20	IS	O	0303	Room 病室
3	20	IS	O	0304	Bed 病床
4	227	HD	O		Facility 施設
5	20	IS	O	0306	Location Status 位置の状態
6	20	IS	C	0305	Person Location Type 患者位置タイプ
7	20	IS	O	0307	Building 建物
8	20	IS	O	0308	Floor 階
9	199	ST	O		Location Description 位置の記述
10	427	EI	O		Comprehensive Location Identifier 包括的な位置識別子
11	227	HD	O		Assigning Authority for Location 位置についての割当権限者

このデータ型は保健医療施設内における患者の位置を示すために用いる。どの成分に値を設定するかは現場の要求による。例えば、在宅で治療を受けている患者については、患者位置タイプのみ値が設定される。このデータ型は患者の位置を示すのに最もよく使用されるが、保健医療現場に関わるほかの種類の人々の位置を明記するために使われることがある。

最大長：1230

注記：このデータ型は、最も一般的なものから最も個別的なものである次の順番で考慮すべきいくつかの位置識別子が含まれている：施設、建物、階、ケアの場所、病室、病床。

これらの成分で示されるすべての位置に関する追加の情報を以下の成分で付加することができる：患者位置タイプ、位置の詳細、位置の状態。

例：病棟

Community Hospitalの看護単位：4東病棟、136号室、ベッドB

4E^136^B^CommunityHospital^^N^^^

例：診療所

University Hospitalsの診療所：Brionesビル3階にある内科診療所

InternalMedicine^^^UniversityHospitals^^C^Briones^3^

例：在宅

患者の家で治療を受けている。

^^^^H^^^

### 第1成分 Point of Care ケアの場所 (IS)

この成分は患者のケアを行う場所のコードを示す。これには患者の位置タイプ（例えば、病棟あるいは診療科あるいは診療所）による条件がつく。推奨値については「使用者定義表 0302－ケアの場所」を参照のこと。

### 第2成分 Room 病室 (IS)

この成分は患者の病室のコードを示す。ケアの場所の次に、人の位置の指定として最も一般的である。推奨値については「使用者定義表 0303－病室」を参照のこと。

### 第3成分 Bed 病床 (IS)

この成分は患者の病床のコードを示す。病室の次に最も一般的な人の位置の指定である。推奨値については「使用者定義表 0304－病床」を参照のこと。

### 第4成分 Facility 施設 (HD)

この成分は施設での解釈によるが、一般的には医療機関、病院あるいは医療法人の一番大きな括りとしての物理的位置の指定である。最も一般的な人の位置の指定である。データ型に関する議論については2.A.33,節 HD・階層的指定子を参照のこと。

注記：HDデータ型が特定のセグメントで他のデータ型のフィールドの成分として使用された場合は「使用者定義表 0300 - Namespace ID ネームスペース ID」（HD成分の最初の副成分として参照される）はそのセグメント

に責任を持つ技術委員会によって再定義される（別の使用者定義表番号と名前を与えられる）ことがある。

### 第5成分 Location Status 位置の状態 (IS)

この成分は位置の状態や空き状況のコードを示す。例えば、この成分は病床の状況を表すことがある。推奨値は「使用者定義表 0306—位置の状態」を参照のこと。

### 第6成分 Person Location Type 患者位置タイプ (IS)

患者位置タイプは、施設、建物、階、ケアの場所、病室あるいは病床によって示される人の位置の範疇である。必須のフィールドではないが、本フィールドのみ値を持つ場合がある。この成分は通常、病棟、診療科、診療所、SNF（熟練看護施設）や診察室といった値を含む。提案値は「使用者定義表 0305—患者位置タイプ」を参照のこと。

### 第7成分 Building 建物 (IS)

この成分は、その人が位置する建物のコードを示す。施設の次に最も一般的な人の位置の指定である。推奨値は「使用者定義表 0307—建物」を参照のこと。

### 第8成分 Floor 階 (IS)

この成分は、その人が位置する階を示す。建物の次に最も一般的な人の位置の指定である。推奨値は「使用者定義表 0308—階」を参照のこと。

### 第9成分 Location Description 位置の記述 (ST)

この成分はフリーテキストで位置についての情報を記述する。

### 第10成分 Comprehensive Location Identifier 包括的な位置識別子 (EI)

物理的位置を個々の成分に関わらず、全体として表現する一意的な識別子。この成分は、施設が物理的単位を示す別の方法を用いたり、詳細度の低いレベルでコードをつけることを許容する。例えば、ケアの場所、病室および病床が不可分の1つのコードを持つこともありうる。

### 第11成分 Assigning Authority for Location 位置についての割当権限者 (HD)

個々の物理位置成分を作成した実体。値を持つ場合には、全ての成分についての権限者である。HD 成分の最初の副成分<ネームスペース ID>に対する推奨値については「使用者定義表 0363—割当権限者」を参照のこと。この成分により、このデータ型のフィールドが繰り返し使用された場合に、それぞれのコードを違えることが可能となる。

注記：HD データ型が特定のセグメントで他のデータ型のフィールドの成分として使用された場合は「**エラー! 参照元が見つかりません。**」（HD 成分の最初の副成分として参照される）はそのセグメントに責任を持つ技術委員会によって再定義される（別の使用者定義表番号と名前を与えられる）ことがある。施設利用者間での合意により、実装者は「**エラー! 参照元が見つかりません。**」を最初の副成分として使用しつづけることもできる。

## PLN 医療従事者免許またはその他の ID 番号

HL7成分表—PLN—Practitioner License or Other ID Number 医療従事者免許またはその他のID番号

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	ST	R		ID Number ID 番号
2	8	IS	R	0338	Type of ID Number ID 番号のタイプ
3	62	ST	O		State/other Qualifying Information 州/その他の資格情報
4	8	DT	O		Expiration Date 有効期限

このデータ型は医療従事者の免許番号またはUPIN（一義的医師ID番号）、メディケアおよびメディケイド番号といったその他のID番号とその詳細を示す。

最大長：101

注記：HL7 V2.5より、15.4.5.6節のPRA-6、11.6.3.7節のPRD-7および11.6.4.7節のCTD-7に用いられるCMデータ型を置き換える。

### 第1成分 ID Number ID 番号 (ST)

免許番号またはUPIN（一義的医師ID番号）、メディケアおよびメディケイド番号のような、その他のID番号を示す。

### 第2成分 Type of ID Number ID 番号のタイプ (IS)

番号のタイプを示す。

推奨値は「使用者定義表 0338—医療提供者ID番号タイプ」を参照のこと。

使用者定義表0338—Practitioner ID Number Type 医療提供者ID番号タイプ

Value	Description	Comments
CY	County number 郡番号	
DEA	Drug Enforcement Agency no 麻薬取締局番号	

Value	Description	Comments
GL	General ledger number 一般台帳番号	HL7 V2.5 より非推奨; LI を代わりに使用
LI	Labor and industries number 労働産業省番号	
L&I	Labor and industries number 労働産業省番号	
MCD	Medicaid number メディケイド番号	
MCR	Medicare number メディケア番号	
QA	QA number QA 番号	
SL	State license number 州免許番号	
TAX	Tax ID number 納税 ID 番号	
TRL	Training license number 研修免許番号	
UPIN	Unique physician ID no. 一義的医師 ID 番号	

### 第 3 成分 State/other Qualifying Information 州/その他の資格情報 (ST)

当てはまる場合には、免許または ID が有効な州または省、あるいはその他の資格に関する情報を示す。州の資格に  
関しては、その国の郵便サービスでの略称を用いることが推奨されている。

### 第 4 成分 Expiration Date 有効期限 (DT)

免許または ID がもはや有効でなくなる日付を示す。

## PPN 実施者タイムスタンプ

HL7成分表—PPN—Performing Person Time Stamp 実施者タイムスタンプ

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	15	ST	O		ID Number ID 番号
2	194	FN	O		Family Name 姓
3	30	ST	O		Given Name 名
4	30	ST	O		Second and Further Given Names or Initials Thereof 2 番目以降の名またはそれらのイニシャル
5	20	ST	O		Suffix (e.g., JR or III) 接尾語 (例: JR または III)
6	20	ST	O		Prefix (e.g., DR) 接頭語 (例: DR)
7	5	IS	B	0360	Degree (e.g., MD) 学位 (例: MD) HL7 V2.5 より非推奨
8	4	IS	C	0297	Source Table ID 管理表
9	227	HD	O	0363	Assigning Authority 割当権限者
10	1	ID	O	0200	Name Type Code 名前タイプコード
11	1	ST	O		Identifier Check Digit 識別子チェックデジット
12	3	ID	C	0061	Check Digit Scheme チェックデジット体系
13	5	ID	O	0203	Identifier Type Code 識別子タイプコード
14	227	HD	O		Assigning Facility 割当施設
15	26	TS	O		Date/Time Action Performed 行為実施日時
16	1	ID	O	0465	Name Representation Code 名前表記コード
17	483	CE	O	0448	Name Context 名前の文脈
18	17	DR	B		Name Validity Range 名前の有効範囲 HL7 V2.5 より非推奨
19	1	ID	O	0444	Name Assembly Order 名前構成順
20	26	TS	O		Effective Date 発効日
21	26	TS	O		Expiration Date 失効日
22	199	ST	O		Professional Suffix 専門職の接頭辞
23	705	CWE	O		Assigning Jurisdiction 割当管轄
24	705	CWE	O		Assigning Agency or Department 割当権限者または行政組織

このデータ型はTSデータ型につながれたXCNデータ型と等価なものである。しかしながら、  
XCNデータ型では、その中に含む複雑なデータ型であるHD、TS、CEおよびCWEを合理的に表  
現できるように並列に展開されている。

最大長: 2993

### 第 1 成分 ID Number ID 番号 (ST)

第 8 成分で示される使用者定義表によりコード化された ID。最初の成分が明示された場合には ID 管理表または割  
当権限者に値を入れる必要がある。

### 第 2 成分 Family Name 姓 (FN)

このデータ型はある個人の姓を完全に示すことを可能とする。必要なときは、このデータ型は個人の名前が、も  
もとの姓と配偶者の姓を含んでいる場合に、そのそれぞれを区別する。このデータ型はまた、メッセージにおいて、  
姓の接頭辞の部分 (例えば"van"や"de"のような) と語根の部分とを区別することを可能にする。2.A.30 節参照のこ  
と。

### 第3成分 Given Name 名 (ST)

ファーストネーム。

### 第4成分 Second and Further Given Names or Initials Thereof 2番目以降の名またはそれらのイニシャル (ST)

複数のミドルネームを空白で区切って入れることができる。

### 第5成分 Suffix 接尾語 (ST)

名前の接尾語を明記するのに用いる。(例、Jr または III)

### 第6成分 Prefix 接頭語 (ST)

名前の接頭語を明記する。(例、Dr)

### 第7成分 Degree 学位 (IS)

HL7 V2.5 より下位互換性のためだけに残されている。専門職の接頭辞成分を参照。

教育における学位 (例、MD) を明記するのに用いる。推奨値は「使用者定義表 0360—学位/免許/資格」を参照。

### 第8成分 Source Table ID 管理表 (IS)

この成分に関する使用者定義表の値として「使用者定義表 0297—CN ID 管理表」の HL7 識別子が使われている。最初の成分を記述するのに用いる。

### 第9成分 Assigning Authority 割当権限者 (HD)

割当権限者はそのデータを生成したシステム (あるいは組織、政府機関の部署) についての一義的な識別子である。これは HD データ型である。「使用者定義表 0363—割当権限者」が HD 成分の最初の副成分<ネームスペース ID>に与える値の HL7 識別子として用いられる。

注記: HD データ型が与えられたセグメント中で、他のデータ型のフィールドの成分として用いられた時、「使用者定義表 0300 - Namespace ID ネームスペース ID」(HD 成分の最初の副成分として参照される) は、そのセグメントに責任を持つテクニカルコミティーにより再定義される (違う使用者定義表番号と名称を与えられる) ことがある。

施設利用者間での合意により、実装者は「使用者定義表 0300 - Namespace ID ネームスペース ID」を最初の副成分として使用しつづけることもできる。

割当権限者に加えて、あるいはその代わりに、割当管轄、割当行政組織、割当機関について意味のある値を送信する必要がある場合、PPN.23 および PPN.24 を参照すること。しかしながら、3つの成分全てに値が与えられることがある。その際、PPN.23 および/または PPN.24 の値が PPN.94 と矛盾を起こすことが判明した場合は、ユーザはメッセージプロファイル、あるいはその他の実装規約を調べて、どちらを優先すべきかの記述を見つけることになる。

### 第10成分 Name Type Code 名前タイプコード (ID)

名前のタイプを表すコード。有効な値については「HL7 表 0200—名前タイプ」を参照のこと。(2.A.88 節, XPN - 拡張人名を参照のこと)

HL7表0200—Name Type 名前タイプ

Value	Description
A	Alias Name 別名
B	Name at Birth 出生時の名前
C	Adopted Name 養子名
D	Display Name 表示名称
I	Licensing Name 免許での名前
L	Legal Name 法律的な名前
M	Maiden Name 旧姓
N	Nickname / "Call me" Name/Street Name ニックネーム/希望呼称/通称
P	Name of Partner/Spouse (retained for backward compatibility only) パートナー/配偶者の名前 (HL7 旧バージョンとの互換性のためこのみ)
R	Registered Name (animals only) 登録名 (動物のみ)
S	Coded Pseudo-Name to ensure anonymity 匿名性保証のためのコード化された仮名
T	Indigenous/Tribal/Community Name 先住民族/部族/共同体での名前
U	Unspecified 不特定

### 第11成分 Identifier Check Digit 識別子チェックデジット (ST)

このデータ型でのチェックデジットは、メッセージ処理系により生成された後付けのものではない。識別番号の一部で、送信側アプリケーションで使用される部分が、この成分でいうチェックデジットである。送信側のアプリ

ケーションが自己生成のチェックデジットを識別番号に含めていない場合は、この成分は null にしなければならない。

### 第 12 成分 Check Digit Scheme チェックデジット体系 (ID)

使用されているチェックデジット方式の指定を含む。有効な値については「HL7 表 0061—チェックデジット形式」を参照のこと。

### 第 13 成分 Identifier Type Code 識別子型コード (ID)

患者に最初に識別子が割り当てられた、建物・場所の識別子。この成分は識別子の固有の部分ではないが、識別子の履歴に関する部分である。この成分は、特定の相互通信システムのために存在している。有効な値については「HL7 表 0203—ID 型」を参照のこと。

### 第 14 成分 Assigning Facility 割当施設 (HD)

患者に最初に識別子が割り当てられた、建物・場所の識別子。この成分は識別子の固有の部分ではないが、識別子の履歴に関する部分である。この成分は、特定の相互通信システムのために存在している。

注記：HD データ型が特定のセグメントで、他のデータ型のフィールドの成分として用いられるときは、「使用者定義表 0300 - Namespace ID ネームスペース ID」(HD 成分の最初の副成分として参照される) が該当するセグメントを担当する技術委員会によって再定義される場合がある。

### 第 15 成分 Date/Time Action Performed 行為実施日時 (TS)

この成分は行為がいつ実施されたかを記述する。

注記：このフィールドが null ではない場合、行為者とタイムスタンプの両方に値が設定されなければならない。

### 第 16 成分 Name Representation Code 名前表記コード (ID)

同じ名前/住所に対する別の名前/住所型および名前/住所表記は、このフィールドを、名前/住所型および/または名前/住所表記を違えて、繰り返すことで表現すべきである。有効な値について「HL7 表 0465—名前/アドレス表記」を参照のこと。

注記：これらのデータ型を用いたフィールドの反復それぞれについて、この新しい成分は「アルファベット」表記のままである。すなわち名前が表意文字の文字集合で表記されていたとしても、この成分はアルファベットの文字集合で表記される。

HL7表0465—Name/address Representation 名前/アドレス表記

Value	Description
I	Ideographic (i.e., Kanji) 表意文字 (漢字)
A	Alphabetic (i.e., Default or some single-byte) シングルバイト英数字
P	Phonetic (i.e., ASCII, Katakana, Hiragana, etc.) 表音文字 (ASCII、仮名)

一般的にこの成分はデータ項目で提供される表記の指示を行う。使用されている文字セットを示すことは必要ではない。したがって、表記は何を期待すべきかを示すが、それでもなお、送信側は自由に望むどんな文字集合を使っても内容をコード化することができる。この成分は受信者にヒントのみ与えるので、受信側は何が送られてきて何を表示する能力があるかをもとに選択を行うことができる。

### 第 17 成分 Name Context 名前の文脈 (CE)

この成分は名前の使われる文脈を示すのに用いられる。主なユースケースはオーストラリアの保険医療においてである：異なる保険医療施設に入院する場合に、異なる名前を使用することを希望する先住民の患者である。別のユースケースは、米国で、医療従事者が少し異なる名前で免許を受けることができ、管理上の理由で正確な名前を届け出ることがきわめて重要な場合である。この表をどのように用いるかについての詳細な情報は、3.4.2.6 節を参照のこと。推奨値については「使用者定義表 0448—名前の文脈」を参照のこと。

使用者定義表0448—Name Context 名前の文脈

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

### 第 18 成分 Name Validity Range 名前の有効範囲 (DR)

HL7 V2.5 より HL7 旧バージョンとの互換性のためにのみ保持されている。

この成分は、この名前が有効な期間を示す開始と終了の日時を含む。副成分の説明については 2.A.20 節「DR—日/時範囲」を参照のこと。PPN-20 発効日および PPN-21 失効日を参照。この成分は十分に表現することができず、HL7 V2.4 の誤りとして認識されている。

### 第 19 成分 Name Assembly Order 名前構成順序 (ID)

この人名の構成要素の望ましい表示順を表す。有効な値については「HL7 表 0444—名前構成順」を参照。

HL7表0444—Name Assembly Order 名前構成順

Value	Description
G	Prefix Given Middle Family Suffix 接頭辞 名 ミドルネーム 姓 接尾辞
F	Prefix Family Middle Given Suffix 接頭辞 姓 ミドルネーム 名 接尾辞

**第20成分 Effective Date 発効日 (TS)**

知られている場合には、住所が正当で有効となる最初の日。

**第21成分 Expiration Date 失効日 (TS)**

知られている場合には、住所が正当で有効である最後の日。

**第22成分 Professional Suffix 専門職の接頭辞 (ST)**

その人の専門職種（例、免許、資格、学位、専門学会の会員）を証明する資格を表示する略語あるいは略語の文字列を示すのに用いられる。人名が表示されるときに、専門職の接頭辞は、通常、姓の後に表示される。この成分は、非整形の文字列で、表示目的のみで用いられることに注意すること。

**第23成分 Assigning Jurisdiction 割当管轄 (CWE)**

第1成分の識別子を割り当てた地理・政治上の実体。  
詳細については、2.A.14.9節「割当管轄 (CWE)」を参照のこと。

**第24成分 Assigning Agency or Department 割当権限者または行政組織 (CWE)**

第1成分の識別子を割り当てた割当権限者または割当組織。  
詳細については、2.A.14.10節「割当機関あるいは行政組織 (CWE)」を参照のこと。

**PRL 親結果リンク**

HL7成分表—PRL—Parent Result Link 親結果リンク

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1		CE	R		Parent Observation Identifier 親検査識別子 親結果のOBX-3で定義される。
2		ST	O		Parent Observation Sub-identifier 親検査副識別子 親結果のOBX-4で定義される。
3		TX	O		Parent Observation Value Descriptor 親検査の値の記述 親結果のOBX-5で定義される。

注記：HL7 V2.5より、OBR-26、OBR-26 に用いられるCMデータ型を置き換える。  
OBR-29—親番号とともに、現在のオーダに関連付けられている親結果のOBXセグメントを一意的に示す。  
使用上の注意：このデータ型は、OBR-26—親結果のみに適応でき、他のタイプの関連付け（例、毒物学）情報を利用できるようにするために使用される。この重要な情報はOBR-29-親の情報とともに、このオーダの親結果に関連づけられているOBXセグメントを一意的に示す。この親結果のOBXセグメントの値は、このセット検査が対象とする微生物あるいは化学分類である。例えば、現在のセット検査が抗菌物質感受性検査であった場合、親検査として特定されたOBXは感受性検査が行われた微生物を特定する結果を保持している。この間接リンクの方法がより望ましいのは、親結果の微生物の名前は、最終確定に先立っていくつかの予備値を経ることがあるからである。

このフィールドは親の結果フィールドの全てを保持するわけではない点が重要である。このフィールドは微生物や化学副分類を特定するテキストの名前だけを意図している。このフィールドは、曖昧性のない検査IDや副IDを生成できないシステムに親結果に逆リンクをたどる手段を提供するためだけに加えられたものである。

このフィールドはOBR-29-親によって親結果が特定され、その親が多数の結果のそれぞれに対し子オーダを発生される場合のみ提示される。このリンクについての詳細は7章を参照のこと。

最大長：755

**第1成分 Parent Observation Identifier 親検査識別子 (CE)**

親結果のOBX-3で示される親検査の一意的な識別子を含む。この値はその親のOBX-3と同じである。

**第2成分 Parent Observation Sub-identifier 親検査副識別子 (ST)**

親結果のOBX-4で示される親検査の副識別子を含む。この値はその親のOBX-4と同じである。

### 第3成分 Parent Observation Value Descriptor 親検査の値の記述 (TX)

親結果のOBX-5で示される親検査の値の記述を含む。例えば、この3番目の成分は親結果で示された微生物の名前を直接記録するのに用いられる。

## PT 処理タイプ

HL7成分表—PT—Processing Type 処理タイプ

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	1	ID	O	0103	Processing ID 処理ID
2	1	ID	O	0207	Processing Mode 処理モード

このデータ型は、HL7アプリケーション（第7層）処理規則において定義したとおり、メッセージの処理方法を示す。

最大長：3

#### 第1成分 Processing ID 処理ID (ID)

メッセージが本番系、訓練系、デバッグ系かどうかを示す値。有効な値については「HL7表0103—処理ID」を参照のこと。

HL7表0103—Processing Type 処理ID

Value	Description
D	Debugging デバッグ系
P	Production 本番系
T	Training 訓練系

#### 第2成分 Processing Mode 処理モード (ID)

メッセージが初期ロードかアーカイブ処理かを示す値。有効な値については「HL7表0207—処理モード」を参照のこと。

HL7表0207—Processing Mode 処理モード

Value	Description
A	Archive アーカイブ
R	Restore from archive アーカイブからのリストア
I	Initial load 初期ロード
T	Current processing, transmitted at intervals (scheduled or on demand) 現在処理中、間隔を空けて送信（スケジュールまたは要求毎）
(値なし)	Not present (the default, meaning <i>current</i> processing) 提示されない（デフォルト、現在処理中を意味する）

## PTA 保険タイプおよび金額

HL7成分表—PTA—Policy Type and Amount 保険タイプおよび金額

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	5	IS	R	0147	Policy Type 保険タイプ
2	9	IS	O	0193	Amount Class 金額クラス
3	16	NM	B		Money or Percentage Quantity 金額または百分率の数字 HL7 V2.5 より非推奨
4	23	MOP	R		Money or Percentage 金額または百分率

このデータ型は保険タイプとその保険によりまかなわれる額を示す。

最大長：56

注記：HL7 V2.5より、6.5.7.29節のIN2-29で用いられるCMデータ型を置き換える。

#### 第1成分 Policy Type 保険タイプ (IS)

保険のタイプを示す。

推奨値については「使用者定義表0147—保険タイプ」を参照のこと。

使用者定義表0147—Policy Type 保険タイプ

Value	Description	Comments
ANC	Ancillary 補助保険	
2ANC	Second ancillary 2番目の補助保険	
MMD	Major medical 主医療保険	
2MMD	Second major medical 2番目の主医療保険	

Value	Description	Comments
3MMD	Third major medical 3番目の主医療保険	

## 第2成分 Amount Class 金額クラス (IS)

金額のクラスを示す。

推奨値については「使用者定義表 0193—金額クラス」を参照のこと。

### 使用者定義表0193—Amount Class 金額クラス

Value	Description	Comments
AT	Amount 金額	HL7 V2.5 より下位互換性のためだけに保持されている
LM	Limit 上限	
PC	Percentage 百分率	HL7 V2.5 より下位互換性のためだけに保持されている
UL	Unlimited 無制限	

## 第3成分 Money or Percentage Quantity 金額または百分率の数字 (NM)

通貨または百分率の数字を示す。

HL7 V2.5 より下位互換性のためだけに保持されている。替わりに PTA.4 を参照のこと。

## 第4成分 Money or Percentage 金額または百分率 (MOP)

通貨またはパーセンテージで額を表す。

## QIP 照会入力パラメータリスト

### HL7成分表—QIP—Query Input Parameter List 照会入力パラメータリスト

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	12	ST	R		Segment Field Name セグメントフィールド名
2	199	ST	R		Values 値...

このデータ型は照会処理系に渡されるセグメントフィールド名と値のリストを含む。

最大長：212

例：

|@PID.5.1^EVANS|

### 第1成分 Segment Field Name セグメントフィールド名 (ST)

セグメントフィールド名を含む。

名前付けの慣例：

セグメントフィールド名は「@」記号を先頭につけた HL7 セグメント ID とそれに続くピリオドで区切られたフィールドの連番で示される。セグメント ID と通し番号の定義については、2.5.2 節「セグメントおよびセグメントグループ」および 2.5.3.1 節「位置」（セグメント内の連番）を参照。フィールドが成分に分割されている場合は、セグメントフィールド名の表記の接尾辞に「nn」がつき、特定の成分を示す（接尾辞の「.3」はフィールドの3つめの成分を示す）；それ以外の場合はフィールド全体と見なされる。フィールドがさらに副成分に分割されている場合は、セグメントフィールド名の接尾辞は「nn.mm」となり、要求された成分と副成分を相対位置で示す。

注記：MSH-2 符号化文字で定義されているデリミタのひとつとして用いられている場合、この文字は「エスケープされる」必要がある。2.7.1 節—フォーマット文字を参照のこと。

### 第2成分 Values 値 (ST)

この成分はフィールドの値（単数または複数）を「値1&値2&値3...」の形式で含む。

一つの値だけを持つパラメータは、第2の成分に1つだけ副成分を持つので副成分のデリミタは必要ない（すなわち<セグメントフィールド名>^<値>）。値の単純なリスト（すなわち一次元の配列）が、副成分デリミタで分割するかわりに送られることがある。（すなわち、<フィールド名>^<値1&値2&...>）。

## QSC 照会选择基準

### HL7成分表—QSC—Query Selection Criteria 照会选择基準

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	12	ST	R		Segment Field Name セグメントフィールド名
2	2	ID	O	0209	Relational Operator 関係演算子
3	199	ST	O		Value 値
4	3	ID	O	0210	Relational Conjunction 関係結合子

このフィールドは、照会の応答で返されるべき行を限定する条件を示す。このフィールドは、この照会と等価なSQL表現の「WHERE」節と同じ情報を伝えるが、書式は異なっていること



に注意。  
 最大長:219  
 例：

|@PID.5.1^EQ^EVANS|

### 第1成分 Segment Field Name セグメントフィールド名 (ST)

条件指定子（通常は「キー」として関わっているフィールドの名前。セグメントフィールド名の慣例については、2.A.59.1節「セグメントフィールド名(ST)」を参照のこと。

### 第2成分 Relational Operator 関係演算子 (ID)

有効な値については「HL7表0209—関係演算子」を参照のこと。

HL7表0209—Relational Operator 関係演算子

Relational operator	Value
EQ	Equal 等しい
NE	Not Equal 等しくない
LT	Less than より小さい
GT	Greater than より大きい
LE	Less than or equal 以下
GE	Greater than or equal 以上
CT	Contains 包含
GN	Generic 一般

### 第3成分 Value 値 (ST)

フィールドと比較する値。

### 第4成分 Relational Conjunction 関係結合子 (ID)

有効な値については「HL7表0210—関係結合子」を参照のこと。関係結合子は次のように定義される。条件に合った行を選択するために2つ以上の比較がなされる場合、結合子はこれらのフィールドを次のフィールドと関連づける。

HL7表0210—Relational Conjunction 関係結合子

Relational conjunction	Note
AND	デフォルト
OR	

- ・文字列に適用されたとき関係演算子LT、GT、LEおよびGEはアルファベット比較を意味する。
- ・「あいまい」比較は、指定されたフィールドの先頭が選択文字列と一致する場合、そのレコードを応答に含める。
- ・演算子に繰り返しのフィールドが指定された場合、そのフィールドの条件に合致する個体は全て、応答に含める行とする。
- ・ANDはORに優先する。さらに複雑な優先度の規則は、埋め込みの照会言語やストアプロシジャの照会メッセージで表現される(5章を参照)。

## RCD 行列定義

HL7成分表—RCD—Row Column Definition 行列定義

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	12	ST	O		Segment Field Name セグメントフィールド名
2	3	ID	O	0440	HL7 Data Type HL7 データ型
3	2	NM	O		Maximum Column Width 列の最大長

このデータ型は、セグメントのフィールド名、データ型、および最大長の観点から列の書式を指定する。

最大長：19

例：これはPID-5の「姓」成分をST型として最大長20で持つ列を示す。

|@PID.5.1^ST^20|

### 第1成分 Segment Field Name セグメントフィールド名 (ST)

列にあてはめるHL7セグメントフィールド名。そのセグメントフィールド名の慣例については、2.A.59.1節「セグメントフィールド名(ST)」を参照のこと。

### 第2成分 HL7 Data Type HL7 データ型 (ID)

2文字または3文字のHL7データ型。有効な値については2.16節の「HL7表0440—データ型」を参照のこと。

### 第3成分 Maximum Column Width 列の最大長 (NM)

応答システムが要求する列の最大長。これはHL7定義の最大フィールド長と異なってもよい。

## RFR 基準範囲

HL7成分表—RFR—Reference Range 基準範囲

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	33	NR	R		Numeric Range 数値範囲
2	8	IS	O	0001	Administrative Sex 管理上の性別
3	33	NR	O		Age Range 年齢範囲
4	33	NR	O		Gestational Age Range 妊娠週数範囲
5	20	ST	O		Species 種
6	20	ST	O		Race/subspecies 人種/亜種
7	199	TX	O		Conditions 条件

基準範囲とその前提となる詳細を示す。

最大長：352

注記：HL7 V2.5より、8.8.4.6節のOM2-6、8.8.4.7節のOM2-7、8.8.4.8節のOM2-8で用いられるCMデータ型を置き換える。

例：

アルブミンのように、無条件に適応される範囲を送信する形式：

|3.0&5.5|

Hgb（血色素量）のように、性に依存する正常値範囲を送信する形式：

|13.5&18^M~12.0 & 16^F|

年齢、性および人種に依存する（例示のために作り上げた）正常値範囲：

|10&13^M^0&2^^B11&13.5^M^2&20^^B~12&14.5^M^20&70^^B~13&16.0^M^70&^^B|

特定の成分に値がひとつも設定されなかった場合、指定された範囲は、その成分に属する全ての範疇に当てはまる。例えば、人種/種に何も指定されなかった場合、範囲は人種に関わりなく、人間に共通の範囲として解釈するべきである。年齢範囲が指定されなかった場合は、与えられた正常値範囲は全ての年齢に当てはまると見なされる。

### 第1成分 Numeric Range 数値範囲 (NR)

この成分は基準データの数値の範囲を示す。範囲は閉区間（両端を含む範囲）と解釈される。単位は文脈依存であり、このデータ型が用いられるフィールドの使用上の注意にて定義される。

### 第2成分 Administrative Sex 管理上の性別 (IS)

この成分は数値範囲が有効である性別を示す。推奨値については、「使用者定義表 0001—管理上の性別」を参照。

使用者定義表0001—Administrative Sex 管理上の性別

Value	Description
F	Female 女性
M	Male 男性
O	Other その他
U	Unknown 未知
A	Ambiguous 両性具有
N	Not applicable 適応外

### 第3成分 Age Range 年齢範囲 (NR)

この成分は数値範囲が有効である年齢の範囲を示す。1年に満たない年齢は小数で表すべきである（すなわち 1月 = 0.0830、1週 = 0.01920、1日 = 0.0027300）。しかしながら、幼児を含めた多くの用途で妊娠週数（週で計算する）が好まれている。範囲の下限が示されず、上限が示されている場合は、端点は複数の範囲に入ることなく、重複がないものとして扱う。

### 第4成分 Gestational Age Range 妊娠週数範囲 (NR)

この成分は基準範囲が有効な妊娠週数の範囲を示す。妊娠週数は基準範囲が妊娠の期によって影響される場合のみ適切である。妊娠週数は受胎からの週数で計算する。例えば|1&4|は正常値が1週から4週の両端を含む範囲に適用されることを示す。範囲の下限が示されず、上限が示されている場合は、端点は複数の範囲に入ることなく、重

複がないものとして扱う。

### 第5成分 Species 種 (ST)

この成分は基準範囲が有効な種を示す。特に明記されない場合、人間を示していると思なされる。例としては、ウサギ、ネズミおよびラットがあげられる。

### 第6成分 Race/Subspecies 人種/亜種 (ST)

この成分は基準範囲が有効な人種または亜種を示す。人間（デフォルトの種）の場合、人種が基準値に影響する場合に人種が示される。動物の正常値範囲が記述されたときは、この成分は動物の亜種または血統を示すのに用いることができる。

### 第7成分 Conditions 条件 (TX)

この成分は基準値が有効となるあらゆる任意の条件を示す。これは月経周期の期や、特定の薬剤を服用時のような条件を含む。この成分は特別な条件での正常値範囲を伝達するために提供されている。このテキストでの条件は自動チェックの対象にすることはできない。

## RI 繰り返し間隔

HL7成分表—Repeat Interval RI 繰り返し間隔

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	6	IS	O	0335	Repeat Pattern 繰り返しパターン
2	199	ST	O		Explicit Time Interval 明示的な時間間隔

繰り返しサービスの間隔を含む。

最大長：206

注記：繰り返し時間間隔を定義する上でより厳密な枠組みを提供するRPTデータ型を参照のこと。

### 第1成分 Repeat Pattern 繰り返しパターン (IS)

医療行為が行われる繰り返し頻度。オーダエン트리システムで用いられる頻度や、SIG コードに似ている。推奨値については「使用者定義表 0335—繰り返しパターン」を参照のこと。

使用者定義表0335—Repeat Pattern 繰り返しパターン

Value	Description	Comments
Q<整数>S	every <integer> seconds <整数>秒ごと	
Q<整数>>M	every <integer> minutes <整数>分ごと	
Q<整数>H	every <integer> hours <整数>時間ごと	
Q<整数>D	every <integer> days <整数>日ごと	
Q<整数>W	every <integer> weeks <整数>週ごと	
Q<整数>L	every <integer> months (Lunar cycle) <整数>月 (月周期) ごと	
Q<整数>J<日番号>	repeats on a particular day of the week, 週の特定の曜日に繰り返す	フランス語の Jour (日) より。<整数>がないとき繰り返し頻度は1と思なされる。<日番号>は1=月曜日から7=日曜日までである。したがって、Q2J2は2週に1度の火曜日ごととなり；Q1J6は毎日曜日となる。
BID	twice a day at institution-specified times 日に2回、施設で定められた時刻	(例、9AM-4PM)
TID	three times a day at institution-specified times 日に3回、施設で定められた時刻	(例、9AM-4PM-9PM)
QID	four times a day at institution-specified times 日に4回、施設で定められた時刻	(例、9AM-11AM-4PM-9PM)
xID	“X” times per day at institution-specified times, where X is a numeral 5 or greater. 日にX回、施設で定められた時刻で、Xは数字の5より大きい	(例、5ID=日に5回；8ID=日に8回)
QAM	in the morning at institution-specified time 朝の施設で定められた時間に	
QSHIFT	during each of three eight-hour shifts at institution-specified times 8時間に3回のシフトで1回ずつ施設にて定められた時間に	
QOD	every other day 1日おきに	(same as Q2D) (Q2Dと同じ)
QHS	every day before the hour of sleep 毎日就寝時間の前に	

Value	Description	Comments
QPM	in the evening at institution-specified time 夕の施設で決められて時間に	
C	service is provided continuously between start time and stop time サービスは開始時刻から終了時刻まで連続的に提供される	
U <指定>	for future use, where <spec> is an interval specification as defined by the UNIX cron specification. 将来の使用のため、<指定>は UNIX の cron 仕様で定義された繰り返しの指定	
PRN PRNxxx	given as needed 必要に応じて where xxx is some frequency code xxx はある繰り返しコード	(例、PRNQ6H) ; 頻度の間隔で必要に応じて
Once 食事に関連した タイミング	one time only. 一回のみ <timing>C (“cum”) <meal> <タイミング>C (“cum”) <食事>	これもこの成分が null の時のデフォルト
A	Ante (before) 前	
P	Post (after) 後	
I	Inter 間	(例、前後の食事の間、夕食と終身の間)
M	Cibus Matutinus (breakfast) 朝食	
D	Cibus Diurnus (lunch) 昼食	
V	Cibus Vespertinus (dinner) 夕食	

最初の成分は、空白文字で区切られた繰り返し値を伴って繰り返す場合がある。繰り返しは論理ANDで結合されていると解釈される。

例：

日に2度、1日おき：BID QOD

日に3度、毎月、水、金曜日：TID QJ135

この文法により、繰り返し値は空白を含んではならない。

## 第2成分 Explicit Time Interval 明示的時間間隔 (ST)

この成分は第1成分で参照される実際の時刻を HHMM、HHMM、HHMM…の形式で、明示的に列挙する。この成分は、施設内で実際の時刻に違いがある場合に、第1成分を明確化するために用いられる。オーダの時間が1日を超える場合、オーダされている各日で同じ時刻に行為が実施されるときのみこの成分が有用である。量/タイミングフィールドの第4成分で指定される実際のオーダの開始時刻が、この成分で明示される最初の時刻より後の場合、そのオーダの行為は、開始時刻より後の最初の明示された時刻に実施することとなる。患者が別の明示された時刻の集合を持つ場所に移動した場合、既存のオーダは、変更後の明示的な時刻を示すように新しい量・タイミングフィールドが更新されることがある。

例：

量/タイミングフィールドの第2成分：

|QID^0230,0830,1430,2030|

## RMC 病室填補範囲

HL7成分表—RMC—Room Coverage 病室填補範囲

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	IS	R	0145	Room Type 病室タイプ
2	20	IS	O	0146	Amount Type 金額タイプ
3	16	NM	B		Coverage Amount 填補額
4	23	MOP	R		Money or Percentage 金額または百分率

このデータ型は保険による病室の填補範囲の詳細を示す。

最大長：82

注記：HL7 V2.5より、6.5.7.28節の IN2-28に用いられるCMデータ型を置き換える。

### 第1成分 Room Type 病室タイプ (IS)

病室タイプを示す。

推奨値については「使用者定義表 0145—病室タイプ」を参照のこと。

使用者定義表0145—Room Type 病室タイプ

Value	Description	Comments
PRI	Private room 個室	

Value	Description	Comments
2PRI	Second private room 2番目の個室	
SPR	Semi-private room 準個室	
2SPR	Second semi-private room 2番目の準個室	
ICU	Intensive care unit 集中治療室	
2ICU	Second intensive care unit 2番目の集中治療室	

## 第2成分 Amount Type 金額タイプ (IS)

金額の数字のタイプを示す。

推奨値については「使用者定義表 0146—金額タイプ」を参照のこと。

### 使用者定義表0146—Amount Type 金額タイプ

Value	Description	Comments
DF	Differential 差額	
LM	Limit 上限	
PC	Percentage 百分率	HL7 V2.5 より、下位互換性のためだけに保持される。
RT	Rate 率	
UL	Unlimited 無制限	

## 第3成分 Coverage Amount Quantity 填補額 (NM)

通貨または百分率の数字で保険にて填補される額を示す。

HL7 V2.5 より下位互換性のためだけに保持されている。2.9.69.4 節—第4成分—金額またはパーセンテージを参照。

## 第4成分 Money or Percentage 金額または百分率 (MOP)

通貨または百分率で額を示す。

## RP 参照ポインタ

### HL7成分表—RP—Reference Pointer 参照ポインタ

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	15	ST	O		Pointer ポインタ
2	227	HD	O		Application ID アプリケーションID
3	9	ID	O	0191	Type of Data データの型
4	19	ID	O	0291	Subtype サブタイプ

このデータ型は別のシステムに保存されているデータについての情報を伝送する。このデータ型には、他のシステムのデータを一意的に特定する参照ポインタ、他のシステムの識別子、およびデータのタイプが含まれる。

最大長：273

### 第1成分 Pointer ポインタ (ST)

データを保存するシステムが割り当てる一意なキー。そのキーは ST データ型であり、データを特定しアクセスする。

### 第2成分 Application ID アプリケーションID (HD)

データを格納しているシステムの一意的な識別子。HD データ型 (2.A.33 節「HD- 階層的指定子」を参照のこと) である。アプリケーションID は、特定の HL7 の実装の中では一意的でなければならない。

### 第3成分 Type of Data データの型 (ID)

データの一般的なタイプを示す ID データ型。有効な値については「HL7 表 0191—参照されるデータの型」を参照のこと。

### HL7表0191 — Type of reference data 参照されるデータの型

Value	Description	Comments
AP	Other application data, typically uninterpreted binary data (HL7 V2.3 and later) 他のアプリケーションのデータ、特に翻訳されないバイナリデータ (HL7 V2.3 以降)	
AU	Audio data (HL7 V2.3 and later) 音声データ (HL7 V2.3 以降)	
FT	Formatted text (HL7 V2.2 only) 整形済みテキスト (HL7 V2.2 のみ)	本規約では使用不可
IM	Image data (HL7 V2.3 and later) 画像データ (HL7 V2.3 以降)	
multipart	MIME multipart package MIME マルチパートパッケージ	
NS	Non-scanned image (HL7 V2.2 only) スキャン以外の画像 (HL7 V2.2 のみ)	本規約では使用不可
SD	Scanned document (HL7 V2.2 only) スキャンされた文書 (HL7 V2.2 のみ)	本規約では使用不可
SI	Scanned image (HL7 V2.2 only) スキャン画像 (HL7 V2.2 のみ)	本規約では使用不可

Value	Description	Comments
TEXT	Machine readable text document (HL7 V2.3.1 and later) 機械可読のテキスト文書 (HL7 V2.3.1 以降)	
TX	Machine readable text document (HL7 V2.2 only) 機械可読のテキスト文書 (HL7 V2.2 のみ)	本規約では使用不可

#### 第4成分 Subtype サブタイプ (ID)

副成分<メインタイプ>のデータの形式を宣言する ID データ型。推奨値は「HL7 表 0291—参照データのサブタイプ」を参照のこと。

HL7表0291—Subtype of referenced data 参照データのサブタイプ

Value	Description	Comments
BASIC	ISDN PCM audio data ISDN PCM 音声データ	
DICOM	Digital Imaging and Communications in Medicine DICOM データ	
FAX	Facsimile data FAX データ	
GIF	Graphics Interchange Format GIF データ	
HTML	Hypertext Markup Language HTML データ	
JOT	Electronic ink data (Jot 1.0 standard) 電子インクデータ (Jot 1.0 標準)	
JPEG	Joint Photographic Experts Group JPEG データ	
Octet-stream	Uninterpreted binary data 翻訳されないバイナリデータ	
PICT	PICT format image data PICT 形式画像データ	
PostScript	PostScript program PostScript プログラム	
RTF	Rich Text Format リッチテキストフォーマット	
SGML	Standard Generalized Markup Language (HL7 V2.3.1 and later) SGML データ (HL7 V2.3.1 以降)	
TIFF	TIFF image data TIFF 画像データ	
x-hl7-cdalevel-one	HL7 Clinical Document Architecture Level One document HL7 CDA Level One 文書	
XML	Extensible Markup Language (HL7 V2.3.1 and later) XML データ (HL7 V2.3.1 以降)	

#### Type-subtype Combinations タイプ、サブタイプの組み合わせ

指定可能なサブタイプはデータのタイプ（以下「メインタイプ」と呼ぶ）によって定まり（原則的には同じサブタイプを複数のメインタイプに対して用いることが可能である）メインタイプの元でサブタイプについて定義されている。

サブタイプをこの標準に対して追加することが可能である。さらに、協力する関係者の間の合意で、非公式の標準でないサブタイプを定義することもできる。全ての非公式の標準ではないサブタイプは文字 Z からはじめ、標準のサブタイプと識別すべきである。

#### 画像サブタイプ

TIFF = TIFF 画像データ

TIFF(Tagged Image File Format)は、スキャンされた画像の普及した形式のひとつである。その最初のバージョンは、1986年にAldus Corporationにより、スキャンされた画像の符号化の標準として開発された。TIFF標準の正式版は、現在Adobe Corporationによって管理されている。TIFF形式は、以下の文書で仕様が決めている：  
"TIFF, Revision 6.0" Adobe Systems Incorporated, 1585 Charleston Road, P.O. Box 7900, Mountain View, CA 94039-7900. (415) 961-4400

サブタイプ「TIFF」は、それに関わる商標と全ての権利の認識を含む。

PICT = PICT 形式画像データ

PICTは、スキャンされた画像の普及した形式のひとつである。PICTは、Apple Computer, Inc. Cupertino, Californiaによって開発されたグラフィックス形式である。PICT形式は、公式には以下の文書集で定義されている：  
"Inside Macintosh," published by Addison-Wesley Publishing Company, Reading, Massachusetts.

DICOM = the Digital Imaging and Communications in Medicine (DICOM) 標準

DICOMは、生物医学画像と附属情報の交換のための国際標準形式である。NEMA PS3として標準化され、インターネット上で(<https://www.dicomstandard.org>)から無料で利用できる。The DICOM Standards Committeeの住所は以下の通り：  
c/o Medical Imaging & Technology Alliance (MITA)

1300 North 17th Street, Suite 900 Arlington, VA 22209, USA

DICOM は、実際の画像の転送と共に、アプリケーション間で画像関連情報の双方向交換を行う一般的なメッセージサービスの完全な情報交換標準の仕様を定めている。HL7 においては、DICOM データの使用は画像のみに限られている。

このサブタイプの画像は、DICOM Part 10、Media Storage and File Format(NEMA PS3.10)に定められている、the Generic DICOM File Format に従って符号化する必要がある。これは、the Image Information Object Definitions of DICOM Part 3(NEMA PS3.3)、Data Structure and Semantics of DICOM Part 5 (NEMA PS3.5)および the Data Dictionary of DICOM Part 6 (NEMA PS3.6)に従う。

The Generic DICOM File Format は2つの部分からなる：DICOM File Meta Information Header とその直後に続く DICOM Data Set である。DICOM Data Set はひとつまたは複数の DICOM Part 10 に準拠した仕様の画像を含む。DICOM File Meta Information Header は、他の情報とともに DICOM Part 5 に準拠して Data Set の符号化を完全に指定する Transfer Syntax UID (一意的な識別子)を含んでいる。この符号化は、JPEG(Joint Photographics Experts Group)標準 (ISO/IS 10918-1 および 10918-2) による画像圧縮だけではなく、ビッグエンディアンとリトルエンディアンの順序を定めている。File Meta Information Header 自体の伝送規則は DICOM Part 10 で必須であるリトルエンディアンとなっている。

FAX = FAX データ

FAX データは CCITT 標準 F1.60、F1.80、F1.82、および F1.84 で明記されている。

Jot = Jot 1.0 Standard で定められた電子インクデータ

Slate Corporation、Microsoft、Apple、Lotus、GO、および General Magic により共同提案された JOT 標準は、手書きのメモ、スケッチ、署名およびその他の自由形式で書かれたデータを送信可能とする。これは、スタイラス入力タブレットを備えた携帯型ペンコンピュータやワークステーションが表示や情報交換に用いる標準である。この標準は、電子インクを一連のスタイラスの一笔で表現し、そのため、他の画像表現に変換すると失われる、事後の自動手書き認識用に必要な情報を保持している。しかしながら印刷や表示のためには別の画像表現に容易に変換できる。

JOT 1.0 標準は以下で入手できる：Software Publishers Association, 1730 M Street Northwest, Suite 700 Washington, DC 20036-4510, (202) 452-1600

## 音声サブタイプ

basic = ISDN PCM 音声データ

CCITT Fascicle III.4、Recommendation G.711 準拠の 8 kHz サンプリングされた 8 ビット ISDN mu-law パルスコード変調の電話品質音声データ。このサブタイプは口述筆記および音声メールメッセージに使われる。

## アプリケーションサブタイプ

octet-stream = 解釈されないバイナリデータ

このサブタイプは、2.A.65.3 節「データのタイプ(ID)」であげられた他の標準形式のどれでもないバイナリデータ用である。このデータを利用するシステムでの解釈は送信側と受信側が相互に合意しなければならない。

PostScript = PostScript プログラム

PostScript 言語プログラムは一般的に PostScript プリンターでの印刷、または PostScript インタプリタを介してコンピュータ画面に表示するための、整形済み文書を記述する。

PostScript は、“PostScript Language Reference Manual,” Addison-Wesley, 1985 に記述されたオリジナルの仕様 PostScript level 1 と “PostScript Language Reference Manual,” Addison-Wesley, Second Edition, 1990 に記述された、より進んだ拡張型 PostScript level 2 からなる。

PostScript は、Adobe Systems, Inc の商標である。サブタイプ“PostScript”の使用は、その商標とすべての権利の認識を意味する。

その他のタイプも必要に応じて追加することができる。

例：

| 1234A321634BC ^ EFC ^ SD |

## RPT 繰り返しパターン

HL7成分表—RPT—Repeat Pattern 繰り返しパターン

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	705	CWE	R	0335	Repeat Pattern Code 繰り返しパターンコード
2	2	ID	O	0527	Calendar Alignment カレンダー上の位置
3	10	NM	O		Phase Range Begin Value フェーズ範囲開始値
4	10	NM	O		Phase Range End Value フェーズ範囲終了値
5	10	NM	O		Period Quantity 期間数量
6	10	IS	C		Period Units 期間単位
7	1	ID	O	0136	Institution Specified Time 施設設定の時刻
8	6	ID	O	0528	Event イベント
9	10	NM	O		Event Offset Quantity イベントオフセット数量
10	10	IS	C		Event Offset Units イベントオフセット単位
11	199	GTS	O		General Timing Specification 汎用タイミング指定

繰り返しパターンデータ型はイベントが発生する頻度を定義する必要がある場所に用いられるものである。このデータ型は繰り返しパターンを「稼動中」に定義する方法を提供する。繰り返しパターンコードはTQデータ型の第2成分、第1副成分（繰り返しパターン）と等価である。追加の成分が繰り返しパターンコードの意味を定義する。第2から第10成分は比較的単純な繰り返しパターンを定義するために用いられる。第11成分は複雑な繰り返しパターンを定義するために提供されている。このデータ型の形式は量/タイミングからのHL7 V2.xの繰り返しパターンとHL7 V3.0のGTS汎用タイミング指定との橋渡しを形成する。第1成分はVer.2.xの繰り返し概念である。第2成分～第7成分はVer.3.0のPIVLデータ型を取り入れたものである。第8成分～第10成分はVer.3.0のEIVLデータ型を取り入れたものである。繰り返しパターンが第2成分～第10成分を用いて定義できない場合には、第11成分の汎用タイミング指定が提供されている。これによりVer.3.0のGTSデータ型を完全な形で正確に表現できる。

RPTデータ型を用いるとき、第1成分をアプリケーションが認識できなかった場合、そのアプリケーションは残りの成分を用いて適切な頻度を決定することを試みる。アプリケーションが第1成分のコードを認識できた場合は、そのアプリケーションは残りの成分から頻度を決定することは必須ではない。

最大長：984

ユースケース：この提案を支持するユースケースは、オーダの発効するとき、稼動中に繰り返しパターンを定義する必要性である。TQデータ型は稼動中に繰り返しパターンの意味を定義する能力を持たない。この問題を回避するために、ベンダはこの問題点を解決する様々な解決法を実装してきた。ひとつの方法はTQデータ型に繰り返しパターンの情報を送信するZ成分を追加することであった。もうひとつの解決法は、繰り返しパターンコードを構文解析し、コードの意味するところを解説しようとする試みであった。

例：

```
[Q1H&Every 1 Hour&HL7xxx^^^^1^h|
|Q2J2&Every second Tuesday&HL7xxx^DW^2^^2^wk|
|BID&Twice a day at institution specified times&HL7xxx^^^^12^h^Y|
|QAM&Every morning at the institution specified time&HL7xxx^HD^00^11^1^d^Y|
|QHS&Every day before the hours of sleep&HL7xxx^^^^1^d^^AHS|
|ACM&Before Breakfast&HL7xxx^^^^^^^ACM|
```

### 第1成分 Repeat Pattern Code 繰り返しパターンコード (CWE)

このデータ型の他の成分で定義される繰り返しパターンを表すコード。推奨値は「使用者定義表 0335—繰り返しパターン」を参照のこと。

### 第2成分 Calendar Alignment カレンダー上の位置 (ID)

カレンダーに対する繰り返しの位置を指定する（例えば、30日ごとと、毎月の5日を区別する）。有効な値については「HL7表 0527—カレンダー上の位置」を参照のこと。



HL7表0527—Calendar Alignment カレンダー上の位置

Value	Description	Units of Time
MY	month of the year 年の月	mo
WY	week of the year 年の週	wk
DM	day of the month 月の日	d
DY	day of the year 年の日	d
DW	day of the week (begins with Monday) 曜日 (月曜からはじまる)	d
HD	hour of the day 日の時	h
NH	minute of the hour 時の分	min
SN	second of the minute 分の秒	s

注記：HL7 表 0527 の単位は測定単位の統一コード(UCUM) [<http://aurora.rg.iupui.edu/UCUM>]から取った。

### 第3成分 Phase Range Begin Value フェーズ範囲開始値 (NM)

カレンダー上の位置で決まる繰り返しパターンについて特定の RPT-2 (カレンダー上の位置) からフェーズの開始までの時間の数値を決めるのに用いる。

フェーズ範囲開始値が値を持つが、フェーズ範囲終了値が値を持たない場合は、この成分は期間 (RPT-5、6) がいつ始まるかを示す。

フェーズ範囲開始値とフェーズ範囲終了値の両方が値を持つ場合、この成分は期間 (RPT-5、6) が始まる最も早い時点を示す。

この成分の測定単位は RPT-2 のカレンダー上の位置から得られる。特定のカレンダー上の位置に関連付けられている時間を計る単位については「HL7 表 0527—カレンダー上の位置」を参照。

### 第4成分 Phase Range End Value フェーズ範囲終了値 (NM)

カレンダー上の位置で決まる繰り返しパターンについて特定の RPT-2 (カレンダー上の位置) からフェーズの終了までの時間の数値を決めるのに用いる。

フェーズ範囲終了値が値を持つが、フェーズ範囲開始値が値を持たない場合は、この成分は期間 (RPT-5、6) がいつ始まるかを示す。

フェーズ範囲開始値とフェーズ範囲終了値の両方が値を持つ場合、この成分は期間 (RPT-5、6) が始まる最も遅い時点を示す。

この成分の測定単位は RPT-2 のカレンダー上の位置から得られる。特定のカレンダー上の位置に関連付けられている時間を計る単位については「HL7 表 0527—カレンダー上の位置」を参照。

### 第5成分 Period Quantity 期間数量 (NM)

周期的な間隔の繰り返しの頻度を指定する時間の長さ。RPT-6 (期間単位) がこの成分の時間の単位を示す。

### 第6成分 Period Units 期間単位 (IS)

RPT-5 (期間数量) に用いる単位を示す。時間の単位に限定される。測定単位は統一コード (UCUM) [<http://aurora.rg.iupui.edu/UCUM>]で定義されている。

条件規則：この成分は RPT-5 (期間数値) が設定された場合必須である。

### 第7成分 Institution Specified Time 施設設定の時刻 (ID)

正確なタイミングが、スケジュールを実行するスタッフによるか (例えば、「8時間ごと」と「一日3回」を区別するか) どうかを示すコード。有効な値については「HL7 表 0136 -はい/いいえの識別子」を参照のこと。

Y- 正確なタイミングはスケジュールを実行するスタッフによる。

N- 正確なタイミングは指定された通り。

### 第8成分 Event イベント (ID)

日常生活の通常 (定期的な) 活動に対するコード。有効な値については「HL7 表 0528—イベントに関係した期間」を参照のこと。

HL7表0528—Event related Period イベントに関係した期間

Value	Description
HS	the hour of sleep (e.g., H18-22) 就寝時 (例 H18-22)
AC	before meal (from lat. ante cibus) 食前 (ラテン語 ante cibus から)
PC	after meal (from lat. post cibus) 食後 (ラテン語 post cibus から)
IC	between meals (from lat. inter cibus) 食間 (ラテン語 inter cibus から)
ACM	before breakfast (from lat. ante cibus matutinus) 朝食前 (ラテン語 ante cibus matutinus から)
ACD	before lunch (from lat. ante cibus diurnus) 昼食前 (ラテン語 ante cibus diurnus から)
ACV	before dinner (from lat. ante cibus vespertinus) 夕食前 (ラテン語 ante cibus vespertinus から)
PCM	after breakfast (from lat. post cibus matutinus) 朝食後 (ラテン語 post cibus matutinus から)

Value	Description
PCD	after lunch (from lat. post cibus diurnus) 昼食後 (ラテン語 post cibus diurnus から)
PCV	after dinner (from lat. post cibus vespertinus) 夕食後 (ラテン語 post cibus diurnus から)
ICM	between breakfast and lunch 朝食と昼食の間
ICD	between lunch and dinner 昼食と夕食の間
ICV	between dinner and the hour of sleep 夕食と就寝の間

### 第9成分 Event Offset Quantity イベントオフセット数量 (NM)

イベントに関係した定期的な間隔の開始、幅および終了について、関係するイベントの各々が実際に起こる時間からのオフセットを示す間隔。正の数値は RPT-8 のイベントより後の時間の数値時刻を示す。負の数値は RPT-8 のイベントより前の時刻を示す。

使用上の注意：この成分は RPT-8 (イベント) が値を持たない限り設定すべきでない。

### 第10成分 Event Offset Units イベントオフセット単位 (IS)

RPT-9 (イベントオフセット数値) に用いられる単位を示す。時間の単位に制限される。測定単位は統一コード (UCUM) [<http://aurora.rg.iupui.edu/UCUM>] で定義されている。

条件規則：この成分は RPT-9 (イベントオフセット数値) が設定されている場合は必須となる。

### 第11成分 General Timing Specification 汎用タイミング指定 (GTS)

HL7 V3 データ型文書で定義されている汎用タイミング指定。

## SAD 通りの住所

HL7成分表—SAD—Street Address 通りの住所

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	120	ST	O		Street or Mailing Address 通りまたは集配単位の住所
2	50	ST	O		Street Name 通りの名称
3	12	ST	O		Dwelling Number 住居番号

このデータ型はある実体の通りの住所と関連する詳細を示す。

最大長：184

注記：XADデータ型でのみ現れる。

### 第1成分 Street or Mailing Address 通りまたは集配単位の住所 (ST)

この成分は個人または施設の通りまたは集配単位の住所を示す。施設を示すときには、この最初の成分は施設名を表す。個人に関して使用する場合、この成分は住所の最初の1行を表す。

### 第2成分 Street Name 通りの名称 (ST)

通りの名称。

### 第3成分 Dwelling Number 住居番号 (ST)

住居番号。

## SCV 予約クラスと値

HL7成分表—SCV—Scheduling Class Value Pair 予約クラスと値

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	CWE	O		Parameter Class パラメータクラス
2	20	ST	O		Parameter Value パラメータ値

HL7予約の章に関してのみ使用される。このフィールドが使用されるのは、パラメータと優先権を実施者 (予約管理) アプリケーションに伝えるためであり、内容は適切な時間予約枠、資源、場所あるいは実施者 (予約管理) 上書き基準を選択して予約することである。

最大長:41

### 第1成分 Parameter Class パラメータクラス (CWE)

実施者 (予約管理) アプリケーションに渡されつつあるパラメータあるいは優先権を識別するコードである。推奨値は「使用者定義表 0294—時間選択基準パラメータ・クラス・コード」を参照のこと。

使用者定義表0294—Time Selection Criteria Parameter Class Codes

時間選択基準パラメータ・クラス・コード

Parameter	Class Description: Valid Values
Prefstart 好ましい開始	予約要求、サービスあるいは資源のための好ましい開始時間。24 時間時計表記法を使用するフォーマット HHMM 中の任意の法的な時間仕様
Prefend 好ましい終了	予約要求、サービスあるいは資源のための好ましい終了期間。24 時間時計表記法を使用するフォーマット HHMM 中の任意の法的な時間仕様
Mon 月曜	この曜日が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。 OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
Tue 火曜	
Wed 水曜	
Thu 木曜	
Fri 金曜	
Sat 土曜	
Sun 日曜	

第 2 成分 Parameter Value パラメータ値 (ST)

そのパラメータに対する実際のデータ値である。

例えば、実施者（予約管理）アプリケーションが優先権パラメータを渡され、好ましい開始時間、好ましい終了期間、および週の好ましい日を指定して予約することを可能にする場合、それは次のパラメータ・クラス・コードおよび有効なデータセットを定義する。

SI 連番 ID

HL7成分表—SI—Sequence ID 連番ID

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	4				Sequence ID 連番ID

NMフィールド形式の非負整数。このフィールドの使用方法は、それが現れるセグメントとメッセージを定義している章で定義する。

最大長：4。これにより数字として0から9999を指定できる。

SN 構造化数値

HL7成分表—SN—Structured Numeric 構造化数値

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	2	ST	O		Comparator 比較演算子
2	15	NM	O		Num1 数字1
3	1	ST	O		Separator/Suffix 区切り/接尾語
4	15	NM	O		Num2 数字2

構造化数値データ型は、臨床検査結果の条件に基づき、曖昧なく表現するのに用いられる。受信側のシステムは、このデータ型の成分を別々に保存することが可能となり、数値によるデータベース照会が可能となる。信頼できる完全な値の組となるよう、対応する値は<比較演算子>と<区切り/接尾辞>成分を用いて表される。<比較演算子>および<セパレータ/接尾辞>に追加の値が必要な場合は、標準に加えるべくHL7に提案されるべきである。

<数字1>および<数字2>が値を持つ場合、<区切り/接尾辞>は必須である。セパレータが「-」である場合、その範囲は閉区間である：例えば、<数字1> - <数字2>は、<数字1> <= X <= <数字2>であるような一連の数値Xを示す。

最大長：36

第 1 成分 Comparator 比較演算子 (ST)

大なり、小なり、以上、以下、等しい、等しくないをそれぞれ「>」、「<」、「>=」、「<=」、「=」および「<>」で表す。この成分に値が設定されない場合は、デフォルトは「=」とみなす。

## 第2成分 Num1 数字1 (NM)

数字。

## 第3成分 Separator/Suffix セパレータ/接尾辞 (ST)

「-」、「+」、「.」または「:」。

例：

>^100	(100を超える)
^100^^200	(100から200間での範囲に等しい)
^1^:^228	(1対228の比、例えば血清学検査)
^2^+	(分類による返答、例、潜血陽性)

## 第4成分 Num2 数字2 (NM)

測定方法により数字またはnull。

## SPD 専門資格の記述

HL7成分表—SPD—Specialty Description 専門資格の記述

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	50	ST	R		Specialty Name 専門資格の名前
2	50	ST	O		Governing Board 統括団体
3	1	ID	O	0337	Eligible or Certified 適格または公認
4	8	DT	O		Date of Certification 公認日付

このデータ型は医療従事者の専門資格と関連する情報を示す。

最大長：112

注記：HL7 V2.5の15.4.5.5節のPRA-5に用いられているCMデータ型を置き換える。

### 第1成分 Specialty Name 専門資格の名前 (ST)

医療従事者の専門資格を示す。

### 第2成分 Governing Board 統括団体 (ST)

専門資格を与える統括団体を示す。

### 第3成分 Eligible or Certified 適格または公認 (ID)

公認の状態を示す。有効な値については「HL7表 0337—Certification Status」を参照。

HL7表0337—Certification Status 公認状態

Value	Description	Comments
C	Certified 公認	
E	Eligible 適格	

### 第4成分 Date of Certification 公認日付 (DT)

公認された日付を示す。

## SPS 検体採取場所

HL7成分表—SPS—Specimen Source 検体採取場所

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	705	CWE	O		Specimen Source Name or Code 検体採取場所の名前またはコード
2	705	CWE	O	0371	Additives 添加物
3	200	TX	O		Specimen Collection Method 検体採取方法
4	705	CWE	O	0163	Body Site 部位
5	705	CWE	O	0495	Site Modifier 部位修飾子
6	705	CWE	O		Collection Method Modifier Code 検体採取方法修飾子コード
7	705	CWE	O	0369	Specimen Role 検体の役割

このデータ型は検体を採取する部位またはサービスが実施されるべき場所を示す。

最大長：4436

注記：HL7 V2.5より、4.5.3.15節のOBR-15、7.4.1.15節のOBR-15、13.4.3.6節のSAC-6 および13.4.9.3節のTCC-3を置き換える。このデータ型はHL7 V2.5に限り下位互換性のために保持されている。4章で定義されているSPM セグメントを参照のこと。

### 第1成分 Specimen Source Name or Code 検体採取場所の名前またはコード (CWE)

検体採取場所の名前またはコード (CWE データ型成分として) を含む。(検査の名前自体が検体採取場所

を含む場合でも、検体採取場所は必須である。例、血液培養（心臓血）  
国家的に認知されたコード体系がこのフィールドに用いられる。このフィールドに対して有効なコードの出所として以下が含まれる：

- HL7 表 0487—検体タイプ（「HL7 表 0070—検体採取場所コード」を置き換える）
- SNOMED その他
- 獣医学では、その業界の決定により、このフィールドの成分にふさわしいコード表を選択するであろう

## 第2成分 Additives 添加物 (CWE)

検体に採取の前または採取時に導入される添加物を示す。有効な値については7章の「HL7 表 0371—添加物」を参照のこと。この表の値は NCCL（米国臨床検査標準化委員会）AUTO4 から取られている。値の集合はユーザ特有の値で拡張可能である。

HL7表0371—Additive/Preservative 添加剤防腐剤

Value	Description	Comments
F10	10% Formalin	Tissue preservative
C32	3.2% Citrate	Blue top tube
C38	3.8% Citrate	Blue top tube
HCL6	6N HCL	24 HR Urine Additive
ACDA	ACD Solution A	Yellow top tube
ACDB	ACD Solution B	Yellow top tube
ACET	Acetic Acid	Urine preservative
AMIES	Amies transport medium	Protozoa
HEPA	Ammonium heparin	Green top tube
BACTM	Bacterial Transport medium	Microbiological culture
BOR	Borate Boric Acid	24HR Urine Additive
BOUIN	Bouin's solution	Tissue
BF10	Buffered 10% formalin	Tissue
WEST	Buffered Citrate (Westergren Sedimentation Rate)	Black top tube
BSKM	Buffered skim milk	Viral isolation
CARS	Carson's Modified 10% formalin	Tissue
CARY	Cary Blair Medium	Stool Cultures
CHLTM	Chlamydia transport medium	Chlamydia culture
CTAD	CTAD (this should be spelled out if not universally understood)	Blue top tube
ENT	Enteric bacteria transport medium	Bacterial culture
ENT+	Enteric plus	Stool Cultures
JKM	Jones Kendrick Medium	Bordetella pertussis
KARN	Karnovsky's fixative	Tissue
LIA	Lithium iodoacetate	Gray top tube
HEPL	Lithium/Li Heparin	Green top tube
M4	M4	Microbiological culture
M4RT	M4-RT	Microbiological culture
M5	M5	Microbiological culture
MICHTM	Michel's transport medium	IF tests
MMDTM	MMD transport medium	Immunofluorescence
HNO3	Nitric Acid	Urine
NONE	None	Red or Pink top tube
PAGE	Pages's Saline	Acanthaoemba
PHENOL	Phenol	24 Hr Urine Additive
KOX	Potassium Oxalate	Gray top tube
EDTK	Potassium/K EDTA	Deprecated. Replaced by EDTK15 and EDTK75
EDTK15	Potassium/K EDTA 15%	Purple top tube
EDTK75	Potassium/K EDTA 7.5%	Purple top tube
PVA	PVA (polyvinylalcohol)	O&P
RLM	Reagan Lowe Medium	Bordetella pertussis cultures
SST	Serum Separator Tube (Polymer Gel)	'Tiger' Top tube
SILICA	Siliceous earth, 12 mg	Gray top tube
NAF	Sodium Fluoride	Gray top tube
FL100	Sodium Fluoride, 100mg	Urine
FL10	Sodium Fluoride, 10mg	Urine
NAPS	Sodium polyanethol sulfonate 0.35% in 0.85% sodium chloride	Yellow (Blood Culture)
HEPN	Sodium/Na Heparin	Green top tube
EDTN	Sodium/Na EDTA	Dark Blue top tube
SPS	SPS(this should be spelled out if not universally understood)	Anticoagulant w/o bacteriocidal properties
STUTM	Stuart transport medium	Bacterial culture
THROM	Thrombin	Orange or Grey/Yellow (STAT Chem)
FDP	Thrombin NIH; soybean trypsin inhibitor (Fibrin Degradation Products)	Dark Blue top tube
THYMOL	Thymol	24 Hr Urine Additive

THYO	Thyoglycollate broth	Bacterial Isolation
TOLU	Toluene	24 Hr Urine Additive
URETM	Ureaplasma transport medium	Ureaplasma culture
VIRTM	Viral Transport medium	Virus cultures

### 第3成分 Specimen Collection Method 検体採取方法 (TX)

この情報がオーダの一部である場合に、検体採取の方法を記述する。検体採取の方法が論理的に検査の結果である場合には、その情報は結果のセグメント（すなわち OBX セグメント）として含まれるべきである。

### 第4成分 Body Site 部位 (CWE)

この成分は検体を採取する体の部位を示す。国家的に認知されたコード体系をこのフィールドに用いる。このフィールドに対して有効なコードの出所としては以下が含まれる：

- HL7 表 0164—部位
- SNOMED

### 第5成分 Site Modifier 部位修飾子 (CWE)

部位を修飾する。例えば、部位が肘正中静脈で、部位修飾子が「右」のような場合がありうる。許される値については「HL7 表 0495 部位修飾子」を参照のこと。

### 第6成分 Collection Method Modifier Code 検体採取方法修飾子コード (CWE)

検体採取方法の一部として検体が冷凍されるかどうかを示す。推奨値は F（冷凍）、R（冷蔵）である。成分が空白の場合、検体は室温と見なされる。

### 第7成分 Specimen Role 検体の役割 (CWE)

検体の役割を示す。推奨値については「使用者定義表 0369—検体の役割」を参照のこと。これらの値は通常、システムにて識別可能で、検体に関するデータ管理の処理に影響を与えることができる。

使用者定義表0369—Specimen Role 検体の役割

Value	Description
B	Blind Sample 精度管理用ブラインド検体
C	Calibrator キャリブレーション, used for initial setting of calibration
E	Electronic QC 予測 QC 値, used with manufactured reference providing signals that simulate QC results
F	Specimen used for testing proficiency of the organization performing the testing (Filler) 検査室検体
G	Group (where a specimen consists of multiple individual elements that are not individually identified) 個別IDなし
L	Pool (aliquots of individual specimens combined to form a single specimen representing all of the components.) プール検体
O	Specimen used for testing Operator Proficiency 検査者検体
P	Patient 親検体
Q	Control specimen 精度管理検体
R	Replicate 複製
V	Verifying Calibrator キャリブレーション検証, used for periodic calibration checks

## SRT ソート順

HL7成分表—SRT—Sort Order ソート順

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	12	ST	R		Sort-by Field ソート基準フィールド
2	2	ID	O	0397	Sequencing ソート順

応答をソートする基準となるパラメータとそのソート方法を指定する。

最大長：15

例：表形式の応答を返す照会で、返されるデータがカラム名で区別される場合、SRTは次のような形となりうる。

|LastName^A~FirstName^A|

例：セグメント応答の照会で、返されるデータがセグメントとオフセットで区別される場合、SRTフィールドは表記にセグメントフィールド名を用いる。

|PID.3.1^A~PID.3.2|

## 第1成分 Sort-by Field ソート基準フィールド (ST)

応答をソートする基準となるフィールドを示す。表形式の応答の場合、これはそれを基準にソートを行うカラム名となる。セグメントパターンおよび表示応答の場合、ソートの基準となるセグメントフィールド名である。セグメントフィールド名の定義については「QIP 照会入力パラメータリスト」の第1成分「エラー! 参照元が見つかりません。(ST)」を参照のこと。

## 第2成分 Sequencing ソート順 (ID)

フィールドやパラメータがソートされる方法、およびソートが大文字小文字を区別する（デフォルト）かしないかを指定する。有効な値については「HL7表 0397—Sequencing ソート順」を参照のこと。

HL7表0397—Sequencing ソート順

Value	Description
A	Ascending 昇順
AN	Ascending, case insensitive 昇順、大文字小文字の区別なし
D	Descending 降順
DN	Descending, case insensitive 降順、大文字小文字の区別なし
N	None なし

## ST 文字列データ

HL7成分表—ST—String Data 文字列データ

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	199				String Data 文字列データ

最大長：199

文字列データは左詰とし、末尾の空白はオプションである。定義されたエスケープ文字およびデリミタを除く、全ての表示可能（印字可能）なASCII文字（16進数で0x20から0x7Eの両端を含む範囲、あるいはASCII 10進値で32から126）を使用できる。

例：

|almost any data at all|

文字列データフィールドにHL7デリミタ（セグメントターミネータを除く）を含むためには、適切なHL7エスケープシーケンス（2.71節「書式コード」を参照のこと）を用いる。

使用上の注意：STデータ型は短い文字列（例、200文字未満）を意図している。さらに長い文字列についてはTXまたはFTデータ型を使うべきである（「TX テキストデータ」および「FT 整形済みテキストデータ」を参照のこと）。

代替文字集合に関する注記：「ST—文字列データ」は他の文字集合を表現するのに用いてよい。詳細については2.15.9.18節「文字集合」および2.15.9.20節「代替文字集合の取り扱い」を参照のこと。

## TM 時刻

HL7成分表—TM—Time 時刻

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
	16				Time 時刻

一日のうちの時刻をオプションである分、秒、秒の端数とともに24時間制でタイムゾーン付きで示す。

最大長：16

HL7 V2.3より、格納されている文字の数（タイムゾーンの指定を除く）で時刻の精度を示す。

フォーマット： HH[MM[SS[.S[S[S[S]]]]]] [+/-ZZZZ]

したがって：

a) 最初の2文字を用いて「時」までの精度を示す。

- b) 最初の4文字を用いて「分」までの精度を示す。
- c) 最初の6文字を用いて「秒」までの精度を表す。
- d) 最初の8文字を用いて「10分の1秒」までの精度を表す。
- e) 最初の11文字を用いて「10000分の1秒」までの精度を表す。

例：|0630| は午前 6: 30 を示す。

秒の端数は1秒よりも細かい精密さを必要とする送信者により送られることがある。分、時あるいはその他のより大きな単位についての端数は許されていない。

注記：タイムゾーン[+/-ZZZZ]は用いるときには公式に定義されたタイムゾーンに限定され、HHMMの形式で表現される。

オプションとして送信者のタイムゾーンを協定世界時（以前のグリニッジ標準時）からのオフセットとして送信することができる。特定のTMフィールドでタイムゾーンが明示されず、MSHセグメントの日時フィールドの一部としてタイムゾーンが含まれている場合には、MSHの値がデフォルトのタイムゾーンとなる。それ以外の場合、時刻は送信者の現地時間を参照していると理解される。

例：

Time	Description
0000	真夜中
235959+1100	協定世界時より 11 時間進んでいるタイムゾーン（すなわち、グリニッジより東）での真夜中の 1 秒前
0800	午前 8 時、送信者の現地時間
093544.2312	午前 9 時 35 分から 44.2312 秒後、送信者の現地時間
13	午後 1 時（時までの精度）、送信者の現地時間

HL7 V2.3より以前では、このデータ型はHHMM[SS[.SSSS]][+/-ZZZZ]の形式として定めていた。HL7 V2.3より、分がもはや必須ではなくなった。下位互換性が必要な場合、施設における合意にもとづきHHMM[SS[.SSSS]][+/-ZZZZ]の形式を用いることができる。

## TN 電話番号

取り下げ。

## TQ タイミング付き数量

サービスの実施タイミングおよび頻度を示す。

使用上の注記：量/タイミング（ORC-7、OBR-27）にも適用されたように、オーダセグメントに記述されたサービスがいつ、どれぐらいの頻度で実行されるかを示す方法を提供する。このデータ型は複雑な複数の成分からなるフィールドで、繰り返し可能である。すなわち繰り返しデリミタで区切られた複数の量/タイミング指定が現れることがある。

注記：HL7 V2.5よりTQデータ型は下位互換性のためだけに保持されている。4章に定義されているTQ1およびTQ2セグメントを参照のこと。

## TS タイムスタンプ

HL7成分表—TS—Time Stamp タイムスタンプ

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	24	DTM	R		Time 時刻
2	1	ID	B	0529	Degree of Precision 精度

時間のある点を示す。

最大長：26

書式：YYYY[MM[DD[HH[MM[SS[.S[S[S[S]]]]]]]]][+/-ZZZZ]^<精度>

### 第1成分 Time 時刻 (DTM)

時間のある一点。



この成分の完全な記述については「DTM-日時」を参照のこと。

## 第2成分 Degree of Precision 精度 (ID)

HL7 V2.3 より下位互換性のためだけに保持されている。現在の精度の指定方法については成分1を参照のこと。タイムスタンプの精度を示す (Y=年、L=月、D=日、H=時、M=分、S=秒)。有効な値については「HL7表0529-精度」を参照のこと。

HL7表0529-Precision 精度

Value	Description
Y	year 年
L	month 月
D	day 日
H	hour 時
M	minute 分
S	second 秒

精度は最初の成分で示された精度と同一またはそれをオーバーライドすることに注意。より精密な精度を指定してはいけない。以下の例では、2番目の成分は最初の成分をオーバーライドし、粗い精度、1999年4月、を示す。

例： |199904011200^L|

## TX テキストデータ

HL7成分表-TX-Text Data テキストデータ

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	65536				Text Data テキストデータ

ユーザに表示する（端末またはプリンタにて）ことを意図した文字列データ。先頭の空白が表現の明確さに役立つことがあるので、データは右詰である必要はない。このタイプのデータは表示を目的としているため、表示を制御するためのエスケープ文字シーケンスを含んでいることがある。エスケープシーケンスの書式は2.7節「テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用」に定義されている。先頭の空白は含まれるべきである。末尾の空白は削除されるべきである。

| leading spaces are allowed.|

TXデータは表示を意図しているため、繰り返しデリミタをTXデータフィールドに用いたときには、プリンタまたは端末に表示される一連の複数の行を意味する。したがって、繰り返しデリミタはパラグラフの区切りまたは強制改行（例えば、テキストにCR/LFが挿入されているように（DOS型のシステム）またはLFが挿入されているように（UNIX型のシステム）表示される）と見なされる。

受信側のシステムは、任意の大きさの表示画面にあわせるために、繰り返しデリミタの間のテキストをワードラップするかもしれないが、繰り返しデリミタで始まる新しい行はいずれも行頭から表示する。

最大長：65536

別の文字集合を含めるためには適切なエスケープシーケンスを用いる。2.15.9.18節「MSH-18文字集合」および2.15.9.20節「MSH-20 代替文字集合取り扱い規則」を参照のこと。

## UVC UB 値コードおよび額

HL7成分表-UVC-UB Value Code and Amount UB値コードおよび額

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	20	CNE	R	0153	Value Code 値コード
2	20	MO	O		Value Amount 値額

この請求を支払組織の承認を受けたものとして処理するために必要な、特定のデータ項目に、額または値に関連づけるコード体系。

このデータ型はCMS（メディケア・メディケイドセンター）またはその他の監督機関で定義されている情報を伝達するために用いられる。これはUBフィールドの46A, 47A, 48A, 49A, 46B, 47B, 48Bおよび49BとUB92 フィールドの39a, 39b, 39c, 39d, 40a, 40b, 40c, 40d, 41a, 41b, 41c, お

よび41dに対応する。

最大長：41

注記：HL7 V2.5より6.5.10.10節のUB1-10 および6.5.11.6節のUB2-6に用いられるCMデータ型を置き換える。

患者が自分の希望で個室に入っているが、それに伴う諸料金に対して保険が準個室の料率のみ  
填補したいときには、「01-最も一般的な準個室料率」を用いて計算される、最も一般的な準  
個室の料率が用いられる。

例：

[01&most common semi private rate&NUBC^750&USD]

### 第1成分 Value Code 値コード (CNE)

米国統一支払委員会(NUBC)のコード自身を示す。

有効な値については「HL7表0153-値コード」を参照のこと。この成分に対する値は米国統一支払委員会  
(NUBC)の決めた値でなければならない。拡張は許されない。

HL7表0153-Value Code 値コード

Value	Description	Comments
	See NUBC codes NUBC コードを参照のこと	

### 第2成分 Value Amount 値額 (MO)

値と組になる数値を指定する。

## VH 来院時間

HL7成分表-VH-Visiting Hours 来院時間

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	3	ID	O	0267	Start Day Range 開始曜日
2	3	ID	O	0267	End Day Range 終了曜日
3	16	TM	O		Start Hour Range 開始時刻
4	16	TM	O		End Hour Range 終了時刻

このデータ型は患者がこの場所に来院できる時間帯を含んでいる。最初の2つの成分に対する  
有効な値については、「HL7表0267-曜日」を参照のこと。

最大長：41

### 第1成分 Start Day Range 開始曜日 (ID)

来院時間範囲の開始の曜日。値については、「HL7表0267-曜日」を参照のこと。

### 第2成分 End Day Range 終了曜日 (ID)

来院時間範囲の最後の曜日。値については「HL7表0267-曜日」を参照のこと。

HL7表0267-Days of the week 曜日

Value	Description
SAT	Saturday 土曜日
SUN	Sunday 日曜日
MON	Monday 月曜日
TUE	Tuesday 火曜日
WED	Wednesday 水曜日
THU	Thursday 木曜日
FRI	Friday 金曜日

### 第3成分 Start Hour Range 開始時刻 (TM)

来院時間範囲の最初の曜日の開始時間 (第1の成分の「開始曜日」を参照のこと)。

### 第4成分 End Hour Range 終了時刻 (TM)

来院時間範囲の最後の曜日の終了時間 (第2の成分の「終了曜日」を参照のこと)。

## VID バージョン識別子

HL7成分表-VID-Version Identifier バージョン識別子

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	5	ID	O	0104	Version ID バージョンID

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
2	483	CE	O	0399	Internationalization Code 国際化コード
3	483	CE	O		International Version ID 国際化バージョンID

最大長：974

### 第1成分 Version ID バージョンID (ID)

HL7のバージョンを特定するために用いる。有効な値については「HL7表0104-バージョンID」を参照のこと。

HL7表0104-Version ID バージョンID

Value	Description	Comments (Date)
2.0	リリース 2.0	1988年9月
2.0D	デモ 2.0	1988年10月
2.1	リリース 2.1	1990年3月
2.2	リリース 2.2	1994年12月
2.3	リリース 2.3	1997年3月
2.3.1	リリース 2.3.1	1999年5月
2.4	リリース 2.4	2000年11月
2.5	リリース 2.5	2003年5月
2.5.1	リリース 2.5.1	2007年1月

### 第2成分 Internationalization Code 国際化コード (CE)

国際支部の国コードを特定するために用いる。用いられるべき値はISO 3166-1:1977のものである。ISO 3166は3つの異なる形式の国コードを定めている。HL7は国コードに3文字（アルファベット）の形式を使うよう定めている。

ISO 3166表で定義されている3文字コードについては2.15.9.17節の「HL成分表0399-国コード」を参照のこと。

### 第3成分 International Version ID 国際化バージョンID (CE)

この成分は国際支部のバージョンを特定する。この成分はある国際支部が1つの米国バージョンに対して複数のローカルバージョンを定めている場合に重要である。

## VR 値範囲

HL7成分表-VR-Value Range 値範囲

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	6	ST	O		First Data Code Value 最初のデータコード値
2	6	ST	O		Last Data Code Value 最後のデータコード値

このデータ型はある範囲を成す下限値と上限値を含む。どちらかまたは両方の成分が値を持つ。

最大長：13

注記：HL7 V2.5より5.10.3.11節のQRD-11に用いられるCMデータ型を置き換える。

VRは数値範囲(NR)データ型と異なり、セットする値が数値に限定されない。範囲が数値でない場合は、その集合は、アルファベット順のような、何らかの直感的な方法で順序を決めることができるか、あるいはデータ型の用いられるフィールドで順序を定義する必要がある。

例1

|+^+++|： + から +++ の範囲

例2：虹の色

|violet^red|： 紫から赤の範囲

### 第1成分 First Data Code Value 最初のデータコード値 (ST)

下限値を示す。

### 第2成分 Last Data Code Value 最後のデータコード値 (ST)

上限値を示す。

## WVI チャンネル識別子

HL7成分表－WVI－Channel Identifier チャンネル識別子

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	4	NM	R		Channel Number チャンネル番号
2	17	ST	O		Channel Name チャンネル名

このデータ型は波形データが送信される記録チャンネルの番号と名前を示す。

最大長：22

注記：HL7 V2.5より、OBX-5.1でOBX-5観測値(\*)がデータ型CD であるときのCMデータ型を置き換える。

**第1成分 Channel Number チャンネル番号 (NM)**

この成分は記録チャンネルの番号を示す。

**第2成分 Channel Name チャンネル名 (ST)**

この成分は記録チャンネルの名称を示す。

**WVS 波形の信号源**

HL7成分表－WVS－Waveform Source 波形の信号源

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	8	ST	R		Source One Name 信号源1名称
2	8	ST	O		Source Two Name 信号源2名称

このデータ型はチャンネルに接続されている波形の信号源を示す。

最大長：17

注記：HL7 V2.5より、OBX-5.2でOBX-5観測値(\*)がデータ型CDであるときのCMデータ型を置き換える。

**第1成分 Source One Name 信号源1名称 (ST)**

この成分は波形の信号源の1番目の入力特定する。

**第2成分 Source Two Name 信号源2名称 (ST)**

この成分は、差分入力がいわれている場合に、波形の信号源の2番目の入力特定する。

**XAD 拡張住所**

HL7成分表－XAD－Extended Address 拡張住所

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	184	SAD	O		Street Address 通りの住所
2	120	ST	O		Other Designation その他表示
3	50	ST	O		City 市
4	50	ST	O		State or Province 州または省
5	12	ST	O		Zip or Postal Code ZIPコードまたは郵便番号
6	3	ID	O	0399	Country 国
7	3	ID	O	0190	Address Type 住所タイプ
8	50	ST	O		Other Geographic Designation その他の地理表示
9	20	IS	O	0289	County/Parish Code 郡/区コード
10	20	IS	O	0288	Census Tract 国勢調査区域
11	1	ID	O	0465	Address Representation Code 住所表記コード
12	53	DR	B		Address Validity Range 住所有効範囲
13	26	TS	O		Effective Date 発効日付
14	26	TS	O		Expiration Date 失効日付

このデータ型は人、場所または組織の住所およびそれらに関連する情報を示す。

最大長:631

注記：HL7 V2.3よりADデータ型を置き換える。

国際化の注記：国々には通常標準の住所表記法が存在する。このデータ型はその表記法を定義するのではなく、郵送住所の成分のみを定義している。

**第1成分 Street Address 通りの住所 (SAD)**

この成分の記述についてはSAD型を参照のこと。

**第2成分 Other Designation その他表示 (ST)**

住所の2行目。米国での使用では住所を修飾する。例：555号室あるいは4階。施設を示すときには、この成分は通りの住所を表す。

**第3成分 City 市 (ST)**

この成分は郵便用の住所を定める国の法制に基づいて、この住所の所在を管理する市、地区、場所を示す。

**第4成分 State or Province 州または省 (ST)**

この成分はこの住所が所在する州または省を示す。州または省には、その国の公式な郵便番号が割り振られる。

**第5成分 Zip or Postal Code ZIPコードまたは郵便番号 (ST)**

この成分はこの住所が所在するZIPコードまたは郵便番号を表す。ZIPコードまたは郵便番号はその国の公式なコードとして表現される。米国ではZIPコードは9999[-9999]の形をとり、カナダの郵便番号はA9A9A9の形をとり、オーストラリアの郵便番号は9999の形をとる。

**第6成分 Country 国 (ID)**

この成分はこの住所が所在する国を表す。HL7は国コードとしてISO 3166形式の3文字（のアルファベット）を使用するよう定めている。有効な値については「HL7表0399—国コード」を参照のこと。

**第7成分 Address Type 住所タイプ (ID)**

この成分は住所の種類またはタイプを表す。有効な値については、「HL7表0190—住所型」を参照のこと。

**HL7表0190—Address Type 住所型**

Value	Description
BA	Bad address 誤った住所
N	Birth (nee) (birth address, not otherwise specified) 出生 (生まれ) (ほかかに指定がなければ、出生の住所)
BDL	Birth delivery location (address where birth occurred) 分娩の場所 (誕生が行われた住所)
F	Country of Origin 出身国
C	Current or Temporary 現住所または一時的な住所
B	Firm/Business 会社/事業所
H	Home 自宅
L	Legal Address 法律上の住所
M	Mailing 郵送先
O	Office 事務所
P	Permanent 永久的な住所
RH	Registry home. Refers to the information system, typically managed by a public health agency, that stores patient information such as immunization histories or cancer data, regardless of where the patient obtains services. 登録された住所。予防接種歴や癌登録のような患者情報を扱う公共医療機関の情報システムに関係する事が多い。患者が治療を受ける場所には無関係である。
BR	Residence at birth (home address at time of birth) 出生時の居住地 (出生の際の自宅住所)

**第8成分 Other Geographic Designation その他の地理表示 (ST)**

この成分は必要となり得る、その他のあらゆる地理表示を表す。国、生物学的地域、SMSA等を含む。

**第9成分 County/Parish Code 郡/区コード (IS)**

指定された住所が所在する郡や区を示すコード。「使用者定義表0289—郡/区」がこの成分に対する使用者定義の値のHL7識別子として用いられる。この成分が郡や区を表すのに用いられるときには、第8成分<その他の地理表示>には、それを重複させてはならない。(つまり、<その他の地理表示>を郡の表現をするために用いるのは、下位互換性のためだけに許されており、現在または将来のHL7のバージョンでは非推奨である。)  
使用可能な値：政府の定めたコード。

**使用者定義表0289—County/Parish 郡/区**

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

**第10成分 Census Tract 国勢調査区域 (IS)**

指定された住所が所在する国勢調査区域を表すコード。「使用者定義表0288—国勢調査区域」がこの成分に対する使用者定義の値のHL7識別子として用いられる。

**使用者定義表0288—Census Tract 国勢調査区域**

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

**第11成分 Address Representation Code 住所表記コード (ID)**

「名前/住所タイプ」または「名前/住所表記」成分について異なる値を用いることで、ある「名前/住所タイプ」

と同じ名前/住所の異なる表現を、繰り返しを用いて表現することができる

注記：これらのデータ型を用いたフィールドの繰り返しのそれぞれについて、この新しい成分は「アルファベット」表記のままである。すなわち名前が表意文字の文字集合で表記されていたとしても、この成分はアルファベットの文字集合で表記される。

有効な値については「HL7 表 0465—名前/住所表記」を参照のこと。

一般的にこの成分はデータ項目で提供される表記の指示を行う。使用されている文字セットを示すことは必要ではない。したがって、表記は何を期待すべきかを示すが、それでもなお、送信側は自由に望むどんな文字集合を使っても内容をコード化することができる。この成分は受信者にヒントのみ与えるので、受信側は何が送られてきて何を表示する能力があるかをもとに選択を行うことができる。

### 第 12 成分 Address Validity Range 住所有効範囲 (DR)

この成分は完全には表現できない。HL7 V2.4 の誤りとして認識されている。HL7 V2.5 より下位互換性のためだけに保持されている。発効日付および失効日付成分を参照のこと。

この成分はこの住所が有効な期間を定義する開始および終了の日時を含む。

### 第 13 成分 Effective Date 発効日付 (TS)

住所が正しく有効であると判明している最初の日付。

### 第 14 成分 Expiration Date 失効日付 (TS)

住所が正しく有効であると判明している最後の日付。

## XCN 拡張複合 ID 番号および人の名前

HL7成分表—XCN—Extended Composite ID Number and Name for Persons 拡張複合ID番号および人の名前

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	15	ST	O		ID Number ID 番号
2	194	FN	O		Family Name 姓
3	30	ST	O		Given Name 名
4	30	ST	O		Second and Further Given Names or Initials Thereof 2 番目以降の名またはそれらのイニシャル
5	20	ST	O		Suffix 接尾語 (例、JR または III)
6	20	ST	O		Prefix 接頭語 (例 DR)
7	5	IS	B	0360	Degree 学位 (例 : MD)
8	4	IS	C	0297	Source Table ID 管理表
9	227	HD	O	0363	Assigning Authority 割当権限者
10	1	ID	O	0200	Name Type Code 名前タイプコード
11	1	ST	O		Identifier Check Digit 識別子チェックデジット
12	3	ID	C	0061	Check Digit Scheme チェックデジット体系
13	5	ID	O	0203	Identifier Type Code 識別子タイプコード
14	227	HD	O		Assigning Facility 割当施設
15	1	ID	O	0465	Name Representation Code 名前表記コード
16	483	CE	O	0448	Name Context 名前の文脈
17	53	DR	B		Name Validity Range 名前の有効範囲
18	1	ID	O	0444	Name Assembly Order 名前構成順
19	26	TS	O		Effective Date 発効日付
20	26	TS	O		Expiration Date 失効日付
21	199	ST	O		Professional Suffix 専門職の接頭辞
22	705	CWE	O		Assigning Jurisdiction 割当管轄
23	705	CWE	O		Assigning Agency or Department 割当権限者または行政組織

最大長：3002

注記：HL7 V2.3.1のCNデータ型を置き換える。

このデータ型はPV1, ORC, RXO, RXE, OBRおよびSCHセグメントその他で頻繁に現れ、ID番号と人の名前を示す必要があるところで用いられる。

割当権限者と割当施設がない例：

[1234567^Smith^John^J^III^DR^PHD^ADT01^^L^4^M11^MR]

割当権限者と割当施設を含む例：

Dr. Samuel Semmelweissの医療従事者ID はProvider Masterより割り当てられ、最初の交付はUniversity Hospitals System のFairview Hospitalであった。IS表の値 (HDの最初の成分) は割当権限者および割当施設では用いられていず、HDデータ型の成分2と3は値を持ち、副成分に降格されている：

12188^Semmelweiss^Samuel^S^IV^Dr^MD^^&Provider Master.University  
Hospitals&L^L^9^M10^DN^&Fairview Hospital.University Hospitals&L^A  
Ludwig van Beethovenの診療記録番号はMaster Patient Indexにより割り当てられ、University  
Hospitals Systemの Fairview Hospital で最初に交付された。  
10535^van Beethoven^van^Ludwig^A^III^Dr^PHD^^&MPI.University  
Hospitals&L^L^3^M10^MR^&Fairview Hospital.University Hospitals&L^A

#### 第1成分 ID Number ID番号 (ST)

第9成分で示される使用者定義表によりコード化IDを示す文字列。最初の成分が明示された場合にはID管理表または割当権限者に値を入れる必要がある。

#### 第2成分 Family Name 姓 (FN)

この成分はある個人の姓を完全に示すことを可能とする。必要なときは、このデータ型は個人の名前が、もともとの姓と配偶者の姓を含んでいる場合に、そのそれぞれを区別する。このデータ型はまた、メッセージにおいて、姓の接頭辞（例えば“van”や“de”のような）の部分と語根の部分とを区別することを可能にする。「FN-姓」を参照のこと。

#### 第3成分 Given Name 名 (ST)

ファーストネーム。

#### 第4成分 Second and Further Given Names or Initials Thereof 2番目以降の名またはそれらのイニシャル (ST)

複数のミドルネームを空白で区切って入れることができる。

#### 第5成分 Suffix 接尾語 (ST)

名前の接尾語を明記するのに用いる。(例、Jr または III)

#### 第6成分 Prefix 接頭語 (ST)

名前の接頭語を明記する。(例、Dr)

#### 第7成分 Degree 学位 (IS)

HL7 V2.5 より下位互換性のためだけに残されている。専門職接頭語成分を参照のこと。

教育における学位 (例、MD) を明記するのに用いる。推奨値については「使用者定義表 0360-学位/免許/資格」を参照のこと。

#### 第8成分 Source Table ID管理表 (IS)

この成分に関する使用者定義表の値として「使用者定義表 0297-CNID管理表」のHL7識別子が使われている。最初の成分を記述するのに用いる。

#### 第9成分 Assigning Authority 割当権限者 (HD)

割当権限者はそのデータを生成したシステム（あるいは組織、政府機関の部署）についての一意識別子である。これはHDデータ型である。「使用者定義表 0363-割当権限者」がHD成分の最初の副成分<ネームスペースID>に与える値のHL7識別子として用いられる。

注記：HDデータ型が与えられたセグメント中で、他のデータ型のフィールドの成分として用いられた時、「使用者定義表 0300-ネームスペースID」（HD成分の最初の副成分として参照される）は、そのセグメントに責任を持つテクニカルコミティーにより再定義される（違う使用者定義表番号と名称を与えられる）ことがある。

施設利用者間での合意により、実装者は「使用者定義表 0300-ネームスペースID」を最初の副成分として使用しつづけることもできる。

#### 第10成分 Name Type Code 名前タイプコード (ID)

名前のタイプを表すコード。有効な値については「HL7表 0200-名前型」を参照のこと。

#### 第11成分 Identifier Check Digit 識別子チェックデジット (ID)

このデータ型でのチェックデジットは、メッセージ処理系により生成された後付けのものではない。識別番号の一部分で、送信側アプリケーションで使用される部分が、この成分でいうチェックデジットである。送信側のアプリケーションが自己生成のチェックデジットを識別番号に含めていない場合は、この成分はnullにしなければならない。

#### 第12成分 Check Digit Scheme チェックデジット体系 (ID)

使用されているチェックデジット方式の指定を含む。

有効な値については「HL7表 0061-チェックデジット形式」を参照のこと。

#### 第13成分 Identifier Type Code 識別子タイプコード (ID)

識別子のタイプに対応するコード。場合によっては、このコードが「割当権限者」成分の修飾語として用いられることもある。推奨値については「HL7表 0203-ID型」を参照のこと。

## 第 14 成分 Assigning Facility 割当施設 (HD)

人に最初に識別子が割り当てられた、建物・場所の識別子。この成分は識別子の固有の部分ではないが、識別子の履歴に関する部分である。この成分は、特定の相互通信システムのために存在している。

注記：HD データ型が特定のセグメントで、他のデータ型のフィールドの成分として用いられるときは、「使用者定義表 0300- ネームスペース ID」（HD 成分の最初の副成分として参照される）が該当するセグメントを担当する技術委員会によって再定義される場合がある。

## 第 15 成分 Name Representation Code 名前表記コード (ID)

「名前/住所タイプ」または「名前/住所表記」成分について異なる値を用いることで、ある「名前/住所タイプ」と同じ名前/住所の異なる表現を、繰り返しを用いて表現することができる。

注記：これらのデータ型を用いたフィールドの繰り返しのそれぞれについて、この新しい成分は「アルファベット」表記のままである。すなわち名前が表意文字の文字集合で表記されていたとしても、この成分はアルファベットの文字集合で表記される。

有効な値について「HL7 表 0465—名前/アドレス表記」を参照のこと。

一般的にこの成分はデータ項目で提供される表記の指示を行う。使用されている文字セットを示すことは必要ではない。したがって、表記は何を期待すべきかを示すが、それでもなお、送信側は自由に望むどんな文字集合を使っても内容をコード化することができる。この成分は受信者にヒントのみ与えるので、受信側は何が送られてきて何を表示する能力があるかをもとに選択を行うことができる。

## 第 16 成分 Name Context 名前の文脈 (CWE)

この成分は名前の使われる文脈を示すのに用いられる。主なユースケースはオーストラリアの保険医療においてである：異なる保険医療施設に入院する場合に、異なる名前を使用することを希望する先住民の患者である。別のユースケースは、米国で、医療従事者が少し異なる名前でも免許を受けることができ、管理上の理由で正確な名前を届け出ることがきわめて重要な場合である。この表をどのように用いるかについての詳細な情報は、3 章の 3.4.2.6 節を参照のこと。推奨値については「使用者定義表 0448—名前の文脈」を参照のこと。

使用者定義表0448—Name Context 名前の文脈

Value	Description
	No suggested values 推奨値なし

## 第 17 成分 Name Validity Range 名前の有効範囲 (DR)

HL7 V2.5 より下位互換性のためだけに保持されている。PPN.20 発効日および PPN.21 失効日を参照のこと。この成分は十分に表現することができず、HL7 V2.4 の誤りとして認識されている。

この成分は、この名前が有効な期間を示す開始と終了の日時を含む。副成分の記述については「DR—日時範囲」を参照のこと。

## 第 18 成分 Name Assembly Order 名前構成順 (ID)

この人名の構成要素の望ましい表示順を表す。有効な値については「HL7 表 0444—名前構成順」を参照のこと。

## 第 19 成分 Effective Date 発効日付 (TS)

住所が正しく有効であると判断している最初の日付。

## 第 20 成分 Expiration Date 失効日付 (TS)

住所が正しく有効であると判断している最後の日付。

## 第 21 成分 Professional Suffix 専門職の接頭辞 (ST)

その人の専門職種（例、免許、資格、学位、専門学会の会員）を証明する資格を表示する略語あるいは略語の文字列を示すのに用いられる。人名が表示されるときに、専門職の接頭辞は、通常、姓の後に表示される。この成分は、非整形の文字列で、表示目的のみで用いられることに注意すること。専門職の接頭辞の中味に関する詳細な情報は、15 章 職員管理の適切なセグメントを用いることで得られる。

## 第 22 成分 Assigning Jurisdiction 割当管轄 (CWE)

第 1 成分の識別子を割り当てた地理・政治上の実体。

詳細については、「割当管轄 (CWE)」を参照のこと。

## 第 23 成分 Assigning Agency or Department 割当権限者または行政組織 (CWE)

第 1 成分の識別子を割り当てた割当権限者または割当組織。

詳細については、「割り当て機関あるいは行政組織 (CWE)」を参照のこと。

## XON 拡張複合組織名称および識別子番号



**HL7成分表—XON—Extended Composite Name and Identification Number for Organizations  
拡張複合組織名称および識別子番号**

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	50	ST	O		Organization Name 組織名称
2	20	IS	O	0204	Organization Name Type Code 組織名称タイプコード
3	4	NM	B		ID Number ID番号
4	1	NM	O		Check Digit チェックデジット
5	3	ID	O	0061	Check Digit Scheme チェックデジット体系
6	227	HD	O	0363	Assigning Authority 割当権限者
7	5	ID	O	0203	Identifier Type Code 識別子タイプコード
8	227	HD	O		Assigning Facility 割当施設
9	1	ID	O	0465	Name Representation Code 名前表記コード
10	20	ST	O		Organization Identifier 組織識別子

このデータ型はフィールド（例えばPV2-23, NK1-13, PD1-3, OBR-44）の中で、組織の名称とID番号を示すために用いられる。

最大長：567

例1：

Fairview HospitalのIDはUniversity Hospital enterpriseの Hospital Masterにより割り当てられ、Central Officesで最初に交付された。

Fairview Hospital^L^716^9^M10^&Hospital Master.University  
Hositals&L^XX^&Central Offices.University Hospitals&L^A

例2：

Fairview HospitalはCMS（メディケア・メディケイドセンター）から交付を受けた別のIDを持つ。割当権限者、CMSは、最初のHD成分だけ値を設定し、ISデータ型および割当施設には正確な値は入っていない。この情報は次のように送信される：

Fairview Hospital^L^4544^3^M10^CMS^XX^A

**第1成分 Organization Name 組織名称 (ST)**

指定した組織の名称。

**第2成分 Organization Name Type Code 組織名称タイプコード (IS)**

名称のタイプ、すなわち法的な名称、表示名称などを表すコード。推奨値については「使用者定義表 0204—組織名称型」を参照のこと。

**使用者定義表0204—Organizational Name Type 組織名称型**

Value	Description
A	Alias name 別名
L	Legal name 法的な名称
D	Display name 表示名称
SL	Stock exchange listing name 株取引リスト上の名称

**第3成分 ID Number ID番号 (NM)**

この成分はHL7 V2.5 より下位互換性のためだけに保持されている。英数文字による識別子を受け付ける、第10成分の組織識別子を用いることを推奨する。

**第4成分 Check Digit チェックデジット (NM)**

このデータ型でのチェックデジットは、メッセージ処理系により生成された後付けのものではない。識別番号の一部分で、送信側アプリケーションで使用される部分だが、この成分でいうチェックデジットである。送信側のアプリケーションが自己生成のチェックデジットを識別番号に含めていない場合は、この成分は null にしなければならない。

**第5成分 Check Digit Scheme チェックデジット体系 (ID)**

使用されているチェックデジット方式の指定を含む。

有効な値については「HL7 表 0061—チェックデジット形式」を参照のこと。

**第6成分 Assigning Authority 割当権限者 (HD)**

割当権限者はそのデータを生成したシステム（あるいは組織、政府機関の部署）についての一義的な識別子である。これはHD データ型である。推奨値については「使用者定義表 0363 -割当権限者」を参照。

注記：HD データ型が与えられたセグメント中で、他のデータ型のフィールドの成分として用いられた時、「使用者定義表 0300・ネームスペース ID」（HD 成分の最初の副成分として参照される）は、そのセグメントに責任を持つテクニカルコミティーにより再定義される（違う使用者定義表番号と名称を与えられる）ことがある。

施設利用者間での合意により、実装者は「使用者定義表 0300 - ネームスペース ID」を最初の副成分として使用しつづけることもできる。

### 第7成分 Identifier Type Code 識別子タイプコード (ID)

識別子のタイプに対応するコード。場合によっては、このコードが「割当権限者」成分の修飾語として用いられることもある。推奨値については「HL7表 0203-ID型」を参照のこと。

### 第8成分 Assigning Facility 割当施設 (HD)

人に最初に識別子が割り当てられた、建物・場所の識別子。この成分は識別子の固有の部分ではないが、識別子の履歴に関する部分である：この成分は、特定の相互通信システムのために存在している。

注記：HDデータ型が特定のセグメントで、他のデータ型のフィールドの成分として用いられるときは、「使用者定義表 0300 - ネームスペース ID」(HD成分の最初の副成分として参照される)が該当するセグメントを担当する技術委員会によって再定義される場合がある。

### 第9成分 Name Representation Code 名前表記コード (ID)

「名前/住所タイプ」または「名前/住所表記」成分について異なる値を用いることで、ある「名前/住所タイプ」と同じ名前/住所の異なる表現を、繰り返しを用いて表現することができる。

注記：これらのデータ型を用いたフィールドの繰り返しのそれぞれについて、この新しい成分は「アルファベット」表記のままである。すなわち名前が表意文字の文字集合で表記されていたとしても、この成分はアルファベットの文字集合で表記される。

有効な値について「HL7表 0465-名前/アドレス表記」を参照のこと。

一般的にこの成分はデータ項目で提供される表記の指示を行う。使用されている文字セットを示すことは必要ではない。したがって、表記は何を期待すべきかを示すが、それでもなお、送信側は自由に望むどんな文字集合を使っても内容をコード化することができる。この成分は受信者にヒントのみ与えるので、受信側は何が送られてきて何を表示する能力があるかをもとに選択を行うことができる。

### 第10成分 Organization Identifier 組織識別子 (ST)

この成分はXON.1で参照される項目を一意的に特定する文字の並び(コード)を含む。この成分はv2.5よりXON.3 ID番号を置き換える。

注記：チェックデジットおよびチェックデジット体系コードは組織識別子が英数字の場合はnullとなる。

## XPN 拡張人名

HL7成分表—XPN—Extended Person Name 拡張人名

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	194	FN	O		Family Name 姓
2	30	ST	O		Given Name 名
3	30	ST	O		Second and Further Given Names or Initials Thereof 2番目以降の名またはそれらのイニシャル
4	20	ST	O		Suffix 接尾語(例、JRまたはIII)
5	20	ST	O		Prefix 接頭語(例 DR)
6	6	IS	B	0360	Degree 学位(例:MD)
7	1	ID	O	0200	Name Type Code 名前タイプコード
8	1	ID	O	0465	Name Representation Code 名前表記コード
9	483	CE	O	0448	Name Context 名前の文脈
10	53	DR	B		Name Validity Range 名前の有効範囲
11	1	ID	O	0444	Name Assembly Order 名前構成順
12	26	TS	O		Effective Date 発効日付
13	26	TS	O		Expiration Date 失効日付
14	199	ST	O		Professional Suffix 専門職の接頭辞

最大長：1103

注記：HL7 V2.3からPNデータ型を置き換える。

国際化に関する注記：表意文字あるいは音節文字(表音文字)を用いる国では、名称を1つまたは複数のこのような形式で送信することが必要になることがある。異なる文字集合間の切り替えはJIS X 0202 - ISO 2022のような異なる文字集合およびシングルバイト表記とマルチバイト表記を切り替えるエスケープシーケンスを提供する文字集合を用いることで実現できる。名

前フィールドが繰り返される場合は、名前の異なる繰り返しはこれらの異なる文字集合により表されることがある。詳細は以下のとおり。(2.9.2節「PN, XPN, XCN, XON, XAD, FT, ST およびTX データ型における複数の文字集合に対応するエスケープシーケンス」も参照。)

HL7は以下の日本語の文字標準に対応している：

- JIS X 0201 ISO-IR 13 (日本語半角カタカナ) 用
- JIS X 0201 ISO-IR 14 (日本語ローマ字) 用
- JIS X 0208 ISO-IR 87 (日本語漢字、ひらがな、カタカナ) 用
- JIS X 0212 ISO-IR 159 (日本語補足漢字) 用

HL7は次のヨーロッパ文字の標準に対応している：

- ISO 8859 (1-9) ISO-IR 100,101,109,110,144,127,126,138および148用

文字集合はHL7では、ASCII, 8859/1,8859/2, ISO IR14, ISO IR87および ISO IR159で言及される。DICOMはISO 2375で「ISO-IR xxx」の形式で割り付けられたコードを用いる。HL7も、相互接続性を高めるために、同様にこの命名規則に対応する。

HL7は文字列のデフォルト文字レパートリーとして、ISO 646:1990 (ISO IR-6)の国際参照バージョンの基本G0集合を用いる。これはASCIIと同一のシングルバイト文字集合である。

XPN, XON, XCN, あるいはXAD フィールドの各々の繰り返しは、デフォルトの文字集合から始まると見なされる。別の文字集合が用いられるときは、デフォルトの文字集合を開始するためのHL7で定義されたエスケープシーケンスをひとつの繰り返しの末尾に入れなければならない。

アプリケーションは、自身に対応する文字集合をフィールド「MSH-18文字集合」で示すとともに、自身の文字集合の取り扱い規則をフィールド「MSH-20代替文字集合取り扱い規則」で示さなければならない。送信側と受信側のアプリケーションは文字集合名(例えばISO-IR xxx)とエスケープシーケンスを対応付ける方法を知っていると見なされる。

例えば、多くの日本語のメッセージでは、ローマ字(アルファベット)、カタカナ(外来語の表音表記)、ひらがな(和語の表音表記)および漢字(象形文字)の交ぜ書きが存在する。このようなメッセージはMSHに4つの文字集合を指定する必要がある。

#### 名前の国際化対応の参考文献

	Reference	Description
1.	"Understanding Japanese Information Processing" by Ken Lunde, O'Reilly Press	
2.	NEMA PS3.5 - DICOM Part 5: Data Structure and Semantics	
3.	ANSI X3.4:1986	ASCII 文字集合
4.	ISO 646:1990	情報処理 - 情報交換用 ISO 7 ビット符号化文字集合
5.	ISO/IEC 2022:1994	情報技術-文字コード構造および拡張技術
6.	ISO 2375:1986	データ処理-エスケープシーケンスの登録手順
7.	ISO 6429:1990	情報処理-7 ビットおよび8 ビットコードの文字集合の制御機能
8.	ISO 8859 (1-9)	情報処理-8 ビットシングルバイトコードグラフィック文字-1-9 章
9.	ENV 41 503:1990	情報システム相互接続-ヨーロッパグラフィック文字リポジトリおよびそのコード化
10.	ENV 41 508:1990	情報システム相互接続-東ヨーロッパグラフィック文字リポジトリおよびそのコード化
11.	JIS X 0201-1976	情報交換のためのコード
12.	JIS X 0212-1990	情報交換のための追加日本語グラフィック文字集合のコード
13.	JIS X 0208-1990	情報交換のための日本語グラフィック文字集合のコード
14.	RFC 1468	インターネットメッセージのための日本語文字コード化

文字リポジトリはDICOMが対応しており、5章、6.1節で定義されている。DICOM規格はインターネットで <http://medical.nema.org/> から無料で入手できる。

XPNが適用されるフィールドを1つしか要しない名前の例：

例1 : Adam A. Everyman III PhD  
|Everyman^Adam^A^III^DR^L^PHD|

例2 : Ludwig van Beethoven  
|Beethoven&van^Ludwig^L|

例3 : Hermann Egon Mayer zur alten Schildesche  
|Mayer^Hermann^Egon^zur alten Schildesche|

例4 : Sister Margot  
|^Margot^^Sister^C|

例5 : Dr Patrick John Flannery AO. MBBS. ASCTS。称号、学位、学会資格をもつ医師。専門の接頭辞は結合して表示される。(AO = オーストラリア勲爵士 (称号)、MBBS = 医学士および外科学、ASCTS = オーストラリア心臓外科学会)  
|Flannery^Patrick^John^Dr^L^AO.MBBS.ASCTS|

例6 : Nancy N. Nightingale, RN, PHN, BSN, MSN。BSN (看護学士) とMSN (看護理学修士) の2つの学位を持つ公衆衛生看護師である登録看護師  
|Nightingale^Nancy^N^RN, PHN, BSN, MSN|

例7 : T.Thomas Ackerson Jr., RN, CNP。診療資格看護師である登録看護師。  
|Ackerson^Thomas^T^Jr^RN, CNP|

例8 : Mevrouw Irma Jongeneel de Haas。出生時の名前 (ドイツ語geboortenaam) がHaas で配偶者の名前が Jongeneelである個人。  
|Jongeneel-de Haas&de&Haas&&Jongeneel^Irma^^Mevrouw^L|

XPNが適用される複数のフィールドを要する名前の例 :

例9 : Herr Prof. Dr. med. Joachim W. Dudeck  
|Dudeck^Joachim^W.^Dr.med.^L^MD ~Dudeck^J.W.^Herr Prof.Dr.^D|

例10 : Herr Dr. Otto Graf Lambsdorff mdB a.D。ドイツの法律では“Adelstitel” like 「Graf」あるいは「Baron」のような「Adelstitel」 (称号) は 姓に含めるため、姓のフィールドを空白で分割してコード化する必要がある。  
|Graf Lambsdorff&Graf&Lambsdorff^Otto^^Dr.^L~Graf Lambsdorff&Graf&Lambsdorff^Otto^^mdB a.D.^Herr Dr.^D|

例11 : Walter Kemper genannt Mülleken (genannt Mülleken = Müllekenと命名された)  
|Kemper^Walter^L~Mülleken^Walter^A|

例12 : Herr Dr. med. Dr. h.c. Egon Maier  
|Maier^Egon^^Dr.med. Dr.h.c.^L^MD~Maier^Egon^^Herr Dr.med. Dr.h.c.^D|

例13 : Herr Dipl.Ing. Egon Maier  
|Maier^Egon^L^DIPL~Maier^Egon^^Herr Dipl.Ing.^D|

例14 : Frau Gerda Müller geb. Maier, verheiratet seit 16.2.2000 (verheiratet seit 16.2.2000 = 2000年2月16日結婚)  
|Müller^Gerda^^Frau^L^20000216~Maier^Gerda^^Frau^M|

例15 : President Adam A Everyman III。1997 から2001間で大統領。別名Sonny Everyman。  
|Everyman^Adam^A.^III^President^L~Mr.President^D^19970816^20010320~Everyman^Sonny^A|

例16 : 日本 太郎 (にほん たらう)

この例は肩書きや学位を使用していないが、別の目的での名前の繰り返しを示している。  
 |日本^太郎^^^^D^I~にほん^たろう^^^^D^P~ NIHON^Tarou^^^^D^A|

### 第1成分 Family Name 姓 (FN)

この成分はある個人の姓を完全に示すことを可能とする。必要なときは、この成分は個人の名前が、もともとの姓と配偶者の姓を含んでいる場合に、そのそれぞれを区別する。このデータ型はまた、メッセージにおいて、姓の接頭辞の部分（例えば“van”や“de”のような）と語根の部分とを区別することを可能にする。FN型を参照のこと。

### 第2成分 Given Name 名 (ST)

ファーストネーム。

### 第3成分 Second and Further Given Names or Initials Thereof 2番目以降の名またはそれらのイニシャル (ST)

複数のミドルネームを空白で区切って入れることができる。

### 第4成分 Suffix 接尾語 (ST)

名前の接尾語を明記するのに用いる。(例、Jr または III)

### 第5成分 Prefix 接頭語 (ST)

名前の接頭語を明記する。(例、Dr)

### 第6成分 Degree 学位 (IS)

HL7 V2.5 より下位互換性のためだけに残されている。専門職接頭語成分を参照のこと。  
 教育における学位 (例、MD) を明記するのに用いる。推奨値については「使用者定義表 0360—学位/免許/資格」を参照のこと。

### 第7成分 Name Type Code 名前タイプコード (ID)

名前のタイプを表すコード。有効な値については「HL7 表 0200—名前型」を参照のこと。

HL7表0200—Name Type 名前タイプ

Value	Description	Comments
A	Alias Name 別名	
B	Name at Birth 出生時の名前	
C	Adopted Name 養子縁組による名前	
D	Display Name 表示名	
I	Licensing Name 免許での名前	
L	Legal Name 法的な名前	
M	Maiden Name 旧名	
N	Nickname / "Call me" Name/Street Name ニックネーム/希望呼称/通称	
P	Name of Partner/Spouse (retained for backward compatibility only) パートナー/配偶者の名前 (下位互換性の目的のみ)	
R	Registered Name (animals only) 登録名 (動物のみ)	
S	Coded Pseudo-Name to ensure anonymity 匿名性保証のためのコード化仮名	
T	Indigenous/Tribal/Community Name 先住民族/部族/共同体での名前	
U	Unspecified 不特定	

注記：法的な名前の内容は国固有である。米国では法的な名前は現在の婚姻名称と同一である。

### 第8成分 Name Representation Code 名前表記コード (ID)

同じ名前/住所に対する別の名前/住所タイプおよび名前/住所表記は、このフィールドを、名前/住所タイプおよび/または名前/住所表記を違えて、繰り返すことで表現すべきである。

注記：これらのデータ型を用いたフィールドの繰り返しのそれぞれについて、この新しい成分は「アルファベット」表記のままである。すなわち名前が表意文字の文字集合で表記されていたとしても、この成分はアルファベットの文字集合で表記される。

有効な値について「HL7 表 0465—名前/アドレス表記」を参照のこと。

一般的にこの成分はデータ項目で提供される表記の指示を行う。使用されている文字セットを示すことは必要ではない。したがって、表記は何を期待すべきかを示すが、それでもなお、送信側は自由に望むどんな文字集合を使っても内容をコード化することができる。この成分は受信者にヒントのみ与えるので、受信側は何が送られてきて何を表示する能力があるかをもとに選択を行うことができる。

### 第9成分 Name Context 名前の文脈 (CE)

この成分は名前の使われる文脈を示すのに用いられる。主なユースケースはオーストラリアの保険医療においてで

ある：異なる保険医療施設に入院する場合に、異なる名前を使用することを希望する先住民の患者である。別のケースは、米国で、医療従事者が少し異なる名前で免許を受けることができ、管理上の理由で正確な名前を届け出ることがきわめて重要な場合である。この表をどのように用いるかについての詳細な情報は、3章の3.4.2.6節を参照のこと。推奨値については「使用者定義表0448—名前の文脈」を参照のこと。

#### 第10成分 Name Validity Range 名前の有効範囲 (DR)

HL7 V2.5 より下位互換性のためだけに保持されている。PPN.20 発効日および PPN.21 失効日を参照のこと。この成分は十分に表現することができず、HL7 V2.4 の誤りとして認識されている。

この成分は、この名前が有効な期間を示す開始と終了の日時を含む。副成分の記述については「DR 日付/時刻の範囲」を参照のこと。

#### 第11成分 Name Assembly Order 名前構成順 (ID)

この人名の構成要素の望ましい表示順を表す。有効な値については「HL7 表 0444—名前構成順」を参照のこと。

#### 第12成分 Effective Date 発効日付 (TS)

住所が正しく有効であると判明している最初の日付。

#### 第13成分 Expiration Date 失効日付 (TS)

住所が正しく有効であると判明している最後の日付。

#### 第14成分 Professional Suffix 専門職の接頭辞 (ST)

その人の専門職種（例、免許、資格、学位、専門学会の会員）を証明する資格を表示する略語あるいは略語の文字列を示すのに用いられる。人名が表示されるときに、専門職の接頭辞は、通常、姓の後に表示される。この成分は、非整形の文字列で、表示目的のみで用いられることに注意すること。専門職の接頭辞の中味に関する詳細な情報は、15章 職員管理の適切なセグメントを用いることで得られる。

### XTN 拡張遠距離通信番号

HL7成分表—XTN—Extended Telecommunication Number 拡張遠距離通信番号

SEQ	LEN	DT	OPT	TBL#	COMPONENT NAME
1	199	ST	B		Telephone Number 電話番号
2	3	ID	O	0201	Telecommunication Use Code 遠距離通信用途コード
3	8	ID	O	0202	Telecommunication Equipment Type 遠距離通信装置タイプ
4	199	ST	O		Email Address 電子メールアドレス
5	3	NM	O		Country Code 国コード
6	5	NM	O		Area/City Code 区域/市コード
7	9	NM	O		Local Number 市内局番
8	5	NM	O		Extension 内線
9	199	ST	O		Any Text 任意のテキスト
10	4	ST	O		Extension Prefix 内線接頭辞
11	6	ST	O		Speed Dial Code 短縮番号コード
12	199	ST	C		Unformatted Telephone number 非定型の電話番号

最大長：850

注記：成分5から9は最初の成分の基本的な働きを区切られた形式で繰り返し、国内と国際の両方の電話番号を表現可能にしている。2.3より、電話番号の推奨される形式は最初の成分（下位互換性のためだけに保持されている）が対応している構造化されない形式よりも、区切られた形式を用いることを推奨している。

注記：HL7 V2.3よりTNデータ型を置き換える。

例：ファクシミリ番号

^ORN^FX^^734^6777777

#### 第1成分 Telephone Number 電話番号 (ST)

この成分はHL7 V2.3 より下位互換性のためだけに保持されている。

オプションである内線番号とポケットベル番号とコメントを含むあらかじめ決められた形式で、電話番号を示す。

形式：[NNN][999]999-9999[X99999][B99999][C 任意のテキスト]

注記：この成分は非推奨のため、この形式の定義されたSTを置き換える新たなデータ型は定義されていない。

#### 第2成分 Telecommunication Use Code 遠距離通信用途コード (ID)

遠距離通信番号の特定の用途を表すコード。有効な値については「HL7 表 0201—遠距離通信用途コード」を参照のこと。

### HL7表0201—Telecommunication Use Code 遠距離通信用途コード

Value	Description
PRN	Primary Residence Number 主たる住居の番号
ORN	Other Residence Number その他の住居の番号
WPN	Work Number 勤務先番号
VHN	Vacation Home Number 休暇中の住居の番号
ASN	Answering Service Number 留守番電話サービス番号
EMR	Emergency Number 緊急連絡先番号
NET	Network (email) Address ネットワーク (電子メール) アドレス
BPN	Beeper Number ポケットベル番号

### 第3成分 Telecommunication Equipment Type 遠距離通信装置タイプ (ID)

遠距離通信機器のタイプを表すコード。有効な値については「HL7表0202—遠距離通信機器タイプ」を参照のこと。

### HL7表0202—Telecommunication Equipment Type 遠距離通信機器タイプ

Value	Description
PH	Telephone 電話
FX	Fax ファクシミリ
MD	Modem モデム
CP	Cellular Phone 携帯電話
BP	Beeper ポケットベル
Internet	Internet Address インターネットアドレス：遠距離通信用途コードがNETの場合のみ使用
X.400	X.400 email address X.400 電子メールアドレス：遠距離通信用途コードがNETの場合のみ使用
TDD	Telecommunications Device for the Deaf 聴覚障害者のための遠距離通信機器
TTY	Teletypewriter テレタイプ

### 第4成分 Email Address 電子メールアドレス (ST)

国際化の注記：このデータ型を CEN の遠距離通信データ属性グループと相互運用するために、2番目の成分を電子メールアドレスに用いることができるようにした。電子メールアドレスの存在は電話用途コード表に NET という値を追加することで示され、インターネットアドレスのタイプは電話機器タイプ表の Internet と X.400 という値で示される。インターネットアドレス用に用いられた場合は、XTN データ型の最初の成分は null となる。@記号が副成分デリミタに用いられた場合、インターネットアドレス (節、国コード(NM)を参照のこと) をコード化する際には HL7 副成分エスケープシーケンスが使用される。

### 第5成分 Country Code 国コード (NM)

### 第6成分 Area/City Code 区域/市コード (NM)

### 第7成分 Local Number 市内局番 (NM)

### 第8成分 Extension 内線 (NM)

### 第9成分 Any Text 任意のテキスト (ST)

電話番号に関するコメントを含む。

例：|^^^^^^^Do not use after 5PM

### 第10成分 Extension Prefix 内線接頭辞 (ST)

会社の内線電話システムネットワーク内で成立している、内線にダイヤルするときに、内線番号成分の値の前につける符号として用いられる文字。内線番号接頭辞を用いる場合には、内線番号成分に値が与えられることが必要で、内線番号接頭辞には数字だけでなく特殊文字 (例、\*、#) が用いられることがあることに注意。

### 第11成分 Speed Dial Code 短縮番号コード (ST)

会社の内線電話システムネットワーク内で成立している、電話をかけるのを容易にするために、電話番号より長さが短いので、(外線) 電話番号の代わりに用いられる文字。数字だけでなく特殊文字 (例、\*、#) が用いられることがあることに注意。

### 第12成分 Unformatted Telephone Number 非定型の電話番号 (ST)

解釈不能な文字列としての電話番号の表現。

電話番号が、送信側システムが解釈不能なフリーテキストとして入力された。

例：|^^^^^^^^^^^1-800-Dentist|

## 3. 主な用語と参照規格

### 3.1. 主な用語

**トリガーイベント Trigger Event** :

HL7は「現実世界の医療行為（イベント）により、システム間のデータフローが必要とされる」という仮定の基に書かれている。この行為（イベント）をトリガーイベントと呼ぶ。例えば、「患者が入院する」というトリガーイベントにより、患者に関するデータを他の多数のシステムに送る必要が生じる。それらメッセージ型とトリガーイベントコードは一對多の関係である。一つのトリガーイベントが複数のメッセージ型に関係することはない。

**メッセージ Message** :

メッセージとは、システム間でやり取りされるデータの最小単位である。メッセージは順序を定義されたセグメントの集合からなる。各々のメッセージはその目的を定義するメッセージ型を持っている。例えば、ADT メッセージ型はあるシステムから別のシステムに患者の入退院や病床移動(ADT: Admission, Discharge and Transfer)などのデータを送るのに用いられる。メッセージの中に含まれる3文字のコードにより型を識別する。

**セグメント Segment (Record)** :

セグメントとは、データ要素（フィールド）の論理的な集合体である。セグメントは必須であることも、オプションであることもある。メッセージに一回しか含まれないことも、繰り返されることもある。各々のセグメントはセグメント ID と呼ばれる3文字の一意なコードで識別される。例えば、単一のオーダ関連情報はOBRセグメントとして送られ、検査関連情報は複数のOBXセグメントとして送られることがある。

**フィールド Field** :

診断名などといったセグメント中の意味をもったデータ単位である。フィールドには、さらに詳細に記したデータ成分の集合を含むことがある。

**フィールド成分 Field Components** :

フィールドへの入力要素として、成分という識別可能な部分を含むことがある。例えば、患者名は、姓、名、ミドルネーム（イニシャル）として記録されるが、それぞれの要素は別個のエンティティであり、成分区切り文字により分離される。成分はさらに副成分で構成される場合もある。

**メッセージデリミタ Message Delimiters** :

メッセージを区切るには、定義された文字が使用される。それらは、セグメントターミネータ、フィールドセパレータ、成分セパレータ、副成分セパレータ、反復セパレータ、そしてエスケープ文字である。

**依頼者 Placer (Requestor)** :

検査を依頼（要求）する人あるいは部門をいう。例えば、生理検査、検体検査、X線、バイタルサイン観察などを依頼する医師、実施者、病院、または病棟部門などである。

**実施者 Filler (Producer)** :

依頼・要求された検査を実施する（オーダに応える）人または部門のことである。診断部門、臨床部門、その患者についての検査結果を報告する看護提供者を含む。臨床検査室は検体検査の実施者（検査オーダに応える人）であり、看護部門はバイタルサイン観察などの実施者（バイタルサインの測定を依頼するオーダに応える人）である。



### 病院情報システム(HIS)Hospital Information System :

病院の根幹を担う情報システム。例えば、電子カルテシステムやオーダーエントリーシステム。管理している患者情報やオーダー情報を部門システムに伝達し、結果情報などを受け取って管理する情報システム。

### 患者プロフィール Patient Profile :

患者プロフィールとは、診療のために必要な患者の基本的な情報である。具体的には、身長、体重、血液型、アレルギー、障害、感染症、既往歴などの各情報を指す。

### LOINC(Logical Observations Identifiers Names and Codes) :

ASTM の検査項目コード体系を相互に関連付ける universal コード。検査室の結果と測定項目の正式名称とコードの体系的アプローチで、検査室、システムベンダ、病院、学術機関の会議により作成される数字、コード、または注釈テキストを使用する。

## 3.2. 参照する他規格・マスタ

本規約では、以下の他規格の使用を想定している。

1	<u><a href="#">ISO/HL7 27931:2009</a></u>	<u><a href="#">Data Exchange Standards - Health Level Seven Version 2.5 - An application protocol for electronic data exchange in healthcare environments</a></u> <u><a href="https://www.iso.org/standard/44428.html">https://www.iso.org/standard/44428.html</a></u> <u><a href="http://www.hl7.jp/">http://www.hl7.jp/</a></u>
2	<u><a href="#">JIS X 0208:1990</a></u>	<u><a href="#">Code for the Japanese Graphic Character set for information interchange</a></u>
3	<u><a href="#">JIS X 0212:1990</a></u>	<u><a href="#">Code of the supplementary Japanese Graphic Character set for information interchange</a></u>
4	<u><a href="#">JIS X 0213:2004</a></u>	<u><a href="#">7-bit and 8-bit double byte coded extended Kanji sets for information interchange</a></u>
5	<u><a href="#">JIS X 0221:2020</a></u>	<u><a href="#">Universal Coded Character Set (UCS)</a></u>
6	<u><a href="#">ISO/IEC10646:2020</a></u>	<u><a href="#">Universal Coded Character Set (UCS)</a></u> <u><a href="https://www.iso.org/standard/76835.html">https://www.iso.org/standard/76835.html</a></u>
7	<u><a href="#">ICD10</a></u>	<u><a href="#">International Classification of Diseases 10th Revision</a></u> <u><a href="https://www2.medis.or.jp/stdccd/byomei/index.html">https://www2.medis.or.jp/stdccd/byomei/index.html</a></u>
8	<u><a href="#">LOINC</a></u>	<u><a href="#">Laboratory Object Identifier and Numerical Code</a></u> <u><a href="https://loinc.org/">https://loinc.org/</a></u>
9	<u><a href="#">HOT9</a></u>	<u><a href="#">Standard Master for Pharmaceutical Products(HOT reference code)</a></u> <u><a href="https://www2.medis.or.jp/master/hcode/">https://www2.medis.or.jp/master/hcode/</a></u>
10	<u><a href="#">MERIT-9</a></u>	<u><a href="#">MEdical Record,Image,Text-Information eXchange</a></u>

## 4. JAHIS 標準テーブル

### 4.1. 命名規則

各データ交換規約で作成する標準テーブルの命名規則を下記の様に定めた。

命名規則 : JHS\*□□□□

\* : 各種データ交換規約の英語表記の頭文字

※ 英語表記の頭文字が同一の場合は、頭文字 2 文字を設定する

□□□□ : 連番

例) 処方データ交換規約の場合、処方の英語表記は「Prescription」となるので、命名規則の頭 4 文字は「JHSP」となる。

表 4.1.1 に、本規約の制定時点で、各データ交換規約にて使用している標準テーブル名を整理した。

表4.1.1 各データ交換規約にて使用している標準テーブル名

頭文字	データ交換規約
JHSA	病理・臨床細胞データ交換規約
JHSC	データ交換規約 (共通編)
JHSD	病名情報データ交換規約
JHSE	内視鏡データ交換規約
JHSI	注射データ交換規約
JHSL	臨床検査データ交換規約
JHSP	処方データ交換規約
JHSR	放射線データ交換規約
JHSRO	放射線治療データ交換規約
JHSS	生理検査データ交換規約

### 4.2. 共通編にて定義する JAHIS 標準テーブル

各データ交換規約で共通に使用する区分・種別などの情報について、以下のように JHSC 表およびそのコーディングシステム名を定義した。

JHSC 表は HL7 表と同様にコードの追加・変更・削除はできない。

JHSC表 0001 -Patient Profile ABO Type in Blood 患者プロフィール ABO血液型  
(コーディングシステム名 : JHSC0001、OID : 1.2.392.200270.4.4.1.1)

Value	Description
A	A 型
B	B 型
O	O 型
AB	AB 型
U	不明

**JHSC表 0002 –Patient Profile Rh Type in Blood 患者プロフィール Rh血液型**  
 (コーディングシステム名 : JHSC0002、OID : 1.2.392.200270.4.4.1.2)

Value	Description
+	Rh(+)
-	Rh(-)
U	不明

**JHSC表 0003 –Patient Profile Rash From Rubbing Alcohol 患者プロフィール 消毒アレルギー**  
 (コーディングシステム名 : JHSC0003、OID : 1.2.392.200270.4.4.1.3)

Value	Description
01	消毒アレルギー

**JHSC表 0004 –Patient Profile Pregnancy Information 患者プロフィール 妊娠情報**  
 (コーディングシステム名 : JHSC0004、OID : 1.2.392.200270.4.4.1.4)

Value	Description
01	妊娠週数
02	授乳有無

**JHSC表 0005 –Patient Profile Impairment 患者プロフィール 障害情報**  
 (コーディングシステム名 : JHSC0005、OID : 1.2.392.200270.4.4.1.5)

Value	Description
01	意識障害
02	視覚障害
03	聴覚障害
04	言語障害
05	運動障害
99	その他障害

**JHSC表 0006 –Patient Profile Drinking Habit 患者プロフィール 飲酒習慣**  
 (コーディングシステム名 : JHSC0006、OID : 1.2.392.200270.4.4.1.6)

Value	Description
01	飲酒頻度
02	飲酒量

**JHSC表 0007 –Patient Profile Frequency Of Drinking 患者プロフィール 飲酒頻度**  
 (コーディングシステム名 : JHSC0007、OID : 1.2.392.200270.4.4.1.7)

Value	Description
01	毎日
02	時々
03	ほとんど飲まない (飲めない)

**JHSC表 0008 –Patient Profile Alcohol Consumption 患者プロフィール 飲酒量**  
 (コーディングシステム名 : JHSC0008、OID : 1.2.392.200270.4.4.1.8)

Value	Description
01	1 合未満
02	1～2 合未満
03	2～3 合未満
04	3 合以上

**JHSC表 0009 –Patient Profile Smoking Habit 患者プロフィール 喫煙習慣**  
 (コーディングシステム名 : JHSC0009、OID : 1.2.392.200270.4.4.1.9)

Value	Description
01	喫煙有無
02	1日の喫煙本数
03	喫煙年数

**JHSC表 0010 –Patient Profile Smoking History 患者プロフィール 喫煙有無**  
 (コーディングシステム名 : JHSC0010、OID : 1.2.392.200270.4.4.1.10)

Value	Description
01	吸っている
02	吸っていない
03	吸っていた

**JHSC表 0011 –Patient Profile Food Allergy 患者プロフィール 食物アレルギー**  
 (コーディングシステム名 : JHSC0011、OID : 1.2.392.200270.4.4.1.11)

Value	Description
01	卵
02	小麦
03	えび
04	かに
05	そば
06	落花生
07	乳

### 4.3. JAHIS 標準テーブル等を用いた患者プロフィールの表現

本節では、各データ交換規約で共通的に使用する患者プロフィール項目を整理した。患者プロフィール項目は、HL7 であらかじめ用意されているもの、例えばアレルギーの AL1 セグメント等があればそれを活用するが、存在しない項目についてはできるだけ標準コードを使用して OBX セグメントに記載することとする。

表 4.3.1 に、本規約で定義する患者プロフィール項目、および、設定するセグメントについて整理した。

**表4.3.1 本規約で定義する患者プロフィール項目、および、設定するセグメント**

No	患者プロフィール項目	設定するセグメント
1	身長	OBX
2	体重	OBX
3	体表面積	OBX
4	ABO 血液型	OBX
5	Rh 血液型	OBX
6	消毒アレルギー	OBX
7	薬剤アレルギー	AL1
8	食物アレルギー	AL1
9	妊娠週数	OBX
10	妊娠有無	OBX
11	授乳有無	OBX
12	病名・疾患名	OBX
13	意識障害	OBX
14	視覚障害	OBX
15	聴覚障害	OBX
16	言語障害	OBX
17	運動障害	OBX
18	その他障害	OBX
19	喫煙	OBX
20	飲酒	OBX
21	既往歴	OBX
22	感染症有無	OBX

### 4.3.1. OBX セグメントに記載する患者プロフィール項目

患者プロフィール項目の標準コードとして、LOINC(Logical Observation Identifier Names and Codes)を採用することとする。また、LOINC に存在しない患者プロフィール項目については、JHSC 表を用いて定義した。また、「あり」「なし」などの値の表現、及び、感染症の「陽性」「陰性」「疑陽性」などの値の表現には「HL7 表 0532」を使用することとする。また、障害情報については、「あり」「なし」などの表現には「HL7 表 0532」を使用し、「重症度」の表現には「使用者定義表 0421」を使用することとする。

表 4.3.2 に LOINC にて定義をした患者プロフィール項目とそのコード、表 4.3.3 に JHSC 表にて定義をした患者プロフィール項目とそのコードについて整理した。

表4.3.2 LOINCにて定義した患者プロフィール項目とそのコード及び値表現  
(コーディングシステム名：LN)

コーディングシステム名 (OBX-3.3)	Value (OBX-3.1)	Description (OBX-3.2)	Data Type (OBX-2)	Code Set (OBX-5)	Unit (OBX-6)	備考
LN	8302-2	身長	NM	—	cm	
LN	3141-9	体重	NM	—	kg	
LN	8277-6	体表面積	NM	—	m2	
LN	883-9	ABO 血液型	CWE	JHSC0001	—	注1
LN	10331-7	Rh 血液型	CWE	JHSC0002	—	注1
LN	82810-3	妊娠有無	CWE	HL70532	—	
LN	54531-9	病名・疾患名	ST	—	—	
LN	11348-0	既往症	ST	—	—	
LN	54536-8	感染症有無	CWE	HL70532	—	

注記：血液型のLOINCコードについて、「JAHIS診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.1.0」、「HL7協会 退院時サマリー規格 Ver.1.0」では、882-1: ABO and Rh group [Type] in Blood が採用されているが、本規約では、ABO型とRh型を分けた 883-9: ABO group [Type] in Blood、10331-7: Rh [Type] in Bloodを推奨とする。

表4.3.3 JHSC表にて定義した患者プロフィール項目とそのコード及び値表現

コーディングシステム名 (OBX-3.3)	Value (OBX-3.1)	Description (OBX-3.2)	Data Type (OBX-2)	Code Set (OBX-5)	Unit (OBX-6)	備考
JHSC0003	01	消毒アレルギー有無	CWE	HL70532	—	
JHSC0004	01	妊娠週数	NM	—	週	
JHSC0004	02	授乳有無	CWE	HL70532	—	
JHSC0005	01	意識障害	CWE	HL70532 HL70421	— —	
JHSC0005	02	視覚障害	CWE	HL70532 HL70421	— —	
JHSC0005	03	聴覚障害	CWE	HL70532 HL70421	— —	
JHSC0005	04	言語障害	CWE	HL70532 HL70421	— —	
JHSC0005	05	運動障害	CWE	HL70532 HL70421	— —	
JHSC0005	99	その他障害	CWE	HL70532 HL70421	— —	
JHSC0006	01	飲酒頻度	CWE	JHSC0007	—	
JHSC0006	02	飲酒量	CWE	JHSC0008	—	
JHSC0009	01	喫煙有無	CWE	JHSC0010	—	
JHSC0009	02	1日の喫煙本数	NM	—	本	
JHSC0009	03	喫煙年数	NM	—	年	

HL7表0532 - 拡張されたYes/No 標識  
(コーディングシステム名 : HL70532)

Value	Description
NI	未検査
N	陰性/なし
Y	陽性/あり
UNK	不明
ASKU	疑陽性

使用者定義表 0421 - Severity of Illness Code 疾病の重症度コード  
(コーディングシステム名 : HL70421)

Value	Description
MI	軽度
MO	中度
SE	重度

記載例 1

OBX|1|NM|8302-2^身長^LN||170.0|cm^cm^ISO+|||||F|||20170803<CR>  
 OBX|2|NM|3141-9^体重^LN||80.0|kg^kg^ISO+|||||F|||20170803<CR>  
 OBX|3|NM|8277-6^体表面積^LN||1.915|m2^m2^ISO+|||||F|||20170803<CR>  
 OBX|4|CWE|883-9^ABO 血液型^LN||A^A 型^JHSC0001|||||F<CR>  
 OBX|5|CWE|10331-7^Rh 血液型^LN||+^Rh (+)^JHSC0002|||||F<CR>  
 OBX|6|CWE|01^消毒アレルギー^JHSC0003||Y^あり^HL70532|||||F<CR>  
 OBX|7|CWE|54536-8^感染症有無^LN||N^なし^HL70532|||||F<CR>

記載例 2

OBX|1|CWE|82810-3^妊娠有無^LN||Y^あり^HL70532|||||F<CR>  
 OBX|2|NM|01^妊娠週数^JHSC0004||12|wk^週^ANSI+|||||F<CR>  
 OBX|3|ST|11348-0^既往症^LN||1981 年アレルギー性疾患~1988 年交通外傷 大腿骨骨折|||||F<CR>  
 OBX|4|CWE|05^運動障害^JHSC0005||N^なし^HL70532|||||F<CR>  
 OBX|5|CWE|03^聴覚障害^JHSC0005||UNK^不明^HL70532|||||F<CR>  
 OBX|6|CWE|02^視覚障害^JHSC0005||MI^軽度^HL70421|||||F<CR>

記載例 3

OBX|1|CWE|02^授乳有無^JHSC0004||Y^あり^HL70532|||||F<CR>  
 OBX|2|CWE|01^飲酒頻度^JHSC0006||03^ほとんど飲まない^JHSC0007|||||F<CR>  
 OBX|3|CWE|01^喫煙有無^JHSC0009||03^吸っていた^JHSC0010|||||F<CR>

記載例 4

OBX|1|ST|54431-9^病名・疾患名^LN||1|慢性胃潰瘍~肺癌の疑い|||||F<CR>  
 OBX|2|CWE|01^飲酒頻度^JHSC0006||01^毎日^JHSC0007|||||F<CR>  
 OBX|3|CWE|02^飲酒量^JHSC0006||03^2~3 合未満^JHSC0008|||||F<CR>  
 OBX|4|CWE|01^喫煙有無^JHSC0009||01^吸っている^JHSC0010|||||F<CR>  
 OBX|5|NM|02^1 日の喫煙本数^JHSC0009||20|HON^本^MR9P|||||F<CR>  
 OBX|6|NM|03^喫煙年数^JHSC0009||15|ann^年^ISO+|||||F<CR>

本規約では患者プロフィール項目の表記に係る事項を定めるものとし、未検査情報の送信要否や個別感染症の送信要否等については、各医療施設及び送受信するシステム間で取り決めを行なう必要がある。

### 4.3.2. 薬剤アレルギーのアレルゲンコード

薬剤アレルギーに対するアレルゲンコード(AL1-3)の標準コードとして、HOT9を採用する。

記載例：

```
AL1|1|DA^薬剤アレルギー^HL70127|101663507^キシロカイン注射液1%^HOT|MI^軽度^HL70128<CR>
```

### 4.3.3. 食物アレルギーのアレルゲンコード

食物アレルギーに対するアレルゲンコード(AL1-3)の標準コードとして、JHSC 表 0011 にて定義した。

記載例：

```
AL1|1|FA^食物アレルギー^HL70127|01^卵^JHSC0011|MI^軽度^HL70128<CR>
```

```
AL1|1|FA^食物アレルギー^HL70127|04^かに^JHSC0011|N^なし^HL70128<CR>
```

アレルギー重症度を定義している「使用者定義表 0128」に対して、以下の「Y」「N」の項目を追加し、「あり」「なし」を表現できるようにする。

使用者定義表 0128 - Allergy Severity アレルギー重症度  
(コーディングシステム名 : HL70128)

Value	Description
SV	重度
MO	中等度
MI	軽度
U	不明
Y	あり
N	なし

## 5. 本規約の対象範囲

### 5.1. 基本方針

本規約では、日本国内での HL7 の使用状況を鑑みて、相互運用性を確保するために、使用している HL7 V2.5 に加えて本節で述べる内容を固有事項として規定する。

本規約を参照するデータ交換規約の個別編（バージョンの末尾に「C」が付く）においても特に記述がない限り有効である。

#### 5.1.1. HL7 のバージョンについて

本規約では、日本国内で一般的に使用され、ISO 規格(ISO/HL7 27931:2009)でもある HL7 V2.5 を採用する。各部門システムによって HL7 V2.6 や HL7 V2.7 などのバージョンを使用せざるをえない場合は、データ交換規約の個別編で、使用する HL7 のバージョンや本規約の規定との違いを記述することとする。

#### 5.1.2. 文字コードについて

日本語の文字コードは、既存のアプリケーションとの親和性を考慮して JIS コード（文字集合は JIS X 0208:1990、ISO-IR 87、符号化規則は ISO-2022-JP）を推奨するが、当事者間の合意があれば文字集合として JIS 補助漢字（JIS X 0212、ISO-IR 159）や新 JIS コード（JIS X 0213、第一面 ISO-IR 233、第二面 ISO-IR 229）も使用してもよい。また、Unicode（ISO-IR 192、文字集合は JIS X 0221、ISO/IEC10646、符号化規則は UTF-8）を使用してもよい。Unicode の場合、BOM(Byte Order Mark)は使用しない。

いずれの場合も、使用する文字セットについては当事者間で確認し、表現できない文字がある場合には取り扱いを合意しておくこと。また、すべてのフィールドで半角カタカナ(ISO-IR 13)は使用しない。

##### **JIS コード(JIS X 0208:1990)を使用する場合:**

MSH-18 の繰り返しの 2 つ目に「ISO IR87」を、MSH-20 に「ISO 2022-1994」をそれぞれ指定する。

例: MSH|^~\&|... P|2.5|||ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>

##### **JIS コード(JIS X 0208:1990)に加え、JIS 補助漢字(JIS X 0212)を使用する場合:**

MSH-18 の繰り返しの 2 つ目に「ISO IR87」、繰り返しの 3 つ目に「ISO IR159」を、MSH-20 に「ISO 2022-1994」をそれぞれ指定する。

例: MSH|^~\&|... P|2.5|||ASCII~ISO IR87~ISO IR159||ISO 2022-1994<CR>

##### **新 JIS コード(JIS X 0213)を使用する場合:**

JIS X 0213:2004 の場合は、MSH-18 の繰り返しの 2 つ目に「ISO IR233」、繰り返しの 3 つ目に「ISO IR229」を、MSH-20 に「ISO 2022-JP-2004」をそれぞれ指定する。(HL7 V2.5 では、「ISO 2022-JP-2004」が定義されていないため、本規約固有の拡張となることに注意すること。)

例: MSH|^~\&|... P|2.5|||ASCII~ISO IR233~ISO IR229||ISO 2022-JP-2004<CR>

##### **Unicode(JIS X 0221 ISO/IEC10646)の UTF-8 を使用する場合:**

MSH-18 に「UNICODE UTF-8」を指定し、MSH-20 は設定しない。

例: MSH|^~\&|... P|2.5|||UNICODE UTF-8<CR>

#### 5.1.3. MLLP(Minimal Lower Layer Protocol)について

MLLP とは、メッセージの先頭に SB (ASCII コード 0x0B) を、末尾に EB (同 0x1C)、CR (同 0x0D)



の制御コードを、それぞれ付加するプロトコルである。しかし、日本国内ではメッセージの先頭の SB は省略する実装が一般的であるため、本規約でもそれを推奨する。国際的には MLLP に基づき SB も出力する方が一般的であるため、国際的な相互運用性を確保する必要がある場合は、設定により SB の出力有無を切り替えられるようにするなどの考慮が必要である。

#### 5.1.4. テキスト内の改行の表現方法について

TX 型のフィールドでテキストデータに改行が含まれる場合、HL7 のセグメント区切り文字と被るためエスケープ処理を行う必要がある。本規約では、1 バイト系の文字コードに ASCII コードを使用することを前提に、\X0D0A\ とエンコードする。

#### 5.1.5. マルチ文字セットをサポートするエスケープシーケンスについて

HL7 では FT, ST および TX 型のためのマルチ文字セットをサポートするエスケープシーケンス (\Cxyy\ や \Mxyyzz\ ) が定義されているが、本規約ではその使用を推奨しない。その代り、例えば JIS コード(JIS X 0208:1990)を使用する場合は MSH-20 で「ISO 2022-1994」を指定し、ISO 2022-1994(JIS X 0202)で定義されているエスケープシーケンスを使用することを推奨する。

#### 5.1.6. 各種セパレータの変更について

HL7 ではフィールドセパレータ、成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字、副成分セパレータの各セパレータを MSH セグメントで指定すれば変更することが可能であるが、本規約ではデフォルトの文字を使用することを推奨し、変更することは推奨しない。

#### 5.1.7. NTE セグメントについて

NTE セグメントは、注釈やコメントを送信するためのメッセージ共通のセグメントとして定義されているが、汎用性の高さのため内容に応じた個別のセグメント、フィールドを使用すべき注釈やコメントにも安易に使用されると相互運用性を低下させることになるため、本規約ではその使用を推奨しない。内容に応じた個別のセグメント、フィールドがある場合はそれを使用することを推奨する。

#### 5.1.8. DSC セグメントについて

DSC セグメントは、実装上の制約から長いメッセージやセグメントをいくつかの塊に分割する場合に使用されるセグメントであるが、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。ただし、実装上の理由で十分に大きなメッセージ単位(トランザクション)を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 V2.5 に従ってこのセグメントを採用することができる。この決定には後続ポイントの表現方法も含まれる。(関連する HL7 V2.5 は、2.10.2 節、2.15.4 節。)

#### 5.1.9. その他の固有事項

- 1) CX 型の第 5 成分について  
本規約では「PI」のみ使用する。

## 5.2. 対象範囲

本規約では下図「システム間情報伝達イメージ」の範囲を対象とする。また、取り扱うメッセージタイプ及びトリガーイベントを表「メッセージとトリガーイベント」に示す。

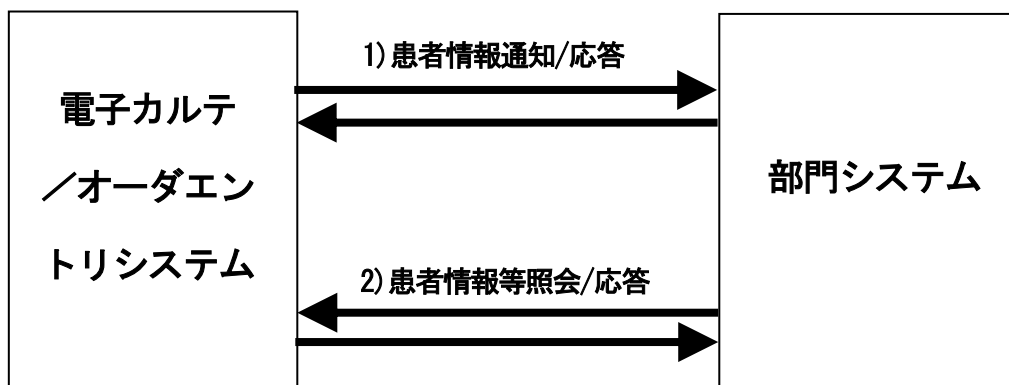


図 5-1 システム間情報伝達イメージ

表 5-1 メッセージとトリガーイベント

メッセージ定義	メッセージタイプ	トリガーイベント	イベントタイプ
1)患者情報通知	ADT→ ←ACK	入院/来院の通知	A01
		転科転棟・外部からの移送	A02
		退院/通院終了	A03
		患者の登録	A04
		患者情報の更新	A08
		入院/来院の通知(A01)の取消	A11
		患者の転科転棟・外部からの移送(A02)の取消	A12
		退院/通院終了(A03)の取消	A13
		患者の外出・外泊開始	A21
		患者の帰院	A22
		患者情報の関連付け	A24
		個人情報の追加	A28
		個人情報の更新	A31
		患者情報の関連付けの解除	A37
		患者情報のマージ患者 ID リスト	A40
		患者 ID リストの変更	A47
		患者の外出・外泊開始(A21)の取消	A52
		患者の帰院(A22)の取消	A53
		副作用情報の更新	A60
2)患者情報等照会	QBP→ ←RSP	患者基本情報の照会	Q22/K21
		患者基本情報および所在の照会	ZV1/ZV2

「メッセージタイプ」欄の矢印（→、←）は、メッセージの応答関係を表す。上側の矢印（→）が最初のメッセージの送信を意味し、下側の矢印（←）が最初のメッセージに対する応答メッセージの送信を意味する。

## メッセージの概要

### 1) 患者情報通知(ADT/ACK)

患者に関する各種イベントの情報を ADT メッセージで通知し、それに対する応答を ACK メッセージで返す。

### 2) 患者情報等照会(QBP/RSP)

患者情報を QBP メッセージで問い合わせる。それに対する回答を RSP メッセージで返す。

## 6. メッセージ構文

本規約では、HL7 メッセージを構成するセグメントの省略の可否 ([ ]表記) や繰り返しの可否 ({}表記) に加え、JAHIS 仕様での要否を明確にするためコメント Usage に要否等を付記した。

メッセージ構文での表記規則：

- Usage (JAHIS仕様での取り扱い)
  - R - 必須。
  - RE - 存在すれば必須 (送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する)。
  - O - オプション。
  - C - トリガーイベントまたはメッセージの使用条件による。
  - X - 本規約では使用しない。
  - N - 使用しない (関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可)。
- 注記: [ ] は省略可能、{} は繰り返し可能を示す。
- 注記: 特にセグメントグループについては、そのセグメントグループの要否等を記し、さらにそのグループに属する個々セグメントの要否等を記した。

## 6.1. 情報照会(QBP/RSP)

患者基本情報や検査結果情報の照会には情報照会メッセージ(QBP)を用いる。その応答には情報応答メッセージ(RSP)を用いる。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

### 6.1.1. QBP 患者基本属性照会メッセージ イベント(Q22)

患者基本属性照会(Patient Demographics Query)メッセージ(Q22)は、IHE IT Infrastructure テクニカルフレームワークのPDQ プロファイルにおいて、患者IDなどを指定し、該当する患者の氏名、性別、生年月日等、基本となる情報を照会するメッセージである。後述の患者基本属性及び所在照会(Patient Demographics and Visit Query)メッセージでは、患者所在情報が応答に付随するのに対して、本メッセージでは、患者の基本的な情報のみであり、入院外来の区別や所在情報は応答メッセージに含まれない。

本メッセージは、IHE IT Infrastructure テクニカルフレームワーク のPDQ プロファイル使用時にのみ使用可能なメッセージである。

表6.1-1 QBP 患者情報照会メッセージ

QBP^Q22^QBP_Q21	Patient Information Query	Usage
MSH	Message Header	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
RCP	Response Control Parameters	R
[DSC]	Continuation Pointer	O

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- MSH-9は「QBP^Q22^QBP\_Q21」とする。
- QPD-1(MessageQueryName)は「IHE PDQ Query」とする。
- QPD-3(Demographics Fields)は以下のように設定する。  
@<seg>.<field no>.<component no>.<subcomponent no>^<value>
- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。  
ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位(トランザクション)を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 V2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。この決定には継続ポインタの表現方法も含まれる。(関連する HL7 V2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。)  
以下、他のメッセージも同様である。

### 6.1.2. RSP 患者基本属性応答メッセージ イベント(K22)

患者基本属性応答メッセージ(K22)は、患者基本属性照会メッセージに応答し、指定された患者の基本情報を応答するメッセージである。

表6.1-2 RSP 患者基本属性応答メッセージ

RSP^K22^RSP_K21	Patient Information Response	Usage
MSH	Message Header	R
MSA	Message Acknowledgment	R
[{ERR}]	Error	RE
QAK	Query Acknowledgement	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
[{	--- Patient Demographics Begin	
PID	Patient Identification	RE

RSP^K22^RSP_K21	Patient Information Response	Usage
[PD1]	Additional Demographics	N
[QRI]	Query Response Instance	N
}]	--- Patient Demographics End	
[DSC]	Continuation Pointer	O

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- メッセージ応答(MSA)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。
- 照会応答(QAK)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須であり、QBPメッセージに記載されたものをそのまま記載する。
- MSH-9は「RSP^K22^RSP\_K21」となる。
- IHE-Jのコネクタソンでは、患者追加基本情報(PD1)セグメント、照会応答インスタンス(QRI)セグメント、継続ポインタ(DSC)セグメントは使用しない。

### 6.1.3. QBP 患者基本属性及び所在照会メッセージ イベント(ZV1)

患者基本属性及び所在照会(Patient Demographics and Visit Query)メッセージ(ZV1)は、IHE IT Infrastructure テクニカルフレームワークのPDVQ プロファイルにおいて、患者IDなどを指定し、該当する患者の氏名、性別、生年月日等、基本となる情報と、患者入外区分や病棟、病室などの患者所在情報を同時に照会するメッセージである。前述の患者基本属性照会(Patient Demographics Query)メッセージでは、患者の基本的な情報のみであったのに対して、本メッセージでは、患者所在情報が応答に付随し、入院外来の区別や所在情報が応答メッセージに含まれる。

本メッセージは、IHE IT Infrastructure テクニカルフレームワークのPDVQ プロファイル使用時のみ使用可能なメッセージである。

表6.1-3 QBP 患者情報照会メッセージ

QBP^ZV1^QBP_Q21	Patient Information Query	Usage
MSH	Message Header	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
RCP	Response Control Parameters	R
[DSC]	Continuation Pointer	O

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- MSH-9は「QBP^ZV1^QBP\_Q21」とする。
- QPD-1は「IHE PDVQ Query」とする。
- QPD-3(Demographics Fields)は以下のように設定する。  
@<seg>.<field no>.<component no>.<subcomponent no>^<value>

### 6.1.4. RSP 患者基本属性及び所在応答メッセージ イベント(ZV2)

患者基本属性応答メッセージ(ZV2)は、患者基本属性及び所在照会メッセージに回答し、指定された患者の基本属性及び所在情報を応答するメッセージである。

表6.1-4 RSP 患者基本属性および所在応答メッセージ

RSP^ZV2^RSP_ZV2	Patient Information Response	Usage
MSH	Message Header	R
MSA	Message Acknowledgment	R
[{ERR}]	Error	RE

RSP^ZV2^RSP_ZV2	Patient Information Response	Usage
QAK	Query Acknowledgement	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
[{	--- Patient Demographics Begin	C
PID	Patient Identification	RE
[PD1]	Additional Demographics	N
PV1	Patient Visit	R
[PV2]	Patient Visit - Additional Information	O
[QRI]	Query Response Instance	N
}]	--- Patient Demographics End	
[DSC]	Continuation Pointer	O

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- メッセージ応答(MSA)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。
- 照会応答(QAK)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須であり、QBPメッセージで記載されたものをそのまま記載する。
- 本メッセージでは患者識別(PID)セグメントが存在する場合、来院情報(PV1)セグメントが必須となる。
- MSH-9は「RSP^ZV2^RSP\_ZV2」とする。
- IHE-Jのコネクタソンでは、患者追加基本情報(PD1)セグメント、照会応答インスタンス(QRI)セグメントは使用しない。

## 6.2. 患者情報通知(ADT/ACK)

患者情報の通知には患者管理メッセージ(ADT)を用いる。

HL7 V2.5 では ADT メッセージはイベント A01-A62 が定義されているが、本規約では JAHIS 標準で採用されている表 6-2 のメッセージについて、セグメントと構文規則を記載する。

表 6.2-1 本規約で定義するADTメッセージ

トリガー	名称	備考
A01	入院/来院の通知	
A02	転科転棟・外部からの移送	
A03	退院/通院終了	
A04	患者の登録	
A08	患者情報の更新	
A11	入院/来院の通知(A01)の取消	
A12	患者の転科転棟・外部からの移送(A02)の取消	
A13	退院/通院終了(A03)の取消	
A21	患者の外出外泊開始	
A22	患者の帰院	
A24	患者情報の関連付け	
A28	個人情報の追加	
A31	個人情報の更新	
A37	患者情報の関連付けの解除	
A40	患者情報のマージ-患者 ID リスト	
A47	患者 ID リストの変更	
A52	患者の外出外泊開始(A21)の取消	
A53	患者の帰院(A22)の取消	
A60	副作用情報の更新	



### 6.3. ADT/ACK 入院／来院の通知 イベント(A01)

A01 イベントは入院患者でのみ使われることを想定している。A01 イベントは患者のベッドが割り当てられる処理の際に送られる。その患者が医療機関への滞在が始まることを知らせる。通常、この情報は患者管理システムに入力され、病棟や補助的なシステムへ伝送される。また、入院期間が短い場合や、身元不明者の入院の場合でもこの通知が使用される。A01 イベントは次のようなことを知らせる時に使用する。薬剤システムに患者の入院と処方が発生する可能性があること。看護システムには患者が入院してケアプランの準備が必要なこと。財務システムには費用が発生し始めること。給食システムには患者の入院とともに給食が必要であること。臨床検査部、病理部、放射線システムには患者の入院とともに検査が発生するかもしれないこと。診療データ管理部門では EMR (Electric Medical Record:電子診療録) に対して入院したことを記録すること。

会計の開始と終了の期間が特別に長い場合は、P01 (患者会計加算) イベントを用いて会計の開始を通知すべきである。A01 イベントは医療機関における患者の到着を通知するばかりではなく、費用の発生を通知することができる。患者の到着を通知することなく、費用の発生を通知する時は P01 イベントを使用する。

このメッセージにおいて ROL (役割セグメント) は他の医療機関と通信するときを使用される。継続した信頼関係を築いている個人レベルの医療提供者は、PID/PD1 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。PV1 セグメントに対応する医療提供者は、PV1/PV2 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。特定の保険に関連した医療機関は IN1,IN2,IN3 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。医療機関にかかる最初の、そして最終の日付を通知する場合は、ROL セグメントの「ROL-5 役割開始日時」と、「ROL-6 役割終了日時」と、「ROL-3 役割」を使用する。ROL セグメントの定義については HL7 V2.5 15 章を参照。

表6.3-1 ADT/ACK - 入院／来院の通知 (イベント A01)

ADT^A01^ADT_A01	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
PID	Patient Identification	R
[ PD1 ]	Additional Demographics	O
[{ ROL }]	Role	O
[{ NK1 }]	Next of Kin / Associated Parties	O
PV1	Patient Visit	R
[ PV2 ]	Patient Visit - Additional Info.	O
[{ ROL }]	Role	O
[{ DB1 }]	Disability Information	O
[{ OBX }]	Observation/Result	O
[{ AL1 }]	Allergy Information	O
[{ DG1 }]	Diagnosis Information	O
[ DRG ]	Diagnosis Related Group	O
[{	--- PROCEDURE begin	O
PR1	Procedures	R
[{ ROL }]	Role	O
}]	--- PROCEDURE end	
[{ GT1 }]	Guarantor	O
[{	--- INSURANCE begin	O
IN1	Insurance	R
[ IN2 ]	Insurance Additional Info.	O
[{ IN3 }]	Insurance Additional Info - Cert.	O
[{ ROL }]	Role	O

ADT^A01^ADT_A01	ADT Message	Usage
}]	--- INSURANCE end	
[ ACC ]	Accident Information	O
[ UB1 ]	Universal Bill Information	O
[ UB2 ]	Universal Bill 92 Information	O
[ PDA ]	Patient Death and Autopsy	O

ACK^A01^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[{ ERR }]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- 患者アレルギー情報(AL1)セグメントは、アレルギー情報がない場合は省略できる。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE ,AR ,CE , CR)の場合に使用しなければならない。

### 6.3.1. ADT/ACK 転科転棟・外部からの移送メッセージ イベント(A02)

A02 イベントは患者に割り当てられた物理的な所在が変更になった結果通知される。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。もし、他の重要なフィールドの内容が変更になった時には、引き続き A08 (患者情報の更新) イベントを送ることを推奨する。もし、あなたの患者管理システムが患者基本情報の変更 (例えば住所の変更) を同時に伝えられるなら、二つのメッセージ (A02 と、引き続き A08) を送ることを推奨する (必須ではない)。

A02 イベントは入院患者、入院外患者両方に使用できる。

患者の新しい所在は「PV1-3 患者に割り当てられた場所」で示す。また、元の所在は「PV1-6 患者の以前の所在」で示す。例えば、A02 イベントは次のようなことを知らせる時に使用する。患者が移動した時に、臨床検査部門、放射線部門、病理部門からの検査結果の送付先を変更すること。薬剤部門から薬剤の届け先を変更すること。給食部門から給食の届け先を変更すること。診療データ管理部門は電子診療録に転科転棟を記録すること。

もし患者が一時的な所在へ移動する場合 (手術部、レントゲン室、移動中、廊下など) は、A02 イベントの代わりに A09 患者の移動開始・移動中と A10 患者の到着・移動終了の使用を推奨する。A02 イベントは実際に患者に割り当てられたベッドが変更になった時にだけ使用することを推奨する。

このメッセージにおいて ROL (役割セグメント) は他の医療機関と通信するときに使用される。継続した信頼関係を築いている個人レベルの医療提供者は、PID/PD1 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。PV1 セグメントに対応する医療提供者は、PV1/PV2 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。特定の保険に関連した医療機関は IN1,IN2,IN3 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。医療機関にかかる最初の、そして最終の日付を通知する場合は、ROL セグメントの「ROL-5 役割開始日時」と、「ROL-6 役割終了日時」と、「ROL-3 役割」を使用する。ROL セグメントの定義については HL7 V2.5 15 章を参照のこと。

表6.3-2 ADT/ACK -転科転棟・外部からの移送 (イベント A02)

ADT^A02^ADT_A02	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R

ADT^A02^ADT_A02	ADT Message	Usage
[{ SFT }]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
PID	Patient Identification	R
[ PD1 ]	Additional Demographics	O
[{ ROL }]	Role	O
PV1	Patient Visit	R
[ PV2 ]	Patient Visit - Additional Info.	O
[{ ROL }]	Role	O
[{ DB1 }]	Disability Information	O
[{ OBX }]	Observation/Result	O
[ PDA ]	Patient Death and Autopsy	O

ACK^A02^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[{ ERR }]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE ,AR ,CE , CR)の場合に使用しなければならない。

### 6.3.2. ADT/ACK 退院／通院終了メッセージ イベント(A03)

A03 イベントは医療機関における患者の滞在が終了したことを通知する。この通知により患者状態は「退院」に変更されるとともに退院日が記録される。患者はその医療機関からは居なくなる。退院直前の患者所在は「PV1-3 患者に割り当てられた場所」で伝達する。

A03 イベントは次のようなことを知らせる時に使用する。薬剤部門では患者退院に伴う薬剤請求情報が変更されたこと。看護システムには患者の退院とケアプランが終了したこと。延長治療または在宅健康システムでは患者が退院し、新たな延長治療もしくは在宅ケアを始める審査を予定できること。財務システムには患者に対する会計期間が終了したこと、そして／または臨床データ記録部門には電子診療録に退院を記録すること。

入院外患者において A03 イベントは医療機関への滞在の終了を通知する。この通知により入院外患者の滞在が終了したことが通知される。この通知は救急部においても使用される。滞在終了日時を知らせるためには「PV1-45 退院日時」を使用する。

会計の開始と終了の期間が特別に長い場合は、P06（会計終了）イベントを用いて会計の終了を通知すべきである。患者の死亡を通知する場合は、A03 イベントで「PID-29 患者死亡日時」、「PID-30 患者死亡識別情報」を使用する。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。予定されている延長治療または在宅ケアを始める要求（例えば延長治療計画を完成させる準備のために看護評価を予定するなど）がある場合にはオプションであるアレルギー、近親者、保険や保証人のフィールドを送らなければならない。もし、他の重要なフィールドの内容が変更になった時には、引き続き A08（患者情報の更新）イベントを送ることを推奨する。

このメッセージにおいて ROL（役割セグメント）は他の医療機関と通信するときに使用される。継続した

信頼関係を築いている個人レベルの医療提供者は、PID/PD1 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。PV1 セグメントに対応する医療提供者は、PV1/PV2 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。特定の保険に関連した医療機関は IN1,IN2,IN3 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。医療機関にかかる最初の、そして最終の日付を通知する場合は、ROL セグメントの「ROL-5 役割開始日時」と、「ROL-6 役割終了日時」と、「ROL-3 役割」を使用する。ROL セグメントの定義については HL7 V2.5 15 章を参照。

表6.3-3 ADT/ACK -退院/通院終了 (イベント A03)

ADT^A03^ADT_A03	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
PID	Patient Identification	R
[ PD1 ]	Additional Demographics	O
[ { ROL } ]	Role	O
[ { NK1 } ]	Next of Kin / Associated Parties	O
PV1	Patient Visit	R
[ PV2 ]	Patient Visit - Additional Info.	X
[ { ROL } ]	Role	O
[ { DB1 } ]	Disability Information	O
[ { AL1 } ]	Allergy Information	O
[ { DG1 } ]	Diagnosis Information	O
[ DRG ]	Diagnosis Related Group	O
[ {	--- PROCEDURE begin	O
PR1	Procedures	R
[ { ROL } ]	Role	O
}]	--- PROCEDURE end	
[ { OBX } ]	Observation/Result	O
[ { GT1 } ]	Guarantor	O
[ {	--- INSURANCE begin	O
IN1	Insurance	R
[ IN2 ]	Insurance Additional Info.	O
[ { IN3 } ]	Insurance Additional Info - Cert.	O
[ { ROL } ]	Role	O
}]	--- INSURANCE end	
[ ACC ]	Accident Information	O
[ PDA ]	Patient Death and Autopsy	O

ACK^A03^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[ { ERR } ]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- 患者アレルギー情報(AL1)セグメントは、アレルギー情報がない場合は省略できる。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE,AR,CE,CR)の場合に使用しなければな

らない。

### 6.3.3. ADT/ACK 患者の登録メッセージ イベント(A04)

A04 イベントは、ベッドが割り当てられていない患者で1回限りの、または定期的な外来患者の到着と受付を通知する時に用いられる。例えば、救急部への患者の到着などに用いられる。いくつかのシステムではこれらのイベントを外来患者の登録や救急患者の受入で使用している。「PV1-44 入院日時」を到着時刻として使用する。

このメッセージにおいてROL(役割セグメント)は他の医療機関と通信するとき使用される。継続した信頼関係を築いている個人レベルの医療提供者は、PID/PD1セグメントに続くROLセグメントで通知する。PV1セグメントに対応する医療提供者は、PV1/PV2セグメントに続くROLセグメントで通知する。特定の保険に関連した医療機関はIN1,IN2,IN3セグメントに続くROLセグメントで通知する。医療機関にかかる最初の、そして最終の日付を通知する場合は、ROLセグメントの「ROL-5 役割開始日時」と、「ROL-6 役割終了日時」と、「ROL-3 役割」を使用する。ROLセグメントの定義についてはHL7 V2.5 15章を参照。

表6.3-4 ADT/ACK - 患者の登録 (イベント A04)

ADT^A04^ADT_A01	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
PID	Patient Identification	R
[ PD1 ]	Additional Demographics	O
[{ ROL }]	Role	O
[{ NK1 }]	Next of Kin / Associated Parties	O
PV1	Patient Visit	R
[ PV2 ]	Patient Visit - Additional Info.	O
[{ ROL }]	Role	O
[{ DB1 }]	Disability Information	O
[{ OBX }]	Observation/Result	O
[{ AL1 }]	Allergy Information	O
[{ DG1 }]	Diagnosis Information	O
[ DRG ]	Diagnosis Related Group	O
[{	--- PROCEDURE begin	O
PRI	Procedures	R
[{ ROL }]	Role	O
}]	--- PROCEDURE end	
[{ GT1 }]	Guarantor	O
[{	--- INSURANCE begin	O
IN1	Insurance	R
[ IN2 ]	Insurance Additional Info.	O
[{ IN3 }]	Insurance Additional Info - Cert.	O
[{ ROL }]	Role	O
}]	--- INSURANCE end	
[ ACC ]	Accident Information	O
[ UB1 ]	Universal Bill Information	O
[ UB2 ]	Universal Bill 92 Information	O
[ PDA ]	Patient Death and Autopsy	O

ACK^A04^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[ { ERR } ]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- 患者アレルギー情報(AL1)セグメントは、アレルギー情報がない場合は省略できる。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE ,AR ,CE , CR)の場合に使用しなければならない。

### 6.3.4. ADT/ACK 患者情報の更新メッセージ イベント(A08)

このトリガーイベントは、患者情報の変更があったが、他のいかなるトリガーイベントが発生しないときに使用される。例えば、A08 イベントは受信側のシステムにおける住所の変更や氏名の変更を伝えることができる。A08 トランザクションは他のトリガーイベントによって関係しない情報の更新することに使う事を強く推奨する。もし、この更新に関して特定のトリガーイベントがある場合は、それらのトリガーイベントを使わなければならない。例えば、患者の住所と所在が変わった時は、A08 は患者の住所が変わったことに対して用い、患者の所在変更を伝えるには相当する患者所在に関するトリガーイベントを用いる。A08 イベントは治療に関する情報を含むことができるが、患者基本情報だけで使用してもよい。

このメッセージにおいて ROL (役割セグメント) は他の医療機関と通信するときに使用される。継続した信頼関係を築いている個人レベルの医療提供者は、PID/PD1 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。PV1 セグメントに対応する医療提供者は、PV1/PV2 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。特定の保険に関連した医療機関は IN1,IN2,IN3 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。医療機関にかかる最初の、そして最終の日付を通知する場合は、ROL セグメントの「ROL-5 役割開始日時」と、「ROL-6 役割終了日時」と、「ROL-3 役割」を使用する。ROL セグメントの定義については HL7 V2.5 15 章を参照。

表6.3-5 ADT/ACK - 患者情報の更新 (イベント A08)

ADT^A08^ADT_A01	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
PID	Patient Identification	R
[ PD1 ]	Additional Demographics	O
[{ ROL }]	Role	O
[{ NK1 }]	Next of Kin / Associated Parties	O
PV1	Patient Visit	R
[ PV2 ]	Patient Visit - Additional Info.	O
[{ ROL }]	Role	O
[{ DB1 }]	Disability Information	O
[{ OBX }]	Observation/Result	O
[{ AL1 }]	Allergy Information	O
[{ DG1 }]	Diagnosis Information	O
[ DRG ]	Diagnosis Related Group	O
[{	--- PROCEDURE begin	O

ADT^A08^ADT_A01	ADT Message	Usage
PR1	Procedures	R
[ { ROL } ]	Role	O
]]	--- PROCEDURE end	
[ { GT1 } ]	Guarantor	O
[ {	--- INSURANCE begin	O
IN1	Insurance	R
[ IN2 ]	Insurance Additional Info.	O
[ { IN3 } ]	Insurance Additional Info - Cert.	O
[ { ROL } ]	Role	O
]]	--- INSURANCE end	
[ ACC ]	Accident Information	O
[ UB1 ]	Universal Bill Information	O
[ UB2 ]	Universal Bill 92 Information	O
[ PDA ]	Patient Death and Autopsy	O

ACK^A08^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[ { ERR } ]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- 患者アレルギー情報(AL1)セグメントは、アレルギー情報がない場合は省略できる。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE ,AR ,CE , CR)の場合に使用しなければならない。

### 6.3.5. ADT/ACK 入院／来院の通知(A01)の取消メッセージ イベント(A11)

入院患者に対して A11 イベントは、A01 入院／来院通知イベントが誤って送られた時、または入院させないことに決まった時に、A01 イベントのキャンセルとして通知される。

入院外患者に対しては、A11 イベントは A04 患者の登録イベントが誤って送られた場合、または外来受診しないと決まった時に A11 イベントのキャンセルとして送られる。A05 患者の事前登録イベントをキャンセルする場合は、A38 患者の事前登録の取消イベントを使用する。これは HL7 V2.3 からの標準的な方法である。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。もし、他の重要なフィールドの内容が変更になった時には、引き続き A08 (患者情報の更新) イベントを送ることを推奨する。

このメッセージにおいて DG1 セグメントは下位互換性のためにのみ残されている。

表6.3-6 ADT/ACK -入院／来院の通知(A01)の取消 (イベント A11)

ADT^A11^ADT_A09	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R

ADT^A11^ADT_A09	ADT Message	Usage
PID	Patient Identification	R
[ PD1 ]	Additional Demographics	O
PV1	Patient Visit	R
[ PV2 ]	Patient Visit - Additional Info.	O
[{ DB1 }]	Disability Information	O
[{ OBX }]	Observation/Result	O
[{ DG1 }]	Diagnosis Information	X

ACK^A11^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[ { ERR } ]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE ,AR ,CE , CR)の場合に使用しなければならない。

### 6.3.6. ADT/ACK 患者の転科転棟・外部からの移送(A02)の取消メッセージ イベント

#### (A12)

A12 イベントは、A02 転科転棟・外部からの移送イベントが誤入力により遅れた時、もしくは転科転棟しない、外部から移送しないことに決まった時に、A02 イベントのキャンセルとして送られる。「PV1-3 患者の割り当てられた場所」には患者の転科転棟前の所在を示さなければならない。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。もし、他の重要なフィールドの内容が変更になった時には、引き続き A08 (患者情報の更新) イベントを送ることを推奨する。

このメッセージにおいて DG1 セグメントは下位互換性のためにのみ残されている。

表6.3-7 ADT/ACK -患者の転科転棟・外部からの移送(A02)の取消 (イベント A12)

ADT^A12^ADT_A12	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
PID	Patient Identification	R
[ PD1 ]	Additional Demographics	O
PV1	Patient Visit	R
[ PV2 ]	Patient Visit - Additional Info.	O
[{ DB1 }]	Disability Information	O
[{ OBX }]	Observation/Result	O
[ DG1 ]	Diagnosis Information	B

ACK^A12^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R



ACK^A12^ACK	General Acknowledgment	Usage
[ { SFT } ]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[ { ERR } ]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE ,AR ,CE , CR)の場合に使用しなければならない。

### 6.3.7. ADT/ACK 退院、通院終了(A03)の取消メッセージ イベント(A13)

A13 イベントは A03 退院・通院の終了イベントが誤入力に送られた場合、もしくは退院、通院終了しないことになった時に、A03 イベントのキャンセルとして送られる。「PV1-3 患者の割り当てられた場所」は、キャンセル後の正しい患者所在を反映しなければならない。この所在は誤入力前の所在と異なってもよい。前の所在は、誤入力された退院を示す目的で使われることがある。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。もし、他の重要なフィールドの内容が変更になった時には、引き続き A08 (患者情報の更新) イベントを送ることを推奨する。

このメッセージにおいて ROL (役割セグメント) は他の医療機関と通信するときに使用される。継続した信頼関係を築いている個人レベルの医療提供者は、PID/PD1 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。PV1 セグメントに対応する医療提供者は、PV1/PV2 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。特定の保険に関連した医療機関は IN1,IN2,IN3 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。医療機関にかかる最初の、そして最終の日付を通知する場合は、ROL セグメントの「ROL-5 役割開始日時」と、「ROL-6 役割終了日時」と、「ROL-3 役割」を使用する。ROL セグメントの定義については HL7 V2.5 15 章を参照。

表6.3-8 ADT/ACK -退院、通院終了(A03)の取消 (イベント A13)

ADT^A13^ADT_A01	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
PID	Patient Identification	R
[ PD1 ]	Additional Demographics	O
[{ ROL }]	Role	O
[{ NK1 }]	Next of Kin / Associated Parties	O
PV1	Patient Visit	R
[ PV2 ]	Patient Visit - Additional Info.	O
[{ ROL }]	Role	O
[{ DB1 }]	Disability Information	O
[{ OBX }]	Observation/Result	O
[{ AL1 }]	Allergy Information	O
[{ DG1 }]	Diagnosis Information	O
[ DRG ]	Diagnosis Related Group	O
[{	--- PROCEDURE begin	O
PR1	Procedures	R
[{ ROL }]	Role	O
}]	--- PROCEDURE end	

ADT^A13^ADT_A01	ADT Message	Usage
[{ GT1 }]	Guarantor	O
[{	--- INSURANCE begin	O
IN1	Insurance	R
[ IN2 ]	Insurance Additional Info.	O
[{ IN3 }]	Insurance Additional Info - Cert.	O
[{ ROL }]	Role	O
}]	--- INSURANCE end	
[ ACC ]	Accident Information	O
[ UB1 ]	Universal Bill Information	O
[ UB2 ]	Universal Bill 92 Information	O
[ PDA ]	Patient Death and Autopsy	O

ACK^A13^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[ { ERR } ]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- 患者アレルギー情報(AL1)セグメントは、アレルギー情報がない場合は省略できる。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE,AR,CE,CR)の場合に使用しなければならない。

### 6.3.8. ADT/ACK 患者の外出外泊開始メッセージ イベント(A21)

A21 イベントは入院患者が一時的に医療機関から離れることをシステムに通知する。このイベントにおいてベッドは占有状態のまま、入院患者の活動は保留したままとする。例えば、この通知は給食システムや検査システムへ患者が週末に自宅に帰ることを通知する。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。もし、他の重要なフィールドの内容が変更になった時には、引き続き A08 (患者情報の更新) イベントを送ることを推奨する。

患者の外出外泊の開始日時について特別な決まりは無いが、「EVN-6 イベント発生日時」で実際に患者が医療機関を離れた日時を示すことを推奨する。また「PV2-47 予定帰院日時」に帰院予定時刻を示す。

表6.3-9 ADT/ACK - 患者の外出外泊開始 (イベント A21)

ADT^A21^ADT_A21	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
PID	Patient Identification	R
[PD1]	Additional Demographics	O
PV1	Patient Visit	R
[ PV2 ]	Patient Visit - Additional Info.	O
[{ DB1 }]	Disability Information	O

ADT^A21^ADT_A21	ADT Message	Usage
[ { OBX } ]	Observation/Result	O

ACK^A21^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[ { ERR } ]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE,AR,CE,CR)の場合に使用しなければならない。

### 6.3.9. ADT/ACK 患者の帰院メッセージ イベント(A22)

A22 イベントは入院患者が外出外泊から医療機関に戻ったことを通知するために送られる。このイベントにおいてベッドは占有状態のまま、入院患者の活動は保留したままとする。例えば、この通知は給食システムや検査システムへ患者が週末に自宅に帰ることを通知する。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。もし、他の重要なフィールドの内容が変更になった時には、引き続き A08 (患者情報の更新) イベントを送ることを推奨する。

患者の外出外泊の開始日時 (訳注: 原文は start date/time となっているが終了日時と思われる) について特別な決まりは無いが、「EVN-6 イベント発生日時」で実際に患者が医療機関に戻った日時を示すことを推奨する。また「PV2-47 予定帰院日時」に帰院予定時刻を示す。

表6.3-10 ADT/ACK - 患者の帰院 (イベント A22)

ADT^A22^ADT_A21	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
PID	Patient Identification	R
[ PD1 ]	Additional Demographics	O
PV1	Patient Visit	R
[ PV2 ]	Patient Visit - Additional Info.	O
[ { DB1 } ]	Disability Information	O
[ { OBX } ]	Observation/Result	O

ACK^A22^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[ { ERR } ]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。

- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE ,AR ,CE , CR)の場合に使用しなければならない。

### 6.3.10.ADT/ACK 患者情報の関連付けメッセージ イベント(A24)

A24 イベントは2つの患者識別情報が同じ患者を示す時に、最初の PID セグメントと2番目の PID セグメントを関連付ける必要があるときに使用する。2人またはそれ以上の患者は、実際に患者情報をマージする必要はない。リンクイベントを辿るだけで、関連付けられた患者情報は独立したままである。例えば、このイベントは大がかりな病院ネットワークシステムにおいて、それぞれの施設の記録をリンクするとき使用される。例えば、ある患者の医療記録が病院A、病院B、病院Cそれぞれ独立して存在しているとき、A24 リンクイベントを共通 MPI(Master Person Index)に送り、ひとつの共通 ID にて ID 情報を関連付けることを可能とする。このイベントは共同のデータ管理システムなどで使用される。このイベントは母親と新生児をリンクするものではない。なぜならばこの目的で「PID-21 母親の識別情報」があるからである。患者データの関連と、MPI についての詳細は HL7 V2.5 3 章の「3.6.3 患者記録の関連づけ」を参照 (または以下の注記を参照)。

このイベントはある患者が入院患者から入院外患者に代わった時の2つの患者識別情報の関連づけにも使われる。逆も同じである。また、このイベントは同じ患者の2回の来院情報を関連づけるときにも使用される。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。もし、他の重要なフィールドの内容が変更になった時には、引き続き A08 (患者情報の更新) イベントを送ることを推奨する。

注記：2つ、もしくはそれ以上の患者情報をリンクすることで、HL7 V2.5 3 章の 3.6.2 節 “患者／個人情報のマージ”で論じたような実際に患者情報をマージする必要がなくなる。リンクトリガーイベントを追うことで関連する患者データ記録は独立したまま残せる。しかしながら、データベース構造の差によってはシステム依存の制限があったり、リンクにおいて取り決めが必要な制約が発生するかもしれない。

MPI の実現については様々な方法がある。MPI の調整に有用なのは、2種類のリンクをサポートすることである。明示的なリンクにおいては、複数の識別子間のリンクを宣言するメッセージが必要である。暗黙的なリンクは、PID-3-患者 ID リストにおいて複数の識別子が存在することにより形成される。

MPI の設定においては、A24-患者情報のリンクメッセージで明示的に複数識別子のリンクを通知する。その際、それら識別子は同一発行機関のもので、異なる発行機関のもので良い。A37-患者情報の関連付けの解除は、明示的に複数識別子のリンクを解除することを通知する。

複数識別子の暗黙的なリンクは、時々受動的なリンクと呼ばれるが、様々なメッセージを用いて実装される。一般に承認された方法は、PID-3-患者 ID リストに含まれる複数の識別子に含まれ、受信側システムは暗黙的にリンクする。MPI またはこのような暗黙的なリンクを実現するアプリケーションは他システムにこのことを伝えるために A24-患者情報のリンクメッセージを作ることができる。

表6.3-11 ADT/ACK - 患者情報の関連付け (イベント A24)

ADT^A24^ADT_A24	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
PID	Patient (1) Identification	R
[ PD1 ]	Patient (1) Additional Demographics	X
[ PV1 ]	Patient (1) Visit	X
[{ DB1 }]	Patient (1) Disability Information	X

ADT^A24^ADT_A24	ADT Message	Usage
PID	Patient (2) Identification	R
[ PD1 ]	Patient (2) Additional Demographics	X
[ PV1 ]	Patient (2) Visit	X
[ { DB1 } ]	Patient (2) Disability Information	X

ACK^A24^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[ { ERR } ]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに2つ必須である。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE,AR,CE,CR)の場合に使用しなければならない。

### 6.3.11.ADT/ACK 個人情報の追加メッセージ イベント(A28)

このメッセージならびに次の3つのメッセージは、複数のシステムを持ち、独立した患者データベースを持つ施設の間で、それぞれの施設での患者であるかどうかにかかわらず、一人の患者の活動を通信することを目的としている。関連施設間でデータを完全な状態に維持するために個々のシステムは他システムのデータベース稼働状況を監視する。これらは ADT メッセージセットの一部として定義されているが、これらメッセージは他の患者用のものとは異なる。ある記録において、ある人は関心対象になる可能性がある、患者になる可能性がある、保証人になる可能性がある。例えば、これらのイベントは MPI(Master Person Index) や癌登録システム、マネージドケア名簿、HIV データベースなどで使うことができる。

これらイベントは A01 (入院/来院の通知)、A03 (退院/通院終了)、A04 (患者の登録)、A08 (患者情報の更新) などのイベントの代わりに使用してはいけない。これらはリアルタイムで動く患者管理イベントの通知として使うことを意図していない。これらイベントは主に患者基本情報用であるが、経時的非患者基本情報を送ってもかまわない。

データが送られた人は、その時に患者ではなく保証人の可能性がある人であっても、PID セグメントの「PID-3 患者 ID リスト」で特定できる必要がある。A28 は個人識別情報、例えば社会保障番号(Social Security Number)、保証人 ID など一意的な識別情報で成り立ち、そしてこれら個人識別情報は「PID-3 患者 ID リスト」に含まれる。必要な人は、それら識別情報と関係がある場合、ない場合があるかもしれない。そしてこのトランザクションにおいて、「患者」と標記されたフィールド名は「個人」と読み代えなければならない。この方法により、保証人に関する「個人情報」は保証人のいかなる患者との関係と独立して送ることができる。

例えば、入院患者システム、入院外患者システム、診療記録システムが独立した施設において、個々のシステムで個人情報を維持する必要があるかもしれない。入院に先立ち、入院患者システムのマスターデータベースに新しい個人情報が追加され、その結果、メッセージが他のシステムに通知される。入院外患者システムはこのメッセージを受け取り、その患者が入院外患者になる日のためにデータベースに記録する。診療記録システムは、そのメッセージを受け取り、その個人が入院患者、入院外患者、検診患者として追跡できるようにデータベースに記録する。診療記録データベースまたは MPI は、このメッセージを受け取り、患者候補、保証人候補としてデータベースに記録する。

A28 イベントは個人情報については何でも送ることができる。例えば、ICU へ患者が搬送される際に、患者のすべての患者基本情報を ICU システムに取り込ませるために、A02 転科転棟・外部からの移送イベントに追加して A28 イベントを送ることができる。A28 (個人情報の追加) または A31 (個人情報の更新) は

また、MPI 情報を個人情報として事後登録する、また履歴情報を個人情報として事後登録することに使用できる。

さらに、個人情報の同期を維持するために同様な方法でデータベースに対する個人を登録、削除、更新、マージができる。個人が患者になったときに、どの程度データを送信、再送信するかは、施設固有に調整する必要がある。

下位互換性を維持するため、PV1 セグメントは必要である。しかしながら、PV1・2 患者クラスを N-適応外とすることで、この目的に PV1 を使うことが出来る。

このメッセージにおいて ROL (役割セグメント) は他の医療機関と通信するときに使用される。継続した信頼関係を築いている個人レベルの医療提供者は、PID/PD1 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。PV1 セグメントに対応する医療提供者は、PV1/PV2 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。特定の保険に関連した医療機関は IN1,IN2,IN3 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。医療機関にかかる最初の、そして最終の日付を通知する場合は、ROL セグメントの「ROL-5 役割開始日時」と、「ROL-6 役割終了日時」と、「ROL-3 役割」を使用する。ROL セグメントの定義については HL7 V2.5 15 章を参照。

表6.3-12 ADT/ACK - 個人情報の追加 (イベント A28)

ADT^A28^ADT_A05	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
PID	Patient Identification	R
[ PD1 ]	Additional Demographics	O
[{ ROL }]	Role	O
[{ NK1 }]	Next of Kin / Associated Parties	O
PV1	Patient Visit	R
[ PV2 ]	Patient Visit - Additional Info.	X
[{ ROL }]	Role	X
[{ DB1 }]	Disability Information	O
[{ OBX }]	Observation/Result	O
[{ AL1 }]	Allergy Information	O
[{ DG1 }]	Diagnosis Information	O
[ DRG ]	Diagnosis Related Group	O
[{	--- PROCEDURE begin	O
PR1	Procedures	R
[{ ROL }]	Role	O
}]	--- PROCEDURE end	
[{ GT1 }]	Guarantor	O
[{	--- INSURANCE begin	O
IN1	Insurance	R
[ IN2 ]	Insurance Additional Info.	O
[{ IN3 }]	Insurance Additional Info - Cert.	O
[{ ROL }]	Role	O
}]	--- INSURANCE end	
[ ACC ]	Accident Information	O
[ UB1 ]	Universal Bill Information	O
[ UB2 ]	Universal Bill 92 Information	O

ACK^A28^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[ { ERR } ]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- 患者アレルギー情報(AL1)セグメントは、アレルギー情報がない場合は省略できる。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE,AR,CE,CR)の場合に使用しなければならない。

### 6.3.12.ADT/ACK 個人情報の更新メッセージ イベント(A31)

A31 イベントは MPI(Master Person Index)の個人情報の更新に使うことができる。A08 (患者情報の更新) イベントに似ているが、A08 (患者情報の更新) イベントは現在の出来事に対して患者情報を更新する際に使用される。A28 (個人情報の追加) または A31 は MPI 情報を個人情報として事後登録、あるいは履歴情報として個人情報に事後登録するためにも使用できる。

下位互換性を維持するため、PV1 セグメントは必要である。しかしながら、PV1-2 患者クラスを N-適応外とすることで、この目的に PV1 を使うことが出来る。

このメッセージにおいて ROL (役割セグメント) は他の医療機関と通信するとき使用される。継続した信頼関係を築いている個人レベルの医療提供者は、PID/PD1 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。PV1 セグメントに対応する医療提供者は、PV1/PV2 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。特定の保険に関連した医療機関は IN1,IN2,IN3 セグメントに続く ROL セグメントで通知する。医療機関にかかる最初の、そして最終の日付を通知する場合は、ROL セグメントの「ROL-5 役割開始日時」と、「ROL-6 役割終了日時」と、「ROL-3 役割」を使用する。ROL セグメントの定義については HL7 V2.5 15 章を参照。

注記：MPI は、患者、保証人、加入者、そして医療提供者をも含む個人(Person)を対象とし、個人の識別情報や異なるシステム間での相互参照を管理する目的で使用される。つまり、ID ドメインの間の調整役として機能する。一般的に MPI は広域の、あるいはエンタープライズ識別子を持ち、その識別子によりその MPI 自体で個人を一意的に識別する。この識別子のためのドメインは MPI のクライアントであっても、なくてもよい。また、MPI は個人に対する識別子を供給する機能、その個人に与えられた特色セット、または患者基本情報を含む。

表6.3-13 ADT/ACK – 個人情報の更新 (イベント A31)

ADT^A31^ADT_A05	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
PID	Patient Identification	R
[ PD1 ]	Additional Demographics	O
[ { ROL } ]	Role	O
[ { NK1 } ]	Next of Kin / Associated Parties	O
PV1	Patient Visit	R
[ PV2 ]	Patient Visit - Additional Info.	X
[ { ROL } ]	Role	O
[ { DB1 } ]	Disability Information	O
[ { OBX } ]	Observation/Result	O

ADT^A31^ADT_A05	ADT Message	Usage
[ { AL1 } ]	Allergy Information	O
[ { DG1 } ]	Diagnosis Information	O
[ DRG ]	Diagnosis Related Group	O
[ {	--- PROCEDURE begin	O
PR1	Procedures	R
{ ROL }	Role	O
}]	--- PROCEDURE end	
[ { GT1 } ]	Guarantor	O
[ {	--- INSURANCE begin	O
IN1	Insurance	R
[ IN2 ]	Insurance Additional Info.	O
[ { IN3 } ]	Insurance Additional Info - Cert.	O
[ { ROL } ]	Role	O
}]	--- INSURANCE end	
[ ACC ]	Accident Information	O
[ UB1 ]	Universal Bill Information	O
[ UB2 ]	Universal Bill 92 Information	O

ACK^A31^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[ { ERR } ]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- 患者アレルギー情報(AL1)セグメントは、アレルギー情報がない場合は省略できる。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE ,AR ,CE , CR)の場合に使用しなければならない。

### 6.3.13.ADT/ACK 患者情報の関連付けの解除メッセージ イベント(A37)

A37 イベントは2つの患者識別情報の関連づけを解除する。

表6.3-14 ADT/ACK - 患者情報の関連付けの解除 (イベント A37)

ADT^A37^ADT_A37	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
PID	Patient (1) Identification	R
[PD1]	Additional Demographics	X
[ PV1 ]	Patient (1) Visit	X
[ { DB1 } ]	Disability Information	X
PID	Patient (2) Identification	R
[PD1]	Additional Demographics	X



ADT^A37^ADT_A37	ADT Message	Usage
[ PV1 ]	Patient (2) Visit	X
[ { DB1 } ]	Disability Information	X

ACK^A37^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[ { ERR } ]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに2つ必須である。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE,AR,CE,CR)の場合に使用しなければならない。

### 6.3.14.ADT/ACK 患者情報のマージ-患者 ID リストメッセージ イベント(A40)

患者 ID リストのマージを行う。2つの「PID-3 患者 ID リスト」を1つにマージする。

A40 イベントは2つの異なる識別情報で示される誤ったフィールドを持つ患者の記録をマージするときの通知に使用される。「誤った識別情報」はMRGセグメント(MRG-1以前の患者 ID リスト)で示され、PIDセグメント(PID-3患者 ID リスト)に同じ種類の「正しい識別情報」を持つ情報でマージされる。「誤った識別情報」は二度と参照されることはない。しかしいくつかのシステムでは「間違った患者 ID」を物理的に保持している場合があるが、それは監査の目的、あるいはデータベースを導入したときの仕様によるものである。

患者を識別するための患者 ID は、来院情報があるかないか、会計情報があるかないか様々である。A40 (患者情報のマージ-患者 ID リスト) イベントは、患者情報のマージを意図したもので、下位の患者識別情報のマージを意図したものではない。他のいかなる不正確な患者 ID 他の識別情報は、正しい患者 ID 情報に関連付けられる。これら下位の患者識別情報は必ずしも必要ない。

このイベントとメッセージの書式では、しかしながら (PID-3 患者 ID リストに加えて) 下位の識別情報を許している。そのような環境では、これら下位の識別情報を A40 (患者情報のマージ-患者 ID リスト) でマージするには、旧識別情報と新識別情報が密接に対応していなければならない。

マージメッセージに関連した詳細については HL7 V2.5.3 章の「3.6.2 患者/個人情報のマージ」、「3.6.2.1.2 マージ」を参照 (または以下の注記を参照)。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。もし、他の重要なフィールドの内容が変更になった時には、引き続き A08 (患者情報の更新) イベントを送ることを推奨する。

注記：マージイベントは、2つの独立した記録が1つの記録に結合され、1組の識別子とデータがマージレベルで生き残ることを通知する。マージ識別子に従属したすべての記録は、生き残る記録に結合される。例えば、A40 (患者情報のマージ-患者 ID リスト) イベントは (MGR-4以前の患者 ID と PID-2-患者 ID で識別される) 2つの個人記録が1つの記録にマージされたことを通知する。個人記録に属する会計、来院といった識別子は互いにマージされない。これらは同じ個人の記録の中でマージされる。図 6.3.14-1:マージ 参照。

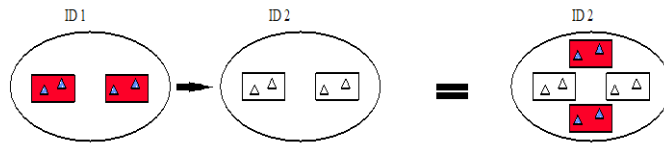


図 6.3.14-1: マージ

注記：マージの定義においては様々なシステムや環境におけるアプリケーションや導入、非残存情報をどう使うか、扱うかといったことを定義することは意図していない。この資料における“非残存情報”とは、データセットが誤った様式の中に存在することを示す。新しいデータセットにマージするという事は、2つのデータセットが1つになったことを示す。このことは、いかなるシステムや環境が新しいデータセットを運ぶことを意味し、前のデータセットをどうするかはアプリケーションの仕様次第である。いくつかのシステムでは、この“誤った”データセットを監査目的等の目的で物理的に保存していることも注意が必要である。

表6.3-15 ADT/ACK - 患者情報のマージ-患者IDリスト (イベント A40)

ADT^A40^ADT_A39	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
{	--- PATIENT begin	R
PID	Patient Identification	R
[ PD1]	Additional Demographics	O
MRG	Merge Information	R
[ PV1]	Patient Visit	X
}	--- PATIENT end	

ACK^A40^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[ { ERR } ]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE ,AR ,CE , CR)の場合に使用しなければならない。

### 6.3.15.ADT/ACK 患者 ID リストの変更メッセージ イベント(A47)

患者 ID リストレベルでの変更である。これはひとつの PID-3 患者 ID リストの値が誤った時に修正するために使用する。

A47 イベントは PID-3 患者 ID リストで誤って指定された値を変更するときに使用する。「誤った識別情報」の値はMRG セグメント (MRG-1 以前の患者 ID リスト) で示され、PID セグメント (PID-3 患者 ID

リスト) で示される「正しい患者 ID」の値に変更される。

患者を識別するための識別情報には会計情報を含むかもしれないし、含まないかもしれない。来院情報もあるかもしれないし、ないかもしれない。A47 (患者 ID リストの変更) イベントは他の下位の識別情報の変更なしで患者 ID リストの値を変更することを意図している。「間違った識別情報」で示される他の下位の識別情報は、「正しい識別情報」で示される情報に更新される。しかし、下位の識別情報は必須ではない。

このイベント、メッセージの書式においては、しかしながら、「PID-3 患者 ID リスト」に加えて) 新しい下位の識別情報を含むことができる。そのような環境では、これら下位の識別情報を A47 (患者 ID リストの変更) で変更するには、旧識別情報と新識別情報が密接に対応していなければならない。

変更メッセージを導入する際の詳細については HL7 V2.5 3 章の「3.6.2 患者/個人情報のマージ」 「3.6.2.1.3 移動」を参照。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。もし、他のフィールドの患者基本情報が変更になった時には、引き続き A31 (個人情報の更新) イベントを送ることを推奨する。しかしながら、新しい患者 ID に関連したすべての PID データは、更新情報として扱われる。

表6.3-16 ADT/ACK - 患者IDリストの変更 (イベント A47)

ADT^A47^ADT_A30	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
PID	Patient Identification	R
[PD1]	Additional Demographics	O
MRG	Merge Information	R

ACK^A47^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[ { ERR } ]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE,AR,CE,CR)の場合に使用しなければならない。

### 6.3.16.ADT/ACK 患者の外出外泊開始(A21)の取消メッセージ イベント(A52)

A52 イベントは、A21 (患者の外出外泊の開始) イベントが誤入力により遅れた時、もしくは外出外泊しないことに決まった時に、A21 イベントのキャンセルとして送られる。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。もし、他の重要なフィールドの内容が変更になった時には、引き続き A08 (患者情報の更新) イベントを送ることを推奨する。

患者の外出外泊の取消日時に関する特別の取り決めはないが、「EVN-6 イベント発生日時」に実際に取消となった日時を示すことを推奨する。(但し記録の必要はない)

表6.3-17 ADT/ACK - 患者の外出外泊開始(A21)の取消 (イベント A52)

ADT^A52^ADT_A52	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R

ADT^A52^ADT_A52	ADT Message	Usage
[ { SFT } ]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
PID	Patient Identification	R
[PD1]	Additional Demographics	O
PV1	Patient Visit	R
[ PV2 ]	Patient Visit - Additional Info.	O

ACK^A52^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[ { ERR } ]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE ,AR ,CE , CR)の場合に使用しなければならない。

### 6.3.17.ADT/ACK 患者の帰院(A22)の取消メッセージ イベント(A53)

A53 イベントは、A22 (患者の帰院) イベントが誤入力された時、もしくは帰院しないことに決まった時に、A22 イベントのキャンセルとして送られる。

このメッセージが送られる時の各フィールドはこのイベントを伝えるために適切な内容でなければならない。もし、他の重要なフィールドの内容が変更になった時には、引き続き A08 (患者情報の更新) イベントを送ることを推奨する。

患者の外出外泊の取消日時に関する特別の取り決めはないが、「EVN-6 イベント発生日時」に実際に取消となった日時を示すことを推奨する。(但し記録の必要はない)

PV2-47 予定帰院日時は、患者が外出外泊から帰院する予定日時を伝えるのに使用する。

表6.3-18 ADT/ACK - 患者の帰院(A22)の取消 (イベント A53)

ADT^A53^ADT_A52	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
PID	Patient Identification	R
[PD1]	Additional Demographics	O
PV1	Patient Visit	R
[ PV2 ]	Patient Visit - Additional Info.	O

ACK^A53^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[ { ERR } ]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。

- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院補足情報(PV2)セグメントは省略ができる。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE ,AR ,CE , CR)の場合に使用しなければならない。

### 6.3.18.ADT/ACK 副作用情報の更新メッセージ イベント(A60)

このトリガーイベントは個人／患者のアレルギー情報が変更になったときに通知される。新しいアレルギーセグメント IAM-患者アレルギー情報セグメント（訳注：IAM は副作用情報セグメントである）を追加して使用する。新しいセグメントでは、アレルギー情報の追加、変更、識別情報、HL7 V2.5 2.10.4 節で定義されている反復セグメントを介する更新のためのモードに対応している。

表6.3-19 ADT/ACK - 副作用情報の更新（イベント A60）

ADT^A60^ADT_A60	ADT Message	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
EVN	Event Type	R
PID	Patient Identification	R
[ PV1 ]	Patient Visit	O
[ PV2 ]	Patient Visit - Additional Info.	O
[{ IAM }]	Patient adverse reaction information	O

ACK^A60^ACK	General Acknowledgment	Usage
MSH	Message Header	R
[ { SFT } ]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgment	R
[ { ERR } ]	Error	C

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 患者識別(PID)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 来院情報(PV1)、来院補足情報(PV2)の各セグメントは省略ができる。
- エラー(ERR)セグメントは、MSA-1 の値が受諾(AA,CA)以外(AE ,AR ,CE , CR)の場合に使用しなければならない。

## 7. 関連セグメント詳細

### 7.1. AL1 - Patient Allergy Information Segment 患者アレルギー情報セグメント

AL1セグメントは患者の様々なアレルギー情報を示す。殆どの情報は使用者定義表で示される。各AL1セグメントは1種類の患者アレルギーを記述する。

HL7属性表 - AL1 - Patient Allergy Information 患者アレルギー情報

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP#	TBL#	ELEMENT NAME
1	4	SI	R	R			Set ID - AL1 セットID - AL1
2	250	CE	O	O		0127	Allergen Type Code アレルゲン分類
3	250	CE	R	R			Allergen Code/Mnemonic/Description アレルゲン情報
4	250	CE	O	O		0128	Allergy Severity Code アレルギー重症度
5	15	ST	O	O			Allergy Reaction Code アレルギー反応情報
6	8	DT	B	B			Identification Date 判定日

### AL1 フィールド定義

#### AL1-1 Set ID - AL1 セットID - AL1 (SI) 00203

定義：このフィールドはこのトランザクションにおける番号を示す。そのセグメントが最初に現れた時はこのシーケンス番号は1でなければならない。2回目の時は2、といった具合である。

#### AL1-2 Allergen Type Code アレルゲン分類 (CE) 00204

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドはアレルゲンを分類（薬剤、食物、花粉他）する。推奨値は「使用者定義表 0127 アレルゲン分類」を参照のこと。

使用者定義表 0127 - Allergen Type アレルゲン分類

Value	Description
DA	Drug Allergy 薬剤アレルギー
FA	Food Allergy 食物アレルギー
MA	Miscellaneous Allergy 他品目アレルギー
MC	Miscellaneous Contraindication 他品目禁忌
EA	Environmental Allergy 環境アレルギー
AA	Animal Allergy 動物アレルギー
PA	Plant Allergy 植物アレルギー
LA	Pollen Allergy 花粉アレルギー

#### AL1-3 Allergen Code/Mnemonic/Description アレルゲン情報 (CE) 00205

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは特定のアレルゲンを一意に識別する。この成分は幾つかの外部のコーディングシステム（必ず識別される必要有り）に一致することがあり、また、ローカルである場合、多くの文章または備忘録であることがある。

#### AL1-4 Allergy Severity Code アレルギー重症度 (CE) 00206

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドはアレルギーの重症度を示す。推奨値は「使用者定義表 0128 アレルギー重症度」を参照のこと。

使用者定義表 0128 - Allergy Severity アレルギー重症度

Value	Description
SV	Severe 重度
MO	Moderate 中程度
MI	Mild 軽度
U	Unknown 不明

**AL1-5 Allergy Reaction Code アレルギー反応情報 (ST) 00207**

定義：このフィールドは特定のアレルギー反応を記述する。この成分は幾つかの外部の標準的なコーディングシステムに一致することがあり、また、ローカルである場合、多くの文章または備忘録であることがある。(例：痙攣、くしゃみ、発疹、他)

**AL1-6 Identification Date 判定日 (DT) 00208**

定義：このフィールドはHL7 V2.4以降、下位互換性のためにのみ残されている。このフィールドはそのアレルギーが確認された日を示す。

## 7.2. ERR - Error Segment エラーセグメント

ERR セグメントを使用して、エラーコメントを確認応答メッセージに加える。

HL7 属性表 - ERR - Error エラー

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP#	TBL#	ELEMENT NAME
1	493	ELD	B	B	Y		Error Code and Location エラーコードと位置
2	18	ERL	O	O	Y		Error Location エラー位置
3	705	CE	R	R		0357	HL7 Error Code HL7エラーコード
4	2	ID	R	R		0516	Severity 影響度
5	705	CE	O	O		0533	Application Error Code アプリケーションエラーコード
6	80	ST	O	O	Y/10		Application Error Parameter アプリケーションエラーパラメータ
7	2048	TX	O	O			Diagnostic Information 診断情報
8	250	TX	O	O			User Message ユーザメッセージ
9	20	IS	O	O	Y	0517	Inform Person Indicator 対人通知の指標
10	705	CE	O	O		0518	Override Type オーバーライド型
11	705	CE	O	O	Y	0519	Override Reason Code オーバーライド理由コード
12	652	XTN	O	O	Y		Help Desk Contact Point ヘルプデスクコンタクトポイント

### ERR フィールド定義

#### ERR-1 Error Code and Location エラーコードと位置 (ELD) 00024

定義：このフィールドは別のメッセージ内の誤ったセグメントを識別する。HL7 V2.5 のみにおいて下位互換性のため維持される:ERR-2 と ERR-3 を代わりに参照のこと。

有効な値については「HL7 表 0357 メッセージエラー条件コード」を参照のこと

#### ERR-2 Error Location エラー位置 (ERL) 01812

成分：<Segment ID (ST)> ^ <Segment Sequence (NM)> ^ <Field Position (NM)> ^ <Field Repetition (NM)> ^ <Component Number (NM)> ^ <Sub-Component Number (NM)>

定義：識別されたエラー、警告、もしくはメッセージに関係する、HL7 メッセージ内の位置を識別する。もし複数の繰り返しが存在した場合には、そのエラーはそれぞれの場所にある値の組合せに起因している。

#### ERR-3 HL7 Error Code HL7 エラーコード (CE) 01813

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：HL7 (コミュニケーション) エラーコードを識別する。有効な値については「HL7 表 0357-メッセージエラー条件コード」を参照のこと。

HL7表 0357 - Message Error Condition Codes メッセージエラー条件コード

Value	Description	Comments
0	Message accepted メッセージ受諾	成功。オプションでは、AA が成功を伝えるだけ。常時状態コードを返す必要があるシステムのために利用される
100	Segment sequence error セグメントシーケンスエラー	エラー:メッセージセグメントが適当な順番でないか、要求されたセグメントが失われている
101	Required field missing 要求されたフィールドの消失	エラー:要求されたセグメントが消失している
102	Data type error データ型エラー	エラー:フィールドが不正なエラーを含んでいる。例えば、NM フィールドが"FOO"を含んでいる
103	Table value not found 表の値が見つからない	エラー: データ型 ID か IS のフィールドが対応する表と比較され、合致するものが無い
200	Unsupported message type 提供されていないメッセージ型	却下:そのメッセージ型は提供されていない
201	Unsupported event code 提供されていないイベントコード	却下:そのイベントコードは提供されていない
202	Unsupported processing id 提供されていない処理 ID	却下:その処理 ID は提供されていない
203	Unsupported version id 提供されていないバージョン ID	却下:そのバージョン ID は提供されていない
204	Unknown key identifier 不明なキー識別子	却下: 患者、オーダ等の ID が見つからない。付加以外ではトランザクションに用いられる。例えば、存在しない患者の転科転棟



Value	Description	Comments
205	Duplicate key identifier キー識別子の重複	却下:患者やオーダ等のIDが既に存在している。付加トランザクションの応答で用いられる(許可、新オーダ等)
206	Application record locked アプリケーションレコードがロックされている	トランザクションが、アプリケーション格納レベルで実行することができなかった(例えば、データベースのロック)
207	Application internal error アプリケーション内部エラー	却下: 他のコードで明示的に対象としていない、包括的な内部エラー用

#### ERR-4 Severity 影響度 (ID) 01814

定義: アプリケーションエラーの影響度を識別する。それがエラー、警告、情報の何れかであることを示すために、アプリケーションによるその内容の取扱うための方法を備えている。有効な値は「HL7表 0516-エラー影響度」を参照のこと。もしERR-3の値が"0"の場合、ERR-4の値は"1"となる。

例: 警告が使われる時には、注意事項が発見されたが、その注意事項について、自動的に処理ができずに無視したため、なんらかの情報が消失している可能性がある。

情報の例: 請求を受理した際、支払者側は限界値の範囲内であることを示してよい。

#### HL7表 0516 - Error Severity エラー影響度

Value	Description	Comments
W	Warning 警告	トランザクションは成功したが、何か問題がある
I	Information 情報	トランザクションは成功したが、何か情報を含む、例) 患者へ伝えるべき情報
E	Error エラー	トランザクションが失敗した。

#### ERR-5 Application Error Code アプリケーションエラーコード (CE) 01815

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: 発生した特定のエラーを識別するためのアプリケーション特定のコード。推奨値は「使用者定義表 0533-アプリケーションエラーコード」を参照のこと。

もしコードと関連するメッセージにパラメータがある場合、メッセージはjava.text.MessageFormat approach フォーマットで表されることが推奨されている。このスタイルはパラメータ型の情報に数値、データ、時間を供給することができ、それらは言語に合わせて適当にフォーマットされる。

#### 使用者定義表 0533 - Application Error Code アプリケーションエラーコード

Value	Description	Comments
	No Suggested values 推奨値なし	

#### ERR-6 Application Error Parameter アプリケーションエラーパラメータ (ST) 01816

定義: 特別なエラー条件/警告/その他を理解するために、アプリケーションエラーコードと共に付加される追加情報。このフィールドは最大10パラメータまで反復が可能である。

例: ERR-5で指定されているアプリケーションエラーコードが英語のメッセージ”この患者は、{1,日付、媒体}までの期間、{0,数字、通貨単位}の免責を受けることができる”と一致し、ERR-6の最初の2つの反復が”250”と”20021231”であった場合、アメリカの受信アプリケーションは”この患者は2002年12月31日までの期間、250ドルの免責をうけることができる”というメッセージを表示する。

#### ERR-7 Diagnostic Information 診断情報 (TX) 01817

定義: ヘルプデスクや、問題を診断するサポート人物によって使われる情報。

#### ERR-8 User Message ユーザメッセージ (TX) 01818

定義: アプリケーションユーザに対して表示されるテキストメッセージ。

例:

|このプログラムは他のシステムとの通信トラブルがあります。ヘルプデスクに連絡して下さい。|

これは実際のエラーコードと違い、より詳細な診断情報を提供する。

#### ERR-9 Inform Person Indicator 対人通知の指標 (IS) 01819

定義: 誰(だれでも)に対してエラーを知らせるかを示すコード。このフィールドはまた、特定の人物にエラーを知らせてはいけない場合にも使用される(患者に知らせてはいけない場合など)。推奨値は「使用者定義表 0517-情報人物コード」を参照のこと。

#### 使用者定義表 0517- Inform Person Code 情報人物コード

Value	Description	Comments
PAT	Inform patient 患者に知らせる	
NPAT	Do NOT inform patient 患者に知らせてはいけない	
USR	Inform User ユーザに知らせる	

Value	Description	Comments
HD	Inform help desk ヘルプデスクに知らせる	

#### ERR-10 Override Type オーバーライド型 (CE) 01820

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：特定のエラーをオーバーライドにする際に使われるオーバーライド型を識別する。推奨値は「使用者定義表 0518 – 無効型」を参照のこと。

##### 使用者定義表 0518 – Override Type オーバーライド型

Value	Description	Comments
EXTN	Extension Override 拡張オーバーライド	命令された期間より長くサービスを実行する際に指定するオーバーライド
INLV	Interval Override 間隔オーバーライド	命令された間隔よりも早くサービスの反復を実行する際に指定されるオーバーライド
EQV	Equivalence Override 等価オーバーライド	システムが事前に命令されたサービスと等価であると認識できない命令を実行する際に指定されるオーバーライド

#### ERR-11 Override Reason Code オーバーライド理由コード (CE) 01821

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：エラーを発生させたアプリケーション規則をオーバーライドにした際に使われたオーバーライドコードのリストを提供する。推奨値は「使用者定義表 0519 – オーバーライド理由」を参照のこと。

##### 使用者定義表 0519 – Override Reason オーバーライド理由

Value	Description	Comments
	No suggested values 推奨値なし	

#### ERR-12 Help Desk Contact Point ヘルプデスクコンタクトポイント (XTN) 01822

成分：<DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：特定のエラーに関するヘルプデスクサポートの電話、Eメール、ファックスその他関係のある番号のリスト。

### 7.3. EVN - Event Type Segment イベントタイプセグメントエラー! ブックマークが定義されていません。

EVN セグメントは受信アプリケーションに必要なトリガーイベント情報を通知するときに使用する。全章において有効なイベントタイプは「HL7表 003-イベントタイプ」に示す。

HL7属性表- EVN – Event Type イベントタイプ

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP#	TBL#	ELEMENT NAME
1	3	ID	B	B		0003	Event Type Code イベントタイプコード
2	26	TS	R	R			Recorded Date/Time イベント伝送日時
3	26	TS	O	C			Date/Time Planned Event イベント計画日時
4	3	IS	O	O		0062	Event Reason Code イベント理由コード
5	250	XCN	O	O	Y	0188	Operator ID オペレータID
6	26	TS	O	C			Event Occurred イベント発生日時
7	241	HD	O	RE			Event Facility イベント発生部門

### EVN フィールド定義

#### EVN-1 Event Type Code イベントタイプコード (ID) 00099

定義：このフィールドは下位互換性のためにのみ残されている。イベントタイプコード情報の伝達のためには、「MSH-9 メッセージ型」の2番目の成分（トリガーイベント）を用いることを推奨する。このフィールドにはこの節で説明されたトリガーイベントに相当するイベントを示す。例えば入院、転科転棟、または登録などである。有効な値については「HL7表 0003」を参照のこと。

#### EVN-2 Recorded Date/Time イベント伝送日時 (TS) 00100

成分：<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：殆どのシステムでは初期値としてトランザクションが入力されたシステムの日時を示しているが、オーバーライドも許可されている。

#### EVN-3 Date/Time Planned Event イベント計画日時 (TS) 00101

成分：<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドはこのイベントが計画された日時を示す。PV2-8 予定入院日時、PV2-9 予定退院日時、PV2-47 予定帰院日時で可能な限り使用されることを推奨する。

#### EVN-4 Event Reason Code イベント理由コード (IS) 00102

定義：このフィールドはこのイベントの理由を示す。推奨値は「使用者定義表 0062-イベント理由」を参照のこと。

使用者定義表0062 - Event Reason イベント理由

Value	Description	Comments
01	Patient request 患者の要求	
02	Physician/health practitioner order 医者・実務者のオーダー	
03	Census management 調査管理	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

#### EVN-5 Operator ID オペレータID (XCN) 00103

成分：<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date

(TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>  
 副成分 for Family Name (FN):<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>  
 副成分 for Assigning Authority (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>  
 副成分 for Assigning Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>  
 副成分 for Name Context (CWE):<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>  
 副成分 for Name Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>  
 副成分 for Range Start Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>  
 副成分 for Range End Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>  
 副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>  
 副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>  
 副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>  
 副成分 for Assigning Agency or Department (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドはトリガーイベントに対して責任のある個人の識別情報を示す。推奨値は「使用者定義表 0188-オペレータ ID」を参照のこと。

使用者定義表0188 - Operator ID オペレータID

Value	Description	Comments
	No suggested values 推奨値なし	

**EVN-6 Event Occurred イベント発生日時 (TS) 01278**

成分：<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドはイベントが実際に起こった日時を示す。例えば、転科転棟（A02 患者転送・外部からの移送）で、このフィールドは実際に患者が転科転棟・外部からの移送した日時を示す。取消イベントでは、このフィールドは実際に取消が起きた日時を示す。

**EVN-7 Event Facility イベント発生部門 (HD) 01534**

成分：<Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは実際にそのイベントが発生した部門を識別し、メッセージを送った部門 (MSH-4)と区別される。大抵はオペレータ(EVN-5)がそのイベントを入力した部門である。

使用例：A システムがその患者を最初に登録した医療機関にある。この登録メッセージはMPI、システム B に送られる。MPIはこの更新をイベントとして一斉通知する必要があるため、送信部門となる。この新しいフィールドにより元々どの医療機関で発生したイベントかを保持することができる。MPIはそのイベントがどの医療機関により発生したかを識別するための ID 番号を割り当てることができる。

## 7.4. IN1 - Insurance Segment 保険セグメント

IN1 セグメントは、正確な患者への保険適用と保険請求書作成を行うために必要な保険適用範囲情報を示す。

HL7属性表-IN1-Insurance Segment 保険セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP#	TBL#	ELEMENT NAME
1	4	SI	R	R			Set ID - IN1 セットID
2	250	CE	R	R			Insurance Plan ID 保険プランID
3	250	CX	R	R	Y		Insurance Company ID 保険会社 ID
4	250	XON	O	O	Y		Insurance Company Name 保険会社名
5	250	XAD	O	O	Y		Insurance Company Address 保険会社住所
6	250	XPN	O	O	Y		Insurance Co Contact Person 保険会社連絡者
7	250	XTN	O	O	Y		Insurance Co Phone Number 保険会社電話番号
8	12	ST	O	O			Group Number グループ番号
9	250	XON	O	O	Y		Group Name グループ名
10	250	CX	O	O	Y		Insured's Group Emp ID 被保険者グループ雇用者 ID
11	250	XON	O	O	Y		Insured's Group Emp Name 被保険者グループ雇用者名
12	8	DT	O	O			Plan Effective Date プラン有効日付
13	8	DT	O	O			Plan Expiration Date プラン失効日付
14	239	AUI	O	O			Authorization Information 認定情報
15	3	IS	O	O			Plan Type プランタイプ
16	250	XPN	O	O	Y		Name of Insured 被保険者名
17	250	CE	O	O		0063	Insured's Relationship to Patient 患者と被保険者の関係
18	26	TS	O	O			Insured's Date of Birth 被保険者生年月日
19	250	XAD	O	O	Y		Insured's Address 被保険者住所
20	2	IS	O	O			Assignment of Benefits 給付金の配分
21	2	IS	O	O			Coordination of Benefits 給付金の調整
22	2	ST	O	O			Coord of Ben. Priority 給付金優先順位の調整
23	1	ID	O	O			Notice of Admission Flag 入会通知フラグ
24	8	DT	O	O			Notice of Admission Date 入会通知日付
25	1	ID	O	O			Report of Eligibility Flag 有資格報告フラグ
26	8	DT	O	O			Report of Eligibility Date 有資格報告日付
27	2	IS	O	O			Release Information Code 情報コードの解放
28	15	ST	O	O			Pre-Admit Cert (PAC) 入会前認定書
29	26	TS	O	O			Verification Date/Time 確認日時
30	250	XCN	O	O	Y		Verification By 確認者
31	2	IS	O	O			Type of Agreement Code 同意タイプコード
32	2	IS	O	O			Billing Status 請求状況
33	4	NM	O	O			Lifetime Reserve Days 予約残日数
34	4	NM	O	O			Delay Before L.R. Day 予約残日数前遅延
35	8	IS	O	O			Company Plan Code 会社プランコード
36	15	ST	O	O			Policy Number ポリシー番号
37	12	CP	O	O			Policy Deductible 免責ポリシー
38	12	CP	B	B			Policy Limit - Amount 限度額ポリシー
39	4	NM	O	O			Policy Limit - Days 限度日数ポリシー
40	12	CP	B	B			Room Rate - Semi-Private 部屋代 - 半個室
41	12	CP	B	B			Room Rate - Private 部屋代 - 個室
42	250	CE	O	O			Insured's Employment Status 被保険者雇用状態
43	1	IS	O	O			Insured's Administrative Sex 被保険者の管理上の性別
44	250	XAD	O	O	Y		Insured's Employer's Address 被保険者の雇用者の住所
45	2	ST	O	O			Verification Status 確認状態
46	8	IS	O	O			Prior Insurance Plan ID 前保険プラン
47	3	IS	O	O			Coverage Type 保険範囲タイプ
48	2	IS	O	O			Handicap ハンディキャップ
49	250	CX	O	O	Y		Insured's ID Number 被保険者ID番号
50	1	IS	O	O			Signature Code 署名コード
51	8	DT	O	O			Signature Code Date 署名コード日
52	250	ST	O	O			Insured's Birth Place 被保険者出生地
53	2	IS	O	O			VIP Indicator VIP識別

## IN1 フィールド定義

**IN1-1 Set ID – IN1 セット ID (SI) 00426**

定義：セット ID (セット連番)。 … セグメント内での通し番号。  
 最初の本セグメントが発生したときに、シーケンス番号を 1 とする。  
 続いて 2 という具合に番号付けを行う。

**IN1-2 Insurance Plan ID 保険プラン ID(CE)00427**

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは保険プランの一意的識別子である。

【共通編】本規約では、保険種別として利用する。第 1 成分には「JHSD 表 0001- 保険種別」にリストされている保険種別をセットする。MI、PE に関しては、法別番号 (2 桁の保険種別) がある場合、法別番号を使用する。

**JHSD表 0001 Insurance Plan ID 保険種別**

値	保険種別	保険名称 (説明)	値	保険種別	保険名称 (説明)
MI	MI	医保保険	PE	PE	公費保険
C0	MI	国民健康保険	10	PE	感染症予防医療法 結核 適正医療
01	MI	全国健康保険協会管掌健康保険	11	PE	感染症予防医療法 結核 従業禁止等
02	MI	船員保険	12	PE	生保 (生活保護法)
03	MI	日雇特例被保険者の保険 (一般療養)	13	PE	戦傷病者特別保護法 療養
04	MI	日雇特例被保険者の保険 (特別療養)	14	PE	戦傷病者特別保護法 更正
06	MI	組合管掌健康保険	15	PE	障害者総合支援法 更正医療
07	MI	防衛省職員給与法による自衛官等の療養の給付	16	PE	障害者総合支援法 育成医療
31	MI	国家公務員共済組合	17	PE	児童福祉法 療養の給付
32	MI	地方公務員等共済組合	18	PE	原爆被爆者 認定疾病医療費
33	MI	警察共済組合	19	PE	被爆者医療
34	MI	学校共済組合	20	PE	精神衛生法 措置入院
39	MI	高齢者の医療の確保に関する法律による療養の給付	21	PE	障害者総合支援法 通院医療
63	MI	特例退職者医療 (健保組合)	22	PE	麻薬取締法 措置入院
67	MI	国民健康保険法による退職者医療	23	PE	母子保健法
72	MI	特例退職者 (国家公務員共済組合)	24	PE	障害者総合支援法 療養介護医療
73	MI	特例退職者 (地方公務員等共済組合)	25	PE	中国残留邦人等に対する医療支援
74	MI	特例退職者 (警察共済組合)	28	PE	感染症予防・医療法 一類感染者の入院
75	MI	特例退職者 (学校共済組合)	29	PE	感染症予防・医療法 新感染症患者の入院
PI	PI	公害医療	30	PE	心神喪失者医療
LI	LI	労災	38	PE	肝炎特別促進事業
TI	TI	自賠	51	PE	特定疾患治療研究
PS	PS	公務員災害	52	PE	小児慢性特定疾患治療研究
OE	OE	OE: 自費 (保険なし)	53	PE	児童福祉法の措置などに係る医療
			54	PE	難病法による特定医療
			62	PE	特定 B 型肝炎ウイルス感染者定期検査等
			66	PE	石綿による健康被害救済
			79	PE	児童福祉法 肢体不自由児通所医療
			D0	PE	地方公費: PE と同じ意味
			OT	OT	その他

上記 JHSD 表 0001 は病名情報データ交換規約 Ver.3.1C の JHSD 表 0001 を詳細に記載したもので、2018 年 8 月末時点のものである。保険種別は法改正による変更があるため、最新の医保保険の名称・値は厚生労働省の定める社会保険制度の法別番号・制度を、最新の公費保険の名称・値は厚生労働省の定める公費負担医療制度の法別番号・制度を参照のこと。また、表中の保険名称は参考情報として掲載しているため、適宜変更して使用していただきたい。

メッセージ例は、IN1-4 を参照のこと。

**IN1-3 Insurance Company ID 保険会社 ID (CX) 00428**

成分: <ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^

<Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義：このフィールドは保険会社が一意になる識別子である。

【共通編】本規約では、保険者の番号及び保険者の識別として利用する。保険分類により、保険者の番号及び保険者の識別を記述する。第1成分には下表に示すように保険分類ごとに指定された項目の番号をセットする。

表IN1-3 保険分類ごとのIN1-3の値

Insurance Plan	保険分類	IN1-3の第1成分にセットする値の内容
MI	医保保険または国民健康保険	保険(者)番号
PE	公費保険	公費負担者番号
PE	地方公費	地方独自記載の公費負担者番号
LI	労災	府県+所轄+管轄番号 (労働保険番号に含まれる)
TI	自賠	推奨値なし
PS	公務員災害	推奨値なし
PI	公害医療	推奨値なし
OE	自費	推奨値なし
OT	その他	推奨値なし

国民健康保険等、検証番号は存在するが、全国協会健保等ないものもあるので、検証番号を含んだ形で、第1成分<ID Number (ST)>にセットする。また、自賠や公務員災害、公害医療、自費、その他など、推奨値が存在しないため、第1成分に値をセットできないものもある。第1成分に値がセットできない場合は「'''」をセットする。第2成分以下は使用しない。

メッセージ例は、IN1-4を参照のこと。

#### IN1-4 Insurance Company Name 保険会社名 (XON) 00429

成分: <Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (ID)> ^ <ID Number (ID)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility ID (HD)>

定義：このフィールドは、保険会社の名前である。

【共通編】本規約では、保険者の名称として利用する。第1成分には下表に示すように保険分類ごとに指定された項目の名称をセットする。

表IN1-4 保険者名の詳細

Insurance Plan	保険分類	IN1-4の第1成分にセットする値の内容
MI	医保保険または国民健康保険	保険(者)名
PE	公費保険または地方公費	公費名称(都道府県名含む)
LI	労災	労働基準局 or 労働基準監督署の名称
TI	自賠	自賠責保険会社の名称
PS	公務員災害	公務員災害補償基金の名称
PI	公害医療	公害を認定した市又は県の名称
OE	自費	「自費」と記述する
OT	その他	保険に関する名称を記入する

例1：全国健康保険協会管掌健康保険(全国健康保険協会東京支部)

IN1 | 1 | 01^ 全国健康保険協会管掌健康保険^JHSD0001 | 1130012 | 全国健康保険協会東京支部 | ...

例2：障害者総合支援法 更正医療

IN1 | 2 | 15^障害者総合支援法 更正医療^JHSD0001 | 15138092 | 障害者総合支援 更正医療(東京都) | ...

#### IN1-5 Insurance Company Address 保険会社住所 (XAD) 00430

成分: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

定義：このフィールドは保険会社の住所である。同一の保険会社にたいする複数の住所はこのフィールドで送ることが出来る。郵便住所が第1反復フィールドにあると仮定している。郵便住所を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

【共通編】本規約では、保険者の住所をセットする。

#### IN1-6 Insurance Co Contact Person 保険会社連絡者 (XPN) 00431

成分: <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)>

定義：このフィールドは保険会社で連絡する人の名前である。同一連絡者の複数の名前はこのフィールドで送ることが出来る。法的名称が第1反復フィールドにあると仮定している。法的名称を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

#### IN1-7 Insurance Co Phone Number 保険会社電話番号 (XTN) 00432

成分: <DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドは保険会社の電話番号である。同一の保険会社に対する複数の電話番号はこのフィールドで送ることが出来る。主電話番号が第1反復フィールドにあると仮定している。主電話番号を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

#### IN1-8 Group Number グループ番号 (ST) 00433

定義：このフィールドは被保険者の保険のグループ番号である。

#### IN1-9 Group Name グループ名 (XON) 00434

成分: <Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <DEPRECATED-ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

定義：このフィールドは被保険者の保険のグループ名である。

#### IN1-10 Insured's Group Emp. ID 被保険者グループ雇用者 ID (CX) 00435

成分: <ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義：このフィールドは被保険者に対するグループ雇用者 ID を保持している。

【共通編】本規約では、被保険者証の記号、番号、枝番を、繰り返しを使用して、<記号><番号><枝番>の書式でこの順に指定する。なお、<枝番>は、1バイト系英数2桁とし、省略可能とする。

例：|123~1234567~01|

#### IN1-11 Insured's Group Emp Name 被保険者グループ雇用者名(XON)00436

成分: <Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <DEPRECATED-ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

定義：このフィールドは被雇用者保険を提供する雇用者の名前である。

本規約では、保険証、あるいは加入者証などに記載の記号に対応する企業・団体などの名称をセットする。健康保険組合、共済組合では、組合に参加する企業や団体の名称に該当する。国民健康保険では市町村、協会健保では全国健康保険協会に参加している企業等、医療費公費負担制度では都道府県、がそれぞれ該当する。

例：|〇〇株式会社|

#### IN1-12 Plan Effective Date プラン有効日付(DT) 00437

定義：このフィールドは保険が有効になる日付である。

【共通編】本規約では、保険の有効期間の開始日として利用する。

#### IN1-13 Plan Expiration Date プラン失効日付 (DT) 00438

定義：このフィールドは保険がカバーできるあるいは責務がある最終日時である。



【共通編】本規約では、保険の有効期間の終了日として利用する。

**IN1-14 Authorization Information 認定情報 (AUI) 00439**

成分: <Authorization Number (ST)> ^ <Date (DT)> ^ <Source (ST)>

定義: 保険のタイプに基づいて、ある保険補償範囲は、全ての救急外入院前と救急入院の 48 時間以内に得られる認定番号かコードを必要とする。保険請求書はこの番号なしでは許されない。日付と認定元はこのフィールドのコンポーネントである。

【共通編】本規約では、被保険者の番号 (保険証の「番号」) をセットする。

**IN1-15 Plan Type プランタイプ (IS) 00440**

定義: このフィールドは、例えばメディケア、メディケイド、ブルークロス、HMO などの種々のプランタイプを識別するコーディング構造を含む。

【共通編】本規約では、様々な保険のプランタイプを特定するコードとして利用する。

- ・保険種別により、使用できるコードは限定される。
- ・PE (公費) の場合、公費の意味が県単位で異なる場合があるので必須とする。

第 1 成分にセットする番号の詳細を「JHSD 表 0002」に示す。

**JHSD表 0002 保険のプランタイプ**

保険種別	保険のプランタイプ
02 (船員保険)	OJ:職務上
32 (地方公務員共済: 船員学校)	LS:下船後 3 ヶ月以内 CC:通勤災害
PE (公費保険または地方公費)	01 ~ 47 県番号 (JIS-X-401)
MI (医保保険または国民健康保険)	K1: 継続 K2: 任意継続 K3: 特別療養

※ 継続の説明

継続 保険資格喪失時の疾病を健康保険の資格喪失後も継続して給付を受けられる制度

任意継続 保険資格喪失後 20 日以内の疾病任意継続申請者

特別療養 健康保険の被保険者が資格喪失後に日雇特例被保険者

(日々雇い入れられる者や季節的業務に雇い入れられる者等の日雇労働者又はその被扶養者になった場合に、資格喪失時に病気やけが等で病院にかかっていた時に、6 ヶ月を限度に健康保険の資格喪失後も継続して給付を受けられる制度)

**IN1-16 Name of Insured 被保険者名 (XPN) 00441**

成分: <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)>

定義: このフィールドは被保険者の名前である。被保険者は保険ポリシーにより保証されている個人に医療サービスを提供する保険会社と同意した個人である。被保険者として複数の名前をこのフィールドで送ることができる。法的名称が第 1 反復フィールドにあると仮定している。法的名称を送らないときは、反復セパレータを第 1 反復フィールドとして最初に送らなければならない。

**IN1-17 Insured's Relationship to Patient 患者と被保険者の関係 (CE)00442**

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは患者と被保険者との関係を示す。

被保険者: SEL: 本人、EME: 従業員 (医師保険の従業員本人: 給付率が異なるため区別)

被扶養者: EXF: 家族、SPO: 配偶者、CHD: 子供 等の記述も可とする。「HL7 表 0063」の表に従う。

保険種別: MI で使用。その他は、被保険者本人なので、省略可能 (公費・労災等: SEL)

**HL7表 0063 被保険者との関係**

続柄	意味	続柄	意味	続柄	意味	続柄	意味
SEL	本人	DEP	障害で扶養されている	EXF	拡大家族 (家族と記述)	ASC	仲間
SPO	配偶者	WRD	保護観察	SIB	兄弟姉妹	EMC	緊急連絡先
DOM	共同生活者	PAR	親	BRO	兄弟	OWN	所有者

続柄	意味	続柄	意味	続柄	意味	続柄	意味
CHD	子供	MTH	母親	SIS	姉妹	TRA	調教師
GCH	孫	FTH	父親	FND	友人	MGR	管理者
NCH	本来の子供	CGV	介護者	OAD	その他の成人	NON	なし
SCH	継子	GRD	保護者	EME	従業員	UNK	不明
FCH	里子	GRP	祖父母	EMR	雇い主	OTH	その他

**IN1-18 Insured's Date of Birth 被保険者生年月日 (TS) 00443**

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは被保険者の生年月日を示す

**IN1-19 Insured's Address 被保険者住所 (XAD) 00444**

成分: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

定義: このフィールドは被保険者個人の住所である。被保険者は保険ポリシーにより保証されている個人に医療サービスを提供する保険会社と同意した個人である。同一の個人に複数の住所をこのフィールドで送ることが出来る。郵便住所が第1反復フィールドにあると仮定している。郵便住所を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

**IN1-20 Assignment of Benefits 給付金の配分 (IS) 00445**

定義: このフィールドは医療提供者と保険金の割り当てを同意した被保険者かどうか示している。もしそうであるなら、保険は直接提供者に支払われる。

**IN1-21 Coordination of Benefits 給付金の調整 (IS) 00446**

定義: このフィールドは、他の保険ポリシーと連携した補償かどうか、また、独立した補償範囲と患者に対して有効である他の保険と関係がない給付金の支払かどうかを示している。

【共通編】本規約では、給付割合として利用する。日本の健康保険医療では、法別番号で、優先順位と給付割合は決まっているので、ここに、保険の給付割合を割り当てる。現在、入院・外来で、給付率は同じなので区別をしない。給付割合は、%表現の 2桁とする。但し、100%給付は、MX とする。

**JHSD表 0003 Applying allocation 給付割合**

給付割合	意味
0 ~ 99	%表現
MX	100%給付

**IN1-22 Coord of Ben Priority 給付金優先順位の調整 (ST) 00447**

定義: もし保険が他の保険プランと調整することがある場合、このフィールドは優先順位を指定する。1、2、3のような値である。

**IN1-23 Notice of Admission Flag 入会通知フラグ (ID) 00448**

定義: このフィールドは保険会社が医療提供者から、保険の使用確認通知を必要とするかどうかを示す。

**IN1-24 Notice of Admission Date 入会通知日付 (DT) 00449**

定義: 通知が必要であるなら、このフィールドはそれが送られた日付を示す。

**IN1-25 Report of Eligibility Flag 有資格報告フラグ (ID) 00450**

定義: このフィールドは、当該保険保有者が、その患者が給付金の資格があることを示す記録を送るかかどうか、あるいはこれらの給付金かどうかを識別するかどうかを示す。

**IN1-26 Report of Eligibility Date 有資格報告日付 (DT) 00451**

定義: このフィールドは資格報告(ROE: Report of eligibility)を受け取ったかどうか、と受け取った日付とともに指定する。

**IN1-27 Release Information Code 情報コードの解放 (IS) 00452**

定義: このフィールドは医療提供者が患者の情報を公開できるか、どんな情報を公開できるかを示す。

**IN1-28 Pre-Admit Cert(PAC) 入会前認定書 (ST) 00453**

定義: このフィールドは入会前認定コードを示す。もし入会が入会前に認定されなければ、これは入会に関するコードである。

**IN1-29 Verification Date/Time 確認日時 (TS) 00454**

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは医療提供者が患者に指示された給付があることを確認した日時を示す。

【共通編】本規約では、保険の最終更新（確認）日とする。

**IN1-30 Verification by 確認者 (XCN) 00455**

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義: 給付を確認した個人を示す。同じ被保険者に対して複数の名前を送ることが出来る。法的名称が第1反復フィールドにあると仮定している。法的名称を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

**IN1-31 Type of Agreement Code 同意タイプコード (IS) 00456**

定義: このフィールドは保険プランをさらに定義するために使用する。

**IN1-32 Billing Status 請求状況 (IS) 00457**

定義: このフィールドは特定の保険が請求されたかどうか、もしそうであるなら請求書のタイプを示す。

**IN1-33 Lifetime Reserve Days 予約残日数 (NM) 00458**

定義: このフィールドは保険ポリシーに基づいて提供あるいはカバーされているサービスに対する残りの日数である。

**IN1-34 Delay Before L.R. Day 予約残日数前遅延 (NM) 00459**

定義: このフィールドは全予約日数以前の遅延を示す。

**IN1-35 Company Plan Code 会社プランコード (IS) 00460**

定義: このフィールドはIN1-3 – Insurance Company ID のデータをより定義するためのオプション情報である。

**IN1-36 Policy Number ポリシー番号 (ST) 00461**

定義: このフィールドは当該患者のプランを一意に識別するための被保険者の個々のポリシー番号である。保険の特定のタイプとして、Medicaid、Medicare、Champus（例、IN2-6 – Medicare Health Ins Card Number, IN2-8 – Medicaid Case Number, IN2-10 – Military ID Number）のためのIN2セグメントの特殊なフィールドも存在する。しかし、本フィールド（IN1-36 – Policy Number）はたとえその患者の保険番号がこれらの他のフィールドの一つに送られたときにも記入されることを推奨する。

**IN1-37 Policy Deductible 免責ポリシー (CP) 00462**

成分: <Price (MO)> ^ <Price Type (ID)> ^ <From Value (NM)> ^ <To Value (NM)> ^ <Range Units (CWE)> ^ <Range Type (ID)>

定義: このフィールドは保証人（例 控除額、超過額など）の責任である保険プランによって特化されている総額を示す。

**IN1-38 Policy Limit – Amount 限度額ポリシー (CP) 00463**

成分: <Price (MO)> ^ <Price Type (ID)> ^ <From Value (NM)> ^ <To Value (NM)> ^ <Range Units (CWE)> ^ <Range Type (ID)>

定義: このフィールドは支払われる保険ポリシーの最大総額である。

**IN1-39 Policy Limit – Days 限度日数ポリシー (NM) 00464**

定義: このフィールドは保険ポリシーがカバーする最大日数を示す。

**IN1-40 Room Rate – Semi-Private 部屋代 一半個室 (CP) 00465**

成分: <Price (MO)> ^ <Price Type (ID)> ^ <From Value (NM)> ^ <To Value (NM)> ^ <Range Units (CWE)> ^ <Range Type (ID)>

定義: このフィールドはHL7 V2.3のような旧版との下位互換性のためだけに保持されている。このフィールドの代わりにIN2-28 – Room Coverage Type/Amountを使用すること。旧版との下位互換性を取るときは、IN1-40 – Room Rate Semi-Privateはポリシーがカバーする平均部屋代である。

- IN1-41 Room Rate – Private 部屋代 一個室 (CP) 00466**  
成分: <Price (MO)> ^ <Price Type (ID)> ^ <From Value (NM)> ^ <To Value (NM)> ^ <Range Units (CWE)> ^ <Range Type (ID)>  
定義: このフィールドは HL7 V2.3 のような旧版との下位互換性のためだけに保持されている。このフィールドの代わりに IN2-28 – Room Coverage Type/Amount を使用すること。旧版との下位互換性を取るときは、IN1-41 – Room Rate – Private はポリシーでカバーする最大個室費用である。
- IN1-42 Insured’s Employment Status 被保険者雇用状態 (CE) 00467**  
成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>  
定義: このフィールドは被保険者の雇用状態を維持する。
- IN1-43 Insured’s Administrative Sex 被保険者の管理上の性別 (IS) 00468**  
定義: このフィールドは被保険者の性別を示す。
- IN1-44 Insured’s Employer’s Address 被保険者の雇用者の住所 (XAD) 00469**  
成分: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>  
定義: このフィールドは被保険者の雇用者の住所である。同一の雇用者に複数の住所を送ることが出来る。郵便住所が第1 反復フィールドにあると仮定している。郵便住所を送らないときは、反復セパレータを第1 反復フィールドとして最初に送らなければならない。
- IN1-45 Verification Status 確認状態 (ST) 00470**  
定義: このフィールドは保険保有者と当該患者との関係状態を示す。
- IN1-46 Prior Insurance Plan ID 前保険プラン (IS) 00471**  
定義: このフィールドは保険がカバーしているタイプの識別の符号化構造が請求システムの目的でカバーされているサービスのタイプの種類を示す。例えば、医師請求システムは医師/専門家チャージをカバーするプランにたいする保険情報のみを受け取りたいという場合である。
- IN1-47 Coverage Type 保険範囲タイプ (IS) 01227**  
定義: このフィールドは保険がカバーしているタイプの識別の符号化構造が請求システムの目的でカバーされているサービスのタイプの種類を示す。例えば、医師請求システムは医師/専門家チャージをカバーするプランにたいする保険情報のみを受け取りたいという場合である。
- IN1-48 Handicap ハンディキャップ (IS) 00753**  
定義: このフィールドは被保険者の障害を記述するためのコードである。
- IN1-49 Insured’s ID Number 被保険者 ID 番号 (CX) 01230**  
成分: <ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>  
定義: このデータエレメントは被保険者に対する医療機関識別子である。割り当て機関と ID タイプコードは全ての CX データ型として強く推奨される。
- IN1-50 Signature Code 署名コード (IS) 01854**  
定義: 本フィールドは患者/引受人の承認署名がいかに関与したか、そしていかにプロバイザによって維持されたかを示すためのコードを示す。
- IN1-51 Signature Code Date 署名コード日 (DT) 01855**  
定義: 患者引受人の承認署名が得られた日付。
- IN1-52 Insured’s Birth Place 被保険者出生地 (ST) 01899**  
定義: 被保険者の出生地の記述を示す。
- IN1-53 VIP Indicator VIP 識別 (IS) 01852**  
定義: 本フィールドは保険者のための VIP のタイプを識別する。

## 7.5. MSA - Message Acknowledgment Segment メッセージ確認応答セグメント

MSA セグメントは、他のメッセージを確認応答している間に送られる情報を含む。

HL7 属性表 - MSA - Message Acknowledgment メッセージ確認応答

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL #	ELEMENT NAME
1	2	ID	R	R		0008	Acknowledgment Code 確認応答コード
2	20	ST	R	R			Message Control ID メッセージ制御ID
3	80	ST	B	B			Text Message テキストメッセージ
4	15	NM	O	O			Expected Sequence Number期待されるシーケンス番号
5			W	W			Delayed Acknowledgment Type遅延確認応答型
6	250	CE	B	B		0357	Error Condition エラー状態

### MSA フィールド定義

#### MSA-1 Acknowledgment Code 確認応答コード (ID) 00018

定義： このフィールドでは応答コードを含んでおり、メッセージ処理規則に従っている。「HL7 表 0008-応答コード」を参照のこと。

HL7表 0008 - Acknowledgment Code 応答コード

Value	Description	Comments
AA	Original mode: Application Accept 基本モード: アプリケーション受諾 Enhanced mode: Application acknowledgment: Accept 拡張モード: アプリケーション確認応答: 受諾	
AE	Original mode: Application Error 基本モード: アプリケーションエラー Enhanced mode: Application acknowledgment: Error 拡張モード: アプリケーション確認応答: エラー	
AR	Original mode: Application Reject 基本モード: アプリケーションリジェクト Enhanced mode: Application acknowledgment: Reject 拡張モード: アプリケーション確認応答: 拒否	
CA	Enhanced mode: Accept acknowledgment: Commit Accept 拡張モード: 受諾確認応答: コミット受諾	
CE	Enhanced mode: Accept acknowledgment: Commit Error 拡張モード: 受諾確認応答: コミットエラー	
CR	Enhanced mode: Accept acknowledgment: Commit Reject 拡張モード: 受諾確認応答: コミット拒否	

#### MSA-2 Message Control ID メッセージ制御ID (ST) 00010

定義： このフィールドは送信システムから送られてきたメッセージのメッセージ制御IDを含んでいる。送信システムでは、この応答と、それが目的とするメッセージを関連づける。

#### MSA-3 Text Message テキストメッセージ (ST) 00020

定義： エラー条件をより詳細に記述するオプションのテキストフィールド。このテキストは、エラーログとして出力するか、あるいはエンドユーザに提示することができる。

MSA-3 は HL7 V2.4 で廃止された。ERR セグメントを参照して頂きたい。ERR セグメントはエラー状況についてより詳細な記述がされている。

#### MSA-4 Expected Sequence Number 期待されるシーケンス番号 (NM) 00021

定義： シーケンス番号プロトコルで使用するオプションの数値フィールド。

#### MSA-5 Delayed Acknowledgment Type 遅延応答タイプ (ID) 00022

注意： MSA-5 は HL7 V2.2 で廃止されたので、詳細は HL7 V2.5 の規格からは削除されている。

#### MSA-6 Error Condition エラー状態 (CE) 00023

定義： このフィールドは、応答システムが AR、AE 型の確認応答を使用者定義エラーコードによりさらに詳細に指定するためである。

MSA-6 は HL7 V2.4 で廃止された。ERR セグメントを参照して頂きたい。ERR セグメントはエラー状況についてより詳細な記述が可能である。

有効な値は「HL7 表 0357-メッセージエラー条件コード」を参照のこと。

## 7.6. MSH - Message Header Segment メッセージ・ヘッダ・セグメント

MSH セグメントは、メッセージの構文の目的、発信源、送信先、特性を定義する。

HL7属性表—MSH - Message Header メッセージヘッダ

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	1	ST	R	R			Field Separator フィールドセパレータ
2	4	ST	R	R			Encoding Characters 符号化文字
3	227	HD	O	O		0361	Sending Application 送信アプリケーション
4	227	HD	O	O		0362	Sending Facility 送信施設
5	227	HD	O	O		0361	Receiving Application 受信アプリケーション
6	227	HD	O	O		0362	Receiving Facility 受信施設
7	26	TS	R	R			Date/Time of Message メッセージ日時
8	40	ST	O	O			Security セキュリティ
9	15	MSG	R	R		0076 0003 0354	Message Type メッセージ型
10	20	ST	R	R			Message Control ID メッセージ制御ID
11	3	PT	R	R		0103 0207 0104	Processing ID 処理ID
12	60	VID	R	R			Version ID パージョンID
13	15	NM	O	O			Sequence Number シーケンス番号
14	180	ST	O	O			Continuation Pointer 継続ポインタ
15	2	ID	O	O		0155	Accept Acknowledgment Type 受諾確認応答型
16	2	ID	O	O		0155	Application Acknowledgment Type アプリケーション確認応答型
17	3	ID	O	O		0399	Country Code 国コード
18	16	ID	O	R	Y	0211	Character Set 文字セット
19	250	CE	O	O			Principal Language of Message メッセージの主要な言語
20	20	ID	O	C		0356	Alternate Character Set Handling Scheme代替文字セット操作法
21	427	EI	O	O			Message Profile Identifier メッセージプロファイル識別子

### MSH フィールド定義

#### MSH-1 Field Separator フィールドセパレータ (ST) 00001

定義：セグメント ID と最初の実フィールド (MSH-2-符号化文字) 間のセパレータ。それらのセパレータの他に、残りのメッセージで区切りとして使う文字を定義する。推奨値は「|」(ASCII 124)である。

#### MSH-2 Encoding Characters 符号化文字 (ST) 00002

定義：このフィールドは次の順番で並べられた 4 文字、つまり、成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字、副成分セパレータを含んでいる。推奨値は「^~\&」(ASCII 94, 126, 92 及び 38) である。2.4 節 メッセージ区切文字を参照のこと。

#### MSH-3 Sending Application 送信アプリケーション (HD) 00003

成分：<Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：

このフィールドは、ネットワーク全体の他のすべてのアプリケーションの中でどれが送信アプリケーションかを一意的に識別する。ネットワーク全体は、企業内の HL7 メッセージの交換に参加するすべてのアプリケーションから成る。完全に施設で定義される。「使用者定義表 0361-アプリケーション」は、第1成分に対する値の使用者定義表として使用される。

使用者定義表 0361 -Application アプリケーション

Value	Description	Comment
...	推奨値なし	

注記：施設での合意により、実装者は第 1 成分用に「使用者定義表 0300 - ネームスペース ID」を引き続き使うことができる

#### MSH-4 Sending Facility 送信施設 (HD) 00004

成分：<Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：

このフィールドは、送信アプリケーション、MSH-3-送信アプリケーションをさらに詳細に記述する。HD データ型への拡張により、この利用法は送信機能だけではなく、次のような他の組織実体が含まれるまで拡張された。a)送信アプリケーションに責任のある組織実体、b)責任のあるユニット、c)製品

やベンダの識別子、等。完全に施設で定義される。「使用者定義表 0362-施設」は、第1成分に対する値の使用者定義表のための HL7 識別子として使用される。

**使用者定義表 0362 -Facility 施設**

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

注記: 施設での合意により、実装者は第1成分用に使用者定義表 0300 - ネームスペース ID を引き続き使うことができる。

**MSH-5 Receiving Application 受信アプリケーション (HD) 00005**

成分: <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義:

このフィールドは、ネットワーク全体の他のすべてのアプリケーションの中でどれが受信アプリケーションかを一意的に識別する。ネットワーク全体は、HL7 メッセージの交換に参加するすべてのアプリケーションから成る。完全に施設で定義される。「使用者定義表 0361-アプリケーション」は、第1成分に対する値の使用者定義表のための HL7 識別子として使用される。

注記: 施設での合意により、実装者は第1成分用に「使用者定義表 0300 -ネームスペース ID」を引き続き使うことができる。

**MSH-6 Receiving Facility 受信施設 (HD) 00006**

成分: <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義:

このフィールドは、異なる組織で動作しているアプリケーションの、多数の同一インスタンスの中で、どれが受信アプリケーションかを識別する。「使用者定義表 0362-施設」は、第1成分に対する値の使用者定義表のための HL7 識別子として使用される。完全に施設で定義される。

注記: 使用場所での合意により、実装者は使用者定義表 0300-ネームスペース ID を第一成分として使いつづけてもよい。

**MSH-7 Date/Time of Message メッセージ日時 (TS) 00007**

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは送信システムがメッセージを作成した日時を含んでいる。タイムゾーンが指定される場合、それはデフォルトタイムゾーンとしてメッセージの全体にわたって使用される。

注記: このフィールドは HL7 V2.4 での要求により作られた。HL7 V2.4 以前のメッセージは、このフィールドに値は要求されない。この使用法は下位互換性を保証する。

**MSH-8 Security セキュリティ (ST) 00008**

定義: いくつかの HL7 アプリケーションでは、このフィールドは安全性を実装するために使われる。その使用法はまだ規定されていない。

**MSH-9 Message Type メッセージ型 (MSG) 00009**

成分: <Message Type (ID)> ^ <Trigger Event (ID)> ^ <Message Structure (ID)>

定義: 第1成分は「[HL7 表 0076- メッセージ型](#)」にリストされているメッセージ型である。第2成分は「[HL7 表 0003- イベント型コード](#)」にリストされているトリガーイベントコードである。第3成分は「[HL7 表 0354-メッセージ構造](#)」にリストされているメッセージ構造である。

受信システムはこのフィールド情報から、データセグメントを認識し、また、このメッセージを送信して来るであろうアプリケーションを識別する。ある検索要求に対し、一つ以上の応答イベントタイプが得られるような場合、応答メッセージにおいては、第2成分が応答イベントタイプを指し示すよう変化することになるだろう。

**MSH-10 Message Control ID メッセージ制御 ID (ST) 00010**

定義: このフィールドはメッセージを一意に識別する番号または他の識別子を含んでいる。受信システムは、メッセージ確認応答セグメント(MSA)で送信システムへこの ID をエコーバックする。

**MSH-11 Processing ID 処理 ID (PT) 00011**

成分: <Processing ID (ID)> ^ <Processing Mode (ID)>

定義: このフィールドは HL7 アプリケーション (レベル 7) 処理規則で定義したようにメッセージを処理するかどうか決めるのに使用する。

**HL7表 0103 - Processing ID 処理ID**

Value	Description	Comments
D	Debugging デバギング	



Value	Description	Comments
P	Production プロダクション	
T	Training トレーニング	

HL7表 0207 - Processing Mode 処理モード

Value	Description	Comments
A	Archive アーカイブ	
R	Restore from archive アーカイブからの復元	
I	Initial load 初期ロード	
T	Current processing, transmitted at intervals(scheduled or on demand) 現在の処理、とびとびに転送される (計画的又は要求に応じて)	
(値なし)	Not present (the default, meaning current processing) 存在しない (デフォルト、すなわち現在の処理)	

**MSH-12 Version ID バージョン ID (VID) 00012**

成分 : <Version ID (ID)> ^ <Internationalization Code (CWE)> ^ <International Version ID (CWE)>  
 副成分 for Internationalization Code(CWE) :<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>  
 副成分 for International Version ID (CWE) :<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>  
 定義 : 受信システムは、バージョン ID を認識しメッセージが確実に解釈されるようにする。本規約のバージョン ID は「2.5」を指定する。

**MSH-13 Sequence Number シーケンス番号 (NM) 00013**

定義 : このフィールドの値が null でなければ、シーケンス番号プロトコルが使われていることを意味する。この数値フィールドは、以降のシーケンスごとに 1 つずつ増加される。

**MSH-14 Continuation Pointer 継続ポインタ (ST) 00014**

定義 : このフィールドはアプリケーションに特有の方法で継続を定義するのに使用する。断片化されたメッセージの送信側だけがこのフィールドの値を付ける。

**MSH-15 Accept Acknowledgment Type 受諾応答型 (ID) 00015**

定義 : このフィールドはこのメッセージに回答して受諾確認応答を返すことが要求される条件を定義する。拡張確認応答モードでは必須である。取りうる値については「HL7 表 0155 受諾/アプリケーション確認応答条件」を参照のこと。

**MSH-16 Application Acknowledgment Type アプリケーション確認応答型 (ID) 00016**

定義 : このフィールドはこのメッセージに回答してアプリケーション確認応答を返すことが要求される条件を含む。拡張確認応答モードでは必須である。以下の表には、MSH-15 受諾確認応答型と MSH-16 アプリケーション確認応答型で可能な値が含まれる。

HL7表 0155 – Accept/Application Acknowledgment Conditions 受諾/アプリケーション応答条件

Value	Description
AL	Always 常に
NE	Never 決してない
ER	Error/reject conditions only エラー/リジェクト状態のみ
SU	Successful completion only 正常終了時のみ

注記 : MSH-15とMSH-16が省略(または両方ともnull)の場合、基本確認応答モード規則が使われる。

**MSH-17 Country Code 国コード (ID) 00017**

定義 : このフィールドはメッセージの発信国を定義する。主に通貨単位などのデフォルト要素を指定するのに使用される。ISO 3166 は、使用可能な国コードのリストを提供する。ISO-3166 表は国コードとして 3 つの形式が併記されている。HL7 では、3 文字のアルファベットでの表記形式を国コードとして用いる。  
 ISO 3166-1 にて定義されている 3 文字のコードである、HL7 表 0399-国コード表を参照のこと。

HL7表 0399 – Country Code 国コード

Value	Description	Comments
	use 3-character (alphabetic) form of ISO 3166 ISO3166 の 3 文字(アルファベット)を使用	

**MSH-18 Character Set 文字セット (ID) 00692**

定義： 文字セットを指定するためにフィールド MSH-18-文字セットを使用する。このフィールドの有効な値は HL7 表 0211, ”代替文字セット” で指定されている。MSH-18-文字セットは空白、もしくは1 つないしそれ以上の反復セパレータで区切られている。もしこのフィールドが空白の場合、使用されている文字セットは 10 進数 0~127 (16 進数 00~7F) の 7 ビット ASCII セットと解釈される。この既定値は明確に ASCII と指定されている。

1 つ以上の文字セットをメッセージ内で使用することができる。MSH-18 の最初の繰り返し項目として設定されている文字セットは、メッセージのデフォルトエンコードである。2 つ目やそれ以降の MSH-18-文字セットは使用されている追加文字セットを指定するために指定する。異なる文字セットを定義するための、このフィールドへの繰り返しは、FT、ST 並びに TX データ型のみに適応される。併せて 2.4.1.節 テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用も参照のこと。

単バイトもしくは複数バイトにかかわらず、どのような符号化システムも、MSH-18-文字セット内の既定文字符号を指定されなければならない。

注記：エンコーディングルールを解説する際、HL7 では文字位置の観点について常に説明しており、バイトオフセットではない。すなわち、文字セットの違いを議論する際は、文字内容そのものであり、文字バイト数の等価性に対してではない。このため、デリミタ文字には必ず 7 ビット ASCII 文字セットが用いられ、実際に使われている文字セットには左右されない。よって、CR (キャリッジリターン) 文字をデリミタとして検知することが有効になる。

HL7表 0211 - Alternate Character Sets 代替文字セット (抜粋)

Value	Description	Comments
ASCII ISO IR87	印刷可能な 7 ビットの文字セット 日本のグラフィック文字集合用の情報交換コード(JIS X 0208-1990)	(このフィールドを省略する場合、これがデフォルトである) コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち"ISO IR87" 日本では JIS X 0208 はエスケープシーケンスを必要としており、エスケープ技術は ISO 2022 である。標準 ASCII では、エスケープシーケンス "escape" \$B (16 進数、1B 24 42) は以下のバイトは 2 バイトの幅であることを自身に知らせる。ASCII へのもどるには 1B 28 42 である
ISO IR159	補助的な日本のグラフィック文字集合用の情報交換コード (JIS X 0212-1990)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち"ISO IR159"
UNICODE UTF-8	UCS 変換フォーマット、8-bit 形式	UTF-8 は可変長符号であり、それぞれのコードは 1,2 もしくは 3 バイトで表され、コード値に依存する。7 ビット ASCII は UTF-8 の下位集合である。このコードは UTF の前にスペースを含んでも良いが、ハイフンの前後にスペースを含んではならないことに注意

注記 文字セットにかかわらずフィールド区切り文字は 7-bit ASCII 文字セットである。

- a)もしフィールドの値が無いならば、デフォルト単一のバイト文字セット(ASCII(ISO IR6))を想定するべきである。そのメッセージ中では、他のいかなる文字セットも使用できない。
  - b)もしこのフィールドが繰り返される時に、第1要素がnull (すなわち、その第1要素の値がない状態) ならば、単一のバイトのASCII(ISO IR6)がデフォルト文字セットとして想定される。
  - c)シーケンスの残りの要素 (すなわち要素2..n) は、使用可能な代替文字セットである。
- 訳者による注釈:ここにはマルチバイトの文字セットを含むことが可能である。

**MSH-19 Principal Language of Message メッセージの主要な言語 (CE) 00693**

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドはメッセージの主要な言語を含む。コードは ISO 639 から成る。

**MSH-20 Alternate Character Set Handling Scheme 代替文字セット操作法 (ID) 01317**

定義：代替文字セットが使用され (第2 又は以降の MSH-18-文字セットの成分において指定され)、もし特別な操作方法が必要なら、この成分はその操作方法を指定するのに用いられる。これは次に示す「HL7 表 0356-代替文字セット操作法」に従う。

本規約では ISO 2022-1994 を使用する。

**HL7 表 0356 – Alternate Character Set Handling Scheme 代替文字セット操作法**

Value	Description	Comments
ISO 2022-1994	この規格は、“情報技術 - 文字コード構造と拡張技術”と名付けられている。	この規格は、基本的なシングルバイト文字セットから指定された異なる文字セットとの間の、遷移する手順を指定する。その遷移手順は、明示的に起動される交代文字セットを指定する。このモードでは、実際の ASCII エスケープ文字が、参照される ISO 文書中で定義され使用される。代替文字セットへ（から）の遷移手順は、HL7 区切り文字間内で起きるべきである。言い換えれば、HL7 区切り文字は基本のシングルバイト文字だけであり、区切り文字の直前と直後の文字は、状態を符号化している基本的なシングルバイトセットであるべきである。
2.3	HL7 V2.5 の 2.7.2 節” 複数文字セットをサポートするエスケープシーケンス” と 2.A.46 節” XPN-拡張人名で指定された、文字集合スイッチングモード。	このモードでの遷移手順は、ISO 2022-1994 で定義されているように ASCII "esc"文字は用いられないことに注意。
<null>	これはデフォルトであり、このメッセージ中に交代する文字セットが無いことを指定する。	これはデフォルトである。

**MSH-21 Message Profile Identifier メッセージプロファイル識別子(EI) 01598**

成分：<Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID type (ID)>

定義：このフィールドはメッセージプロファイルを参照する、あるいは規定を行使するために用いる。メッセージプロファイルは文法、構文及び特別なメッセージの為に詳細な説明、または、メッセージのセットを含む。詳しくは HL7 V2.5.2 章 2.12、"Conformance Using Message Profiles"を参照のこと。

このフィールドの繰り返しはメッセージプロファイルの作成やネーミングにおいてより多くの柔軟性を許容する。繰り返しを用いることで、メッセージ適合性のメッセージプロファイル集を明確に出来る。例えば、最初の繰り返しで、ベンダのメッセージプロファイルが参照できる。2 番目で他の互換性のあるプロバイダのプロファイルあるいは最初のベンダプロファイルの最新版を参照できる。

## 7.7. NTE - Notes and Comments Segment 注釈・コメントセグメント

NTEは、HL7 V2.5の各章にて定義されたメッセージ情報をここで内包するためのセグメントと定義する。共通的に注釈やコメントを送信するために用いられる。各 NTE セグメントでは、メッセージ属性表中の解説については、NTEに関連付けられるセグメントを記載すべきである。例えば、「PIDとしての注釈、コメント」のような形になる。

HL7 属性表 - NTE - Notes and Comments 注釈コメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O			Set ID - NTE セットID-NTE
2	8	ID	O	O		0105	Source of Comment コメントの発生源
3	65536	FT	O	O	Y		Comment コメント
4	250	CE	O	O		0364	Comment Typeコメント型

### NTE フィールド定義

#### NTE-1 Set ID - NTE セットID-NTE (SI) 00096

定義：このフィールドはひとつのメッセージ中に複数のNTEセグメントが含まれる場合に使用される。番号付けについては、アプリケーションメッセージ定義に記述されなければならない。

#### NTE-2 Source of Comment コメントの発生源 (ID) 00097

定義：このフィールドはコメントの発生源を識別するときに使用する。この表は実装時にローカルに拡張できる。有効な値は「HL7表 0105 - コメントの発生源」を参照のこと。

HL7表 0105 - Source of Comment コメントの発生源

Value	Description	Comments
L	Ancillary (filler) department is source of comment 関連部門（検査実施者）部がコメントの発生源	
P	Ordered (placer) is source of comment 指示者（検査依頼者）がコメントの発生源	
O	Other system is source of comment 他システムがコメントの発生源	

#### NTE-3 Comment コメント (FT) 00098

定義：このフィールドはセグメントに含まれるコメントを含んでいる。

注記： HL7 V2.2 から、このフィールドはTXデータ型ではなくFTデータ型である。フォーマット・コマンドが埋め込まれていないFTデータ型はTXデータ型との間に違いがないため、この変更は前のバージョンと互換性を持つ。

#### NTE-4 Comment Type コメント型 (CE) 01318

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、特定のコメントレコード中で送られた、コメントテキストの型を識別する値を含んでいる。推奨値は「使用者定義表 0364-コメント型」を参照のこと。

使用者定義表 0364 - Comment Type コメント型

Value	Description	Comments
PI	Patient Instructions 患者指示	
AI	Ancillary Instructions 補助的指示	
GI	General Instructions 一般的指示	
1R	Primary Reason 主要理由	
2R	Secondary Reason 二次理由	
GR	General Reason 一般理由	
RE	Remark 注意	
DR	Duplicate/Interaction Reason 複製/指示理由	

注記：フィールドは、コメントの発生源（例えば、関連部門、指示者、その他）を識別するNTEレコード上に既に存在する。しかしながら、いくつかのアプリケーションは、コメントテキスト（例えば、指示、理由、注意他）の他の型のサポートが必須である。NTEセグメントは、それぞれのコメントの型に応じて分離して使用することができる（例えば、指示は一つのNTE上にあり、注意は他のNTE上）。

## 7.8. OBX - Observation/Result Segment 検査結果セグメント

OBX セグメントは単一検査あるいは部分検査を転送するのに使用される。それは分割不可能なレポートの最小単位に相当する。OBX セグメントはまた、CDA ドキュメントや DICOM イメージデータのようなカプセル化したデータも含み得る。

その主な機能はレポートメッセージで検査関連情報を伝達することである。しかし、OBX を検査オーダに含めることもできる (HL7 V2.5 4.4 節オーダ・メッセージ定義を参照のこと)。この場合、実施者が作成する検査結果を解釈できるように、実施者が必要とする臨床情報を OBX で伝送する。例えば、血液酸素を血液ガス検査室へオーダする場合に吸気酸素を報告するのに OBX は必要であり、あるいはパップ塗抹試験を細胞診検査室へオーダする場合に含まれているべき月経周期情報を報告するためにも OBX は必要である。HL7 V2.5 付録 7.A に記述されているコードは、検査結果を適切に解釈するために、検査実施部門が必要とする個々の情報を識別するためのものである。OBX は、患者の臨床情報を含む必要のある他の HL7 メッセージ中にもある。

HL7属性表—OBX—Observation/Result Segment 検査結果セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O			Set ID - OBX セットID
2	3	ID	C	C		0125	Value Type 値型
3	250	CE	R	R			Observation Identifier 検査項目
4	20	ST	C	C			Observation Sub-ID 検査サブID
5	65536	*	C	C	Y		Observation Value 検査結果値
6	250	CE	O	O			Units 単位
7	60	ST	O	O			References Range 標準値
8	5	IS	O	O	Y	0078	Abnormal Flags 異常フラグ
9	5	NM	O	O			Probability 確率
10	2	ID	O	O	Y	0080	Nature of Abnormal Test 異常検査の特性
11	1	ID	R	R		0085	Observ Result Status 検査結果状態
12	26	TS	O	O			Effective Date of Reference Range 標準値有効日付
13	20	ST	O	O			User Defined Access Checks ユーザ定義アクセス点検
14	26	TS	O	O			Date/Time of the Observation 検査日時
15	250	CE	O	O			Producer's ID 実施者ID
16	250	XCN	O	O	Y		Responsible Observer 検査責任者
17	250	CE	O	O	Y		Observation Method 検査方法
18	22	EI	O	O	Y		Equipment Instance Identifier 機器インスタンス識別子
19	26	TS	O	O			Date/Time of the Analysis 分析日時

### OBX フィールド定義

#### OBX-1 Set ID - OBX セットID (SI) 00569

定義：このフィールドは、通し番号を含んでいる。ASTM との互換性を維持するためのもの。

#### OBX-2 Value Type 値型 (ID) 00570

定義：このフィールドは、OBX 内の検査結果値のフォーマットを含んでいる。「OBX-11 検査結果状態」が「X」でない場合、それは値を持たねばならない。値が CE である場合、結果はコード化入力値でなければならない。値型が TX または FT である場合、結果はテキスト群である。値型の検査で採りうる値は「HL7 表 0125 値型」に列記される。

【共通編】現在は、「HL7 表 0440 データ型」が使われていると思われる。

検査値は、2.5 節「データ型」で定義されたデータ型のフォーマットに応じて表記されなければならない。例えば、PN は成分デリミタにより分離した 6 つの成分から成る。

NM は有効な型であるが、通常数字として報告される検査では、結果の一部として非数値文字が報告されることが多いので（結果が測定器で計りきれないことを示すために>300を使う場合など）、文字列(ST)データ型を持つことがある。例えば” >300” では、” >” は記号であり桁” 300” は数値と考えられる。しかしながら、ST タイプのこの使用は推奨されない。なぜなら SN（構造化した数値）データ型は今そのような報告を受入れ、さらに SN データ型によって受信システムが大きさを解釈できるからである。

HL7 データ型はすべて有効であり表 0125 に含まれている。ただし、CM、CQ、SI および ID は除く。CM 定義が意味を持つためには、CM に関する詳細がフィールド定義に含まれていなければならない。「OBX-5 検査結果値」はデータ型 OBX-3 によって影響を及ぼされる一般的なフィールド定義である。したがって、CM はこの文脈中で定義されない。

CQ は無効である。なぜなら「OBX-5 検査結果値」のためのユニットが、「OBX-6 単位」を備えた OBX セグメント中で明示的に常に指定されるからである。

SI は無効である。なぜなら、それは単に HL7 メッセージ・セグメントに適用されるに過ぎないからである。

ID は無効である。なぜなら、それは一定のフィールド定義を必要とするからである。

実際の検査値が OBX では送られていないが、他のどこかに存在する場合、RP 値（参照ポインタ）を使用しなければならない。例えば、検査が画像（ドキュメント関連画像あるいは医学関連画像）から成る場合、画像そのものは OBX で送ることができない。その場合送信システムは、参照ポインタを送信するよう選択することができる。受信システム側は、DICOM などの他の標準インタフェースにより、あるいは適切なデータ・ベース・サーバーにより実際の画像へアクセスする必要がある場合は、いつでもこの参照ポインタを使用することができる。

HL7表 0125 - Value type 値型

Value	Description
AD	Address 住所
CE	Coded Entry コード化された値
CF	Coded Element With Formatted Values 値整形済コード化要素
CK	Composite ID With Check Digit 点検数字付き複合 ID
CN	Composite ID And Name 複合 ID と名前
CNE	Coded with No Exceptions 例外なしコード化値
CP	Composite Price 複合価格
CWE	Coded with Exceptions 例外を含むコード化値
CX	Extended Composite ID With Check Digit チェックデジット付き拡張複合 ID
DT	Date 日付
ED	Encapsulated Data カプセル化されたデータ
FT	Formatted Text (Display) 整形済みテキストデータ
MO	Money 金額
NM	Numeric 数値
PN	Person Name 人名
RP	Reference Pointer 参照ポインタ
SN	Structured Numeric 構造化数値
ST	String Data. 文字列データ
TM	Time 時間
TN	Telephone Number 電話番号
TS	Time Stamp (Date & Time) タイムスタンプ
TX	Text Data (Display) テキストデータ
XAD	Extended Address 拡張住所
XCN	Extended Composite Name And Number For Persons 拡張複合 ID 番号および人の名前
XON	Extended Composite Name And Number For Organizations 拡張複合組織名称および識別子番号
XPN	Extended Person Number 拡張人名
XTN	Extended Telecommunications Number 拡張遠距離通信番号

【共通編】 CNE、CWE を追加。

これらのデータ型の完全な定義は 2.5 節「データ型」の中で与えられる。構造化した数値(SN)データ型は、HL7 V2.3 で初めて扱われ、それが提供するものは、報告範囲（例えば 3-5 あるいは 10-20）、力価（例えば 1:10）および範囲外の指示（例えば >50）であって、構造化されコンピュータが解釈できる方法で提供される。

我々は、OBX セグメント中の FT データ型を許可する。しかし、その使用は推奨しない。フォーマットされたテキストは意味のある構造を通常意味する。例えば異なるライン上で報告された独立している 3 つの診断のリストを意味する。しかし、理想的には、独立している診断の 3 つの文中の構造は 3 つの個別の OBX セグメントとして報告される。

大量のテキストを送るとき以外、TX は使用してはならない。TX データ型では、反復デリミタは段落の区切りを識別するためだけに使用できる。短い、そして恐らくコード化できるテキスト文字列を送るため ST を使用すること。

CDA ドキュメントは、ドキュメント (MDM または ORU のような) を置き換えることができる任意のメッセージ中で、OBX セグメントにて置き換えられる。OBX セグメント内では、MIME パッケージはカプセル化された(ED)データ型としてコード化される。

### OBX-3 Observation Identifier 検査項目 ID (CE) 00571

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは検査を表す一意な識別子を含んでいる。形式は「コード化要素」(CE)の形式と同じ。

例: 8625-6^P-R interval^LN

ほとんどのシステム構成では、識別子によって示されるのは、受信システムが受信した検査を処理するのに使用できる他の検査属性を列記したマスター検査表だろう。そのようなマスター検査表を送信するためのメッセージ・セグメントのセットについては HV7 V2.5 8 章に記述される。検査 ID とマスター検査表との関係は、請求コード (請求レコード内の) と料金表の関係に類似している。

このフィールドの第 1 識別子にローカル・コードを使用する場合、汎用的な識別子も同様に送信することを強く推奨する。それにより、さまざまな提供者が同じサービスについてそれぞれ結果を送信してきた場合 (例えば病院臨床検査室と民間臨床検査室が、老人ホームに血清カリウムの検査結果を供給してきた場合)、受信側でそれらの結果を同様に扱う事ができる。

LOINC は HL7 で承認された検査のためのコーディングシステムである。臨床検査、身体所見、放射線学研究、医療費請求のための添付ファイルなどの項目を網羅しており、[www.regenstrief.org/loinc.htm](http://www.regenstrief.org/loinc.htm) から手に入れることができる。

利用可能な汎用的な識別子の一つは、検査室および臨床測定のための LOINC コードである (「HL7 使用者定義表 0396」および HL7 [www](http://www.hl7.org) リスト・サーバーを参照のこと) また、神経生理学検査に関しては ASTM E1467 の附属書 X2 を参照すること。

読影所見に関する識別子の討議は HL7 V2.5 7.2.3 節と 7.2.4 節を参照のこと。

### OBX-4 Observation Sub ID 検査サブ ID (ST) 00572

定義: このフィールドは 1 つの OBR の下で編成された複数の OBX セグメントが同じ観察 ID を持つ場合、それぞれの OBX セグメントを識別するのに使う。例えば、胸部 X 線レポートには独立した 3 つの診断が含まれることがある。標準では、3 つの OBX セグメント (1 つの診断所見に 1 つの OBX セグメント) が必要である。これらの OBX セグメントの 1 番目のサブ ID に 1、2 番目のサブ ID に 2、および 3 番目のサブ ID に 3 を入れることにより、HL7 は、編集あるいは交換に際し各 OBX セグメントを一意に識別することができる。

サブ識別子は、外科病理学などのレポートで関連成分をグループ化するのにも使われる。外科病理学レポートでは、1 回の手術により得られた組織をすべて 1 つのレポートにまとめるということは昔からよくある。胆嚢および虫垂の検査を記述した単一の外科病理学レポートを考えてみる。このレポートは概ね図 7.8.1 に示すように転送されるだろう。

```
OBR|1||1234^LAB|88304&SURG PATH REPORT|...<br>
OBX|1|CE|88304&ANT|1|T57000^GALLBLADDER^SNM|...<br>
OBX|2|TX|88304&GDT|1|THIS IS A NORMAL GALLBLADDER|...<br>
OBX|3|TX|88304&MDT|1|MICROSCOPIC EXAM SHOWS HISTOLOGICALLY
NORMAL GALLBLADDER TISSUE|...<br>
OBX|4|CE|88304&IMP|1|M-00100^NML^SNM|...<br>
```

```

OBX|5|CE|88304&ANT|2|T66000^APPENDIX^SNM|...<cr>
OBX|6|TX|88304&GDT|2|THIS IS A RED, INFLAMED, SWOLLEN, BOGGY APPENDIX|...<cr>
OBX|7|TX|88304&MDT|2|INFILTRATION WITH MANY PMN's - INDICATING INFLAMMATORY CHANGE|...<cr>
OBX|8|CE|88304&IMP|2|M-40000^INFLAMMATION NOS^SNM|...<cr>

```

**図 7.8.1 サブ識別子使用の例**

図 7.8.1 の例では、レポートの各成分に対して 2 つのセグメントがある (2 つある組織のそれぞれに対して 1 つのセグメント)。このように、88304&ANT セグメントが 2 個存在する ; 88304&GDT セグメントが 2 個存在する。88304&MDT セグメントが 2 個存在する。胆嚢に適用されるセグメントはすべてサブ識別子として「1」を持つ。虫垂に適用されるセグメントはすべてサブ識別子「2」を持つ。

検査サブ ID はその他の目的でグループ化する場合にも使用できる。それはいくつかの種類の体液摂取および排せつのレポートを編成するのに使用することができる。例えば、複数の静脈ラインにより採血を実施した場合それぞれの静脈ラインでは、多くの個別の検査 (OBX セグメント)、採取量、採取の型 (血液、D5W、血漿など)、静脈ラインの部位などが必要になる。つまりそれぞれの静脈ラインが個別の OBX セグメントを必要とする。複数の静脈ラインが走っている場合、HL7 では、第 1 の静脈ラインに関する OBX セグメントすべてに検査サブ ID 「1」を割り当てることにより、それらの OBX セグメントを論理上リンクすることができる。同様に、サブ ID 「2」を割り当てることにより、第 2 の静脈ラインに関してすべての OBX をリンクすることができる。複数の外科的ドレーンが存在する場合に、その出力に対しても同様のことができる。

同じ検査 ID の反復 OBX を識別するサブ ID の使用は、実はサブ ID をグループ化のため使用する特別の場合である。それは図 7.8.1 の OBX セグメントを表にすれば分かる。この表では、列は検査の特定の種類に対応し、セルはそれぞれ対応する OBX に関連するサブ ID 番号に対応する。

別個検査	88304&ANT	88304&GDT	80304&MDT	80304&IMP
subID、 第1のグループ	1	1	1	1
subID、 第2のグループ	2	2	2	2

結果をグループ化するサブ ID の使用は、テーブルを定義することと等価である。そして反復を識別するためのサブ ID の使用は、このテーブルの 1 つの列で表される特別な場合である。

しかしながら、我々がグループ内の 1 連の反復検査を行っていれば、この方法は曖昧になる。例えば、図 7.8.2 に示すような所見が追加された検査は第 8 と第 9 の OBX の中に 2 つの所見を含んでいる。これは実は、上に与えられた表の単一のセル内に、入れ子にされた行が存在することを表わす。

```

OBX|1|CE|880304&ANT|1|T57000^GALLBLADDER^SNM...
OBX|2|TX|880304&GDT|1|THIS IS A NORMAL GALL BLADDER...
OBX|3|TX|880304&MDT|1|MICROSCOPIC EXAMINATION SHOWS HISTOLOGICALLY
NORMAL GALLBLADDER TISSUE...
OBX|4|CE|880304&IMP|1|M-00100^NML^SNM...
OBX|5|CE|880304&ANT|2|T57000^APPENDIX^SNM...
OBX|6|TX|880304&GDT|2|THIS IS A RED, INFLAMED APPENDIX...
OBX|7|TX|880304&MDT|2|INFLAMMATION WITH MANY PUS CELLS-ACUTE INFLAMMATION...
OBX|8|CE|880304&IMP|2|M-40000^INFLAMMATION NOS^SNM...
OBX|9|CE|880304&IMP|2|M-30280^FECALITH^SNM...

```

**図 7.8.2 サブ識別子使用の例**

「OBX-5 検査結果値」の下のテキストは、同じ検査 ID および検査サブ ID を備えた 2 つの OBX を扱うことに関するガイダンスを提供する。それらは 1 ユニットとして送られ交換される。しかしながら、一部のシステムは、OBX のセットが受信システム中の 1 つの合成された検査へ組み合わせられるという意味にこれを解釈する。ユーザが編集および修正の目的のために 1 つのタイプ内の各々の反復を区別し、または 1 つのセル内の結果を区別したい場合、ユーザはドットおよび文字列 (十進分類法に似ている) を使用するよう我々は推奨する。このシステムを使用すると、図 7.8.2 は図 7.8.3 になる。そのような入れ子がさらに深いレベルに生じる場合があるならば、この方法は拡張することができる。



```

OBX|1|CE|880304&ANT|1|T57000^GALLBLADDER^SNM...
OBX|2|TX|880304&GDT|1|THIS IS A NORMAL GALL BLADDER...
OBX|3|TX|880304&MDT|1|MICROSCOPIC EXAMINATION SHOWS HISTOLOGICALLY
    NORMAL GALLBLADDER TISSUE...
OBX|4|CE|880304&IMP|1|M-00100^NML^SNM...
OBX|5|CE|880304&ANT|2|T57000^APPENDIX^SNM...
OBX|6|TX|880304&GDT|2|THIS IS A RED, INFLAMED APPENDIX...
OBX|7|TX|880304&MDT|2|INFLAMMATION WITH MANY PUS CELLS-ACUTE INFLAMMATION...
OBX|8|CE|880304&IMP|2.1|M-40000^INFLAMMATION NOS^SNM...
OBX|9|CE|880304&IMP|2.2|M-30280^FECALITH^SNM...

```

図 7.8.3 サブ ID の使用の例

倍数の必要がない場合、null または 1 を使用すること。

検査が検査 ID OBX-3 に対する同じ等価物を備えた多くの OBX を含んでいる場合、サブ ID に対し異なる値を使用しなければならない。これは実際、図 7.8.3 に示す反復の場合である。しかし OBX のセットをグループ化する必要はない。そのような 3 つの OBX はサブ ID の 1、2、などを使用して識別することがある；あるいは図 7.8.3 に示されるように、サブ ID の 1.1、1.2、1.3 を使用することがある。図 7.8.4 に示すのは、心電図、胸部 X 線写真の報告書の例で 3 つの診断所見を持ち、サブ ID フィールドの 1、2、3 を使用してこれらの 3 つの結果を識別している。

```

OBX|1|CE|8601-7^EKG IMPRESSION ^LN|1|^atrial fibrillation|. . .
OBX|2|CE|8601-7^EKG IMPRESSION ^LN|2|^OLD SEPTAL MYOCARDIAL INFARCT|. . .
OBX|3|CE|8601-7^EKG IMPRESSION ^LN|3|^poor R wave progression|. . .

```

図 7.8.4 同じ検査 ID を備えた 3 つの独立の結果を識別するため使用されたサブ ID の例

#### OBX-5 Observation Value 検査結果値 (\*) 00573

定義：このフィールドは検査実施者により検査された値を含んでいる。検査結果値はこのフィールドのデータ型に応じてフォーマットされるが、そのデータ型は「OBX-2 値型」に含まれる。それは必須ではない。なぜなら一部のシステムは、特に市販後調査を報告する際に、正常／異常(OBX-8)だけを報告するからである。

検査結果項目の長さは「OBX-2 値型」により可変である。このフィールドは、適切なデータ型、例えば、CE、TX、および FT データ型を有するマルチパートを構成する単一の結果を繰り返すことができる。

##### 表記

このフィールドには、同じセグメントの「OBX-3 検査項目」の値が含まれる。検査に依存するが、データ型は数値（例えば呼吸数）、具体的なコード（SNOMED で記述された病理所見など）あるいは日時（1 単位の血液が病棟に送られる日時）のどれかである。検査結果値は、同じセグメントの「OBX-2 値型」で指定されたデータ型として表記される。数値なのかあるいは短いテキストなのかどうかには拘らず、結果は ASCII テキストで記録されるものとする。

##### 論理上独立している検査の報告

放射線検査や「病歴・身体計測」などの書き取りレポートの主要箇所は、個別の OBX セグメントとして報告される。また、論理上独立している個々の検査は、個別の OBX セグメントで報告すべきである。つまり、1 個の OBX セグメントには、論理上独立している複数検査の“結果”を含んではならない。この要求事項により、「OBX-6 単位」および「OBX-8 異常フラグ」、および「OBX-9 確率」の内容が明白に解釈できるようになる。例えば電解質およびバイタルサイン・セットは、4 つの個別の OBX セグメントとして報告されるだろう。2 つの診断（うっ血性心不全と肺炎など）は、それが退院時サマリーの一部として報告されたのかあるいは胸部 X 線レポートの一部として報告されたのかに拘らず、さらに 2 つの個別の OBX セグメントとして報告されるだろう。同様に、単一の細菌培養内で分離された 2 つの細菌性生物は、2 つの個別の OBX セグメントとして報告されるだろう。

1つのOBXセグメントで、独立した2つの診断“記述文”を報告することはできないが、2つの診断“記述文”がそれぞれ一部（修飾子）として一緒になって1つの診断記述文を構築するのであれば、定性値として複数回答することができる（通常、反復デリミタにより分離されたCEデータ型として）。例えば、右上葉（1つのコードとして記録される）と肺炎（別のコードとして記録される）の両方を1つのOBXセグメントで報告できるだろう。そのような複数の“値”は反復デリミタにより分離されるだろう。

#### 共通の検査IDとサブIDを持つ複数のOBXセグメント

いくつかのシステムでは、単一の検査に複数データ型の“一部”が含まれることがある。よくある例は、数値結果の後にコード化注記(CE)が続くことである。この場合、検査結果情報は複数のOBXセグメントで送ることができる。例えば、あるセグメントは、数値結果を表すための数値データ型あるいは文字列データ型であるが、もう1つのセグメントはコード化注記を表すCEデータ型である場合など。実施者が複数のコード化注記を報告しているとする、その複数のコード化注記はすべて単一の論理検査情報を修正してしまうので、反復デリミタで分離された1つのOBXセグメントで送信されるだろう。同じ検査IDとサブIDを持つ複数のOBXセグメントは、最も重要なOBXセグメント（正常なフラグ/単位、および/あるいは、基準値および状態フラグを持つOBXセグメント）を最初に指定して、常に連続して送信すべきである。OBX6~12の値は、同じ「OBX-3 検査項目」と「OBX-4 検査サブID」を持つ後続のOBXセグメントではnullとすべきである。置換または削除をする場合、同じ検査IDとサブIDを持つ複数のOBXセグメントは1単位として扱われる。どれか1つが置換または削除されると、すべてが置換される。

#### コード価値

OBXセグメントにCEデータ型の値が含まれる場合、検査はコードおよび（または）テキストの組み合わせとして保管される。HL7 V2.5 7.8.3 節の「CSS-臨床試験スケジュールセグメント」にCEデータ型として表した結果の例を示す（「OBR-1」の1番目と2番目のOBXセグメント、「OBR-2」の1番目と2番目のOBXセグメントに記述されている結果）。検査は、（推奨検査を表す）検査ID、（診断を表す）診断コードか所見、または病理学レポートで使う部位、あるいは他の任意の種類のコッド化結果などである。

コード化検査に保管された情報は必ずしもコード化する必要はない。例えば、胸部X線診断がCEデータ型であったとしても、純粋テキストとして転送することができるだろう。この場合は、例えば以下のように記述して、“結果コード”の第2成分として検査を記録しなければならない。

```
OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE. |...<cr>
```

しかし、個別の診断、指導などは、純粋テキストとして記録するとしても、個別の結果セグメントに記録すべきである。すなわち、うっ血性心不全と肺炎は、

```
OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE AND PNEUMONIA|...<cr>
```

ように送信するのではなく、以下のように送信すること。

```
OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE| ...<cr>  
OBX|2|CE|71020&IMP|2|^PNEUMONIA|...<cr>
```

これよりさらによいのは、コンピュータの理解しうるコード（成分1）を含んでいる完全にコード化された結果である。これはテキスト記述（成分2）の代わりにまたはそれに追加して必要である。CE値の中に複数の値を含むようにしてもよい。これらはコードとテキストの混合物でありうる。しかしそれらが1つの診断、所見あるいは概念を構築するため必要な場合に限る。テキストが独立している値としてコードの後に来る場合、それはコードの修飾子あるいは追加として解釈される。例えば、

```
OBX|1|CE|710120&IMP^CXR|1|428.0^CONGESTIVE HEART FAILURE^I9C^MASSIVE HEART...<cr>
```

成分2のテキストは成分1のコードの正確な記述とするべきである。同様に、もし使用されれば、成分5のテキストは成分4のコードの正確な記述とするべきである。

#### OBX への CDA の挿入

CDA ドキュメントは OBX セグメントで交換される。「OBX-2 値型」の値は ED である。OBX-5 検査結果値にカプセル化されたデータ型としてエンコードされた MIME パッケージを含む。その成分は以下に通りである。

- ・ 「OBX-5.2 データ型値」を 'multipart' に設定
- ・ 「OBX-5.3 データサブタイプ値」を 'x-hl7-cda-level-one' に設定
- ・ 「OBX-5.4 エンコード値」を 'A' に設定（注意： MIME パッケージそれ自身は Base64 でエンコードされているわけではない。MIME パッケージの実体が Base64 でエンコードされる。MIME パッケージ自身は ASCII テキストで送信される。したがって正しい値の内容は 'A' であり 'Base64' ではない。）
- ・ 「OBX-5.5 データ値」は MIME パッケージと等しいものが配置される。MIME パッケージ内のすべての実体は Base64 でエンコードされている必要がある。2章にあるように、"データ要素は HL7 のデリミタで分離されなければならない（および 改行のような非印字 ASCII 文字か非 ASCII 文字）、そして 2.4 節でエスケープ文字を定義しているように受信アプリケーションはそのデータをディエスケープする必要がある。その結果、は MIME パッケージで必要とされる CR/LF シーケンス送信前にエスケープされる（すなわち '\X0D0A' に変換される）。最初の MIME コンテンツタイプは 'application/x-hl7-cda-level-one+xml' に設定されており、CDA ドキュメント自体を含める必要がある。送信される CDA ドキュメントから参照されるマルチメディアオブジェクトは MIME パッケージの連続する実体に配置される。

#### OBX-6 Units 単位 (CE) 00574

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

背景：検査の値が連続的な尺度で測定される場合、OBX セグメントの単位項目内で測定単位を報告しなければならない。HL7 V2.2 以降の仕様では、単位を報告する項目はすべてデータ型 CE である。

単位コードのためのデフォルトのコーディングシステムは、単一ケースの単位の ISO の略語 (ISO 2955-83)、および ISO の省略形と衝突しない拡張子から構成される。我々は ISO+ としてこのコーディングシステムを指定する。

ISO 単位の省略形および拡張子の両方が、HL7 7.4.2.6.2 節「ISO および ANSI の慣習的な単位省略形」の中で定義される、ISO+省略形はデフォルトのコーディングシステムのためのコードである。したがって、ISO+単位が使用される場合、ISO+省略形だけを送る必要がある。また、単位項目の内容は、HL7 V2.1 と下位互換性を持つ。

#### 報告する単位の識別

我々は、ISO+省略単位を排他的に使用するように検査担当者に強く奨励するが、必要な場合米国の慣習的な単位 (ANSIX3.50) およびローカルに定義されたコードを含む他のコードシステムの使用を許す。ローカルな単位は L または 99zzz と呼ばれる。ここで z は英数字である (図 7.8.2 および 7.8.3 を参照のこと)。ANSIX3.50-1986 は、これらの規格を丁寧に説明し、またフィートまたはガロンのような米国の慣習的な単位のための、単一ケース省略形の表を提供している。

我々は当初 ANSIX3.50-1986 の米国の慣習的な単位をデフォルト値 ISO+コーディングシステムの中を含める意図があった。しかしながら、ISO の省略形と米国の慣習的な単位の省略形の間に重複がある。例えば、ft は米国の慣習的な単位でフィートの省略形であり、ISO 中の femtotesla の省略形である；

pt は米国の慣習的な単位で pint (パイント) の省略形であり、ISO 中の picotesla の省略形である (ANSI 文書は、一部の ISO 単位の省略形に関する ISO の文書とさらに異なることに留意すること)。潜在的な曖昧さを回避するために、我々はもう 1 つのコーディングシステムすなわち ANS+ を定義した。(図 7.8.6 参照のこと) それに含まれるのは、米国の慣習的な単位 (例えばフィート、ポンド)、ANSIX3.50-1986 に定義された ISO の省略形、図 7.8.6 に列挙された非メートル系の単位、およびこれ

らの単位の ISO の組合せである。一部の ANSI ISO 単位省略形は ISO 中のそれらの省略形と異なることに留意すること（図 7.8.6 の下の注を参照のこと）。

ANS+仕様は、ISO および米国の慣習的な単位の両方、およびさまざまな非メートル系の単位を含んでいるので、省略形のうちのいくつかは曖昧である。特別の検査の文脈では混同はほとんどないけれども、この曖昧さがあるので ANS+単位コードはできるだけ避けた方がよい。

ANS+単位コード（省略形）が送信される場合、ANS+は、項目の第3の（第6の）成分に含まれていなければならない。もし距離の単位がメートル(ISO+)として送信されれば、ISO+が単位のデフォルト値コーディングシステムなので、それは m として送信される。しかしながら、もし米国の慣習的な単位のフィートで送信されれば、単位は ft<sup>^</sup> ANS+として送信される。要求されたとき、単位の全文は第2の成分として送ることができる。これは CE データ型の規則に従った形である。

ISO および ANSI の両方とも大文字と小文字が混合した省略形のセットを提供する。しかし、これらの省略形は意味の損失なしで単一のケースに変換できない。それゆえこの仕様書内では使用すべきでない。この仕様書の内容は、ケースの如何を問わず（大文字か小文字かに関係なく）解釈できるように要求されているからである。

### ISO および ANSI の慣習的な単位省略形

ISO は7つの基本次元からその単位を構築している。すなわち、メートル、キログラム、秒、アンペア、ケルビン、モルおよびカンデラである（図 7.8.5 を参照のこと）。他の単位は、基本単位に接頭辞を付けて誘導する。これによってスケールを変え、および/または2つ以上の基本単位または組み立て単位を代数的に組み合わせるものを作る。しかしながら、いくつかの組み立て単位はそれ自身の省略形を持っている（図 7.8.5 を参照のこと）。米国の慣習的な単位の省略形は図 7.8.5 に与えられる。ISO の規則は、ANSI Z39.50 の中でよく説明されており、倍数接頭辞を加えることにより、異なる目盛の単位を作成する方法を提供する。これらの接頭辞は単語または省略形として表現できる。この規格では、省略形だけを扱う。

単位	省略形	単位	省略形	単位	省略形
基本単位コード/省略形					
アンペア	a	ケルビン	k	メートル	m
カンデラ	Cd	キログラム	kg	モル	mol
				秒	s
指定された名前および省略形を持つ組み立て単位					
クーロン	c	時間	Hr	パスカル	pal
日	d	ジュール	J	ボルト	v
セルシウス度	cel	分 (時間の)	Min	ワット	w
ファラド	f	ニュートン	N	ウェーバー	wb
ヘルツ	hz	オーム	Ohm	年	ann
他の単位					
原子質量単位	u	グレー	gy	角度の分	mnt
ベル	b	ヘンリー	h	ラジアン	rad
デシベル	db	リットル	l	ジーメンス	sie
度	deg	ルーメン	Lm	ステラジアン	sr
グラム	g	ルクス	Lx	テスラ	t
完全なセットに関しては、ISO2955-1983 を参照すること。					

図7.8.5 ISOの単一ケース単位の省略形

倍数接頭辞の ISO の省略形は図 7.8.5 に与えられる。10<sup>-24</sup> (1兆分の1のさらに1兆分の1) から 10<sup>24</sup> (1兆×1兆) の範囲の接頭辞がある。キロ (×1000) の単一ケース省略形は k である。1000 秒から成る単位の省略形は ks であり、1000 グラムは kg であり、1000 メートルは km であり、以下同様である。いくつかの接頭辞は基本単位の省略形を共有する。例えばファラドとフェムト(10<sup>-18</sup>)は両方とも省略形は f である。混乱を回避するために、ISO は接頭辞だけの単独使用を禁止する。また1つの複合単位に2つの接頭辞を使用することを推奨しない。したがって f は常にファラドを意味し、ff は、1ファラドの100万分の1のさらに1兆分の1を意味する。複合した接頭辞は許されない。

単位は指数関数的に何乗または何乗分の1で表現できる。正の指数はその数を単位の省略形の直後に付ける。つまり平方メートルは m<sup>2</sup> によって表示される。負の指数は基礎単位の直後に負数を付ける。例えば、1平方メートル当たりは m<sup>-2</sup> で表される。分数の指数は分数を括弧の中に入れて表す：

メートルの平方根は  $m(1/2)$  として表現される。単位の掛け算は単位の間終止符(.)によって示される。例えば、メートル掛ける秒は  $m.s$  で表す。スペースが許されないことに留意すること。割り算は2つの単位の間斜線(/)によって示される。例えば毎秒メートルは  $m/s$  として表示される。ISO 単位省略形の代数的な組合せであって、基本 ISO 単位の割り算、掛け算または累乗によって作ったものも有効な ISO 省略形単位である。累乗は掛け算または割り算に優先する。例えば、1ヘルツ当たりのマイクロボルトの2乗(スペクトルのパワーの単位)は  $uv^2/hz$  と表され、マイクロボルトの2乗割る1ヘルツとして評価される。一方、1ヘルツの平方根当たりのマイクロボルト(スペクトルの振幅の単位)は  $uv/hz(1/2)$  と表され、マイクロボルト割る1ヘルツの平方根として評価される。もし2つ以上の割り算演算子が表現中に含まれるならば、結合は括弧内に入れて曖昧さを避ける。しかし最良のアプローチは、 $a/(b/c)$  を変換して  $a.c/b$  あるいは  $a.c.b-1$  として表現を単純化することである。

ISO コードは、単位を構築するための文法である。これらの単位の構造の規則は図 7.8.5 と図 7.8.7 に基づいている。図 7.8.6 は、英語単位だけにつかわれるべきで、それは図 7.8.7 と一緒に使うべきではない。ISO+表はこの文法から構成された最も一般的な単位(及び重要な非 ISO 単位)が含まれている。文法から派生した他の ISO 単位も有効である。

単位	省略形	単位	省略形	単位	省略形
長さ		体積		時間	
インチ	in	立方フィート	cft	年	yr
フィート	ft	立方インチ	cin	月	mo
マイル(法定)	mi	立方ヤード	cyd	週	wk
海里	nmi	大さじ	tbs	日	d
ロッド	rod	小さじ	tsp	時間	hr
ヤード	yd	パイント	pt	分	min
		クォート	qt	秒	sec
		ガロン	gal		
		オンス(流体)	foz		
面積		質量			
平方フィート	sqf	ドラム	dr		
平方インチ	sin	グレーン	gr (常衡)		
平方ヤード	syd	オンス(重量)	oz		
		ポンド	lb		
他の ANSI 単位、誘導単位、およびその他					
**英国の熱単位 btu		**華氏の温度 degf		**ミリラド mrad	
立方フィート/分 cft/min		**フィート/分 ft/min		**ラド RAD	
注：時間の慣習的な米国の単位の省略形は、年を除いて ISO と同じである。年の場合は ISO=ANN、AMSI=yr である。X3.50 の中のメートル単位は、次のものを除いて ISO と同じである：パスカル(「pa」は ANSI、「pal」は ISO)；ANSI は「min」を時間と角度の両方に使用し、一方 ISO は「mnt」を角度に使用している；そして秒は ISO では「s」と略され、ANSI では「sec」と略される。					
注：ANSI+の仕様には米国、ISO 両方の慣習的な単位、およびその他の非メートル方の単位が含まれているため、一部の省略形はあいまいである。混乱はほとんどないはずだが、特定の検査に照らして、可能であれば ANSI+コードを無効にする良い理由になる。					
この一覧表は全部を網羅したものではない。他のメートル系および米国の標準単位については、ANSI X3.50-1986、テーブル 1 を参照すること。					
**ANSI で明示的に列挙されていない非メートル系単位					

図 7.8.6 一部の米国の慣習的な単位の ANSI+単位コード

接頭辞		コード	接頭辞		コード
ヨタ	$10^{24}$	ya	ヨクト	$10^{-24}$	y
ゼッタ	$10^{21}$	za	zepto	$10^{-21}$	z
エクサ	$10^{18}$	ex	アト	$10^{-18}$	a
ペタ	$10^{15}$	pe	フェムト	$10^{-15}$	f
テラ	$10^{12}$	t	ピコ	$10^{-12}$	p
ギガ	$10^9$	g	ナノ	$10^{-9}$	n
メガ	$10^6$	ma	マイクロ	$10^{-6}$	u
キロ	$10^3$	k	ミリ	$10^{-3}$	m
ヘクト	$10^2$	h	センチ	$10^{-2}$	c
デカ	$10^1$	da	デシ	$10^{-1}$	d

\*これらの省略形は、単一ケース省略形の ISO 仕様の中では定義されていない。

### 図7.8.7 倍数接頭辞のための単一ケースISO省略形

HL7 7.18.4 節に、一般的な ISO 組み立て単位の省略形を列挙する。それに含まれるものは、一般的な単位、例えばミリ当量、国際単位、mm(Hg)についての標準単位の省略形、および分割記号、分母によって表わされるが分子のないもの、例えば/cを含む。上記に引用した ISO 規格の一部でないものである。我々は、薬ルートおよび生理学的な対策に合わせて、またそれ以外の場合はバージョン 2.2 のギャップを埋めるために単位テーブルを拡張した。

我々は、単位の定義において IUPAC1995 のシルバースタック 2 に一般に従った。しかしながら、IUPAC は、単位を報告し表示するための基準を指定し、それらを識別するために 8 ビット・データセットを使用する。この規格は、患者情報の送信に関係がある。したがって、我々は、大文字、小文字に無関係な英字、および少数の特殊文字（例えば、「/」、「(」、「)」、「\*」、および「\_」）に限定して、送信中に起こりうる混乱を回避した。したがって、我々は ISO 2955-1983（情報処理—制限のある文字セットを持ったシステム中の、SI および他の単位の表現）、および ANSI X3.50-1986（制限のある文字セットを持ったシステム中の、米国の慣習的な単位、SI および他の単位の表現）の、大文字、小文字に無関係の単位省略形を、それらが定義されている場合、使用する。これは、場合によっては IUPAC 省略形が ISO+ と異なる省略形を持つことを意味する。例えば IUPAC 省略形が標準の英字だけを使用していたとしてもである。例えば、パスカルは IUPAC の中では Pa と略される。しかし ISO+（ISO 2955 に従う）の中では PAL である。なぜなら Pa は大文字、小文字に無関係な表示として（Pa と）見るとピコアンペアを意味するからである。しかしながら、送信用の要件は、エンドユーザに紙またはビデオディスプレイで報告するプレゼンテーションのため IUPAC 基準を使用することを妨げない。

すべての単位省略形は大文字、小文字に無関係である。ミリリットルは、ML、ml あるいは mL と書くことができる。このテーブルでは、我々はすべての省略形に対して小文字を使用した。ただし L は大文字にした。数字の I(1)と混同しないようにである。これは表示方法の変更であって規則の変更ではない。システムとしては通常どおり大文字または小文字で引き続き送信すべきである。

HL7 7.18.4 節「一般的な ISO 誘導単位および ISO 拡張子」を参照のこと。

#### ローカルの単位コード

ローカル・コードは、第 3 の成分の中で 99zzz のコード・ソースを示すことによって単位に使用できる。ここで 99zzz は英数字の文字列である。ローカル・コードの場合には、コードのテキスト名あるいは単位の記述も（第 2 の成分中で）送信されるべきである。その結果を受信システムが、別のサービスによって送られた同じ測定の結果と比較できるようにするためである（2.5 節「データ型」を参照のこと）。「L」はコードがローカルに定義されることを示すために第 3 の成分に保存されるべきである。さらに特定化されたローカル・コード指示も、CE データ型定義中で指定されたように、使用できる。

#### OBX-7 References Range 標準値 (ST) 00575

成分：

フォーマットが数値の場合：

- a) 下限 - 上限（下限と上限の両方が定義された場合。例えば、カリウム 3.5—4.5 の場合）
- b) > 下限（下限のみが定義された場合。例えば、>10）
- c) < 上限（上限のみが定義された場合。例えば、<15）

アルファベットの値：正常値はこの場所で報告される可能性がある。

定義：有毒物質の量を計測する場合、範囲の上限により毒性限界を表す。

薬剤の量を計測する場合、下限により治療の期待できる最小量を表し、上限によりそれ以上の薬剤投与により通常副作用が発生しうることを表す。

#### OBX-8 Abnormal Flags 異常フラグ (IS) 00576

定義：このフィールドは結果の正常状態を示すテーブルルックアップを含んでいる。適用できる場合は、この値を送ることを強く推奨する。検査が抗菌物質感受性の場合、解釈コードは次のとおりである：S=敏感；R=耐性；I=中間；MS=少し敏感；VS=過敏。（詳細については、ASTM 1238-調査-を参照のこと）。採りうる値については、「使用者定義表 0078 異常フラグ」を参照のこと。

検査室で、胸部 X 線あるいは微生物培養などのテキスト・レポートの正常状態を識別できる場合、正常な場合は N、異常な場合は A として報告すべきである。複数のコード（例えば異常と悪化）を報告する場合は、反復デリミタ（例えば A~W）により分離されるだろう。

**使用者定義表0078 - Abnormal flags 異常フラグ**

値	内容
L	基準値下限以下
H	基準値上限以上
LL	パニック下限以下
HH	パニック上限以上
<	測定限界下限未満
>	測定限界上限超
N	正常（非数値結果に適用）
A	異常（非数値結果に適用）
AA	非常に異常（数値単位のパニック値に対応するが、これは非数値単位に適用される）
null	範囲未定義、もしくは正常が適用されない
U	大幅な上昇変化
D	大幅な下降変化
B	改善→方向が適用されない場合使用
W	悪化→方向が適用されない場合使用
微生物感受性の場合のみ	
S	敏感
R	耐性
I	中間
MS	少し敏感
VS	過敏

結果は、結果の正確な数値を指定せずに正常状態を報告することによってメモ書きによって報告されることがある。そのようなメモは、臨床医のノートはありふれたことで、その場合医師は「グルコース結果は正常であった」と書くだけである。そのようなメモ報告は薬品の症例報告にも見られる。そのような場合、結果は、「OBX-5 検査結果値」の中でなにかの値を指定せずに、「OBX-8 異常フラグ」中に正常コードを報告することによって、OBX の中で報告できる。

**OBX-9 Probability 確率 (NM) 00577**

定義：このフィールドは、定性値を持つ結果の場合、結果が真である確率（結果が特定のコードとなる確率）を含んでいる。主として離散的コード化結果に適用される。0~1（0 と 1 を含む）の ASCII 文字列で表した 10 進数である。

**OBX-10 Nature Of Abnormal Test 異常検査の特質 (ID) 00578**

定義：このフィールドは、異常な検査の性質を含んでいる。有効な値については「HL7 表 0080 異常検査の特質」を参照すること。適用できるコードはできるだけ多く含むことができる。コードは反復区切記号で分離される。例えば、年齢、性別および人種に基づいた正常値は、A~S~Rとしてコードになる。

この表のコードの使用上の制約は、PID セグメントで定義されているもの、具体的には PID-35-種コード、PID-36-品種コード、および PID-37-血統情報と一致している必要がある。

**HL7表 0080 - Nature of Abnormal Testing 異常検査の特質**

値	内容
A	年齢別分布
N	なし — 一般正常範囲
R	人種別分布
S	性別分布
SP	種
B	品種
ST	血統

## OBX-11 Observ Result Status 検査結果状態 (ID) 00579

定義：このフィールドは検査結果状態を含んでいる。採りうるコードについては、HL7表 0085-検査結果状態を参照のこと。このフィールドは、1つの検査項目についての、現在の結果完了状態を反映する。

それは必須フィールドである。HL7の旧バージョンは、「F」のデフォルト値の定義によりこれを暗黙の内に述べた。コードFは、結果が正確でありかつ最終であると確認されたことを示す。コードWは、結果が間違っていると（正しくない）確認されたことを示す；置換（修正）された結果はその後送信されることがある。コードCは、OBX-5-検査結果値フィールドに含まれたデータが、同じ検査ID（適用可能な場合接尾辞を含んで）および検査サブIDを持つ以前に送信（確認）された最終結果データを通常置換すべきであることを示す。以前の結果が間違っていたからである。コードDは、同じ検査ID（接尾辞を含んで）および検査サブIDを備えた結果セグメント中で、以前に送信されたデータが削除されることを示す。結果を変更するか削除する場合、同じ検査IDおよび検査サブIDを備えた多数のOBXセグメントは、1単位として交換されるか削除される。結果の正常な進行、すなわち中間（例えば、「グラム陽性球菌」）から最終（例えば、「ぶどう球菌アウレウス」）結果への進行は、C（補正）として送信されてはならない；それらは、最終になるまではPあるいはS（特定の場合に依存して）として送信されるべきである。

検査セットが必須とするオーダが動的に必要とする特定のオーダ時間での条件がある状況がある。この検査セットはOBXセグメントがオーダにしたがって伝達され、そのうえ、依頼システムによって生成することによって定義される。例えば、血清グルコース負荷試験は検査室によって異なる場合がある。ある機関ではそれらを-30, 0, 30, 60, 90分でレポートし、他の機関ではそれらを-30, -15, 0, 30, 60, 120分でレポートする。マスターファイルの登録は検査セットそれ自身ではなく、検査セットのそれぞれ個々の成分で存在する。

他の例では、明細は可能要素の各置換で、マスターファイル定義なしでオーダするレニン検査である（レニン検査：腎乏血により分泌される血圧調節に関わるプロテアーゼ）。ORMメッセージ中のOBXセグメントを使用して、検査セットそれ自身の、既存のマスターファイル定義を定義しないで、これらの順列を調節する動的な明細を作成できる。OBXでの結果ステータス項目は、ORMメッセージでのOBXが動的な明細を提供するために使用されるのか、オーダに対するコンテキストとして結果を伝達するために使用されるのかを示すことができる。

動的な仕様に使用されるOBXには、OBX-11がOで、OBX-2とOBX-5がnullで、詳細な検査コード、単位などが含まれていなければならない。

HL7表 0085 - Observation Result Status Codes Interpretation 検査結果状態コード解釈

Value	Description
C	Record coming over is a correction and thus replaces a final result 到着レコードは修正であり結果を書き換え
D	Deletes the OBX record OBXレコードを削除する
F	Final results; Can only be changed with a corrected result. 最終結果：修正結果でのみ変更可能
I	Specimen in lab; results pending 臨床検査室の検体；結果保留
N	Not asked; used to affirmatively document that the observation identified in the OBX was not sought when the universal service ID in OBR-4 implies that it would be sought. 未確認、OBX-4で探せないOBX検査IDを確定するために使用する
O	Order detail description only (no result) 検査依頼項目の詳細を示す
P	Preliminary results 事前結果
R	Results entered -- not verified 結果を入力 -- 検証されない
S	Partial results 部分結果
X	Results cannot be obtained for this observation この検査では、結果は得られない
U	Results status change to Final. Without retransmitting results already sent as 'preliminary. 結果状態を最終へ変更。結果状態が「最終」に変わる。「予備」としてすでに送られた結果は再送信しない。例えば、放射線科により状態が事前から最終へ変更される。
W	Post original as wrong, e.g., transmitted for wrong patient オリジナルを間違っているものとしてポストする。例えば、間違っている患者のために送信された。

## OBX-12 Effective Date of Reference Range 標準値有効日付 (TS) 00580

成分：<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>



定義：このフィールドには、「OBX-7 標準値」が有効になった日付（およびオプションで時刻）が含まれる。

使用規則：このフィールドは、「OBX-7 標準値」が設定されている場合にのみ設定できる。

このフィールドが存在するとき、それは異なる参照範囲を有する同一の結果間の比較を容易にする。基準範囲の値は、検査室での実務の変化により変わる場合がある。そのような差異は、臨床検査医学における最新の実践、または最新の機器の使用を反映する可能性がある。

#### **OBX-13 User Defined Access Checks ユーザ定義アクセス点検 (ST) 00581**

定義：このフィールドはこれにより実施者は、受信システムで検査を分類するのに使用する結果依存コードを記録できるようになる。

ほとんどの分類は固定の検査 ID 属性であり、関連検査マスターファイルで定義することができるので、このフィールドはめったに必要とされない（HL7 第 8 章の説明を参照のこと）。

しかし、受信システムが計算のやり直しを望まない場合がまれにあり、この場合そのような制御の仕方も検査結果値により変わることがある。例えば抗酸菌感受性結果の場合である。生物、検体採取部位、あるいは患者アレルギー状態に応じて、安価な抗菌物質の感受性結果だけ表示したいと思う望むシステムもあるだろう。送信部門側では、特権ユーザ（例えば感染症の専門医）はすべての結果を閲覧できるよう、全ての感受性を送信したいが、非特権ユーザは生物が反応した（敏感だった）“所望の”抗菌物質だけを閲覧するだろう。HL7 では、その他のケースも生じると想定している。

#### **OBX-14 Date Time Of the Observation 検査日時 (TS) 00582**

成分：<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは次の 2 つの状態が必要になる。まず、1 つのレポーターヘッダ(OBR)の下で報告された複数の検査が互いに異なる日付を持つ場合である。これが起こりえるのは、同じセットのある測定と別の測定が異なる時間を持つ可能性がある、照会、負荷試験・シーケンス、あるいはクリアランス検査の場合である。

次に、OBX セグメントを依頼者から実施者へ送る場合にも検査日時は必要である。この場合には、転送中の検査の日付は要求検査の日付とはなんの関係もないだろう。フランスでは慣例として、要求側部門が、新規の一連の検査要求と共に、一連の最終検査結果を送る。これらの検査の日付は実施者検査室にとって重要である。

どのような場合でも、検査日時は生理学的日時あるいは生理学的日時に最も近い日時である。検体に対して行われる検査の場合は、該当日時は検体採取日時である。患者に対して直接行われる測定（例えば X 線画像、病歴、身体測定）の場合には、検査日時は測定が行われた日時である。

#### **OBX-15 Producer's ID 実施者 ID (CE) 00583**

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、検査実施責任者の一意な識別子を含んでいる。例えば検査結果が外部検査室により提供される場合、実施者 ID を明示的に報告すべきである。このフィールドが null の場合、受信システム側は、送信団体が検査を実施したと仮定する。この情報が必要なのは、米国の CLIA 規格を満たすためである。実施者 ID を表すコードは CE データ型として記録される。米国では、実施部門のメディケア番号が識別子として示唆される。

#### **OBX-16 Responsible Observer 検査責任者 (XCN) 00584**

成分：<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Sur-name Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alter-nate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：要求された場合、このフィールドは検査に直接責任を負う個人（つまり検査を実行、もしくは検証した人）の識別子を含んでいる。看護部門では、検査責任者は通常、検査（例えば血圧測定）を実行した専門家である。検査室では、検査責任者は解析を実行・検証した医療技術者である。検査責任者を表すコードは CE データ型として記録される。ローカル・コードとしてコードを送る場合、「OBX-15 実施者 ID」と組み合わせたとときに、一意にして明白でなければならない。

## OBX-17 Observation Method 検査方法 (CE) 00936

成分：<identifier<Identifier (ST)> ^ <textText (ST)> ^ <nameName of coding system (IS)> ^ <alternate identifierCoding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <alternate textAlternate Text (ST)> ^ <nameName of alternate coding system (ISAlternate Coding System (ID)>

定義：このオプションのフィールドは、次の場合に検査が得られた方法あるいは処置を送信するために使用できる。送信システムが異なる方法によって得られた1つの測定中で識別を希望し、その区別が検査IDで暗示されない場合である。化学検査室は、検査名の一部として与えられた血清成分（例えば血清カリウム）を測定するために使用される、異なる2つの方法を通常識別しない。これらの区別の完全な議論に関しては、LOINC ユーザマニュアル4を参照すること。もし検査実施サービスが、特定検査を得るため使用された方法を報告し、方法が検査名に埋め込まれて「いない」ならば、それらはこのフィールドを使用できる。

（米国）疾病予防管理センター(CDC)方法コード(CDCM)（図7-3を参照のこと）は、方法/機器を報告するためのコードシステム1つの候補である。EUCLIDES方法コードは別のものである。使用者定義表は代替手段である。

## OBX-18 Equipment Instance Identifier 機器インスタンス識別子 (EI) 01479

成分：<Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、検査結果の作成を担当する機器インスタンス（たとえば、アナライザ、アナライザモジュール、アナライザのグループなど）を識別する。これは、組織が名前空間IDまたは空白の場合は「実施者ID」（OBX-15）で指定される施設の設備のマスターリストによる識別子である。このマスターリストから機器タイプ、シリアル番号などを取得することは可能であるが、すべてのOBXでこの情報を転送することは計画されていない。このフィールドを繰り返すことにより、機器の階層表現（最下位レベルが最初、例えば機器のモジュール、モジュールからなる機器、複数の機器のクラスタなどが可能になる。

**OBX-19 Date/time of the Analysis 分析日付 (TS) 01480**

成分 : <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義 : このフィールドは、機器インスタンス識別子（上記参照のこと）で指定された機器による分析結果の生成に関連するタイムスタンプを転送するために使用される。

## 7.9. ORC Order Common Segment 共通オーダーセグメント

共通オーダーセグメント(ORC)は、(要求される全てのタイプのサービスである)全てのオーダーに共通するフィールドの転送に使用される。ORCセグメントは、オーダーメッセージ(ORM)に必須である。ORCは、オーダー詳細セグメントがある場合はオーダー応答(ORR)メッセージにおいて必須であるが、それ以外では必要ない。

(例えば、薬剤、食事のような)特定のタイプのオーダーセグメントに詳細が必要なら、任意のオーダー詳細セグメント(例えば、RXO,ODSのような)の前にORCがなければならない。場合によってはORCは、ORC|OK|<placer order number>|<filler order number>|<cr>の文字列のように簡単になりうる。

そのオーダーに詳細が必要でないなら、オーダー詳細セグメントは省略してもよい。例えば、あるオーダーを保留にするには、ORCを以下のフィールドを埋めて転送する：HD型の値を持つ「ORC-1 オーダー制御」と「ORC-2 依頼者オーダー番号」、そして「ORC-3 実施者オーダー番号」。

ORCのフィールドとオーダー詳細セグメントのそれらには多少の重複がある。この点については、後続の節で記述する。

HL7属性表－ORC－Order Common Segment 共通オーダーセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	2	ID	R	R		0119	Order Control オーダー制御
2	22	EI	C	R			Placer Order Number 依頼者オーダー番号
3	22	EI	C	O			Filler Order Number 実施者オーダー番号
4	22	EI	O	R			Placer Group Number 依頼者グループ番号
5	2	ID	O	O		0038	Order Status オーダー状態
6	1	ID	O	O		0121	Response Flag 応答フラグ
7	200	TQ	B	B	Y		Quantity/Timing 数量/タイミング
8	200	EIP	O	N			Parent 親
9	26	TS	O	O			Date/Time of Transaction トランザクション日時
10	250	XCN	O	O	Y		Entered By 入力者
11	250	XCN	O	O	Y		Verified By 検証者
12	250	XCN	O	O	Y		Ordering Provider オーダー発行者
13	80	PL	O	O			Enterer's Location 入力場所
14	250	XTN	O	O	Y/2		Call Back Phone Number コールバック用電話番号
15	26	TS	O	O			Order Effective Date/Time オーダー有効日時
16	250	CE	O	O			Order Control Code Reason オーダー制御コード理由
17	250	CE	O	R			Entering Organization 入力組織
18	250	CE	O	O			Entering Device 入力装置
19	250	XCN	O	O	Y		Action By 発動者
20	250	CE	O	O		0339	Advanced Beneficiary Notice Code 予告受益者通知コード
21	250	XON	O	O	Y		Ordering Facility Name オーダー施設名
22	250	XAD	O	O	Y		Ordering Facility Address オーダー施設住所
23	250	XTN	O	O	Y		Ordering Facility Phone Number オーダー施設電話番号
24	250	XAD	O	O	Y		Ordering Provider Address オーダー依頼者住所
25	250	CWE	O	O			Order Status Modifier オーダー状態修飾子
26	60	CWE	C	C			Advanced Beneficiary Notice Override Reason 予告 受益者通知上書き理由
27	26	TS	O	O			Filler's Expected Availability Date/Time 実施者サービス 可能日時
28	250	CWE	O	O		0177	Confidentiality Code 守秘コード
29	250	CWE	O	R		0482	Order Type オーダータイプ
30	250	CNE	O	O		0483	Enterer Authorization Mode 入力者承認モード

### ORC 使用上の注意

#### a) 依頼者オーダーグループ

本標準規格では、複数のオーダーを1つのグループに集めるメカニズムをサポートする。大抵の場合、これは1人の患者に対して「オーダーリング・セッション」を表すために使用される。

オーダーグループは、「ORC-4 依頼者グループ番号-placer group number」に関連するオーダー(ORCs)

のリストである。グループは、依頼者が最初のオーダーに依頼者グループ番号を付けたときに確立する。オーダーグループは、同じ依頼者グループ番号を有するすべての ORCs およびすべての詳細セグメントからなる。オーダーは、グループから取消を使用して除去したり、取替えや親子メカニズムを使用して追加したりできる。新規オーダーは、その他の方法でのグループへの追加はできない。

b) 重複フィールド

ORC は、すべてのオーダー（すなわち要求されたサービス）に共通なフィールドを一様に定義するよう意図されている。ただし、ORC の一部のフィールドは、一部のオーダー詳細セグメント（例えば OBR、RXO）と重複する。例えば、「ORC-2 依頼者オーダー番号」は、「OBR-2 依頼者オーダー番号」フィールドと同じ意味および目的を持つ。これによって過去のバージョンおよび ASTM との上位互換性が保たれる。

これらのフィールドを使用する規則は、ORC に現れない値はオーダー詳細セグメントに現れねばならない、というものである。しかし、両方の箇所に値を入れて混乱を避けることが望ましい。

c) 親／子 - 取消、保留、中断

親オーダーの取消、保留、または中断の要求の伝達は、その要求は親オーダーおよびすべての関連の子オーダーに対して再帰的に適用されるよう意図されている。

例えば、

- 1) EKG アプリケーションが 3 回の EKG を毎朝連続して行うオーダーを受けるとする。
- 2) EKG アプリケーションは 3 つの子オーダーを、各々の要求された EKG に対して 1 つずつ作成する。
- 3) 元の親オーダーを取消する要求が受け取られたときに 1 日目の EKG はすでに実施されていた（親は取り消せなかった）。
- 4) 残りの未実施の子は要求の結果として取消される。

## ORC フィールド定義

### ORC-1 Order Control オーダー制御 (ID) 00215

定義：オーダーセグメントの機能を決定する。有効なエントリについては「HL7 表 0119-オーダー制御コードとその意味」を参照のこと。メッセージによって、制御コードの振る舞いはオーダーまたは個別サービスに適用される。例えば、OMP メッセージの CA コードはそのオーダーを取消しする。RDS メッセージの同じコードはその調剤を取消しする。かなり詳しい説明の注記が、この節の最後に設けられている。

このフィールドは、オーダーのための「トリガーイベント」識別子と考えるよい。コードは、次の 3 つのカテゴリーに大別される。

a) イベント要求

イベントを生成するために、「NW」（新規オーダー）や「CA」（オーダー取消要求）のようなコードが使用される。

b) イベント肯定応答承認

イベント要求に返答するために、「OK」（オーダーの受理）や「CR」（要求通り取消された）のようなコードが使用される。

c) イベント通知

イベントが発生したことを他のアプリケーションに知らせるために、「OC」（オーダー取消）や「OD」（オーダー中断）のようなコードが使用される。いかなるアプリケーション応答も必要ない。

イベント要求コードは、イベントを開始することを意図する。イベント応答コードは、イベントを要求したアプリケーションに回答することを意図する。イベント通知コードは、他のアプリケーションに例えば次のようなことを知らせることを意図する。すなわち実施者がオーダーに対し何かアクションをとり、それを他のアプリケーション（例えば依頼者）が知る必要がある場合などである。

実施者、依頼者、および他のアプリケーションは、イベント要求、イベント応答、およびイベント通知型トリガーイベントについて互換性をもって使用できる。しかし、オーダー制御コードは実施者のみから生成することができる（例えば CR）ものや、依頼者のみから生成することができる（例えば CA）ものもある。

HL7表 0119 - Order Control Code オーダー制御コードとその意味

Value	Description	Comments
AF	Order/service refill request approval 補充オーダー要求許可	Placer Applications. AF は補充品や補充量を許可する依頼者からの返答である
CA	Cancel order/service request オーダー取消依頼	Placer Applications. オーダー取消依頼は、以前にオーダーしたサービスを実施者に行わせないようにする依頼者からの要求である。取消要求の確認は、実施者によって行われる、例えば、CR の ORC-1 オーダー制御値) を持つメッセージである。 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR-要求通りオーダー取消完了、UC-オーダー取消不能。
CH	Child order/service 子オーダー	Placer or Filler Applications. PA とあわせて使用-親オーダーコントロールコード。詳細は PA オーダーコントロールコードを参照のこと。
CN	Combined result 統合検査結果	Filler Applications. 統合検査結果コードは、複数のオーダーに関連する結果を送るためのメカニズムを提供する。この状態は、通常、放射線科医が複数のオーダーで表される複数の検査に対して単一のレポートを口述するときの放射線科レポートに見られる。例えば、リュウマチ性関節炎患者のひざと手のフィルムは、放射線科医の側で 1 つの口述レポートを生成することがある。 そのような結果が報告されるとき、CN コードが最後の ORC 以外のすべての RE を置き替える。結果は最後の ORC とその OBR に続く。3 つの ORC に続く単一のレポートの例は下記のとおりである。  MSH ...  PID ...  ORC CN ...  OBR 1 A4461XA^HIS 81641^RAD 73666^Bilateral Feet ...  ORC CN ...  OBR 2 A4461XB^HIS 81642^RAD 73642^Bilateral Hand PA ...  ORC RE ...  OBR 3 A4461XC^HIS 81643^RAD 73916^Bilateral Knees ...  OBX 1 CE 73916&IMP 1 Radiologist's Impression ...  OBX 2 CE 73642&IMP 1 Radiologist's Impression ...  OBX 3 FT 73642&GDT 1 Description ... 
CR	Canceled as requested 要求通りオーダー取消完了	Filler Applications. 取消 (依頼者アプリケーションからの CA) の要求が成功したことを示す実施者アプリケーションからの応答
DC	Discontinue order/service request オーダー中断要求	Placer Applications. 実施者アプリケーションに前もって要求したサービスを中断するための依頼者アプリケーションからの要求。中断と取消の違いとして、中断はオーダー/サービスおよび今後起こるすべての動作に影響、取消は現在のアクションだけに影響する。 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR-要求通りオーダー取消完了、UC-オーダー取消不能
DE	Data errors データエラー	Placer or Filler Applications.
DF	Order/service refill request denied 補充オーダー要求拒否	Placer Applications. 補充要求(RF)に対する実施者アプリケーションの応答、DF は依頼者がオーダーの補充を許可しないことを示す。オーダー制御コード理由を使用して要求拒否の理由を示してもよい。下記の値が推奨されている。 AA Patient unknown to the provider 提供者が患者を知らない AB Patient never under provider care 患者は提供者から医療を受けたことがない AC Patient no longer under provider care 患者はもはや提供者の医療を受けていない AD Patient has requested refill too soon 患者は補充を要求したがそれが早過ぎる AE Medication never prescribed for the patient

Value	Description	Comments												
		<p>薬品が患者に処方されたことがない。</p> <p><b>AF Patient should contact provider first</b> 患者は最初に提供者にコンタクトするべきである</p> <p><b>AG Refill not appropriate</b> 補充が適切でない。</p> <p>注：これらの値は、「NCPDP SCRIPT 応答セグメント・コードリスト修飾子」に由来することに留意すること。</p> <p>資料の複製は©National Council for Prescription Drug Programs, Inc. (米国規格協会認定の機関) 1988, 1992, 2002 NCPDP の承諾を得てください。</p>												
DR	Discontinued as requested 要求通りオーダ中断	<p><b>Filler Applications.</b> 実施者は、中断（依頼者アプリケーションからの DC）の要求に応じて、オーダ/サービスを中断する。</p>												
FU	Order/service refilled, unsolicited 補充オーダ済、未承諾	<p><b>Filler Applications.</b> FU は依頼者に実施者が患者要求のオーダに対して補充を発行したことを通知する。</p>												
HD	Hold order request オーダ保留要求	<p><b>Placer Applications.</b> 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR-要求通りオーダ取消完了、UC-オーダ取消不能。</p>												
HR	On hold as requested 要求通りオーダ保留	<p><b>Filler Applications.</b></p>												
LI	Link order/service to patient care problem or goal オーダ/サービスの患者 看護プロブレムまたはゴ ールへの紐付	<p><b>Placer or Filler Applications.</b> 本規約では取り扱わない。 詳細は HL7 V2.5 第 12 章：患者看護を参照のこと。</p>												
NA	Number assigned 番号が割り当て済み	<p><b>Placer Applications.</b> オーダ番号（ORC-2 依頼者オーダ番号 または ORC-3-実施者オーダ番号）の要求に関与する 3 つの状況がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実施者アプリケーションが、集中アプリケーション（例えば HIS）へ ORC-3-実施者オーダ番号を要求する必要があるとき。</li> <li>2) 実施者アプリケーションが、他のアプリケーション（例えばオーダエントリー）へ ORC-2-依頼者オーダ番号を要求する必要があるとき。</li> <li>3) アプリケーション（実施者アプリケーションでない）が新規オーダのために ORC-3-実施者オーダ番号を割り当てたいとき。</li> </ol> <p>1) 実施者アプリケーションが集中管理された実施者オーダ番号を必要とする場合</p> <p><b>SN</b> -このオーダ番号送信コードは、実施者が HIS のような中央集中アプリケーション（以下の表では"other"と呼ぶ）に、ORC-3-実施者オーダ番号を要求するメカニズムを提供する。これは SN の ORC-1-オーダ制御値を含んでいる ORM メッセージを送ることによって行う。この ORC は null の ORC-3-実施者オーダ番号 と ORC-2 依頼者オーダ番号を持つ。これらは実施者がオーダを開始するとき、実施者アプリケーションによって作成されたものである。</p> <p><b>ORM (SN タイプ) メッセージは、以下の 2 つの方法によって確認応答される。</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>i) ORC-1 オーダ制御 の値が OK である ORR メッセージによる。非要求の ORM メッセージは、ORC-1-オーダ制御 の値が NA である ORC を含んでいて、後で送信される。</li> <li>ii) 以下で述べる ORC-1 オーダ制御 の値が NA である ORR メッセージによる。</li> </ol> <p><b>NA</b> -この番号割り当て済コードは、その他のアプリケーションが実施者アプリケーションに、新しく割り当てられた実施者オーダ番号を知らせることを許す。ORC-1-オーダ制御値、ORC-2-依頼者オーダ番号 (SN 値を持つ ORC から) は NA の値を持ち、新しく割り当てられた実施者オーダ番号を含む</p> <table border="1" data-bbox="630 1579 1388 1780"> <thead> <tr> <th>Code</th> <th>From</th> <th>ORC-2-Placer Order Number</th> <th>ORC-3-Filler Order Number</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SN</td> <td>filler application</td> <td>placer order number^filler application ID</td> <td>Null</td> </tr> <tr> <td>NA</td> <td>other application</td> <td>placer order number^filler application ID</td> <td>filler order number^filler application ID</td> </tr> </tbody> </table> <p>Note: Both the placer order number and the filler order number have the filler's application ID 注：依頼者オーダ番号と実施者オーダ番号の両方が、実施者のアプリケーション ID を持つ。</p> <p>2) 実施者アプリケーションが依頼者オーダ番号を必要とする場合</p>	Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number	SN	filler application	placer order number^filler application ID	Null	NA	other application	placer order number^filler application ID	filler order number^filler application ID
Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number											
SN	filler application	placer order number^filler application ID	Null											
NA	other application	placer order number^filler application ID	filler order number^filler application ID											

Value	Description	Comments																				
		<p><b>SN</b> -このオーダー番号送信コードは、実施者アプリケーションが ORC-2-依頼者オーダー番号をその他のアプリケーションに要求するためのメカニズムを提供する。(以下の表では“other”と呼ぶ) これはSN の ORC-1-オーダー制御値を含んでいる ORM メッセージを送ることによって行う。この ORC は、null の ORC-2-依頼者オーダー番号と、実施者がオーダーを生成するときに実施者アプリケーションによって作成された ORC-3-実施者オーダー番号を持つ。</p> <p><b>ORM (SN 型)</b> メッセージは、2つの方法によって確認応答される。</p> <p>i) ORC-1-オーダー制御の値が OK である ORR メッセージによる。非要求 ORM メッセージは、ORC-1-オーダー制御の値が NA である ORC を含んでいて、後で送信が可能である。</p> <p>ii) 以下で述べる、ORC-1-オーダー制御の値が NA である ORR メッセージによる。</p> <p><b>NA</b> -この番号割り当て済コードは、「その他」アプリケーションが実施者アプリケーションに、新しく割り当てられた ORC-2-依頼者オーダー番号を知らせることを許す。ORC は、NA の ORC-1-オーダー制御値、新しく割り当てられた ORC-2-依頼者オーダー番号、および ORC-3-実施者オーダー番号 (SN 値を持つ ORC から) を含む。</p> <table border="1" data-bbox="625 622 1394 824"> <thead> <tr> <th>Code</th> <th>From</th> <th>ORC-2-Placer Order Number</th> <th>ORC-3-Filler Order Number</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SN</td> <td>filler application</td> <td>null</td> <td>filler order number^filler application ID</td> </tr> <tr> <td>NA</td> <td>other application</td> <td>placer or filler number^placer application ID</td> <td>filler order number^filler application ID</td> </tr> </tbody> </table> <p>Note: The new ORC-2-placer order number has the placer's application ID 注: 新しい ORC-2 依頼者のオーダー番号は、依頼者のアプリケーション ID を持っている。</p> <p>3)アプリケーションが実施者オーダー番号を割り当てたい場合</p> <p><b>NW</b> - オーダーを作成するアプリケーション (実施者アプリケーションではない) が、新規オーダーの実施者オーダー番号を割り当てたいとき。 または</p> <p><b>RO</b> - (RP に続く RO)。この場合は、“other”のアプリケーションが ORC-3-実施者オーダー番号を完成させる。この際、実施者オーダー番号の第2成分として実施者アプリケーション ID を使用する。</p> <table border="1" data-bbox="619 1173 1369 1308"> <thead> <tr> <th>Code</th> <th>From</th> <th>ORC-2-Placer Order Number</th> <th>ORC-3-Filler Order Number</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NW or RO</td> <td>Other application to filler application</td> <td>placer order number^placer application ID</td> <td>filler order number^filler application ID</td> </tr> </tbody> </table>	Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number	SN	filler application	null	filler order number^filler application ID	NA	other application	placer or filler number^placer application ID	filler order number^filler application ID	Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number	NW or RO	Other application to filler application	placer order number^placer application ID	filler order number^filler application ID
Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number																			
SN	filler application	null	filler order number^filler application ID																			
NA	other application	placer or filler number^placer application ID	filler order number^filler application ID																			
Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number																			
NW or RO	Other application to filler application	placer order number^placer application ID	filler order number^filler application ID																			
NW	New order/service 新規オーダー	Placer Applications. NA のコメントを参照のこと-番号は割り当て																				
OC	Order/service canceled オーダー取消完了	Filler Applications.																				
OD	Order/service discontinued オーダー中断	Filler Applications.																				
OE	Order/service released オーダー開放	Filler Applications.																				
OF	Order/service refilled as requested 要求通り補充オーダー済	Filler Applications. OF は補充に対する依頼者システムからの要求に直接応答する。																				
OH	Order/service held オーダー保留	Filler Applications.																				
OK	Order/service accepted & OK オーダー受付&OK	Filler Applications. NA のコメントを参照のこと-番号割り当て。																				
OP	Notification of order for outside dispense 外部調剤へのオーダー通知	Placer Applications. これらオーダー制御コードは、システム間でオーダーを通信するために使用される。それらシステムでは、オーダーは情報提供の目的とみなされる。たとえば、通信を行うシステムの組織外のベンダによって実行されるオーダーである。そのシステムでは、臨時的な継続性のためにそのオーダーに関連した情報を維持する必要があるが、オーダーされたサービスを実行するアクションを何ら意図したものではない。																				



Value	Description	Comments																																																			
OR PA	Released as requested 要求通りオーダー開放 Parent order/service 親オーダー	<p>OP は、NW の情報提供バージョンを、PY は RO の情報提供バージョンといえる。NW と RO の表注記は、各々 OP と PY にも適用できる。 Filler Applications.</p> <p>Filler Applications. 親(PA)と子(CH)のオーダー制御コードにより、親（オリジナルオーダー）を変えることなく「親オーダー」から「子オーダー」を生み出すことが可能になる。PA の ORC-1-オーダー制御値を持つ 1 個以上の ORC セグメントは CH の ORC-1-オーダー制御値を持つ 1 個以上の ORC セグメントが後に続く。ORC-6-応答フラグの値によって OBR セグメントが存在しなければならぬかどうか決定される。 例えば、細菌培養で 2 つの細菌を生成しそれに対応する感受性試験の結果がでたと仮定して、そのときセグメントのシーケンスは、次の通りである</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Segment</th> <th>Order Control</th> <th>Comments</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ORC</td> <td>PA</td> <td>1st parent ORC</td> </tr> <tr> <td>ORC</td> <td>CH</td> <td>1st child ORC</td> </tr> <tr> <td>OBR</td> <td></td> <td>1st child order</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ORC</td> <td>CH</td> <td>2nd child ORC</td> </tr> <tr> <td>OBR</td> <td></td> <td>2nd child order</td> </tr> </tbody> </table> <p>親子パターンでの依頼者オーダー番号の割り当ては、依頼者または実施者が子オーダーを生成するかどうか、また後者の場合、依頼者が SN/NA トランザクションをサポートするかどうかにか依存する。依頼者が子オーダーを生成するならば、それはその通常の手続きに従ってそれらの依頼者オーダー番号を割り当てる。実施者が子オーダーを生成するならば、そこで 2 つの可能性がある。各々の子はその親の依頼者オーダー番号を受け継ぐか、あるいは依頼者が依頼者オーダー番号を割り当てるよう要求するために実施者が SN/NA トランザクションを使用する。どちらのケースでも、実施者アプリケーションは、その通常の手続きに従って子の実施者オーダー番号を生成する。 子オーダーがメッセージで送られるときは、常に ORC セグメントの ORC-8-親に親の実施者オーダー番号（実施者から開始する場合）および親の依頼者オーダー番号（実施者から開始する場合、あるいは依頼者から開始する場合）がセットされる。 親子メカニズムは、（例えば、毎朝、連続して 3 回の EKG のオーダーを発行するといったように）、親オーダーを拡張することのために使用される。 Placer Applications. PR は、この ORC が（オーダーにうめこまれている）以前の検査を含む ORU 構造の一部であることを示す。少なくとも、主に 2 つのユースケースが、以前の検査の完全な結果がそのオーダーとともに転送されることを要求する。 ・臨床検査室は、結果（HIV 等）の確認や試験（遺伝的試験等）を行える設備がないため、他の検査機関に検査を委託する。 ・臨床検査室は、検査報告に含める診断コメントの自動生成のための知識ベースに検査結果を送る。</p> <p>Placer Applications. PY（外部調剤へのオーダー通知）のコメントを参照のこと。</p> <p>Placer or Filler Applications. 検査付帯情報コードはオーダーと共に患者固有情報を送るのに使用される。オーダー詳細セグメント（例えば、OBR）の後には 1 個またはそれ以上の検査セグメント(OBX)を続けることができる。ORU メッセージとして伝えることができるいかなる検査情報も、このメカニズムで伝えることができる。結果がオーダーとともに送られるときは、結果はその結果が対応するオーダーの直後に続けられるべきである。 次の例は、3 個の処方オーダーのためのセグメントのシーケンスを、RE コードの使用例で示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Segment</th> <th>Order Control</th> <th>Comments</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MSH</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PID</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ORC</td> <td>NW</td> <td>First new order</td> </tr> <tr> <td>RXO</td> <td></td> <td>First order segment</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ORC</td> <td>NW</td> <td>2nd new order</td> </tr> <tr> <td>RXO</td> <td></td> <td>2nd order segment</td> </tr> <tr> <td>[ORC</td> <td>RE</td> <td>Patient-specific observation, optional in V 2.2</td> </tr> <tr> <td>OBR]</td> <td></td> <td>Observation OBR, optional in V 2.2</td> </tr> </tbody> </table>	Segment	Order Control	Comments	ORC	PA	1st parent ORC	ORC	CH	1st child ORC	OBR		1st child order				ORC	CH	2nd child ORC	OBR		2nd child order	Segment	Order Control	Comments	MSH			PID			ORC	NW	First new order	RXO		First order segment				ORC	NW	2nd new order	RXO		2nd order segment	[ORC	RE	Patient-specific observation, optional in V 2.2	OBR]		Observation OBR, optional in V 2.2
Segment	Order Control	Comments																																																			
ORC	PA	1st parent ORC																																																			
ORC	CH	1st child ORC																																																			
OBR		1st child order																																																			
ORC	CH	2nd child ORC																																																			
OBR		2nd child order																																																			
Segment	Order Control	Comments																																																			
MSH																																																					
PID																																																					
ORC	NW	First new order																																																			
RXO		First order segment																																																			
ORC	NW	2nd new order																																																			
RXO		2nd order segment																																																			
[ORC	RE	Patient-specific observation, optional in V 2.2																																																			
OBR]		Observation OBR, optional in V 2.2																																																			
PR	Previous Results with new order/service 以前の結果																																																				
PY	Notification of replacement order for outside dispense 外部調剤へのオーダー修正通知																																																				
RE	Observations/Performed Service to follow 検査付帯情報																																																				

Value	Description	Comments																																																																		
		<table border="1"> <tr><td>OBX</td><td></td><td>An observation segment</td></tr> <tr><td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr> <tr><td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr> <tr><td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ORC</td><td>NW</td><td>3rd order</td></tr> <tr><td>RXO</td><td></td><td>3rd order segment</td></tr> </table> <p>HL7 のこのバージョンにおいて、結果は 1 個あるいはそれ以上の OBX セグメントとしてオーダと共に送ることができる。ただし ORC と OBR セグメントを必ずしも含む必要はない。検査情報は ORC を使用せずに ORU メッセージを用いて伝えることができる。ORU メッセージの OBR セグメントに含まれない情報を伝える必要が生じることがある。この場合、ORC が ORU メッセージに含まれていることを推奨する。</p> <p>オーダ制御の値に RE をもつことは、ORM メッセージにおいてオーダの後に検査結果(OBX)が続くことを示す場合にのみ要求される。RE コードは ORU メッセージでは必要ではない。なぜなら OBR セグメントの後に検査結果(OBX)を続けることができるからである。</p> <p><b>Placer or Filler Applications.</b> RF は実施者または依頼者の両方による要求を受け入れる。実施者は依頼者からの補充許可を要求していることもある。依頼者システムは、補充が実施者システムによって行われるよう要求していることもある。</p> <p>標準的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる。実施者要求に関しては AF-補充オーダ要求許可、DF-補充オーダ要求拒否; 依頼者要求には、RE-検査付帯情報、UF-補充不能</p> <p><b>Placer Applications.</b></p> <p><b>Placer or Filler Applications.</b> オーダ置換依頼は以前に依頼された 1 個以上のオーダの代替えである。取替えられたオーダはあたかも取り消されたオーダのように扱われる。依頼されたサービスが取替えられるかどうか、いつ修正されるかは、現場独自で決定する。</p> <p>オリジナルのオーダが元の状態を保つことをサイトが要求するならば、親/子オーダ制御コードを使用する。以下の場合には、オーダ置換コードを使用しない。</p> <p>取替えられる各オーダには RP (実施者に対するオーダ置換依頼) の ORC-1-オーダ制御値または RU (実施者によって作成された非要求置換) を使用すること。RU は実施者によって使用され、依頼者および、または他のシステムに通知するためのものである。現場での取り決め(local agreement)によって、ORC セグメント (RP または RU と) の後には、そのオリジナルのオーダ詳細セグメントが続いてもよい。ORC セグメント (RP または RU を含む) の後には、RO (置換後オーダを示す) の ORC-1-オーダ制御値を持つ、ORC セグメントが続かなければならない。現場での取り決めによっては、RO 値を持つ ORC は、オーダ詳細セグメントが後に続いてよい。例えば、部門のアプリケーションが 2 個の OBR オーダを 3 つの異なるオーダで修正されていたと仮定して、セグメントの順序は、次の通りになる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Seg</th> <th>Order Control</th> <th>Comments</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ORC</td><td>RU</td><td>1st replaced ORC</td></tr> <tr><td>OBR</td><td></td><td>1st replaced order's detail segment</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ORC</td><td>RU</td><td>2nd replaced ORC</td></tr> <tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd replaced order's detail segment</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>1st replacement ORC</td></tr> <tr><td>OBR</td><td></td><td>1st replacement order's detail segment</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>2nd replacement ORC</td></tr> <tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd replacement order's detail segment</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>3rd replacement ORC</td></tr> <tr><td>OBR</td><td></td><td>3rd replacement order's detail segment</td></tr> </tbody> </table> <p>ORC-6-応答フラグの値によって OBR セグメントが存在しなければならないかどうか決定される。</p> <p>この取替え方法は、すべての取替え可能なケースを扱う： 1 個から 1 個へ、複数から 1 個へ、1 個から複数へ、および複数から複数へである。もし依頼者が実施者に 2 つの RP 付き要求を送り実施者から依頼者への応答があるとすると、2 つの RU (非要求で置換された) は 2 つの RQ (要求通り置換された) となる。</p>	OBX		An observation segment	OBX		Another observation segment	OBX		Another observation segment	OBX		Another observation segment				ORC	NW	3rd order	RXO		3rd order segment	Seg	Order Control	Comments	ORC	RU	1st replaced ORC	OBR		1st replaced order's detail segment				ORC	RU	2nd replaced ORC	OBR		2nd replaced order's detail segment				ORC	RO	1st replacement ORC	OBR		1st replacement order's detail segment				ORC	RO	2nd replacement ORC	OBR		2nd replacement order's detail segment				ORC	RO	3rd replacement ORC	OBR		3rd replacement order's detail segment
OBX		An observation segment																																																																		
OBX		Another observation segment																																																																		
OBX		Another observation segment																																																																		
OBX		Another observation segment																																																																		
ORC	NW	3rd order																																																																		
RXO		3rd order segment																																																																		
Seg	Order Control	Comments																																																																		
ORC	RU	1st replaced ORC																																																																		
OBR		1st replaced order's detail segment																																																																		
ORC	RU	2nd replaced ORC																																																																		
OBR		2nd replaced order's detail segment																																																																		
ORC	RO	1st replacement ORC																																																																		
OBR		1st replacement order's detail segment																																																																		
ORC	RO	2nd replacement ORC																																																																		
OBR		2nd replacement order's detail segment																																																																		
ORC	RO	3rd replacement ORC																																																																		
OBR		3rd replacement order's detail segment																																																																		
RF	Refill order/service request 補充オーダ要求																																																																			
RL	Release previous hold 前回保留オーダ開放																																																																			
RO	Replacement order 置換後オーダ																																																																			

Value	Description	Comments																																													
RP	Order/service replace request オーダー置換要求	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Seg</th> <th>Order Control</th> <th>Comments</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ORC</td> <td>RQ</td> <td>1st replaced ORC</td> </tr> <tr> <td>OBR</td> <td></td> <td>1st replaced order's detail segment</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ORC</td> <td>RQ</td> <td>2nd replaced ORC</td> </tr> <tr> <td>OBR</td> <td></td> <td>2nd replaced order's detail segment</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ORC</td> <td>RO</td> <td>1st replacement ORC</td> </tr> <tr> <td>OBR</td> <td></td> <td>1st replacement order's detail segment</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ORC</td> <td>RO</td> <td>2nd replacement ORC</td> </tr> <tr> <td>OBR</td> <td></td> <td>2nd replacement order's detail segment</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ORC</td> <td>RO</td> <td>3rd replacement ORC</td> </tr> <tr> <td>OBR</td> <td></td> <td>3rd replacement order's detail segment</td> </tr> </tbody> </table> <p>置換オーダーコードは、実施者アプリケーションによって別のアプリケーションに送られて、置換された正確なオーダーサービスを示す。それは上記の RP と RU のオーダー制御コードによって使用される。</p> <p>RO の制御値を持つ ORC セグメントのオーダー番号の規則は置換型 (RP または RU) によって決定される。</p> <p>RU 型 (すなわち実施者からの非要求置換) のときには、実施者オーダー番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダー番号は、最初に送られた、オーダー制御の値が RU である ORC の依頼者オーダー番号と全く同一である。</p> <p>RP 型 (すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダー置換要求) のときには、依頼者オーダー番号は、新規オーダーのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダー番号は、新規オーダーと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。</p> <p>置換シーケンスが ORU メッセージ (すなわち検査結果報告の時に) において使用されるときは推奨セグメントを以下に述べる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) RO のオーダー制御値付きの ORC</li> <li>2) 任意の OBR セグメント (任意のオーダー詳細セグメントによって置換可能)</li> <li>3) オプションで検査結果セグメント(OBX)が後に続く。</li> <li>4) NTE セグメントは、通常の ORU メッセージにおけるのと同様に OBR (あるいは任意のオーダー詳細セグメント) または OBX セグメントの後に続けられる。</li> </ol> <p><b>Placer Applications.</b>  オーダー置換依頼は、以前に依頼された、1 個あるいはそれ以上のオーダーの代替えである。今後の議論のためには、RO-置換後オーダーのコメントを参照のこと  オーダー置換要求コードは依頼者アプリケーションの要求に応じて、実施者が 1 個あるいはそれ以上の新規オーダーを 1 個あるいはそれ以上の新規オーダーと取替えることを許可する。  RO の制御値を持つ ORC セグメントのオーダー番号の規則は置換型 (RP または RU) によって決定される。</p> <p>RU 型 (すなわち実施者からの非要求置換) のときには、実施者オーダー番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダー番号は、最初に送られた、オーダー制御の値が RU である ORC の依頼者オーダー番号と全く同一である。</p> <p>RP 型 (すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダー置換要求) のときには、依頼者オーダー番号は、新規オーダーのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダー番号は、新規オーダーと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。</p> <p>置換シーケンスが ORU メッセージ (すなわち検査結果報告の時に) において使用されるときは推奨セグメントを以下に述べる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) RO のオーダー制御値付きの ORC</li> <li>2) 任意の OBR セグメント (任意のオーダー詳細セグメントによって置換可能)</li> <li>3) オプションで検査結果セグメント(OBX)が後に続く。</li> <li>4) NTE セグメントは、通常の ORU メッセージにおけるのと同様に OBR (あるいは任意のオーダー詳細セグメント) または OBX セグメントの後に続けられる。</li> </ol> <p><b>Filler Applications.</b>  オーダー置換依頼は、以前に依頼された、1 個あるいはそれ以上のオーダーの代替えである。今後の議論のためには、RO-置換後オーダーのコメントを参照のこと  オーダー置換要求コードは依頼者アプリケーションの要求に応じて、実施者が 1 個あるいはそれ以上の新規オーダーを 1 個あるいはそれ以上の新規オーダーと取替えることを許可する。  置換オーダーコードは、実施者アプリケーションによって別のアプリケーションに送られて、置換された正確なオーダーサービスを示す。それは上記の RP と RU のオーダー制御コードによって使用される。</p>	Seg	Order Control	Comments	ORC	RQ	1st replaced ORC	OBR		1st replaced order's detail segment				ORC	RQ	2nd replaced ORC	OBR		2nd replaced order's detail segment				ORC	RO	1st replacement ORC	OBR		1st replacement order's detail segment				ORC	RO	2nd replacement ORC	OBR		2nd replacement order's detail segment				ORC	RO	3rd replacement ORC	OBR		3rd replacement order's detail segment
		Seg	Order Control	Comments																																											
		ORC	RQ	1st replaced ORC																																											
		OBR		1st replaced order's detail segment																																											
		ORC	RQ	2nd replaced ORC																																											
		OBR		2nd replaced order's detail segment																																											
		ORC	RO	1st replacement ORC																																											
		OBR		1st replacement order's detail segment																																											
		ORC	RO	2nd replacement ORC																																											
		OBR		2nd replacement order's detail segment																																											
ORC	RO	3rd replacement ORC																																													
OBR		3rd replacement order's detail segment																																													
RQ	Replaced as requested 要求通りオーダー置換	<p><b>Placer Applications.</b>  オーダー置換依頼は、以前に依頼された、1 個あるいはそれ以上のオーダーの代替えである。今後の議論のためには、RO-置換後オーダーのコメントを参照のこと  オーダー置換要求コードは依頼者アプリケーションの要求に応じて、実施者が 1 個あるいはそれ以上の新規オーダーを 1 個あるいはそれ以上の新規オーダーと取替えることを許可する。  置換オーダーコードは、実施者アプリケーションによって別のアプリケーションに送られて、置換された正確なオーダーサービスを示す。それは上記の RP と RU のオーダー制御コードによって使用される。</p>																																													

Value	Description	Comments
RR	Request received 要求受付	RO の制御値を持つ ORC セグメントのオーダー番号の規則は置換型 (RP または RU) によって決定される。 RU 型 (すなわち実施者からの非要求置換) のときには、実施者オーダー番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダー番号は、最初に送られた、オーダー制御の値が RU である ORC の依頼者オーダー番号と全く同一である。 RP 型 (すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダー置換要求) のときには、依頼者オーダー番号は、新規オーダーのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダー番号は、新規オーダーと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 置換シーケンスが ORU メッセージ (すなわち検査結果報告の時に) において使用されるときは推奨セグメントを以下に述べる。 1) RO のオーダー制御値付きの ORC 2) 任意の OBR セグメント (任意のオーダー詳細セグメントによって置換可能) 3) オプションで検査結果セグメント(OBX)が後に続く。 4) NTE セグメントは、通常の ORU メッセージにおけるのと同様に OBR (あるいは任意のオーダー詳細セグメント) または OBX セグメントの後に続けられる。 Placer or Filler Applications. 下位互換性のためだけに保持されている。
RU	Replaced unsolicited 非要求オーダー置換	Filler Applications. オーダー置換依頼は、以前に依頼された、1 個あるいはそれ以上のオーダーの代替えである。今後の議論のためには、RO 置換後オーダーのコメントを参照のこと オーダー非要求置換通知コードは依頼者アプリケーションから要求されることなしに実施者アプリケーションが別なアプリケーションに知らせることを許可する。 RO の制御値を持つ ORC セグメントのオーダー番号の規則は置換型 (RP または RU) によって決定される。 RU 型 (すなわち実施者からの非要求置換) のときには、実施者オーダー番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダー番号は、最初に送られた、オーダー制御の値が RU である ORC の依頼者オーダー番号と全く同一である。 RP 型 (すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダー置換要求) のときには、依頼者オーダー番号は、新規オーダーのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダー番号は、新規オーダーと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 置換シーケンスが ORU メッセージ (すなわち検査結果報告の時に) において使用されるときは推奨セグメントを以下に述べる。 1) RO のオーダー制御値付きの ORC 2) 任意の OBR セグメント (任意のオーダー詳細セグメントによって置換可能) 3) オプションで検査結果セグメント(OBX)が後に続く。 4) NTE セグメントは、通常の ORU メッセージにおけるのと同様に OBR (あるいは任意のオーダー詳細セグメント) または OBX セグメントの後に続けられる。 Placer or Filler Applications.
SC	Status changed 状態変更	Placer Applications.
SN	Send order/service number 送信オーダー番号	NA に関してはコメントを参照のこと一番号割り当て
SR	Response to send order/service status request 送信オーダー状態要求応答	Filler Applications.
SS	Send order/service status request 送信オーダー状態要求	Placer Applications.
UA	Unable to accept order/service オーダー受付不可	Filler Applications. オーダー受付不可コードが使用されるのは、新しいオーダーを実施者が受付できないときである。受付できない理由としては、患者がアレルギーを起こす薬剤の処方要求したこと、またはそのオーダーを実施するための機器が利用できないこと (例えば、オーダーが記入できないなど) が考えられる。これは MSA セグメント内で定義される通信レベルでの受付とは異なることに留意すること。
UC	Unable to cancel オーダー取消不能	Filler Applications. オーダー取消不能コードは依頼されたサービスが実施者によって取り消せないポイントにあるとき、あるいは現場の取り決めで実施者による取消を禁止するとき使用される。このコードの使用は ORC-6一応答フラグに従う。
UD	Unable to discontinue オーダー中断不能	Filler Applications.
UF	Unable to refill 補充不能	Filler Applications. UF は実施者システムが許可された補充要求に対してアプリケーションレベル拒否をしたことを示す。
UH	Unable to put on hold オーダー保留不能	Filler Applications.

Value	Description	Comments
UM	Unable to replace オーダー修正不能	Filler Applications.
UN	Unlink order/service from patient care problem or goal 患者看護プロブレムまたはゴールからのリンクオーダー解除	Placer or Filler Applications. 詳細は、HL7 V2.5 第12章：患者看護を参照のこと。
UR	Unable to release オーダー開放不能	Filler Applications.
UX	Unable to change オーダー変更不能	Filler Applications.
XO	Change order/service request オーダー変更要求	Placer Applications.
XR	Changed as requested 要求通りオーダー変更	Filler Applications.
XX	Order/service changed unsolicited. オーダー変更 (未承諾)	Filler Applications.
MC	Miscellaneous Charge – not associated with an order 雑費 – オーダーとは関連なし	applies to DFT^P03^DFT_P03 and DFT^P11^DFT_P11 DFT^P03^DFT_P03 と DFT^P11^DFT_P11 を適用。

注記: HL7 V2.5の当該表は、オーダー制御コードに対応するメッセージの記述が不十分であるため、HL7 V.2.7の当該表を採用した。

## ORC-2 Placer Order Number 依頼者オーダー番号 (EI) 00216

成分: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義: 依頼者アプリケーションのオーダー番号。

第1成分は個々のオーダー (例えば OBR) を識別する文字列である。15文字の上限が推奨されるが、必須ではない。依頼者オーダー番号に対してより多くの文字数を要求するアプリケーションに適用するためにこのフィールドの文字数が増える場合、その実装は HL7 に準拠している。それは依頼者 (オーダーアプリケーション) によって割り当てられる。それは、特定のオーダーリングアプリケーションからのすべてのオーダーの中で、1つのオーダーを一意に識別する。第2から第4までの成分は、HD データ型と同じ形式で依頼者アプリケーションのアプリケーション ID を含んでいる。第2成分、ネームスペース ID は、アプリケーションに一意に関連している使用者定義のコード化された値である。6文字の上限が推奨されるが、必須ではない。1つの施設または相互に通信する施設のグループは、依頼者や実施者になる可能性のあるアプリケーションの一意なリストを構築し、一意なアプリケーション ID を割り当てるべきである。各成分は、成分デリミタによって分離される。

真の依頼者がややあいまいな (それゆえ一意でない) 状況が3つある。

- RU 置換に続く RO の「ORC-1 オーダー制御値」の場合
- CH (子オーダー) の「ORC-1 オーダー制御値」の場合
- SN (番号送信) の「ORC-1 オーダー制御値」の場合

アプリケーション ID リストは、HL7 V2.5 第8章で文書化されている施設のマスタ辞書の1つになる。第三者アプリケーション (オーダーの依頼者および実施者以外) が ORM と ORR のメッセージの送受信ができるので、このフィールドの依頼者アプリケーション ID は、(MSH セグメントで識別される) ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい。

「ORC-2 依頼者オーダー番号」は、「OBR-2 依頼者オーダー番号」と同じである。依頼者オーダー番号が ORC の中に存在していないならば、それは関連した OBR 内に存在しなければならない。逆も同様である。もし両方のフィールド、すなわち「ORC-2 依頼者オーダー番号」および「OBR-2 依頼者オーダー番号」が設定されるならば、それらは同じ値でなければならない。結果が ORU メッセージで送られる場合、ORC は必須ではないが、依頼者オーダー番号が OBR セグメント内に存在せねばならない。

これらの規則は、上位互換性のため ORC と OBR の両方の中に存在している他のフィールドにも適用される。(例えば、数量/タイミング、親番号、オーダー依頼者、および依頼コールバック用電話番号)。

### ORC-3 Filler Order Number 実施者オーダー番号 (EI) 00217

定義：このフィールドは実施者アプリケーションに関連したオーダー番号である。それは実体識別子データ型 (HL7 V2.5 第 2.A.28 節) の実例である。その第 1 成分は、オーダー詳細セグメント (例えば OBR) を識別する文字列である。15 文字の上限が推奨されるが、必須ではない。実施者オーダー番号に対してより多くの文字数を要求するアプリケーションに適用するためにこのフィールドの文字数が増える場合、その実装は HL7 に準拠している。それはオーダー実施者 (受信) アプリケーションによって割り当てられる。この文字列は、オーダー (オーダー詳細セグメントで指定された) を、特定の実施者アプリケーション (例えば臨床検査室) における他のオーダーから一意的に識別しなければならない。この一意性は時間が経過しても維持されなければならない。

第 2 から第 4 までの成分は実施者アプリケーション ID を含んでいるが、その形は HD データ型である (HL7 V2.5 2.A.36 節「HD 階層的指定子」を参照のこと)。第 2 成分は使用者定義のコード化された値であって、そのアプリケーションをネットワーク上の他のアプリケーションから一意的に定義する。6 文字の上限が推奨されるが、必須ではない。実施者オーダー番号の第 2 成分は、オーダーの実際の実施者を常に識別する。

施設または相互通信する施設のグループは、オーダーの依頼者や実施者となりうるアプリケーションのリストを作成し、一意のアプリケーション ID を割り当てるべきである。アプリケーション ID リストは、HL7 V2.5 第 8 章で文書化される施設のマスター辞書リストのうちの 1 つになる。第三者アプリケーション (オーダーの依頼者および実施者以外のもの) は、ORM および ORR メッセージを送信し受信することができるため、このフィールドの実施者アプリケーション ID は (MSH セグメントで定義される) ネットワーク上の任意の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい。

「ORC-3 実施者オーダー番号」は「OBR-3 実施者オーダー番号」と同じである。実施者オーダー番号が ORC の中になく、それは関連する OBR の中になければならない。(この規則は、ORC および OBR の他の同一のフィールドに対して同じであり、上位および ASTM 互換性を促進する。) 結果が ORU メッセージ中で送信される場合、これは特に重要である。この場合、ORC は必須ではないため、識別する実施者オーダー番号は OBR セグメントの中になければならない。

実施者オーダー番号 (OBR-3 または ORC-3) は、さらにオーダーおよびその関連する観察を一意的に識別する。例えば、施設がいくつかの付随的なアプリケーションからの検査 (広義) を共通のデータベースへ集め、この共通のデータベースが検査 (広義) のための別のアプリケーションから照会を受ける場合を想定する。この場合、共通のデータベース・アプリケーションによって送信された実施者オーダー番号および依頼者オーダー番号は、それぞれ元の実施者および依頼者の番号になり、共通のデータベース・アプリケーションによって割り当てられた新しい番号ではない。

同様に、オーダーの第三者アプリケーション (実施者または依頼者ではない) がオーダー状態を修正する (例えばそれを取り消す) 権限を持つならば、第三者アプリケーションは実施者に次のような ORM メッセージを送るであろう、すなわち、「ORC-1 オーダー制御」の値が「CA」に等しく、それ自体割り当ててのではなく元の依頼者オーダー番号および実施者オーダー番号を含む ORC セグメントを含んでいる。

### ORC-4 Placer Group Number 依頼者グループ番号 (EI) 00218

成分： <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドによって、オーダー依頼者アプリケーションは何組かのオーダーをグループ化した後にそれらを識別できる。それは実体識別子データ型 (HL7 V2.5 2.A.28 節) の実例である。

第 1 成分は、与えられた依頼者アプリケーションからのオーダーグループをすべて一意に識別する文字列である。15 文字の上限が推奨されるが、必須ではない。それは依頼者アプリケーションによって割り当てられ、ORC の依頼者オーダー番号と同じシリーズからくるかもしれないが、そうである必要はない。

第 2 から第 4 までの成分は、依頼者アプリケーション ID を構成するが、これは「ORC-2 依頼者オーダー番号」の同様の成分と同一である。

### ORC-5 Order Status オーダ状態 (ID) 00219

定義：このフィールドはオーダの状態を定義する。とりうる値については「HL7表 0038-オーダ状態」を参照すること。このフィールドの目的は、要求された場合または状態が変更になった場合にオーダの状態を報告することであり、行為を開始することではない。オーダ状態は、メッセージが送られる時点で送信アプリケーションに知られていた状態を反映させることを想定している。実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。

「HL7表 0038-オーダ状態」は「HL7表 0119-オーダ制御コードとその意味」と同じ値の多くを含んでいるが、目的は異なる。オーダ状態は、「ORC-1 オーダ制御値」がSRまたはSCのメッセージにおいて典型的に使用される。これは、要求により、あるいは任意の時点で任意の当事者にオーダの状態を報告するためである。

HL7表 0038 - Order status オーダ状態

Value	Description
A	Some, but not all, results available 一部（全部ではない）の結果が利用できる。
CA	Order was canceled オーダが取り消された
CM	Order is completed オーダが完了した
DC	Order was discontinued オーダが中断した
ER	Error, order not found エラー、オーダが見つからない
HD	Order is on hold オーダが保留
IP	In process, unspecified 進行中、不定
RP	Order has been replaced オーダ変更された
SC	In process, scheduled 進行中、予定された

### ORC-6 Response Flag 応答フラグ (ID) 00220

定義：このフィールドによって依頼者（送信）アプリケーションは、実施者から返されるべき情報の量を決定できる。要求されたレベルの応答は、即時には可能ではないかもしれない。しかし、それが可能なとき、実施者（受信）アプリケーションは、その情報を送らなければならない。フィールドがnullであるとき、フィールドのデフォルト値はDである。とりうる値については「HL7表 0121-応答フラグ」を参照のこと。

HL7表 0121 - Response flag 応答フラグ

Value	Description
E	Report exceptions only 例外のみを報告
R	Same as E, also Replacement and Parent-Child Eと同じ、および変更と親子
D	Same as R, also other associated segments Rと同じ、および他の関連セグメント
F	Same as D, plus confirmations explicitly Dと同じ、プラス明確な確認
N	Only the MSA segment is returned MSAセグメントのみが返却される

### ORC-7 Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ) 00221

定義：（このフィールドは下位互換を保つ目的のためだけに残されている）

### ORC-8 Parent 親 (EIP) 00222

成分： <Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>

副成分 for Placer Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Filler Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、親子の関係が存在するときに、子をその親に関係付ける。親子のメカニズムは、「ORC-1 オーダ制御」の注記のところで述べられる。

第1成分は、「ORC-2 依頼者オーダ番号」と同じフォーマットである。第2成分は、「ORC-3 実施者オーダ番号」と同じフォーマットである。依頼者オーダ番号と実施者オーダ番号の成分は、このフィールドの2つの成分の副成分として送られる。

「ORC-8 親」は、「OBR-29 親」と同じである。ORC に親が記載されていない場合、関連づけられた OBR に記述されるべきである。(この規定は、ORC と OBR の他の同一フィールドと同じであり、上位互換と ASTM 互換を促進する。) これは、結果が ORU メッセージにおくられた場合に特に重要である。この場合、その ORC は要求されず、識別する実施者オーダ番号が OBR セグメントの中に記述されなければならない。

#### ORC-9 Date/Time Of Transaction トランザクション日時 (TS) 00223

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義： このフィールドは、「ORC-1 オーダ制御コード」に反映される現在のトランザクションを開始したイベントの日時を含む。このフィールドは、「MSH-7 メッセージ日時 (物理的なメッセージの日時を反映する)」と等価ではない。

#### ORC-10 Entered By 入力者 (XCN) 00224

成分： <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは要求をアプリケーションに実際に入力した人の識別情報を含む。これは、現在のトランザクションの「ORC-1 オーダ制御コード」に反映されることに注意する。それは、要求が不正確に入力され、関連部門が要求を明らかにする必要がある場合、監査証跡となる。現場の取り決めによって、ID 番号または名前成分は省略してもよい。

#### ORC-11 Verified By 検証者 (XCN) 00225

成分： <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>



副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>  
 副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>  
 副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>  
 副成分 for Name Context (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>  
 副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>  
 副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>  
 副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>  
 副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは入力された要求の正確さを検証した人の識別情報を含む。これは、「ORC-1 オーダ制御コード」に反映されるものとして、現在のトランザクションを参照することに注意する。それが使用されるのは、要求が技師によって入力され、(看護師など) より高い権限者によって検証される必要がある場合である。現場の取り決めによって、ID 番号や名前成分は省略してもよい。

## ORC-12 Ordering Provider オーダ発行者 (XCN) 00226

成分： <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>  
 副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>  
 副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>  
 副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>  
 副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは、(例えば、依頼している医師など) 要求を作成することに責任がある人の識別情報を含む。

「ORC-12 オーダ依頼者」は、「OBR-16 オーダ依頼者」と同じである。オーダ依頼者が ORC に記述されない場合、関連づけられた OBR に記述されるべきである。(この規定は、ORC や OBR の他の同一フィールドと同様であり、上方互換と ASTM 互換を促進する。) これは特に、結果が ORU メッセージに転送された場合に重要である。この場合、ORC が要求されず、識別する実施者オーダ番号が OBR セグメントに記述されるべきである。

### ORC-13 Enterer's Location 入力場所 (PL) 00227

成分： <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分 for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)> <Comprehensive Location Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Authority for Location (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義： このフィールドは要求を入力した人がオーダを入力した時にいた物理的な場所を指定する (例えばナースステーション、関連サービス部、クリニック、フロア)。これは「ORC-1 オーダ制御コード」に反映されるものとして、現在のトランザクションを参照することに注意する。入力した人の場所に関する副成分だけが値を与えられるべきである (通常は看護ユニット、施設、建物、フロア)。要求を入力した人は「ORC-10 入力者」によって定義される。

### ORC-14 Call Back Phone Number コールバック用電話番号 (XTN) 00228

成分： <DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義： このフィールドは、要求やそのオーダに関する他の情報を確認するための電話番号を含む。

「ORC-14 コールバック用電話番号」は、「OBR-17 オーダコールバック用電話番号」と同じである。

### ORC-15 Order Effective Date/Time オーダ有効日時 (TS) 00229

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義： このフィールドは、要求への変更が有効になった、あるいは有効になる予定の日時を含む。

「ORC-9 トランザクション日時」が、「ORC-15 オーダ有効日時」以降であれば、ORC およびその下位のセグメントのデータ値はオーダ有効日時に有効になった。

「ORC-9 トランザクション日時」が、「ORC-15 オーダ有効日時」より前ならば、ORC およびその下位セグメントのデータ値はオーダ有効日時に有効になるよう計画される。

「ORC-15 オーダ有効日時」が空白であれば、その値は、「ORC-9 トランザクション日時」と、トランザクション日時が空白であれば「MSH-7 メッセージ日時」と等しいと仮定される。

「ORC-15 オーダ有効日時 (同じ ORC セグメントのオーダ制御コードイベントのための)」が、ORC-7-数量/タイミングの対応する日時と異なる場合は、「ORC-15 オーダ有効日時」が優先する。1 例として ORC イベントが実施者への継続しているオーダに対する中断要求であり、かつオーダ有効日時が「ORC-7 数量/タイミング」の終了日時の前であれば、オーダ有効日時が優先する。ORC の中で識別されたオーダが子を持っているならば、開始しなかった子は取り消される必要がある。進行中の子がいるならば、それは中断される必要がある;子が中断できる点を超えて進行しているならば、その状態は影響されない。

### ORC-16 Order Control Code Reason オーダ制御コード理由 (CE) 00230

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義： このフィールドは、オーダ制御コード (HL7 表 0119) によって記述されたオーダイベントに対する理由の説明を含んでいる。コード化したあるいはテキスト形式のどちらでもよい。オーダ特有のセグメント (例えば、RXO、ORO、OBR) の後の NTE は、その特有のセグメントのためのコメ

ントとなる一方、オーダ制御コード理由の目的は、そのオーダイベントの理由のみを拡張することである。

「ORC-1 オーダ制御」がNWであるときは、「ORC-16 オーダ制御コード理由」には普通は値を設定しない。ただし、設定できないわけではない。取り消されたオーダのときには、例えば、このフィールドは、取消の理由を説明するためによく使用される。よく知られているアレルギーのために医師からの処方オーダが取消されたならば、調剤システムからこのフィールドによってアレルギーの事実が報告される。それが薬理相互作用のためにこのオーダを取消したならば、このフィールドは、相互作用物質の少なくとも名称（および必要ならコードも）、相互作用を記述する文章、および相互作用の深刻度を含む。

#### ORC-17 Entering Organization 入力組織 (CE) 00231

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義： このフィールドは、入力した人が、オーダを入力/維持したときに属している組織、例えば医療グループまたは診療科を識別する。要求を入力した人は「ORC-10 入力者」によって定義される。

#### ORC-18 Entering Device 入力装置 (CE) 00232

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義： このフィールドは、オーダを入力するのに使用された物理的装置（端末やPC）を識別する。

#### ORC-19 Action By 発動者 (XCN) 00233

成分： <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは、対応するオーダ制御コードによって表されるイベントを発動した人の識別情報を含む。例えば、オーダ制御コードがCA（オーダ取消要求）であるならば、このフィールドは、オーダ取消を要求した人を表す。この人は典型的には医療提供者であるが、必ずしも「ORC-12 オーダ発行者」と同じとはかぎらない。

**ORC-20 Advanced beneficiary notice code 予告受益者通知コード (CE) 01310**

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは保険未加入の可能性のあるサービスの支払責任に対する患者または患者の代理人の承諾状態を示す。この要素は、外来患者に対する CMS 医療要求を満たすことを促す。この要素は、(a)サービスに関連づけられた診断コードが医療上必要な治療の対象かどうか、(b)この種のサービスに対して、そのサービスに対する支払責任があるかもしれないことを患者に通知されているか、(c)そして、患者がサービスに対する請求に同意しているか、を示している。そのフィールドの値は、「使用者定義表 0339-予告受益者通知コード」から引用される。

**使用者定義表 0339 – Advanced beneficiary notice code 予告受益者通知コード**

Value	Description
1	Service is subject to medical necessity procedures サービスは、医療上必要な治療の対象である
2	Patient has been informed of responsibility, and agrees to pay for service 患者に支払責任のあることが通知されており、サービスの支払の同意がある
3	Patient has been informed of responsibility, and asks that the payer be billed 患者に支払責任のあることが通知されており、支払者が請求されるよう依頼する
4	Advanced Beneficiary Notice has not been signed 予告受益者通知がサインされていない

**ORC-21 Ordering facility name オーダ施設名 (XON) 01311**

成分： <Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <DEPRECATED-ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドはオーダ依頼している施設名を含む。

**ORC-22 Ordering facility address オーダ施設住所 (XAD) 01312**

成分： <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドはオーダ依頼している施設の住所を含む。

**ORC-23 Ordering facility phone number オーダ施設電話番号 (XTN) 01313**

成分： <DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドはオーダ依頼している施設の電話番号を含む。

**ORC-24 Ordering provider address オーダ依頼者住所 (XAD) 01314**

要素： <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other

Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>  
 副成分 for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>  
 副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>  
 Note subcomponent contains sub-subcomponents  
 副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>  
 副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>  
 定義: このフィールドはオーダを要求した医療提供者の住所を含む。

### ORC-25 Order status modifier オーダ状態修飾子 (CWE) 01473

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>  
 定義: このフィールドは「ORC-5 オーダ状態」フィールドの修飾または絞り込みのためにある。このフィールドは定義されたオーダ状態コードへの付加的な特定レベルまたは付加的な情報を提供するのに利用される。HL7 定義表により制御されるオーダ状態フィールドとは異なり、このフィールドはCWE データ型であり、アプリケーションはオーダ状態修飾子コードの制限のないライブラリをサポートすることが許される。

使用規則: このフィールドは「ORC-5 オーダ状態」フィールドに値がある場合のみ値を持ってよい。

例: オーダ状態がIPのオーダを処理しているLISが、検査室内でのオーダ進捗状況や、そのオーダが外部検査機関に送られたことを示すのに、オーダ状態修飾子を用いて最新情報を送るかもしれない。医療関連でないオーダを利用する別の例では、電話を患者の病室に転送するよう依頼されたが、一時的に切れてしまったような場合である。「ORC-5 オーダ状態」はIPを示し、「ORC-25 オーダ状態修飾子」は切れた状態を示す。第3の例は、薬剤部での調剤に関するものである。処方箋が調剤されているかどうかを知るだけでは不十分な場合がある。「ORC-25 オーダ状態修飾子」はラベルが印刷されたかどうか、処方箋が記載されたかどうか、処方箋が発行されたかどうか、などを示す。

### ORC-26 Advanced Beneficiary Notice Override Reason 予告受益者通知上書き理由 (CWE) 01641

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、患者が予告受益者通知にサインしない理由を含む。理由はコード化してもよいしフリーテキストで入力してもよい。「HL7 表 0552-予告受益者通知上書き理由」を参照のこと。

条件: このフィールドは「ORC-20 予告受益者通知コード」の値が、通知にサインされていない場合に要求される。例えば、ORC-20 が「使用者定義表 0339-予告受益者通知コード」の3 或いは4 の値を持つ場合、または、関連する外部コード表で同様の値が入力されている場合、追加の修飾または説明のための情報が正当なものとして認められる。

HL7表 0552 - Advanced beneficiary notice override reason 予告受益通知上書き理由

Value	Description	Comments

### ORC-27 Filler's Expected Availability Date/Time 実施者サービス可能日時 (TS) 01642

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは、実施者がサービス可能な日時を指定する。例えば、処方箋が受け取り可能な時、補充品が送付ないし受け取られる時、または検体検査結果が利用可能となる時。

### ORC-28 Confidentiality Code 守秘コード (CWE) 00615

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダを取り巻くセキュリティおよび/あるいはセンシティブティのレベルに関する情報を含む。(例えば非常に機微、機微ではない、機微など)。可能な値に関しては、「HL7表 0177-守秘コード」を参照のこと。特定の守秘レベルでのデータの具体的な処理に関しては、施設固有の取り決めに委ねる。

HL7表 0177 - Confidentiality Code 守秘コード

Value	Description	Comments
AID	AIDS patient 患者	
EMP	Employee 従業員	
ETH	Alcohol/drug treatment patient アルコール/薬物中毒 治療患者	
HIV	HIV(+) patient HIV(+)患者	
PSY	Psychiatric patient 精神医学患者	
R	Restricted 限定	
U	Usual control 通常管理	
UWM	Unwed mother 未婚の母	
V	Very restricted 非常に限定	
VIP	Very important person or celebrity 重要人物や名士	

### ORC-29 Order Type オーダタイプ (CWE) 01643

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダが入院患者の設定ないし外来患者の設定で実行されるかどうかを示している。もし、このフィールドが値を持っていないければ、システムのデフォルト値がとられる。推奨値に関しては、「HL7表 0482-オーダタイプ」を参照のこと。

例：退院前にフォローアップの理学療法ないし地域薬局で処方箋を受け取るオーダが出される。その患者は、PVI によると入院患者だが、そのオーダは外来患者オーダである。

HL7表 0482 - Order Type オーダタイプ

Value	Description	Comments
I	Inpatient Order 入院患者オーダ	
O	Outpatient Order 外来患者オーダ	

### ORC-30 Enterer Authorization Mode 入力者承認モード (CNE) 01644

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダを作成或いは変更する責任を持つ医師から記録者が得た承認の形態を示している。推奨値に関しては、「HL7表 0483-承認モード」を参照のこと。

HL7表 0483 - Authorization Mode 承認モード

Value	Description	Comments
EL	Electronic 電子的	
EM	E-mail	
FX	Fax	
IP	In Person 本人自ら	
MA	Mail	
PA	Paper 紙	
PH	Phone 電話	
RE	Reflexive (Automated system) 条件に基づく (自動化システム)	
VC	Video-conference TV会議	

Value	Description	Comments
VO	Voice 口頭	

## 7.10. PID - Patient Identification Segment 患者識別セグメント

PIDセグメントはすべてのアプリケーションで、患者（含む動物）の識別情報を交換することを主要目的としている。このセグメントは恒久的な患者識別を、そして患者基本情報を扱うが、多くの情報はそれほど頻回には変化しない。

HL7 V2.4以降は動物の患者基本情報もPIDセグメント（PID-35からPID-38を参照）で送れることになったことを注記しておく。

患者IDの4番目の成分である発行機関のデータ型はHD型であり、大元の発行機関により一意に関連づけられた固有の番号である。発行機関のIDを与えた機関、相互連絡機関は患者識別情報（そして他の重要な識別情報）を付与する可能性のある発行機関のリストを作成しなければならない。そのリストはその発行機関の最も重要なマスターリストのひとつとなる。（患者IDを付与した機関とは別の）第三者機関は、患者識別情報を含むHL7メッセージを送信あるいは受信するかもしれないので、患者IDに含まれる発行機関はMSHで示される送信システムや受信システムと同じであってはならない。発行機関は、その地域では唯一である必要がある。このフィールドはHL7の導入に際して、複数の患者管理アプリケーションにおいてこのような番号を割り当てる必要がある。発行機関と識別区分コードはすべてCX型とすることを強く推奨する。

HL7V2.3から、患者IDの4番目の成分の名称が「発行機関ID(assigning facility ID)」から、「発行機関(assigning authority)」に変更になった。識別情報（例えば、XYZZ病院のA部門で割り当てられた医療記録）は、それを発行した医療機関では一意的でありえるが、識別情報はシステムレベル（例えば企業の個人インデックスや、複数企業にまたがるエンタープライズ番号）、または政府による実体（例えば国により与えられた一意的個人識別子）も割り当てられる。施設は大抵発行機関になるのに、すべての発行機関は施設ではない。しかしながら、4番目の成分は発行機関として参照される。しかし、下位互換性のためHD型の構成を使っている。（2章を参照のこと）。さらに、CX型は発行機関(HD)を6番目の成分として扱うこともできる。

HL7属性表—PID—Patient Identification - 患者識別

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O			Set ID - PID セットID-PID
2	20	CX	B	B			Patient ID 患者ID
3	250	CX	R	R	Y		Patient Identifier List 患者IDリスト
4	20	CX	B	B	Y		Alternate Patient ID - PID 代替患者ID
5	250	XPN	R	R	Y		Patient Name 患者氏名
6	250	XPN	O	O	Y		Mother's Maiden Name 母親の旧姓
7	26	TS	O	RE			Date/Time of Birth 生年月日
8	1	IS	O	RE		0001	Administrative Sex 性別
9	250	XPN	B	B	Y		Patient Alias 患者別名
10	250	CE	O	O	Y	0005	Race 人種
11	250	XAD	O	O	Y		Patient Address 患者住所
12	4	IS	B	B		0289	County Code 郡コード
13	250	XTN	O	O	Y		Phone Number - Home 電話番号—自宅
14	250	XTN	O	O	Y		Phone Number - Business 電話番号—勤務先
15	250	CE	O	O		0296	Primary Language 使用
16	250	CE	O	O		0002	Marital Status 結婚状態
17	250	CE	O	O		0006	Religion 宗教
18	250	CX	O	O			Patient Account Number 患者会計口座番号
19	16	ST	B	B			SSN Number - Patient 社会保障番号
20	25	DLN	B	B			Driver's License Number - Patient 運転免許証番号
21	250	CX	O	O	Y		Mother's Identifier 母親の識別情報

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
22	250	CE	O	O	Y	0189	Ethnic Group 民族
23	250	ST	O	O			Birth Place 出生地
24	1	ID	O	O		0136	Multiple Birth Indicator 多胎児識別情報
25	2	NM	O	O			Birth Order 誕生順序
26	250	CE	O	O	Y	0171	Citizenship 市民権情報
27	250	CE	O	O		0172	Veterans Military Status 退役軍人情報
28	250	CE	B	B		0212	Nationality 国籍
29	26	TS	O	O			Patient Death Date and Time 患者死亡日時
30	1	ID	O	O		0136	Patient Death Indicator 患者死亡識別情報
31	1	ID	O	O		0136	Identity Unknown Indicator 識別情報の有無
32	20	IS	O	O	Y	0445	Identity Reliability Code 識別情報の信頼性
33	26	TS	O	O			Last Update Date/Time 最終更新日時
34	241	HD	O	O			Last Update Facility 最終更新施設
35	250	CE	C	C		0446	Species Code 種コード
36	250	CE	C	C		0447	Breed Code 品種コード
37	80	ST	O	O			Strain 血統情報
38	250	CE	O	O	2	0429	Production Class Code 製品分類コード
39	250	CWE	O	O	Y	0171	Tribal Citizenship 所属種族

## PID フィールド定義

### PID-1 Set ID - PID セット ID-PID (SI) 00104

定義：このフィールドはこのトランザクションにおける番号を示す。そのセグメントが最初に現れた時はこのシーケンス番号は1でなければならない。2回目の時は2,といった具合である。

### PID-2 Patient ID 患者 ID (CX) 00105

定義：このフィールドは下位互換性のためにのみ残されている。

### PID-3 Patient Identifier List 患者 ID リスト (CX) 00106

成分：<ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Assigning Authority (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは医療機関で患者を特定（例：医療記録番号、会計口座番号、誕生記録、国民識別番号）するための（ひとつ、またはそれ以上の）識別情報を示す。カナダでは、Canadian Provincial Healthcare Number をこのフィールドで送らなければならない。

独断的であった用語「内部 ID」はこのフィールドの名前から取り除かれた。

【共通編】本規約では「<患者 ID>^^^PI」の形式で利用する。

例：|0012345678^^^PI|

### PID-4 Alternate Patient ID - PID 代替患者 ID (CX) 00107

定義：このフィールドは下位互換のためにのみ残されている。

### PID-5 Patient Name 患者氏名 (XPN) 00108

成分：<Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)>



副成分 for Family Name (FN):<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>  
 副成分 for Name Context (CE):<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>  
 副成分 for Name Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは最初に報告された患者の主な、あるいは法律上の氏名を示している。このフィールドにおける氏名種別コードは「L-法律上」を含む必要がある。推奨値は、「HL7表 0200-名前種別」、「HL7表 0465-名前/アドレス表記」を参照のこと。このフィールドは同じ名前について違う文字セットでの反復が許されている。HL7の旧バージョンにおける「own family name prefix」は「last name prefix」と同義である。同様に「second and further given names or initials thereof」は「middle initial or name」と同義である。名前やイニシャルを複数持つ場合はスペースで区切る。

【共通編】患者氏名をMSH-18文字セットで指定した文字コードで使用する。

例えばMSH-18にASCII-ISO IR87をセットした場合、

PID-5はYamada^Tarou^^^^L^A~山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^Pとなる。

反復の順序には意味を持たない。姓と名の区別が困難な場合、姓のフィールドを代用するものとする。半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。

HL7表 0200 - Name Type 名前種別

Value	Description	Comments
A	Alias Name 別名	
B	Name at Birth 誕生時の名前	
C	Adopted Name 養子縁組み後の名前	
D	Display Name 表示名	
I	Licensing Name 許可を得た名前	
L	Legal Name 法律上の名前	
M	Maiden Name 旧姓 (婚姻前の名前)	
N	Nickname / "Call me" Name/Street Name あだ名/よび名/道路名	
P	Name of Partner/Spouse - obsolete 配偶者の名前-廃止	HL7 V2.4 で廃止された
R	Registered Name (animals only) 登録名 (動物のみ)	
S	Coded Pseudo-Name to ensure anonymity 匿名のためのコード化された偽名	
T	Indigenous/Tribal/Community Name 種族/部族/共同社会名	
U	Unspecified 未定義	

動物においては、名前種別が「R」が使われていた場合は、「Name Context」はこの動物の名前が登録されている機関を識別するために用いられる。

HL7表 0465 - Name/address representation 名前/アドレス表記

Value	Description	Comments
I	Ideographic 表意文字 (例、漢字)	
A	Alphabetic アルファベット (例、デフォルトおよびシングルバイト文字)	
P	Phonetic 表音文字 (例、ASCII、カタカナ、ひらがな、など)	

**PID-6 Mother's Maiden Name 母親の旧姓 (XPN) 00109**

成分 : <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix from Partner/Spouse (ST)> & <Surname from Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Name Context (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドはその母親が生まれた時の名前 (例: 結婚前) を示す。これは患者の名前が同じ場合に区別するために使われる。

【共通編】本フィールドに出現する名前種別コードは「M」である。

**PID-7 Date/Time of Birth 生年月日 (TS) 00110**

成分: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは患者の誕生日を示す。

**PID-8 Administrative Sex 性別 (IS) 00111**

定義: このフィールドは患者の性別を示す。推奨値については「使用者定義表 0001-性別」を参照のこと。

使用者定義表 0001 - Administrative Sex 性別

Value	Description	Comments
F	Female 女性	
M	Male 男性	
O	Other その他	
U	Unknown 未知	
A	Ambiguous 両性具有	
N	Not applicable 適応外	

**PID-9 Patient Alias 患者別名 (XPN) 00112**

定義: このフィールドはHL7 V2.4 から下位互換のためにのみ残されている。

**PID-10 Race 人種 (CE) 00113**

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは患者の人種を示す。推奨値は「使用者定義表 0005-人種」を参照のこと。

人種データの 2/3 (alternate identifier, alternate text, and name of alternate coding system) は政府により割り当てられるコードである。

**PID-11 Patient Address 患者住所 (XAD) 00114**

成分: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは患者の郵送用の住所を示している。アドレス種別コードは「HL7 表 0190 - 住所タイプ」で定義している。同じ個人に対して複数の住所を次の順序で送ることができる: 主たる郵送用住所は必ず最初になければならない (下位互換性のため); もし、郵送用アドレスを送らない場合は、必ず最初に反復デリミタを送る必要がある。

【共通編】最初のエレメントは、

<Street Address (SAD)>

であり、これはさらに

<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (NT)>

に分解されるので、日本の場合は、

新橋7-5-5 ^ 港区 ^ 東京都 ^ 105-0004 ^ H

のように記述する。ただし、住所を (都道府県や市町村などに) 分離して管理していない場合は、第8成分だけを用いて、

^^^105-0001^^H^東京都港区新橋7-5-5

のように記述する。また、第7成分を「B」（=会社/事業所）とすることで、患者の勤務先の郵便番号、住所を表現することもできる。

^^^105-0001^B^東京都千代田区霞が関4-2-2

HL7表 0190 - Address type 住所タイプ

Value	Description	Comments
BA	Bad address 誤った住所	
N	Birth (nee) (birth address, not otherwise specified) 出生 (生まれ) (他に指定がなければ、出生の住所)	
BDL	Birth delivery location (address where birth occurred) 出生地 (誕生が行われた住所)	
F	Country of Origin 出身国	
C	Current or Temporary 現住所または一時的な住所	
B	Firm/Business 会社/事業所	
H	Home 自宅	
L	Legal Address 法律上の住所	
M	Mailing 郵送先	
O	Office 事務所	
P	Permanent 永久的な住所	
RH	Registry home. Refers to the information system, typically managed by a public health agency, that stores patient information such as immunization histories or cancer data, regardless of where the patient obtains services. 戸籍上の自宅。予防接種歴や癌登録のような患者情報を扱う公共医療機関の情報システムに関係する事が多い。患者が治療を受ける場所には無関係である。	
BR	Residence at birth (home address at time of birth) 出生時の居住地 (出生の際の自宅住所)	

**PID-12 County Code 郡コード (IS) 00115**

定義：このフィールドはHL7 V2.3 から下位互換性のためにのみ残されている。

**PID-13 Phone Number - Home 電話番号-自宅 (XTN) 00116**

成分：<Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドでは患者の個人的な電話番号を示す。すべての患者の個人電話番号は次の順序で送られる。最初は主として使われる電話番号（下位互換性のため）である。もし、主として使われる電話番号がない場合は、必ず最初に反復デリミタを送る必要がある。推奨値については「HL7 表 0201-遠距離通信用途コード」と、「HL7 表 0202-遠距離通信機器タイプ」を参照のこと。

HL7表 0201-Telecommunication Use Code 遠距離通信用途コード

Value	Description	Comments
PRN	Primary Residence Number 主たる住居の番号	
ORN	Other Residence Number その他の住居の番号	
WPN	Work Number 勤務先番号	
VHN	Vacation Home Number 休暇中の住居の番号	
ASN	Answering Service Number 留守電話応答サービス番号	
EMR	Emergency Number 緊急連絡先番号	
NET	Network (email) Address ネットワーク (電子メール) アドレス	
BPN	Beeper Number ポケットベル番号	

HL7表 0202-Telecommunication Equipment Type 遠距離通信機器タイプ

Value	Description	Comments
PH	Telephone 電話	
FX	Fax ファックス	
MD	Modem モデム	
CP	Cellular Phone 携帯電話	
BP	Beeper ポケットベル	
INTERNET	Internet Address インターネットアドレス：遠距離通信用途コードがNETの場合のみ使用	
X.400	X400 email address 電子メールアドレス：遠距離通信用途コードがNETの場合のみ使用	
TDD	Telecommunications Device for the Deaf 聴覚障害者のための遠距離通信機器	

Value	Description	Comments
TTY	Teletypewriter テレタイプ	

【共通編】

注記：PID-13（電話番号）XTN の第 1 要素は、オプション値が 'B'(Backword) なので使用しない。  
 なお、電話番号は第 12 成分に記述することとし、例えば、

^PRN^PH^^^^^^^^03-0000-0000

と扱うこととする。

**PID-14 Phone Number - Business 電話番号—勤務先 (XTN) 00117**

成分：<Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドでは患者の職場の電話番号を示す。すべての職場の電話番号は次の順序で送られる。最初は主として使われる電話番号（下位互換性のため）である。もし主として使われる電話番号がない場合は、必ず最初に反復セパレータを送る必要がある。推奨値については「HL7 表 0201—遠距離通信用途コード」と「HL7 表 0202—遠距離通信機器タイプ」を参照のこと。

【共通編】電話番号は第 12 成分に記述することとし、例えば、

^PRN^PH^^^^^^^^03-3506-8070

と扱うこととする。

**PID-15 Primary Language 使用言語—患者 (CE) 00118**

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドでは患者の使用する言語を示す。HL7 としての推奨は「使用者定義表 296 - 使用言語」として ISO 表 639 の使用である。

**使用者定義表 0296 - Primary Language 使用言語**

Value	Description	Comments
	no suggested values 推奨値なし	

**PID-16 Marital Status 結婚状態 (CE) 00119**

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドでは患者の結婚状態（民事）を示す。推奨値は「使用者定義表 0002—結婚状態」を参照のこと。

**使用者定義表 0002 - Marital Status 結婚状態**

Value	Description	Comments
A	Separated 別居	
D	Divorced 離婚	
M	Married 既婚	
S	Single 独身	
W	Widowed 未亡人	
C	Common law 法的	
G	Living together 同居・同棲	
P	Domestic partner 配偶者	
R	Registered domestic partner 登録された配偶者	
E	Legally Separated 法的な別居	
N	Annulled 取消	
I	Interlocutory 対話者	
B	Unmarried 未婚	
U	Unknown 不明	
O	Other その他	
T	Unreported 未報告	

**PID-17 Religion 宗教 (CE) 00120**

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドでは患者の宗教を示す。推奨値は「使用者定義表 0006-宗教」を参照のこと。

使用者定義表 0006 - Religion 宗教

Value	Description	Comments
AGN	Agnostic	
ATH	Atheist	
BAH	Baha'i	
BUD	Buddhist	
BMA	Buddhist: Mahayana	
BTH	Buddhist: Theravada	
BTA	Buddhist: Tantrayana	
BOT	Buddhist: Other	
CFR	Chinese Folk Religionist	
CHR	Christian	
ABC	Christian: American Baptist Church	
AMT	Christian: African Methodist Episcopal	
AME	Christian: African Methodist Episcopal Zion	
ANG	Christian: Anglican	
AOG	Christian: Assembly of God	
BAP	Christian: Baptist	
CAT	Christian: Roman Catholic	
CRR	Christian: Christian Reformed	
CHS	Christian: Christian Science	
CMA	Christian: Christian Missionary Alliance	
COC	Christian: Church of Christ	
COG	Christian: Church of God	
COI	Christian: Church of God in Christ	
COM	Christian: Community	
COL	Christian: Congregational	
EOT	Christian: Eastern Orthodox	
EVC	Christian: Evangelical Church	
EPI	Christian: Episcopalian	
FWB	Christian: Free Will Baptist	
FRQ	Christian: Friends	
GRE	Christian: Greek Orthodox	
JWN	Christian: Jehovah's Witness	
LUT	Christian: Lutheran	
LMS	Christian: Lutheran Missouri Synod	
MEN	Christian: Mennonite	
MET	Christian: Methodist	
MOM	Christian: Latter-day Saints	
NAZ	Christian: Church of the Nazarene	
ORT	Christian: Orthodox	
COT	Christian: Other	
PRC	Christian: Other Protestant	
PEN	Christian: Pentecostal	
COP	Christian: Other Pentecostal	
PRE	Christian: Presbyterian	
PRO	Christian: Protestant	
QUA	Christian: Friends	
REC	Christian: Reformed Church	
REO	Christian: Reorganized Church of Jesus Christ-LDS	
SAA	Christian: Salvation Army	
SEV	Christian: Seventh Day Adventist	
SOU	Christian: Southern Baptist	
UCC	Christian: United Church of Christ	
UMD	Christian: United Methodist	
UNI	Christian: Unitarian	
UNU	Christian: Unitarian Universalist	
WES	Christian: Wesleyan	
WMC	Christian: Wesleyan Methodist	
CNF	Confucian	
ERL	Ethnic Religionist	
HIN	Hindu	
HVA	Hindu: Vaishnavites	

Value	Description	Comments
HSH	Hindu: Shaivites	
HOT	Hindu: Other	
JAI	Jain	
JEW	Jewish	
JCO	Jewish: Conservative	
JOR	Jewish: Orthodox	
JOT	Jewish: Other	
JRC	Jewish: Reconstructionist	
JRF	Jewish: Reform	
JRN	Jewish: Renewal	
MOS	Muslim	
MSU	Muslim: Sunni	
MSH	Muslim: Shiite	
MOT	Muslim: Other	
NAM	Native American	
NRL	New Religionist	
NOE	Nonreligious	
OTH	Other	
SHN	Shintoist	
SIK	Sikh	
SPI	Spiritist	
VAR	Unknown	

**PID-18 Patient Account Number 患者会計口座番号 (CX) 00121**

成分 : <ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Assigning Authority (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD) <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドでは患者のすべての課金、支払等を記録し、計算するために割り付けられた会計口座番号を示す。患者の会計を識別するために使用される。推奨値は「HL7 表 0061 チェックデジット形式」を参照のこと。

**PID-19 SSN Number - Patient 社会保障番号(ST) 00122**

定義 : このフィールドは HL7 V2.3.1 から下位互換性のためにのみ残されている。

**PID-20 Driver's License Number - Patient 運転免許証番号 (DLN) 00123**

定義 : このフィールドは HL7 V2.3.1 から下位互換性のためにのみ残されている。

**PID-21 Mother's Identifier 母親の識別情報(CX) 00124**

成分 : <ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Assigning Authority (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、例えば、新生児用に関係を示すために用いられる。一般的には患者 ID あるいは会計口座番号を使用する。このフィールドは同じ母親を示す複数の識別情報を含むことができる。推奨値は「HL7 表 0061 チェックデジット形式」を参照のこと。

**PID-22 Ethnic Group 民族(CE) 00125**

成分 : <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは患者の先祖を定義する。推奨値については「使用者定義表 0189 民族」を参照のこと。民族データの後半 (alternate identifier, alternate text, and name of alternate coding system) は政府により割り当てられるコードである。アメリカでは一般に民族性の報告はスペイン系住民に対する米連邦政府の標準規約と同じである。

**使用者定義表 0189 - Ethnic Group 民族**

Value	Description	Comments
H	Hispanic or Latino	
N	Not Hispanic or Latino	
U	Unknown	

**PID-23 Birth Place 出生地(ST) 00126**

定義：このフィールドは患者の出生地を示す。例えば「St. Francis Community Hospital of Lower South Side」である。現住所は PID-11 に識別情報「N」で報告する。

**PID-24 Multiple Birth Indicator 多胎児識別情報 (ID) 00127**

定義：患者が多胎児の一人であったかどうかを示す。推奨値は「HL7 表 0136 Yes/No 標識」を参照のこと。

Y 多胎児の一人  
N 多胎児でない一人

**PID-25 Birth Order 誕生順序 (NM) 00128**

定義：患者が多胎出産だった時に、このフィールドには何番目に生まれたか (数字) を示す。

**PID-26 Citizenship 市民権情報 (CE) 00129**

成分 : <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは個人の市民権のある国に関する情報を示す。国の市民権については HL7 では ISO 表 3166 の使用を推奨する。もし、個別に定義をする場合は、「使用者定義表 0171-市民権」を使用しなければならない。

個人が複数の国で住民であった場合、このフィールドは繰り返す。CE データ型のコードシステム名は市民権や団体が書かれた表によって識別される。オランダでは、このフィールドは「国籍」を示す。

**使用者定義表 0171 - Citizenship 市民権**

Value	Description	Comments
	no suggested values 推奨値なし	

**PID-27 Veterans Military Status 退役軍人情報 (CE) 00130**

成分 : <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは退役軍人に割り当てられた軍人情報である。推奨値については「使用者定義表 0172-退役軍人情報」に示す。

**使用者定義表 0172 - Veterans Military Status 退役軍人情報**

Value	Description	Comments
	no suggested values 推奨値なし	

**PID-28 Nationality 国籍 (CE) 00739**

定義：V2.4以降から、このフィールドは下位互換性のためにのみ残されている。

**PID-29 Patient Death Date and Time 患者死亡日時 (TS) 00740**

成分：<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは患者が死亡した日時を示す。

**PID-30 Patient Death Indicator 患者死亡識別情報 (ID) 00741**

定義：このフィールドは患者が死亡しているのか否かを示す。推奨値は「HL7 表 0136 Yes/No 標識」を参照のこと。

Y 患者は死亡している

N 患者は死亡していない

**PID-31 Identity Unknown Indicator 識別情報の有無 (ID) 01535**

定義：このフィールドは患者／個人の識別情報がわかっているか否かを示す。推奨値は「HL7 表 0136 Yes/No 標識」を参照のこと。

Y 患者／個人の識別情報は未知である。

N 患者／個人の識別情報は既知である。

**PID-32 Identity Reliability Code 識別情報の信頼性 (IS) 01536**

定義：このフィールドは、トランザクションで送られた患者／個人識別情報の信頼性評価情報を伝えるために使用する。この値でPID セグメントの特定フィールドの患者／個人識別情報が誤り（例えば、初期値であるとか、システムで生成した生年月日、社会保障番号）であること示すことができる。推奨値については「使用者定義表 0445－識別情報の信頼性」を参照のこと。

**使用者定義表 0445 - Identity Reliability Code 識別情報の信頼性**

Value	Description	Comments
US	Unknown/Default Social Security Number 不明/社会保障番号 (初期値)	
UD	Unknown/Default Date of Birth 不明/誕生日 (初期値)	
UA	Unknown/Default Address 不明/住所 (初期値)	
AL	Patient/Person Name is an Alias 患者/個人名は別名	

**PID-33 Last update Date/Time 最終更新日時 (TS) 01537**

成分：<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドではPID セグメントに含まれる患者／個人の識別情報や患者基本情報の最終更新日時を示す。受信側システムではこのフィールドを用いて、どのようにそのトランザクションをそのシステムで扱うかを判断するために使用する。もし、受信側システム（例えばエンタープライズマスター患者インデックス）が、既により新しい個人の情報を持っていた場合、そのトランザクションからの患者／個人基本情報、識別情報を使用しないことと判断する。

**PID-34 Last Update Facility 最終更新施設 (HD) 01538**

成分：<Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドはPID セグメントに含まれる患者／個人の識別情報や患者基本情報の最終更新をした機関の識別情報を示す。受信側のシステムまたは使用者は、このフィールドにより該当トランザクションをそのシステムに適応するかを判断する。もし、受信側システム（例えば病院の患者管理システム）は既にその患者／個人の記録を持っている場合、信頼できる情報源からの情報のみ更新するかもしれない。病院は他の病院を信頼できる情報源と考えるかもしれない。しかし、急性期治療機関ではない医療機関からの更新は信じないかもしれない。

書式例は次のとおり。

...|Metro Hospital|...

**PID-35 Species Code 種コード (CE) 01539**

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^

<Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：生物の種。このフィールドはコーディングシステムを用いて一般名もしくは学術名を示す。

SNOMED を推奨する。もしこのフィールドの値が無い場合は人間が対象である。推奨値については「使用者定義表 0446-種コード」を参照のこと。

**使用者定義表 0446 - Species Code 種コード**

Value	Description	Comments
	no suggested values 推奨値なし	

条件付きルール：もしPID-36 品種コードまたはPID-38 製品分類コードが値を持つ時は、このフィールドも値を持つ必要がある。例：



...[L-80700^Canine,NOS^SNM3]...  
 ...[L-80100^Bovine^SNM3]...  
 ...[L-80A00^Feline^SNM3]...

**PID-36 Breed Code 品種コード (CE) 01540**

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^  
 <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：特定の動物の品種。このフィールドは種や血統と異なり動物に対して特有で、一般の生物には使うことができない。コーディングシステムはSNOMEDを推奨する。推奨値については「使用者定義表 0447-品種コード」を参照のこと。

**使用者定義表 0447 - Breed Code 品種コード**

Value	Description	Comments
	no suggested values	推奨値なし

条件付きルール：PID-37 血統情報が値を持つ時は、このフィールドは値を持たなくてはならない。  
 例（一部に「アメリカンカーネルクラブ」と用語定義されている動物の主および代替えコーディングシステムを示す。）：

...[L-80733^ Staffordshire bull terrier^SNM3^^American Staffordshire Terrier^99AKC]...  
 ...[L-80900^Weimaraner^SNM3]...  
 ...[L-80439^Peruvian Paso Horse^SNM3]...

**PID-37 Strain 血統情報 (ST) 01541**

定義：このフィールドは動物の血統情報を示す。このフィールドはどのような生物の血統情報にも、また動物以外にも拡張することができる。

例：

...[DeKalb]...  
 ...[Balb/c]...  
 ...[DXL]...

**PID-38 Production Class Code 製品分類コード (CE) 01542**

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^  
 <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドはその生物が主に飼育されたものか、成長したものを示すコードと／もしくはテキストである。推奨値については「使用者定義表 0429-製品分類コード」を参照のこと。

**使用者定義表 0429 - Production Class Code 製品分類コード**

Value	Description	Comments
BR	Breeding/genetic stock	
DA	Dairy	
DR	Draft	
DU	Dual Purpose	
LY	Layer, Includes Multiplier flocks	
MT	Meat	
OT	Other	
PL	Pleasure	
RA	Racing	
SH	Show	
NA	Not Applicable	
U	Unknown	

例：

...[DA^Dairy^L]...  
 ...[MT^Meat^L]...  
 ...[RA^Racing^L]...

**PID-39 Tribal Citizenship 所属部族 (CWE) 01840**

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^  
 <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^  
 <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドには個人の所属種族に関する情報が含まれる。合衆国における所属種族としては、HL7はインディアン事務局(BIA)種族識別リストによることを推奨する。もし個別に定義する場合は、「使用者定義表 0171-市民権」を使わなければならない。

個人が複数の種族に属したことがある場合、このフィールドは繰り返す。CWE データ型のコードシステム名は種族が書かれた表によって識別される。



## 7.11. PV1 - Patient Visit Segment 来院情報セグメント

PV1 セグメントは登録/患者管理アプリケーションで会計や来院に基づく情報を交換するために用いられる。基本は会計レベルのデータを送る目的である。来院情報レベルのデータを扱う時には、PV1-51 来院標識の値が「V」である必要がある。PV1-51 の値が、PV1,PV2 その他 PV1 と階層関係にある (例 ROL,DG1 または OBX) で送られるデータへ影響する。

各患者の所在情報における 4 番目のオプション成分である医療機関 ID は HD 型データであり、その医療機関に対して一意的に関連つけられており、また所在地情報を含んでいる。ID を与えられた機関、相互連絡機関は患者所在となる可能性のある医療機関のリストを作成しなければならない。そのリストはその医療機関の最も重要なマスターリストのひとつとなる。(患者所在を付与した機関とは別の) 第三者機関は患者所在を含む HL7 メッセージを送信あるいは受信するかもしれないので、所在地に含まれる医療機関 ID は MSH で示される送信システムや受信システムと同じであってはならない。医療機関 ID は、その地域では唯一である必要がある。このフィールドは HL7 の導入に際して複数の医療機関でベッドの配置などを含めて検討される必要がある。というのも、「病棟」「病室」「ベッド」は異なる医療機関でも同じ組み合わせとなることがあるからである。

HL7 属性表 - PV1 - Patient Visit 来院情報

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O			Set ID - PV1 セットID- PV1
2	1	IS	R	R		0004	Patient Class 患者区分
3	80	PL	O	O			Assigned Patient Location 患者に割り当てられた場所
4	2	IS	O	O		0007	Admission Type 入院区分
5	250	CX	O	O			Preadmit Number 事前登録番号
6	80	PL	O	O			Prior Patient Location 患者の以前の所在
7	250	XCN	O	O	Y	0010	Attending Doctor 担当医
8	250	XCN	O	O	Y	0010	Referring Doctor 紹介医
9	250	XCN	B	B	Y	0010	Consulting Doctor 診察医
10	3	IS	O	O		0069	Hospital Service 診療部門
11	80	PL	O	O			Temporary Location 一時的な所在
12	2	IS	O	O		0087	Preadmit Test Indicator 入院前検査標識
13	2	IS	O	O		0092	Re-admission Indicator 再入院標識
14	6	IS	O	O		0023	Admit Source 紹介元
15	2	IS	O	O	Y	0009	Ambulatory Status 救護区分
16	2	IS	O	O		0099	VIP Indicator VIP標識
17	250	XCN	O	O	Y	0010	Admitting Doctor 主治医
18	2	IS	O	O		0018	Patient Type 患者種別
19	250	CX	O	O			Visit Number 来院番号
20	50	FC	O	O	Y	0064	Financial Class 保険クラス
21	2	IS	O	O		0032	Charge Price Indicator 費用識別標識
22	2	IS	O	O		0045	Courtesy Code 優待コード
23	2	IS	O	O		0046	Credit Rating 信用等級
24	2	IS	O	O	Y	0044	Contract Code 契約クラス
25	8	DT	O	O	Y		Contract Effective Date 契約発効日
26	12	NM	O	O	Y		Contract Amount 契約金額
27	3	NM	O	O	Y		Contract Period 契約期間
28	2	IS	O	O		0073	Interest Code 利息クラス
29	4	IS	O	O		0110	Transfer to Bad Debt Code 不良負債転換コード
30	8	DT	O	O			Transfer to Bad Debt Date 不良負債転換日
31	10	IS	O	O		0021	Bad Debt Agency Code 不良負債代理店コード
32	12	NM	O	O			Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額
33	12	NM	O	O			Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額
34	1	IS	O	O		0111	Delete Account Indicator 会計情報削除種別
35	8	DT	O	O			Delete Account Date 会計情報削除日
36	3	IS	O	O		0112	Discharge Disposition 退院区分
37	47	DLD	O	O		0113	Discharged to Location 退院先
38	250	CE	O	O		0114	Diet Type 食事種別
39	2	IS	O	O		0115	Servicing Facility 担当施設
40	1	IS	B	B		0116	Bed Status ベッド状態
41	2	IS	O	O		0117	Account Status 会計状態

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
42	80	PL	O	O			Pending Location ベッド等の確保標識
43	80	PL	O	O			Prior Temporary Location 直前の一時的な所在
44	26	TS	O	O			Admit Date/Time 入院日時
45	26	TS	O	O	Y		Discharge Date/Time 退院日時
46	12	NM	O	O			Current Patient Balance 未納額
47	12	NM	O	O			Total Charges 総費用
48	12	NM	O	O			Total Adjustments 総調整額
49	12	NM	O	O			Total Payments 合計支払額
50	250	CX	O	O		0203	Alternate Visit ID 代替来院番号
51	1	IS	O	O		0326	Visit Indicator 来院標識
52	250	XCN	B	B	Y	0010	Other Healthcare Provider 他の医療提供者

## PV1 フィールド定義

### PV1-1 Set ID - PV1 セット ID - PV1 (SI) 00131

定義：このフィールドはこのトランザクションにおける番号を示す。そのセグメントが最初に現れた時は、このシーケンス番号は1でなければならない。2回目の時は2、といった具合である。

### PV1-2 Patient Class 患者区分 (IS) 00132

定義：このフィールドはその施設における患者の分類を行うためシステムで使用される。業界における一致した定義は存在しない。推奨値は「使用者定義表 0004－患者区分」を参照のこと。

使用者定義表 0004 – Patient Class 患者区分

Value	Description	Comments
E	Emergency 救急	
I	Inpatient 入院患者	
O	Outpatient 外来患者	
P	Preadmit 事前登録	
R	Recurring patient 通院患者	
B	Obstetrics 産科来院	
C	Commercial Account 商用アカウント	
N	Not Applicable 適応無し	
U	Unknown 不明	

「商用アカウント」は第三者に検査費用を請求する時、検体の分析料のために外部検査機関で使用される。検体の登録により費用請求が発生する。患者の識別情報は判っている場合と判らない場合がある。両方の場合でも課金と統計の目的で、患者区分を第三者に対する費用責任のため商用アカウントとして扱う。

「適応無し」はPV1 セグメント自体が適応されないが、下位互換のためメッセージ定義上残されている時にのみ使用する。(例えば、マネージドケアシステムがA28,A29またはA31メッセージを患者の入会を示すためにシステムに送ったが、入院、来院の予定がない場合、PV1 セグメントは適応されない。)

### PV1-3 Assigned Patient Location 患者に割り当てられた場所 (PL) 00133

成分：<Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分 for Facility (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Comprehensive Location Identifier (EI) : <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Authority for Location (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、患者が最初に割り当てられた場所、または患者が移動予定の場所を示す。最初の成分は入院患者の所在として、ナースステーションとなることがある。入院患者以外の場合、診療所や診察部門の場合もある。トランザクションの中止、または患者が退院する場合は(中止後または退院イベント前の) その時の所在をこのフィールドで示さなければならない。第5成分(location status)の値が存在する場合、PV1-40 ベッド状態の代わりとなる。

【共通編】例えば、患者所在場所のデータ型はPL型なので、

- 入院の場合 <病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^N
- 外来の場合 <診療科コード>^<>^^^C

などと設定する。PL-6 Person Location Type には、C：診療室、D：部門、N：病棟を設定する（「使用者定義表 0305－所在場所タイプ」参照）。

なお、診療科は入院・外来共に PV1-10 や ORC-17 に表現する。ORC-17 は入力者の所属を示すが、医師が入力するオーダ情報では診療科と扱うことにした。

例：A nursing unit at Community Hospital: 4 East, room 136, bed B  
4E^136^B^CommunityHospital^^N

例：A clinic at University Hospitals: Internal Medicine Clinic located in the Briones building, 3rd floor.  
InternalMedicine^^UniversityHospitals^^C^Briones^3^

#### PV1-4 Admission Type 入院区分 (IS) 00134

定義：このフィールドは、患者が入院する／した時の事情を示す。推奨値については「使用者定義表 0007－入院区分」を参照のこと。アメリカでは UB92 FL 19 の「Type of Admission」をこのフィールドで報告することが推奨されている。

使用者定義表 0007 – Admission Type 入院区分

Value	Description	Comments
A	Accident 事故	
E	Emergency 救急	US UB92 code "1"
L	Labor and Delivery 陣痛と出産	
R	Routine 通常	
N	Newborn (Birth in healthcare facility) 新生児 (院内で誕生)	US UB92 code "4"
U	Urgent 緊急	US UB92 code "2"
C	Elective 選択	US UB92 code "3"

#### PV1-5 Preadmit Number 事前登録番号 (CX) 00135

成分：<ID Number (ST)> ^ <check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Assigning Authority (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは患者の入院前会計情報を一意的に識別する。幾つかのシステムでは事前入院番号を、そのまま患者入院後の会計口座番号として継続使用する。下位互換性のため、ST 型で送ることもあり得るが、しかしながら HL7 では新しい導入においては会計口座番号と同じ CX 型とすることを推奨している。登録機関や識別区分コードは CX 型とすることを強く推奨する。

#### PV1-6 Prior Patient Location 患者の以前の所在 (PL) 00136

成分：<Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分 for Facility (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Comprehensive Location Identifier (EI) : <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Authority for Location (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドでは患者が移送された時に直前の所在を示す。患者が入院した直後は前の場所は null となる。第 5 成分(location status)に値がある場合は、PV1-40 ベッド状態の代わりとなる。

**PV1-7 Attending Doctor 担当医 (XCN) 00137**

成分 : <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN) : <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE) : <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for Name Validity Range (DR) : <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドでは担当医情報を示す。同じ医師に対して氏名と識別情報を複数送ることができる。このフィールドの繰り返しは複数の担当医を示すことには使われない。最初に法的な名前を送らなければならない。法的な名前が送られない時は、反復デリミタを最初に送らなければならない。導入施設の合意により、ID も氏名も空欄とすることがある。推奨値については「使用者定義表 0010 – 医師 ID」を参照のこと。

**使用者定義表 0010 – Physician ID 医師 ID**

Value	Description	Comments
	No suggested values	推奨値なし

**PV1-8 Referring Doctor 紹介医 (XCN) 00138**

成分 : <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN) : <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for Name Validity Range (DR) : <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>  
 副成分 for Range End Date/Time (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>  
 副成分 for Effective Date (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>  
 副成分 for Expiration Date (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>  
 副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>  
 副成分 for Assigning Agency or Department (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>  
 定義：このフィールドでは紹介医師の情報を示す。同じ医師に対して氏名と識別情報を複数送ることができる。このフィールドの繰り返しは複数の紹介医を示すことには使われない。最初に法的な名前を送らなければならない。法的な名前が送られない時は、反復デリミタを最初に送らなければならない。導入施設の合意により、ID も氏名も空欄とすることがある。推奨値については「使用者定義表 0010－医師 ID」を参照のこと。

**PV1-9 Consulting Doctor 診察医 (XCN) 00139**

成分 : <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>  
 副成分 for Family Name (FN) : <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>  
 副成分 for Assigning Authority (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>  
 副成分 for Assigning Facility (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>  
 副成分 for Name Context (CE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>  
 副成分 for Name Validity Range (DR) : <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>  
 副成分 for Range Start Date/Time (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>  
 副成分 for Range End Date/Time (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>  
 副成分 for Effective Date (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>  
 副成分 for Expiration Date (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>  
 副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>  
 副成分 for Assigning Agency or Department (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>  
 定義：このフィールドは下位互換性のために残されている。

**PV1-10 Hospital Service 診療部門 (IS) 00140**

定義：このフィールドは患者が受ける治療、または手術の種類を示す。このフィールドは A01（入院／来院）、A02（転科転棟・外部からの移送）、A14（入院待ち）、A15（転科転棟・外部からの移送待ち）で使用される。推奨値については「使用者定義表 0069 診療部門」を参照のこと。

**使用者定義表 0069 – Hospital Service 診療部門**

Value	Description	Comments
MED	Medical Service 内科	
SUR	Surgical Service 外科	

Value	Description	Comments
URO	Urology Service 泌尿器科	
PUL	Pulmonary Service 呼吸器科	
CAR	Cardiac Service 循環器科	

#### PV1-11 Temporary Location 一時的な所在 (PL) 00141

成分 : <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>  
副成分 for Facility (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>  
副成分 for Comprehensive Location Identifier (EI) : <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>  
副成分 for Assigning Authority for Location (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>  
定義 : このフィールドは割り当てられた場所と別な一時的な所在を示す。(例 : 手術部他) もし第5成分(location status)に値が存在する場合は、この値が PV1-40 ベッド状態に代わる。

#### PV1-12 Preadmit Test Indicator 入院前検査標識 (IS) 00142

定義 : このフィールドは入院のための入院前検査が終わっている必要があるか否かを示す。推奨値については「使用者定義表 0087 入院前検査標識」を参照のこと。

使用者定義表 0087 - Pre-Admit Test Indicator 入院前検査標識

Value	Description	Comments
	no suggested values 推奨値なし	

#### PV1-13 Re-Admission Indicator 再入院標識 (IS) 00143

定義 : このフィールドは患者がその医療機関に再入院で以前の状況が判るか否かを示す。再入院の時は「R」、そうではない時は null を推奨する。推奨値は「使用者定義表 0092 再入院標識」を参照のこと。

使用者定義表 0092 - Re-Admission Indicator 再入院標識

Value	Description	Comments
R	Re-admission 再入院	

#### PV1-14 Admit Source 紹介元 (IS) 00144

定義 : このフィールドはその患者がどこに入院していたかを示す。推奨値は「使用者定義表 0023 紹介元」を参照のこと。アメリカでは、このフィールドは UB92 FL20 「Source of Admission」で使用する。例として揚げた UB コードのリストはすべてではなく、また最新でもない。UB の仕様については以下の備考欄を参照のこと。備考 : UB の正式名称は「National Uniform Billing Data Element Specifications」です。殆どのコードは UB-92 に由来するが、幾つかは UB-82 に由来している。

使用者定義表 0023 - Admit Source 紹介元

Value	Description	Comments
1	Physician referral 医師による紹介	
2	Clinic referral クリニックによる紹介	
3	HMO referral HMO による紹介	
4	Transfer from a hospital 病院からの移送	
5	Transfer from a skilled nursing facility 専門看護施設からの移送	
6	Transfer from another health care facility その他の医療機関からの移送	
7	Emergency room 救急処置室	
8	Court/law enforcement 裁判所/法律による強制	
9	Information not available 不明	

#### PV1-15 Ambulatory Status 救護区分 (IS) 00145

定義 : このフィールドは恒久的、または一時的な障害状況を示す。推奨値については「使用者定義表 0009 - 救護区分」を参照のこと。

使用者定義表 0009 - Ambulatory Status 救護区分

Value	Description	Comments
A0	No functional limitations 制限なし	
A1	Ambulates with assistive device 補助具による歩行可能	
A2	Wheelchair/stretchers bound 車椅子/ストレッチャー必要	
A3	Comatose; non-responsive 昏睡状態、意識不明	
A4	Disoriented 認知症状態	



Value	Description	Comments
A5	Vision impaired 視覚障害	
A6	Hearing impaired 聴覚障害	
A7	Speech impaired 言語障害	
A8	Non-English speaking 英語が通じない	
A9	Functional level unknown 障害レベル不明	
B1	Oxygen therapy 酸素治療	
B2	Special equipment (tubes, IVs, catheters) 特殊器具 (チューブ、点滴、カテーテル)	
B3	Amputee 四肢欠損	
B4	Mastectomy 乳房切除	
B5	Paraplegic 対麻痺患者	
B6	Pregnant 妊娠中	

#### PV1-16 VIP Indicator VIP 標識 (IS) 00146

定義：このフィールドではVIPの種類を定義する。推奨値については「使用者定義表 0099－VIP 標識」を参照のこと。

##### 使用者定義表 0099－VIP Indicator VIP 標識

Value	Description	Comments
	No suggested values 推奨値なし	

#### PV1-17 Admitting Doctor 主治医(XCN) 00147

成分：<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN) : <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for Name Validity Range (DR) : <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドでは入院時の医師情報を示す。同じ医師に対して氏名と識別情報を複数送ることができる。このフィールドの繰り返しは複数の主治医を示すことには使われない。最初に法的な名前を送らなければならない。法的な名前が送られない時は、反復デリミタを最初に送らなければならない。導入施設の合意により、IDも氏名も空欄とすることがある。推奨値については「使用者定義表 0010 医師 ID」を参照のこと。

#### PV1-18 Patient Type 患者種別 (IS) 00148

定義：このフィールドは施設固有の患者の種類の識別情報を示す。推奨値については「使用者定義表 0018 患者種別」を参照のこと。

使用者定義表 0018 – Patient Type 患者種別

Value	Description	Comments
	No suggested values 推奨値なし	

**PV1-19 Visit Number 来院番号 (CX) 00149**

成分 : <ID Number (ST)> ^ <heck Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Assigning Authority (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義 : 下位互換性のため、データ型はNM型で送られるべきであるが、HL7では新しい導入においてはCX型で送ることを推奨する。このフィールドでは個々の患者の来院に対する一意的な番号を示す。発行機関、識別区分コードはすべてCX型とすることを強く推奨する。

**PV1-20 Financial Class 保険クラス (FC) 00150**

成分 : <Financial Class Code (IS)> ^ <Effective Date (TS)>

副成分 for Effective Date (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

定義 : このフィールドでは返済元を識別するため患者に指定された保険クラスを示す。推奨値は「使用者定義表 0064 保険クラス」を参照のこと。

使用者定義表 0064 – Financial Class 保険クラス

Value	Description	Comments
	No suggested values 推奨値なし	

**PV1-21 Charge Price Indicator 費用識別標識 (IS) 00151**

定義 : このフィールドは病室やベッド使用料に対してどの価格表を適応するかを決定するためのコードを示す。推奨値は「使用者定義表 0032 費用識別標識」を参照のこと。

使用者定義表 0032 – Charge/Price Indicator 費用識別標識

Value	Description	Comments
	No suggested values 推奨値なし	

**PV1-22 Courtesy Code 優待コード (IS) 00152**

定義 : このフィールドでは、特定の優待を受けるかどうかの識別情報を示している。推奨値については「使用者定義表 0045 優待コード」を参照のこと。

使用者定義表 0045 – Courtesy Code 優待コード

Value	Description	Comments
	No suggested values 推奨値なし	

**PV1-23 Credit Rating 信用等級 (IS) 00153**

定義 : このフィールドでは過去の信用に関する経験からの判断を使用者定義コードで示す。推奨値については「使用者定義表 0046 信用等級」を参照のこと。

使用者定義表 0046 – Credit Rating 信用等級

Value	Description	Comments
	No suggested values 推奨値なし	

**PV1-24 Contract Code 契約クラス (IS) 00154**

定義 : このフィールドでは、費用の支払に関する医療機関と保証人との間で結ばれる契約の種類を示す。推奨値は「使用者定義表 0044 契約クラス」を参照のこと。

**使用者定義表 0044 – Contract Code 契約クラス**

Value	Description	Comments
	No suggested values 推奨値なし	

**PV1-25 Contract Effective Date 契約発効日 (DT) 00155**

定義：このフィールドでは、その契約が開始する、または開始した日を示す。

**PV1-26 Contract Amount 契約金額 (NM) 00156**

定義：このフィールドでは保証人が契約の各機関に支払う費用の総額を示す。

**PV1-27 Contract Period 契約期間 (NM) 00157**

定義：このフィールドでは使用者が定義する期間で、その契約期間を示す。

**PV1-28 Interest Code 利息クラス (IS) 00158**

定義：このフィールドは未払い費用に対して保証人が支払う利息の総額を示す。推奨値については「使用者定義表 0073 利息クラス」を参照のこと。

**使用者定義表 0073 – Interest Rate Code 利息クラス**

Value	Description	Comments
	No suggested values 推奨値なし	

**PV1-29 Transfer to Bad Debt Code 不良負債転換コード (IS) 00159**

定義：このフィールドは費用が不良負債となったことと、その理由を示す。推奨値については「使用者定義表 0110 不良負債転換コード」を参照のこと。

**使用者定義表 0110 – Transfer to Bad Debt Code 不良負債転換コード**

Value	Description	Comments
	No suggested values 推奨値なし	

**PV1-30 Transfer to Bad Debt Date 不良負債転換日 (DT) 00160**

定義：このフィールドでは費用が不良負債となった日を示す。

**PV1-31 Bad Debt Agency Code 不良負債代理店コード (IS) 00161**

定義：このフィールドでは下位互換性のために ST 型を使用する。このフィールドでは費用が転換された不良負債代理店の一意の識別情報を示す。このコードは施設等で定義される。「使用者定義表 0021 不良負債代理店コード」を編集して利用できるが、しかしながら必須ではない。

**使用者定義表 0021 – Bad Debt Agency Code 不良負債代理店コード**

Value	Description	Comments
	No suggested values 推奨値なし	

**PV1-32 Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額 (NM) 00162**

定義：このフィールドでは不良負債として転換された総額を示す。

**PV1-33 Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額 (NM) 00163**

定義：このフィールドでは保証人から回収できた費用の総額を示す。

**PV1-34 Delete Account Indicator 会計情報削除種別 (IS) 00164**

定義：このフィールドでは会計情報が削除されたことと、その理由を示す。推奨値は「使用者定義表 0111 会計情報削除種別」を参照のこと。

**使用者定義表 0111 – Delete Account Code 会計情報削除種別**

Value	Description	Comments
	No suggested values 推奨値なし	

**PV1-35 Delete Account Date 会計情報削除日 (DT) 00165**

定義：このフィールドでは会計情報が削除された日付を示す。

**PV1-36 Discharge Disposition 退院区分 (IS) 00166**

定義：このフィールドでは退院時の患者の転出先を示す（例：退院して自宅へ、死亡、他）。推奨値については「使用者定義表 0112 退院区分」を参照のこと。アメリカでは、このフィールドは UB92 FL22 で使用する。例として掲げた UB コードのリストはすべてではなく、また最新でもない。UB の仕様については PV1-14 の備考欄を参照のこと。

**使用者定義表 0112 – Discharge Disposition 退院区分**

Value	Description	Comments
01	Discharged to home or self care (routine discharge) 自宅または自己介護施設へ退院（通常退院）	

Value	Description	Comments
02	Discharged/transferred to another short term general hospital for inpatient care 短期間の入院管理のため他病院へ退院/移送	
03	Discharged/transferred to skilled nursing facility (SNF) 熟練看護施設(SNF)へ退院/移送	
04	Discharged/transferred to an intermediate care facility (ICF) 中間的な診療施設へ退院/移送	
05	Discharged/transferred to another type of institution for inpatient care or referred for outpatient services to another institution 異なる種類の入院診療施設へ退院/移送、または他の外来通院施設への紹介	
06	Discharged/transferred to home under care of organized home health service organization 退院/移送して在宅看護組織へのもとに在宅管理	
07	Left against medical advice or discontinued care 医療的なアドバイスを無視して離院、もしくは治療の継続中止	
08	Discharged/transferred to home under care of Home IV provider 退院/移送して在宅静脈注射供給者のもとで在宅管理	
09	Admitted as an inpatient to this hospital この病院に入院	
10 ... 19	Discharge to be defined at state level, if necessary 退院可能と定義された状態 (必要時)	
20	Expired (i.e. dead) 終了 (死亡)	
21 ... 29	Expired to be defined at state level, if necessary 死亡と定義された状態 (必要時)	
30	Still patient or expected to return for outpatient services (i.e. still a patient) 患者状態の継続か、外来通院が必要な患者 (患者状態の継続)	
31 ... 39	Still patient to be defined at state level, if necessary (i.e. still a patient) 患者状態の継続と定義された状態 (必要時、患者状態の継続)	
40	Expired (i.e. died) at home 自宅にて終了 (死亡)	
41	Expired (i.e. died) in a medical facility; e.g., hospital, SNF, ICF, or free standing hospice 医療機関 (例えば病院、SNF、ICF、ホスピス) で終了 (死亡)	
42	Expired (i.e. died) - place unknown 終了 (死亡) -場所不明	

#### PV1-37 Discharged to Location 退院先 (DLD) 00167

成分 : <Discharge Location (IS)> ^ <Effective Date (TS)>

副成分 for Effective Date (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

定義 : このフィールドでは退院後に患者が収容される医療機関を示す。推奨値については「使用者定義表 0113 退院先」を参照のこと。

##### 使用者定義表 0113 – Discharged to Location 退院先

Value	Description	Comments
	No suggested values 推奨値なし	

#### PV1-38 Diet Type 食事種別 (CE) 00168

成分 : <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義 : このフィールドは患者に対する特別な食事の種別を示す。推奨値については「使用者定義表 0114 食事種別」を参照のこと。

##### 使用者定義表 0114 – Diet Type 食事種別

Value	Description	Comments
	No suggested values 推奨値なし	

#### PV1-39 Servicing Facility 担当施設 (IS) 00169

定義 : このフィールドは複数の施設を持つ環境において、今回の訪問がどの医療施設と関係しているかを示している。推奨値については「使用者定義表 0115 担当施設」を参照のこと。

##### 使用者定義表 0115 – Servicing Facility 担当施設

Value	Description	Comments
	No suggested values 推奨値なし	

この場所の代わりに、6番目のオプション成分、機関ID、がPV1に含まれる個々の場所について値を持つかも知れない。

#### PV1-40 Bed Status ベッド状態 (IS) 00170

定義 : このフィールドは下位互換性のためにのみ残されている。

#### PV1-41 Account Status 会計状態 (IS) 00171

定義 : このフィールドは会計状態を示す。推奨値は「使用者定義表 0117 会計状態」を参照のこと。

使用者定義表 0117 – Account Status 会計状態

Value	Description	Comments
	No suggested values 推奨値なし	

**PV1-42 Pending Location ベッド等の確保標識 (PL) 00172**

成分 : <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>  
 副成分 for Facility (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>  
 副成分 for Comprehensive Location Identifier (EI) : <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>  
 副成分 for Assigning Authority for Location (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>  
 定義 : このフィールドでは患者が移動予定の病棟、病室、ベッド、医療機関IDとベッド状況を示す。最初の成分は患者の所在地としてナースステーションを示すかもしれない。また、入院患者でなければクリニック、診療部門、自宅かもしれない。もし第5成分(location status)に値が存在する場合は、PV1-40 ベッド状態に優先する。

**PV1-43 Prior Temporary Location 直前の一時的所在 (PL) 00173**

成分 : <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>  
 副成分 for Facility (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>  
 副成分 for Comprehensive Location Identifier (EI) : <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>  
 副成分 for Assigning Authority for Location (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>  
 定義 : このフィールドは(手術部または放射線部門のような)患者の一時的な場所を示す時に使用される。それは指定された場所へ移動する前の一時的な場所、別の一時的な場所へ移送する前の一時的な場所でもある。入院患者の場合、最初の成分はナースステーションであるかもしれないし、入院外患者の場合はクリニック、診療部門、自宅のこともある。

**PV1-44 Admit Date/Time 入院日時 (TS) 00174**

成分 : <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>  
 定義 : このフィールドは入院日時を示す。例えば事後更新の場合などにはイベントの日時は実際の入院日時と異なる場合がある。このフィールドは入院外患者、救急患者の登録日時を反映する。

**PV1-45 Discharge Date/Time 退院日時 (TS) 00175**

成分 : <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>  
 定義 : このフィールドは退院日時を示す。例えば事後更新の場合などにはイベントの日時は実際の退院日時と異なることがある。このフィールドは入院外患者、救急患者の退院日時を反映する。

**PV1-46 Current Patient Balance 未納額 (NM) 00176**

定義 : このフィールドは来院費用の未納額を示す。

**PV1-47 Total Charges 総費用 (NM) 00177**

定義 : このフィールドは来院費用の総額を示す。

**PV1-48 Total Adjustments 総調整額 (NM) 00178**

定義 : このフィールドは来院時の総調整額を示す。

**PV1-49 Total Payments 合計支払額 (NM) 00179**

定義 : このフィールドは来院時の合計支払額を示す。

**PV1-50 Alternate Visit ID 代替来院番号 (CX) 00180**

成分 : <ID Number (ST)> ^ <check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>  
 副成分 for Assigning Authority (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>  
 副成分 for Assigning Facility (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドでは、必要な時に使用される代替え、一時的、もしくは保留中のオプションの来院番号を示す。推奨値については「HL7表0061－チェックデジット形式」、「HL7表0203－ID型」を参照のこと。発行機関と識別種別はCX型とすることを強く推奨する。

#### PV1-51 Visit Indicator 来院標識 (IS) 01226

定義：このフィールドでは送られたデータのレベルを指定する。データを送る際に、この標識は2つのレベル、すなわち来院と会計を持つ。HL7ではそのメッセージが会計のレベルの場合は、「A」か、値を送らないことを推奨する。また、「V」の場合は来院レベルであることを示す。推奨値については「使用者定義表 0326 来院標識」を参照のこと。この成分の値は、PV1, PV2内のコンテキストデータ、ならびに階層的に関連するセグメント（例：DB1, AL1, DG1 他）に影響する。

使用者定義表 0326－ Visit Indicator 来院標識

Value	Description	Comments
A	Account level (default)	
V	Visit level	

#### PV1-52 Other Healthcare Provider 他の医療提供者 (XCN) 01274

成分 : <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN) : <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD) : <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for Name Validity Range (DR) : <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS) : <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは下位互換性のためにのみ残されている。

## 7.12. QAK - Query Acknowledgment Segment 照会認知セグメント

QAK セグメントは、照会に対する応答で送られた情報を含んでいる。QAK セグメントは拡張照会（HL7 V2.5.5.10.4 節）に対する応答では必須であるが、任意のオリジナルモードの照会に対する、任意の照会応答（メッセージ）中の ERR セグメント（オプション）の後に置かれるオプションのセグメントとして現れても良い。

HL7属性表—QAK—Query Acknowledgment 照会応答

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	32	ST	C	C			Query Tag 照会タグ
2	2	ID	O	O		0208	Query Response Status 照会応答状態
3	250	CE	O	O		0471	Message Query Name メッセージ照会名
4	10	NM	O	O			Hit Count Total 合致データトータル数
5	10	NM	O	O			This Payload この応答中の合致データ数
6	10	NM	O	O			Hits Remaining 残りの合致データ数

### QAK フィールドの定義

#### QAK-1 Query Tag 照会タグ (ST) 00696

定義：このフィールドは開始システムによって照会を識別するために値が入れられ、開始された照会に回答メッセージを一致させるために使用されてもよい。もしそこに値が入っていれば、応答システムはそれを照会認知セグメント(QAK)の中の第1フィールドとしてエコーバックするように要求される。このフィールドは、MSA-2-メッセージ制御IDとは異なる。その値は、照会に関係した個々のメッセージ（すなわちすべての継続メッセージ）に対して一定である。一方、MSA-2-メッセージ制御IDは各継続メッセージに応じて変わる。なぜなら、それは個々のメッセージに関連し全体としての照会に関連していないからである。オリジナルモード照会の QRD-1-照会ID フィールドの存在次第であり条件付ではない：オリジナルモード照会においては、QAK-1-照会タグは使用しない。

#### QAK-2 Query Response Status 照会応答状態 (ID) 00708

定義：このフィールドによって、応答システムは正確な応答状態を返すことができる。それは、照会パラメータと一致するデータが見つからないが、エラーが無い場合に特に有用である。それは「HL7 表 0208 - 照会応答状態」で定義される。

HL7表0208— Query Response Status 照会応答状態

Value	Description	Comments
OK	Data found. No errors(this is the default) データが見つかった、エラー無し（これはデフォルトである）	
NF	No data found. No errors データが見つからなかった、エラー無し	
AE	Application error アプリケーションエラー	
AR	Application reject アプリケーション拒絶	

#### QAK-3 Message Query Name メッセージ照会名 (CE) 01375

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは照会名を含む。これらの名前は、本規約及び各個別編にて割り当てられている。施設固有のイベントの場合、照会名は“Z”で始まる。推奨値については、「使用者定義表 0471-照会名」を参照のこと。

#### QAK-4 Hit Count Total 合致データトータル数 (NM) 01434

定義：このフィールドが用いられる場合、このフィールドはサーバが検出した照会に対する合致データのトータル数を含む。表形式の応答では、これは検出した行の数に相当する。その他の応答タイプでは、適合宣言書で「合致」の意味を定義する。

#### QAK-5 This Payload この応答中の合致データ数 (NM) 01622

定義：このフィールドが用いられる場合、このフィールドはサーバが現在の応答の中で送る合致データのトータル数を含む。継続プロトコルが応答伝達に用いられる場合、この数はQAK-4-合致データトータル数で送られる値とは一致しない。

**QAK-6 Hits Remaining 残りの合致データ数 (NM) 01623**

定義： このフィールドが用いられる場合、このフィールドはサーバがまだ送っていない合致データの数を含む。このフィールドは、サーバが応答を伝達するのに継続プロトコルを用いる場合にのみ意味がある。



## 7.13. RCP - Response Control Parameter Segment 応答制御パラメータセグメント

RCP セグメントは、照会に対する応答で返送されるべきデータの量を制限するために使われる。

HL7属性表 - RCP - Response Control Parameter 応答制御パラメータ

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	1	ID	O	O		0091	Query Priority 照会優先度
2	10	CQ	O	O		0126	Quantity Limited Request 数量制限要求
3	250	CE	O	O		0394	Response Modality 応答様式
4	26	TS	C	C			Execution and Delivery Time 実行及び配送時間
5	1	ID	O	O		0395	Modify Indicator 変更識別子
6	512	SRT	O	O	Y		Sort-by Field ソート・フィールド
7	256	ID		O	Y		Segment Group Inclusion セグメント・グループ包含

### RCP フィールド定義

#### RCP-1 Query Priority 照会優先度 (ID) 00027

定義：このフィールドは応答が期待されるタイムフレームが含まれる。推奨値については、「HL7表0091－照会優先度」を参照のこと。表値とその後のフィールドは、応答のためのタイムフレームを指定する。

HL7表 0091 – Query Priority 照会優先度

Value	Description	Comments
D	Deferred 遅延	
I	Immediate 即時	

#### RCP-2 Quantity Limited Request 数量制限要求 (CQ) 00031

成分： <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CE)： <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、要求システムにより受け入れられる応答の最大長が含まれる。有効な入力値は、第2成分で指定された単位で与えられる数値（第1成分にて）である。デフォルトはLI（行）。

第2成分の推奨値については「HL7表0126－数量制限要求」を参照のこと。セグメントパターン応答では、行は1つのセグメントと定義される。

HL7表 0126 – Quantity Limited Request 数量制限要求

Value	Description	Message Usage	Comments
CH	Characters 文字数	RSP/RTB/RDY	入力バッファのサイズに制限がある場合に使用される
LI	Lines 行数	RTB/RDY	
PG	Pages ページ数	RDY	RSPにおいてはレコード数=ヒット数
RD	Records レコード数	RSP/RTB/RDY	
ZO	Locally defined ローカル定義		

#### RCP-3 Response Modality 応答様式 (CE) 01440

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、応答メッセージのタイミングとグルーピングを指定する。推奨値については、「HL7表0394－応答様式」を参照のこと。

HL7表 0394 – Response Modality 応答様式

Value	Description	Comments
R	Real Time リアルタイム	
T	Bolus (a series of responses sent at the same time without use of batch formatting) ボラス (バッチ形式を使用せずに同時に送信される一連の応答)	
B	Batch バッチ	

#### RCP-4 Execution and Delivery Time 実行及び配送時間 (TS) 01441

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：応答の返送される時間を指定する。このフィールドは、RCP-1 照会優先度が D（遅延）の値の時に限り、値が入られる。

**RCP-5 Modify Indicator 変更識別子 (ID) 01443**

定義：このフィールドは、サブスクリプションが新しいものか、あるいは変更しようとしているのかを指定する。推奨値については、「HL7 表 0395－変更識別子」を参照のこと。

**HL7表 0395 – Modify Indicator 変更識別子**

Value	Description	Comments
N	New Subscription 新しいサブスクリプション	
M	Modified Subscription 変更されたサブスクリプション	

**RCP-6 Sort-by Field ソート・フィールド (SRT) 01624**

成分： <Sort-by Field (ST)> ^ <Sequencing (ID)>

定義： タビュラー応答を要求する照会のために、このフィールドは、どのフィールドによって応答がソートされるべきか、そしてソートする順序を指定する。QSC 別形が用いられていないときに、このフィールドの第 1 成分に指定された値は、出力仕様および注釈の ColName フィールドから引き出される。に由来する。HL7 V2.5 5.3.3.1 節を参照のこと。QSC 別形が使われるときには、これらの値は入力/出力仕様および注釈の ColName フィールドから引き出される。例については HL7 V2.5 5.9.4.1 節を参照のこと。

このフィールドのそれぞれの反復は、1つのソート・フィールドを指定する。例えば、このフィールドの最初の反復は最初のソート・フィールドを指定し、第 2 の反復は次のソート・フィールドを指定する、など。

**RCP-7 Segment Group Inclusion セグメント・グループ包含 (ID) 01594**

定義： 応答に含まれるべきオプションのセグメント・グループを指定する。セグメント・グループの値については、HL7 表 0391－セグメント・グループを参照のこと。これは、複数のセグメント・グループを含めるための反復可能なフィールドである。このフィールドのデフォルト（値なし）は、全ての関連するグループが含まれることを意味する。

注記：セグメント・グループのためのコードは、HL7 表 0391 から取られるが、セグメント・グループ(e.g. PIDG)の正確なセグメントレベルの定義は、そのセグメント・グループが現れる。照会の適合宣言書の中だけで与えられる。

例：

**HL7表 0391 – Segment Group セグメント・グループ**

Value	Description	Comments
PIDG	PID group PID グループ	
OBRG	OBR group OBR グループ	
ORCG	ORC group ORC グループ	
RXAG	RXA group RXA グループ	
RXDG	RXD group RXD グループ	
RXEG	RXE group RXE グループ	
RXOG	RXO group RXO グループ	
Etc		

注記： HL7 表 0391－セグメント・グループは、現在 HL7 で定義されたいかなる値も含まない。値は HL7 技術委員会によって投票により同意されたものが適合宣言書中にあるので、それがこの表に含まれるだろう。

## 7.14. TQ1 - Timing/Quantity Segment タイミング/数量セグメント

TQ1 セグメントは、オーダ管理やスケジューリングシステムなどで起きる、イベントとアクションの複雑なタイミングを指定するのに使用される。このセグメントは、サービスの量、頻度、優先度、及びタイミングを決定する。このセグメントの繰返しを許すことで、あるサービス要求（時間にこだわらず）での量、頻度、優先度を継続的に持たせることが可能になる。

以下に TQ1 が繰り返されるユースケースを示す。

- a. 心筋酵素（直ちに）、後は毎4時間
- b. ストレプトキナーゼ検査、1回目（直ちに）の採血を行い、検査を実施（直ちに）、その後4時間毎に採血し、検査を実施（直ちに）。
- c. ゲンタマイシン 100mg（すぐ）、80mg 毎 12 時間 2 回分（最初 1 回分 80mg）1 回分 100mg の後きっかり 12 時間後（2 回目のサービス要求かも）
- d. アクティバース 15mg ボーラス（直ちに）、次に 30 分間 50mg、次に 60 分間 35mg（2 回目のサービス要求かも）
- e. 初めにイモディウム 4mg（2 カプセル）経口、次に 2mg（1 カプセル）各軟便(unformed stool)後、1 日あたり最大 16 mg。
- f. 初日 Zithromax500mg（2 錠剤）経口、次に 250mg（1 カプセル）経口で 1 日 1 回を 5 日間（2 回目のサービス要求かも）
- g. 禁煙の処方薬 Zyban（ブプロピオン Bupropion）150mg 経口から開始、毎午前を 3 日間、次に 150mg 経口、1 日 2 回を 7 週から 12 週間に増量。
- h. コルヒチン 1mg（2 錠）経口（すぐ）、次に 1 錠毎 1~2 時間、痛みが緩和するか、あるいは好ましくない副作用（下痢、胃腸障害）が出るまで。（2 回のサービス要求かも）
- i. 初日 doxycycline100mg 経口、1 日 2 回、次に 100mg 経口、1 日 1 回。
- j. スコポラミン、xxx mg、術前 1 時間。相対時間=-1^hour、優先度=P（術前）、あるいは代替繰返しパターン=P1H^Preop、1 Hour before Surgery^99LocalCode、相対時間は空で優先度は P（術前）。

HL7属性表-TQ1-Timing/Quantity タイミング/数量

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL #	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O			Set ID - TQ1 セットID - TQ1
2	20	CQ	O	O			Quantity 数量
3	540	RPT	O	O	Y	0335	Repeat Pattern 繰返しパターン
4	20	TM	O	O	Y		Explicit Time 明示的な時間
5	20	CQ	O	O	Y		Relative Time and Units 相対的時間と単位
6	20	CQ	O	O			Service Duration サービス期間
7	26	TS	O	O			Start Date/Time 開始日時
8	26	TS	O	O			End Date/Time 終了日時
9	250	CWE	O	O	Y	0485	Priority 優先度
10	250	TX	O	O			Condition Text 条件テキスト
11	250	TX	O	O			Text Instruction テキスト指示
12	10	ID	C	C		0472	Conjunction 連結
13	20	CQ	O	O			Occurrence Duration発生期間
14	10	NM	O	O			Total Occurrence's 発生総数

### TQ1 フィールド定義

#### TQ1-1 Set ID - TQ1 セットID (SI) 01627

定義：伝送された最初のタイミング指定に対してシーケンス番号は 12 番目のタイミング指定では 2、以下同様。

#### TQ1-2 Quantity 数量 (CQ) 01628

成分：<Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>

副成分 for Units (CE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、サービスが各々のサービス間隔で提供されるべき数量を指定する。例えば、2つの血液培養を4時間毎に取得すべき場合、その量は2である。或いは、3ユニットの血液の血液型が判別され、クロスマッチされる場合、量は3となる。このフィールドのデフォルト値は1である。

もし、複数のサービスが要求される場合、複数のサービス要求が発行され、各々のサービスに各自一意な発行者／実施者番号を与えることを強く推奨する。

### TQ1-3 Repeat Pattern 繰返しパターン (RPT) 01629

成分：<Repeat Pattern Code (CWE)> ^ <Calendar Alignment (ID)> ^ <Phase Range Begin Value (NM)> ^ <Phase Range End Value (NM)> ^ <Period Quantity (NM)> ^ <Period Units (IS)> ^ <Institution Specified Time (ID)> ^ <Event (ID)> ^ <Event Offset Quantity (NM)> ^ <Event Offset Units (IS)> ^ <General Timing Specification (GTS)>

副成分 for Repeat Pattern Code (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：その治療が実施されるべき繰返しの頻度。オーダエントリシステムで使用される頻度と SIG コード表と類似している。

このフィールドは、より複雑な繰返しパターンを構築するために繰り返される。例えば、毎日就寝時は、"1QD-HS"と表現される。

数量タイミング指定がある期間の後、異なる繰返しパターンに変化しなければならない時、新しい TQ1 セグメントが新しい繰返しパターンを示すために使用されなければならない。現行の TQ1 の終了日は現行のタイミング指定が終了する時を示し、次の TQ1 の開始日は新しいタイミング指定が開始する時を示すことに注意すること。TQ1-12 の結合フィールドが次の TQ1 セグメントが連続して或いは並行して実行されるかを決定する。

使用者定義表 0335 -Repeat Pattern 繰返しパターン

Value	Description	Comments
Q<整数>S	<整数>秒ごと	
Q<整数>>M	<整数>分ごと	
Q<整数>H	<整数>時間ごと	
Q<整数>D	<整数>日ごと	
Q<整数>W	<整数>週ごと	
Q<整数>L	<整数>月 (月周期) ごと	
Q<整数>J<日番号> >	週の特定の曜日に繰り返す	フランス語の <i>Jour</i> (日) より。<整数>がないとき繰り返し頻度は1と見なされる。<日番号>は 1=月曜日から 7=日曜日までである。したがって、Q2J2 は2週に1度の火曜日ごととなり；Q1J6 は毎日曜日となる。
BID	日に2回、施設で定められた時刻	(例、9AM-4PM)
TID	日に3回、施設で定められた時刻	(例、9AM-4PM-9PM)
QID	日に4回、施設で定められた時刻	(例、9AM-11AM-4PM-9PM)
xID	日にX回、施設で定められた時刻で、Xは数字の5より大きい	(例、5ID=日に5回；8ID=日に8回)
QAM	朝の施設で決められた時間に	
QSHIFT	8時間の3回のシフトを1回ずつ施設で決められた時間に	
QOD	1日おきに	(Q2Dと同じ)
QHS	毎日就寝時間の前に	
QPM	夕の施設で決められて時間に	
C	サービスは開始時刻から終了時刻まで連続的に提供される	
U<spec>	将来の使用のため、<指定>はUNIXの	
U<指定>	cron仕様で定義された繰返しの指定	
PRN	必要に応じて	
PRNxxx	xxxはある繰返しコード	(例、PRNQ6H)；頻度の間隔で必要に応じて
Once	一回のみ	これもこの成分が null の時のデフォルト
食事に関連したタイ ミング	<タイミング>C ("cum") <食事>	
A	Ante (前)	

Value	Description	Comments
P	Post (後)	(例、前後の食事の間、夕食と終身の間)
I	Inter (間)	
M	Cibus Matutinus (朝食)	
D	Cibus Diurnus (昼食)	
V	Cibus Vespertinus (夕食)	

#### TQ1-4 Explicit Time 明示的な時間 (TM) 01630

定義：このフィールドは TQ1-3 のコードによって参照された実際の時間を明示的にリストする。このフィールドは、実際の実施時間が施設内でまちまちであるケースで TQ1-3 を明確化するために使用される。仮にサービスの時間が 1 日よりもっと長い期間を要求する場合、このフィールドはサービス要求があった各々の日に同じ実施時間が発生する場合にのみ実行が可能となる。仮にサービス要求 (TQ1-7 によって与えられる) 実際の開始時間が最初の明示的時間よりも後である場合、開始時間後の最初の明示的時間に最初の実施が行われる。患者が明示的時間の異なる組み合わせを持つ場所に移動したケースでは、既存のサービス要求は、変更された明示的時間を示す新しい数量/タイミングセグメントによって更新される。

使用上の注意：このフィールドは、TQ1-3 繰返しパターンが存在しない場合には値を持たない。

#### TQ1-5 Relative Time and Units 相対的時間と単位 (CQ) 01631

成分：<Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>

副成分 for Units (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドはサービス要求或いはボトル記録のためのスケジュールの間隔を定義するために使用される。仮にこのフィールドが値を持つ場合、TQ1-4 明示的な時間間隔フィールドの値をオーバーライドする。CQ データ型の単位成分は、時間単位に制約される。

例:

TQ1|1|1|Q1H||60^min&&ANS+ - Q1H はサービス間隔 60 分ごとと定義される

TQ1|1|1|Q6H||6^hr&&ANS+ - Q6H はサービス間隔 6 時間ごとと定義される

TQ1|1|1|QD||1^d&&ANS+ - QD はサービス間隔 1 日ごとと定義される

#### TQ1-6 Service Duration サービス期間 (CQ) 01632

成分：<Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>

副成分 for Units (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、サービスが要求される期間を含む。このフィールドの数量成分は、ポジティブで、ゼロでない数字でなければならない。このフィールドの単位部分は、時間の単位に制約される。

例：ワールプール (whirlpool 渦流浴) を 3 日間に 1 日 3 回 20 分間。3 日間はサービス期間。

TQ1|1|1|TID||3^d&&ANS+|||20^min&&ANS+|9<CR>

#### TQ1-7 Start Date/Time 開始日時 (TS) 01633

成分：<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、サービスを開始すべき最早日時を示す場合に、要求者によって指定される。しかしながら、多くの場合、開始日時は暗黙的に指定されるかサービス要求レコード (例えば、緊急-STAT) によって定義される。これらの場合、このフィールドは空である。しかしながら実施サービスでは、サービス要求を受け取った後にこのフィールドに値を記録し、実施サービスの内部使用のため、開始日時を基に終了時間を計算することがよくある。

#### TQ1-8 End Date/Time 終了日時 (TS) 01634

成分：<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：サービス要求者によって指定される場合、このフィールドはサービスが実行されるべき最遅日時を含む。仮に指定された時間までにサービスが実行されなかった場合、そのサービスは全く実行されるべきではない。要求者はいつもこの値を記入するとは限らず、実施サービスが受け取った指示と実際の開始時間を基に記入するかもしれない。終了日時の値にかかわらず、サービスは期間或いは終了日時によって指定された最早日時に停止されるべきである。

**TQ1-9 Priority 優先度 (CWE) 01635**

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、要求の優先度を記述する。仮にこのフィールドがブランクならデフォルトはRである。推奨値に関しては、「使用者定義表 0485—拡張優先度コード」を参照のこと。

**使用者定義表 0485 - Extended Priority Codes 拡張優先度コード**

Value	Description	Comments
S	Stat 緊急	最も高い優先度
A	ASAP できるだけ早く	Sの次の優先度
R	Routine ルーチン	デフォルト
P	Preop 術前	
C	Callback 返信	
T	Timing critical タイミングが重要	できるだけ要求時間に近づけることが重要な要求。例えば、抗菌レベル
TS<integer>		タイミングは<整数値>秒以内であることが重要
TM<integer>		タイミングは<整数値>分以内であることが重要
TH<integer>		タイミングは<整数値>時間以内であることが重要
TD<integer>		タイミングは<整数値>日以内であることが重要
TW<integer>		タイミングは<整数値>週以内であることが重要
TL<integer>		タイミングは<整数値>月以内であることが重要
PRN	As needed 必要に応じて	

**TQ1-10 Condition Text 条件テキスト (TX) 01636**

定義：これは薬が与えられる条件を記述するフリーテキストのフィールドである。例えば、疼痛時、或いは血圧を110以下に保つこと。このフィールドの存在は、この薬がどのように、および/または、いつ与えられるべきかを決定するために人間のレビューが必要であるということの意味すると捉えるべきである。

**TQ1-11 Text Instruction テキスト指示 (TX) 01637**

定義：このフィールドは、指示のフルテキスト版である。(オプション)

**TQ1-12 Conjunction 連結 (ID) 01638**

定義：このフィールドは、2番目のTQ1セグメントが続くことを示す。可能な値に関してはHL7表0472-TQ連結IDを参照のこと。

**HL7 表 0472 - TQ Conjunction ID TQ連結ID**

Value	Description	Comments
S	同期 (Synchronous)	同期。今回の指定の後に次の指定を行う (TQ1-7—開始日時、およびTQ1-8—終了日時により制限を受けなければ)。“S”指定は、最初のタイミング・シーケンスの後に2番目のタイミング・シーケンスが続くことを示す。例えば、最初の1時間は15分ごとに血圧を測定し、次の日には2時間ごとに血圧を測定するよう依頼する。
A	非同期 (Asynchronous)	今回の指定と並行して次の指定を行う (TQ1-7—開始日時、およびTQ1-8—終了日時により制限を受けなければ)。連結“A”により、投薬時などに散見される、2つの指示の並行指定が可能になる。例えば、月曜、水曜、金曜にプレドニゾン1錠、火曜、木曜、土曜、日曜には1/2錠。
C	これは開始時間である (Actuation Time)	このコードの後にはサービスの終了時間が続く。このコードにより、サービスを起動すべき(採血など)時間・優先度から、サービスを終了すべき(結果報告など)時間・優先度が区別できるようになる。

連続したサービスあるいは周期的なサービスの場合、サービスを実際に停止するポイントは、TQ1-8終了日時及びTQ1-6継続時間の、どちらかより早い停止時間を示すフィールドにより決定される。通常、この2つのフィールドのうち1つだけが存在する。条件規則：TQ1セグメントがメッセージ内で繰り返される場合、このフィールドには次に続くTQ1セグメントの順序を示す適切な連結コードを指定すべきである。

**TQ1-13 Occurrence Duration 発生期間 (CQ) 01639**

成分：<Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>

副成分 for Units (CE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドはサービスの単独の実行についての期間を含んでいる。このフィールドの数量成分は、値を持つ時はポジティブかつゼロでない数字でなければならない。単位成分は、時間の単位

に制約される。例えば、ワールプール (whirlpool 渦流浴) を 3 日間、1 日 20 分間を 3 回。20 分が発生時間である。

TQ1|1||TID||3^d&&ANS+||||20^min&&ANS+|9<cr>

**TQ1-14 Total Occurrence's 発生総数 (NM) 01640**

定義：このフィールドは、サービス要求の結果であるべきサービスの発生総数を含む。仮に終了日時 (TQ1-8) と発生総数の両方が値を持ち、その発生数が終了日時を越えて延びる場合は、終了日時を優先する。その他の場合は発生数を優先する。

例：ワールプール (whirlpool 渦流浴) を 3 日間、1 日 20 分間を 3 回。総発生数が 9 回。

TQ1|1||TID||3^d&&ANS+||||20^min&&ANS+|9<cr>

## 付録 - 1. メッセージ例

### (1) 入院の通知

#### (1-1) 通知メッセージ

項目名	項目値	備考
患者 ID	4012345678	
患者名 (漢字)	山田 太郎	
患者名 (カナ)	ヤマダ タロウ	
性別	男 (M)	
生年月日	1965/4/15	
担当医	外科 太郎 (100050)	
診療科	外科 (05)	
入院日時	2020/8/13 10:00:00	
入院先病棟、病室、 病床	09A/03/2	

```
MSH|^~\&|HIS_ALPHA||RIS_BETA||20200813102134||ADT^A01^ADT_A01|20200813102134502|P|2.5|||||~
ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>
EVN||20200813102134<CR>
PID||4012345678^^^^PI||山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P||19650415|M<CR>
PV1|1|I|09A^03^2^^N|||100050^外科^太郎^^^^^^L^^^^I||05|||||||||||||||||||||||||||||
20200813100000<CR>
<EOM>
```

#### ■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切文字		
2	コード化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	HIS_ALPHA	
5	受信アプリケーション	RIS_BETA	
7	メッセージ日時	20200813102134	
9	メッセージ型	ADT^A01^ADT_A01	
10	メッセージ制御 ID	20200813102134502	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

#### ■ EVN セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	イベント記録日時	20200813102134	

#### ■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	4012345678^^^^PI	患者 ID
5	患者氏名	山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P	患者名 (漢字)、患者名 (カナ)



7	生年月日	19650415	生年月日
8	性別	M	性別

### ■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID	1	
2	患者区分	I	
3	患者に割り当てられた場所	09A^03^2^^^N	入院先病棟、病室、病床
7	担当医	100050^外科^太郎^^^^^^L^^^^^I	担当医
10	病院サービス	05	診療科
44	入院日時	20200813100000	入院日時

### (1-2) 応答メッセージ

```
MSH|^~\&|RIS_BETA|HIS_ALPHA|20200813102156||ACK^A01^ACK|20200813102156053|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|20200813102134502<CR>
<EOM>
```

### ■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切文字		
2	コード化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	RIS_BETA	
5	受信アプリケーション	HIS_ALPHA	
7	メッセージ日時	20200813102156	
9	メッセージ型	ACK^A01^ACK	
10	メッセージ制御ID	20200813102156053	
11	処理ID	P	
12	バージョンID	2.5	
17	国コード	JPN	
18	文字セット	ASCII~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

### ■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	応答コード	AA	
2	メッセージ制御ID	20200813102134502	

### (2) 退院の通知

#### (2-1) 通知メッセージ

項目名	項目値	備考
患者ID	4012345678	
患者名(漢字)	山田 太郎	
患者名(カナ)	ヤマダ タロウ	
性別	男(M)	

生年月日	1965/4/15	
担当医	外科 次郎 (100060)	
診療科	外科 (05)	
入院日時	2020/8/13 10:00:00	
退院日時	2020/8/17 16:30:00	
退院時病棟、病室、 病床	09A/01/1	

```
MSH|^~\&|HIS_ALPHA||RIS_BETA||20200817163021||ADT^A03^ADT_A03|20200817163021562|P|2.5|||||~
ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>
EVN||20200817163021<CR>
PID||4012345678^^^^PI||山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P||19650415|M<CR>
PV1|1|I|09A^01^1^^^N |||100060^外科^次郎^^^^^^L^^^^^I||05|||||||||||||||||||||||||||||||||
20200813100000|20200817163000<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切文字		
2	コード化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	HIS_ALPHA	
5	受信アプリケーション	RIS_BETA	
7	メッセージ日時	20200817163021	
9	メッセージ型	ADT^A03^ADT_A03	
10	メッセージ制御 ID	20200817163021562	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ EVN セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	イベント記録日時	20200817163021	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	4012345678^^^^PI	患者 ID
5	患者氏名	山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P	患者名 (漢字)、患者名 (カナ)
7	生年月日	19650415	生年月日
8	性別	M	性別

■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	患者区分	I	
3	患者の以前の所在	09A^01^1^^^N	退院時病棟、病室、病床
7	担当医	100060^外科^次郎^^^^^^L^^^^^I	担当医

10	診療部門	05	診療科
44	入院日時	20200813100000	入院日時
45	退院日時	20200817163000	退院日時

## (2-2) 応答メッセージ

```
MSH|^~\&|RIS_BETA||HIS_ALPHA||20200817163035||ACK^A03^ACK|20200817163035920|P|2.5|||||JPN|AS
CII~ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|20200817163021562<CR>
<EOM>
```

### ■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切文字		
2	コード化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	RIS_BETA	
5	受信アプリケーション	HIS_ALPHA	
7	メッセージ日時	20200817163035	
9	メッセージ型	ACK^A03^ACK	
10	メッセージ制御 ID	20200817163035920	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
17	国コード	JPN	
18	文字セット	ASCII~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

### ■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	応答コード	AA	
2	メッセージ制御 ID	20200817163021562	

## (3) 来院の通知

### (3-1) 通知メッセージ

項目名	項目値	備考
患者 ID	4012345678	
患者名 (漢字)	山田 太郎	
患者名 (カナ)	ヤマダ タロウ	
性別	男 (M)	
生年月日	1965/4/15	
担当医	内科 太郎 (100010)	
診療科	内科 (01)	
受診開始日時	2020/5/10 8:00:00	
初再診	初診 (F)	

```
MSH|^~\&|HIS_ALPHA||RIS_BETA||20201014184423||ADT^A01^ADT_A01|20201014184423200|P|2.5|||||~
ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>
EVN||20201014184423<CR>
PID||4012345678^^^PI||山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P||19650415|M<CR>
```

```
PV1|1|O|01^^^^^C^^^^内科|||100010^内科^太郎
^^^^^^L^^^^^I|||01||F|||||||||||||||||||||||||
||20200510080000<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切文字		
2	コード化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	HIS_ALPHA	
5	受信アプリケーション	RIS_BETA	
7	メッセージ日時	20201014184423	
9	メッセージ型	ADT^A01^ADT_A01	
10	メッセージ制御ID	20201014184423200	
11	処理ID	P	
12	バージョンID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ EVN セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	イベント記録日時	20201014184423	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者IDリスト	4012345678^^^^PI	患者ID
5	患者氏名	山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P	患者名(漢字)、患者名(カナ)
7	生年月日	19650415	生年月日
8	性別	M	性別

■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID	1	
2	患者区分	O	
3	患者に割り当てられた場所	01^^^^^C^^^^内科	診療科
7	担当医	100010^内科^太郎^^^^^^L^^^^^I	担当医
10	診療部門	01	診療科
13	再入院標識	F	初再診
44	入院日時	20200510080000	受診開始日時

(3-2) 応答メッセージ

```
MSH|^~\&|RIS_BETA|HIS_ALPHA||20201020103022||ACK^A01^ACK|20201020103022124|P|2.5|||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|20201014184423200<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切文字		
2	コード化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	RIS_BETA	
5	受信アプリケーション	HIS_ALPHA	
7	メッセージ日時	20201020103022	
9	メッセージ型	ACK^A01^ACK	
10	メッセージ制御ID	20201020103022124	
11	処理ID	P	
12	バージョンID	2.5	
17	国コード	JPN	
18	文字セット	ASCII-ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	応答コード	AA	
2	メッセージ制御 ID	20201014184423200	

(4) 通院終了の通知

(4-1) 通知メッセージ

項目名	項目値	備考
患者ID	4012345678	
患者名 (漢字)	山田 太郎	
患者名 (カナ)	ヤマダ タロウ	
性別	男 (M)	
生年月日	1965/4/15	
担当医	内科 太郎 (100010)	
診療科	内科 (01)	
受診開始日時	2020/5/10 8:00:00	
受診終了日時	2020/5/10 10:30:00	
初再診	初診 (F)	

```
MSH|^~\&| HIS_ALPHA || RIS_BETA
||20201014184423||ADT^A03^ADT_A03|20201014184423200|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-
1994<CR>
EVN||20201014184423<CR>
PID||1234567890^^^^PI||山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P||19650415|M<CR>
PV1|1|O|01^^^^C^^^内科||100010^内科^太郎
^^^^^^L^^^^^I||01||F|||||||||||||||||||||||||||||
||20200510080000|20200510130000<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切文字		
2	コード化文字	^~\&	

3	送信アプリケーション	HIS_ALPHA	
5	受信アプリケーション	RIS_BETA	
7	メッセージ日時	20201014184423	
9	メッセージ型	ADT^A03^ADT_A03	
10	メッセージ制御ID	20201014184423200	
11	処理ID	P	
12	バージョンID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

#### ■ EVN セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	イベント記録日時	20201014184423	

#### ■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者ID リスト	4012345678^^^^PI	患者ID
5	患者氏名	山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P	患者名 (漢字)、患者名 (カナ)
7	生年月日	19650415	生年月日
8	性別	M	性別

#### ■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID	1	
2	患者区分	O	
3	患者に割り当てられた場所	01^^^^C^^^内科	診療科
7	担当医	100010^内科^太郎^^^^^^L^^^^I	担当医
10	診療部門	01	診療科
13	再入院標識	F	初再診
44	入院日時	20200510080000	受診開始日時
45	退院日時	20200510130000	受診終了日時

#### (4-2) 応答メッセージ

```
MSH|^~\&|RIS_BETA||HIS_ALPHA||20201020103022||ACK^A01^ACK|20201020103022124|P|2.5||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|20201014184423200<CR>
<EOM>
```

#### ■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切文字		
2	コード化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	RIS_BETA	
5	受信アプリケーション	HIS_ALPHA	
7	メッセージ日時	20201020103022	
9	メッセージ型	ACK^A03^ACK	

10	メッセージ制御 ID	20201020103022124	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
17	国コード	JPN	
18	文字セット	ASCII~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	応答コード	AA	
2	メッセージ制御 ID	20201014184423200	

(5) 患者情報の更新

(5-1) 通知メッセージ

項目名	項目値	備考
患者 ID	4012345678	
患者名 (漢字)	山田 太郎	
患者名 (カナ)	ヤマダ タロウ	
性別	男 (M)	
生年月日	1965/4/15	
住所・郵便番号	105-0001 東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号	
電話番号	03-3599-9991	
担当医	渋谷 隆 (11225533)	
診療科	内科 (01)	
身長	170 cm	
体重	80.0 kg	
血液型	A 型 Rh+ (A, +)	
感染症有無	なし (N)	
飲酒頻度	毎日 (01)	
飲酒量	2~3 合未満 (03)	
アレルギー#1	スギ (1001)	
アレルギー#2	ハウスダスト (3001)	

```
MSH|^~\&|HIS_ALPHA||RIS_BETA||20200813151234.531||ADT^A08^ADT_A01|20200813151234531043|P|2.5
||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>
EVN||20200813151234.531<CR>
PID||4012345678^^^^PI||山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P||19650415|M||^1050001^^H^東京
都港区鹿ノ門6丁目1番1号|^PRN^PH^^^^^^^^^03-3599-9991<CR>
PV1||O|01^^^^C^^^内科|||11225533^渋谷^隆^^^^^^L^^^^I|||01<CR>
OBX|1|NM|8302-2^身長^LN||170.0|cm^cm^ISO+||||F|||20170803<CR>
OBX|2|NM|3141-9^体重^LN||80.0|kg^kg^ISO+||||F|||20170803<CR>
OBX|3|CWE|883-9^ABO 血液型^LN||A^A 型^JHSC0001|||||F<CR>
OBX|4|CWE|10331-7^Rh 血液型^LN||+^Rh (+)^JHSC0002|||||F<CR>
OBX|5|CWE|54536-8^感染症有無^LN||N^なし^HL70532|||||F<CR>
OBX|6|CWE|01^飲酒頻度^JHSC0006||01^毎日^JHSC0007|||||F<CR>
OBX|7|CWE|02^飲酒量^JHSC0006||03^2~3 合未満^JHSC0008|||||F<CR>
```

AL1|1|LA^花粉アレルギー^HL70127|1001^スギ^99ZAL|MI^軽度^HL70128<CR>  
 AL1|2|EA^環境アレルギー^HL70127|3001^ハウスダスト^99ZAL|MO^中程度^HL70128<CR>  
 <EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切文字		
2	コード化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	HIS_ALPHA	
5	受信アプリケーション	RIS_BETA	
7	メッセージ日時	20200813151234.531	
9	メッセージ型	ADT^A08^ADT_A01	
10	メッセージ制御ID	20200813151234531043	
11	処理ID	P	
12	バージョンID	2.5	
17	国コード	JPN	
18	文字セット	ASCII~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ EVN セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	イベント記録日時	20200813151234.531	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者IDリスト	4012345678^^^^PI	患者ID
5	患者氏名	山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P	患者名(漢字)、患者名(カナ)
7	生年月日	19650415	生年月日
8	性別	M	性別
11	患者住所	^^^^1050001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号	
13	電話番号—自宅	^PRN^PH^^^^^^^^03-3599-9991	

■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	患者区分	O	
3	患者に割り当てられた場所	01^^^^^C^^^内科	診療科
7	担当医	11225533^渋谷^隆^^^^^^L^^^^^I	担当医
10	診療部門	01	診療科

■ OBX セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID	1	
2	値型	NM	
3	検査項目	8302-2^身長^LN	



5	結果値	170.0	
6	単位	cm^cm^ISO+	
11	検査結果状態	F	
14	検査日時	20170803	

■ OBX セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID	2	
2	値型	NM	
3	検査項目	3141-9^体重^LN	
5	結果値	80.0	
6	単位	kg^kg^ISO+	
11	検査結果状態	F	
14	検査日時	20170803	

■ OBX セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID	3	
2	値型	CWE	
3	検査項目	883-9^ABO 血液型^LN	
5	結果値	A^A 型^JHSC0001	
11	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID	4	
2	値型	CWE	
3	検査項目	10331-7^Rh 血液型^LN	
5	結果値	+^Rh(+)^JHSC0002	
11	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID	5	
2	値型	CWE	
3	検査項目	54536-8^感染症有無^LN	
5	結果値	N^なし^HL70532	
11	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID	6	
2	値型	CWE	
3	検査項目	01^飲酒頻度^JHSC0006	
5	結果値	01^毎日^JHSC0007	

11	検査結果状態	F	
----	--------	---	--

■ OBX セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	7	
2	値型	CWE	
3	検査項目	02^飲酒量^JHSC0006	
5	結果値	03^2~3 合未満^JHSC0008	
11	検査結果状態	F	

■ AL1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID-AL1	1	
2	アレルゲンタイプコード	LA^花粉アレルギー^HL70127	
3	アレルギーコード/記憶法/記述	1001^スギ^99ZAL	
4	アレルギー重症度コード	MI^軽度^HL70128	

■ AL1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID-AL1	2	
2	アレルゲンタイプコード	EA^環境アレルギー^HL70127	
3	アレルギーコード/記憶法/記述	3001^ハウスダスト^99ZAL	
4	アレルギー重症度コード	MO^中程度^HL70128	

(5-2) 応答メッセージ

```
MSH|^~\&|RIS_BETA||HIS_ALPHA||20200813151402.103||ACK^A08^ACK|20200813151402103001|P|2.5|||
|JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|20200813151234531043<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切文字		
2	コード化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	RIS_BETA	
5	受信アプリケーション	HIS_ALPHA	
7	メッセージ日時	20200813151402.103	
9	メッセージ型	ACK^A08^ACK	
10	メッセージ制御 ID	20200813151402103001	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
17	国コード	JPN	
18	文字セット	ASCII~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	応答コード	AA	
2	メッセージ制御 ID	20200813151234531043	

(6) 患者基本情報の照会 (1)

(6-1) 照会メッセージ

項目名	項目値	備考
照会条件	患者 ID=4012345678	
照会件数	最大 99 件	

```
MSH|^~\&|Modality||LIS||20200821114400||QBP^Q22^QBP_Q21|12345678901234500002|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
QPD|IHE PDQ Query|Q001|@PID.3.1^4012345678<CR>
RCP|I|99^RD&レコード&HL70126|R^リアルタイム^HL70394<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切文字		
2	コード化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	Modality	
5	受信アプリケーション	LIS	
7	メッセージ日時	20200821114400	
9	メッセージ型	QBP^Q22^QBP_Q21	
10	メッセージ制御 ID	12345678901234500002	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ照会名	IHE PDQ Query	
2	照会タグ	Q001	
3	ユーザ パラメータ 1	@PID.3.1^4012345678	照会条件

■ RCP セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会優先度	I	
2	数量制限要求	99^RD&レコード&HL70126	照会件数
3	応答様式	R^リアルタイム^HL70394	

(6-2) 応答メッセージ

項目名	項目値	備考
ヒット件数	1	

患者 ID	4012345678	
患者名 (漢字)	山田 太郎	
患者名 (カナ)	ヤマダ タロウ	
性別	男 (M)	
生年月日	1965/4/15	

```
MSH|^~\&|LIS||Modality||20200821114405||RSP^K22^RSP_K21|20200821114405321001|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|12345678901234500002<CR>
QAK|Q001|OK|IHE PDQ Query|1<CR>
QPD|IHE PDQ Query|Q001|@PID.3.1^4012345678<CR>
PID|||4012345678^^^PI||山田^太郎^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^L^P||19650415|M<CR>
<EOM>
```

### ■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切文字		
2	コード化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	LIS	
5	受信アプリケーション	Modality	
7	メッセージ日時	20200821114405	
9	メッセージ型	RSP^K22^RSP_K21	
10	メッセージ制御 ID	20200821114405321001	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

### ■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	応答コード	AA	
2	メッセージ制御 ID	12345678901234500002	

### ■ QAK セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会タグ	Q001	
2	照会応答状態	OK	
3	メッセージ照会名	IHE PDQ Query	
4	合致データトータル数	1	ヒット件数

### ■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ照会名	IHE PDQ Query	
2	照会タグ	Q001	
3	ユーザ パラメータ 1	@PID.3.1^4012345678	

### ■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	4012345678^^^^PI	患者 ID
5	患者氏名	山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P	患者名 (漢字)、患者名 (カナ)
7	生年月日	19650415	生年月日
8	性別	M	性別

(7) 患者基本情報の照会 (2)

(7-1) 照会メッセージ

項目名	項目値	備考
照会条件	患者 ID=1000010000	
照会件数	最大 99 件	

```
MSH|^~\&|Modality||LIS||20200813132145||QBP^Q22^QBP_Q21|20200813132145001|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
QPD|IHE PDQ Query|Q001|@PID.3.1^1000010000<CR>
RCP|I|99^RD&レコード&HL70126|R^リアルタイム^HL70394<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切文字		
2	コード化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	Modality	
5	受信アプリケーション	LIS	
7	メッセージ日時	20200813132145	
9	メッセージ型	QBP^Q22^QBP_Q21	
10	メッセージ制御 ID	20200813132145001	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ照会名	IHE PDQ Query	
2	照会タグ	Q002	
3	ユーザ パラメータ 1	@PID.3.1^1000010000	照会条件

■ RCP セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会優先度	I	
2	数量制限要求	99^RD&レコード&HL70126	照会件数
3	応答様式	R^リアルタイム^HL70394	

(7-2) 応答メッセージ

項目名	項目値	備考
ヒット件数	0	

```
MSH|^~\&|LIS||Modality||20200813132156||RSP^K22^RSP_K21|20200813132156002|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|20200813132145001<CR>
QAK|Q001|NF|IHE PDQ Query|0<CR>
QPD|IHE PDQ Query|Q001|@PID.3.1^1000010000<CR>
<EOM>
```

### ■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切文字		
2	コード化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	LIS	
5	受信アプリケーション	Modality	
7	メッセージ日時	20200813132156	
9	メッセージ型	RSP^K22^RSP_K21	
10	メッセージ制御ID	20200813132156002	
11	処理ID	P	
12	バージョンID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

### ■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	応答コード	AA	
2	メッセージ制御ID	20200813132145001	

### ■ QAK セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会タグ	Q002	
2	照会応答状態	NF	NF=データ未検出 エラー無し
3	メッセージ照会名	IHE PDQ Query	
4	合致データトータル数	0	ヒット件数

### ■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ照会名	IHE PDQ Query	
2	照会タグ	Q001	
3	ユーザ パラメータ 1	@PID.3.1^1000010000	

## (8) 患者基本情報の照会 (3)

### (8-1) 照会メッセージ

項目名	項目値	備考
照会条件	患者カナ名字ニヤマダ	
照会件数	最大 99 件	

```
MSH|^~\&|Modality||LIS||202008131342.542||QBP^Q22^QBP_Q21|202008131342542001|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
```

QPD|IHE PDQ Query|202008131342542001|@PID.5.1^ヤマダ~@PID.5.8^P<CR>  
RCP|I|99^RD&レコード&HL70126|R^リアルタイム^HL70394<CR>  
<EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切文字		
2	コード化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	Modality	
5	受信アプリケーション	LIS	
7	メッセージ日時	202008131342.542	
9	メッセージ型	QBP^Q22^QBP_Q21	
10	メッセージ制御ID	202008131342542001	
11	処理ID	P	
12	バージョンID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ照会名	IHE PDQ Query	
2	照会タグ	202008131342542001	
3	ユーザ パラメータ 1	@PID.5.1^ヤマダ~@PID.5.8^P	照会条件

■ RCP セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会優先度	I	
2	数量制限要求	99^RD&レコード&HL70126	照会件数
3	応答様式	R^リアルタイム^HL70394	

(8-2) 応答メッセージ

項目名	項目値	備考
ヒット件数	2	
#1	患者ID	4012345678
	患者名 (漢字)	山田 太郎
	患者名 (カナ)	ヤマダ タロウ
	性別	男 (M)
	生年月日	1965/4/15
#2	患者ID	4012344321
	患者名 (漢字)	山田 春子
	患者名 (カナ)	ヤマダ ハルコ

性別	女 (F)	
生年月日	1982/6/27	

MSH|^~\&|LIS|Modality|202008131351.143|RSP^K22^RSP\_K21|202008131351143011|P|2.5|~ISO  
 IR87|ISO 2022-1994<CR>  
 MSA|AA|202008131342542001<CR>  
 QAK|202008131342542001|OK|IHE PDQ Query|2<CR>  
 QPD|IHE PDQ Query|202008131342542001|@PID.5.1^ヤマダ~@PID.5.8^P<CR>  
 PID||4012345678^^^PI||山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P||19650415|M<CR>  
 PID||4012344321^^^PI||山田^春子^^^^L^I~ヤマダ^ハルコ^^^^L^P||19820627|F<CR>  
 <EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切文字		
2	コード化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	LIS	
5	受信アプリケーション	Modality	
7	メッセージ日時	202008131351.143	
9	メッセージ型	RSP^K22^RSP_K21	
10	メッセージ制御 ID	202008131351143011	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	応答コード	AA	
2	メッセージ制御 ID	202008131342542001	

■ QAK セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会タグ	202008131342542001	
2	照会応答ステータス	OK	
3	メッセージ照会名	IHE PDQ Query	
4	合致データトータル数	2	ヒット件数

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ照会名	IHE PDQ Query	
2	照会タグ	202008131342542001	
3	ユーザ パラメータ 1	@PID.5.1^ヤマダ~@PID.5.8^P	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	4012345678^^^PI	患者 ID



5	患者氏名	山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P	患者名（漢字）、患者名（カナ）
7	生年月日	19650415	生年月日
8	性別	M	性別

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	4012344321^^^^PI	患者 ID
5	患者氏名	山田^春子^^^^L^I~ヤマダ^ハルコ^^^^L^P	患者名（漢字）、患者名（カナ）
7	生年月日	19820627	生年月日
8	性別	F	性別

## 付録 - 2. 適合性宣言書作成ガイドライン

### <背景と概要>

1999年10月に最初の JAHIS データ交換規約を制定して以来、22年間に渡り様々な領域において計画的にデータ交換規約の制定を行ってきた。だが残念ながら各医療施設での JAHIS データ交換規約を用いたシステム間のデータ交換において十分に普及しているとは言い難い現状があり、その大きな理由として JAHIS 標準に準拠していると表記するためには JAHIS 標準に完全準拠する必要があったためだと考えている。そこで JAHIS 標準の利用している範囲を明確にした適合性宣言書を作成することで JAHIS 標準を部分的な利用でも活用できるようにし、さらなる JAHIS 標準の活用促進を期待して適合性宣言書の考え方を採用した。また適合性宣言書を作成することで、JAHIS 標準に部分準拠する際に適合範囲と内容を文書として明確化することで相互接続性を確保する狙いもある。

適合性宣言書は、各ベンダのシステムごとに作成する必要がある。各ベンダは本ガイドラインを参考に次頁以降に示す適合性宣言書サンプルの赤字斜字体部分、および赤枠部分に相当する記述内容を検討し、適合性宣言書を作成してもらいたい。

各ベンダの提供するシステムにおける JAHIS 標準への適合性を評価した「適合性宣言書」はユーザに公開することが強く推奨される。

## 「表紙」に記述する内容

- ユーザに提供する製品の「システム名」、「バージョン」、「ベンダ名」を記述する。
- ページ右下に適合宣言書の版数、作成年月日を記述する。

<b>JAHIS 標準適合性宣言書</b>	
システム名 バージョン	
ベンダー名	
© JAHIS 202X	第 1 版 : 202x 年 xx 月 xx 日 様式 Ver.1.0

## 「1. はじめに」に記述する内容

- 適合性評価の対象となる製品の「システム名」、「バージョン」、および準拠する JAHIS 標準（データ交換規約個別編）の名称を記述する。

## 「2. 参照文書」に記述する内容

- 参照する必要がある文書を、箇条書きで記述する。

JAHIS 標準適合性宣言書

---

**1. はじめに**

この適合性宣言書は、弊社システム名 バージョン（以下「システム名」）の JAHIS 標準「放射線データ交換規約 Ver.3.2C」に対する適合性について記述します。

**2. 参照文書**

- JAHIS 標準「放射線データ交換規約 Ver.3.2C」
- JAHIS 標準「データ交換規約（共通編） Ver.1.3」
- HL7 V2.5

---

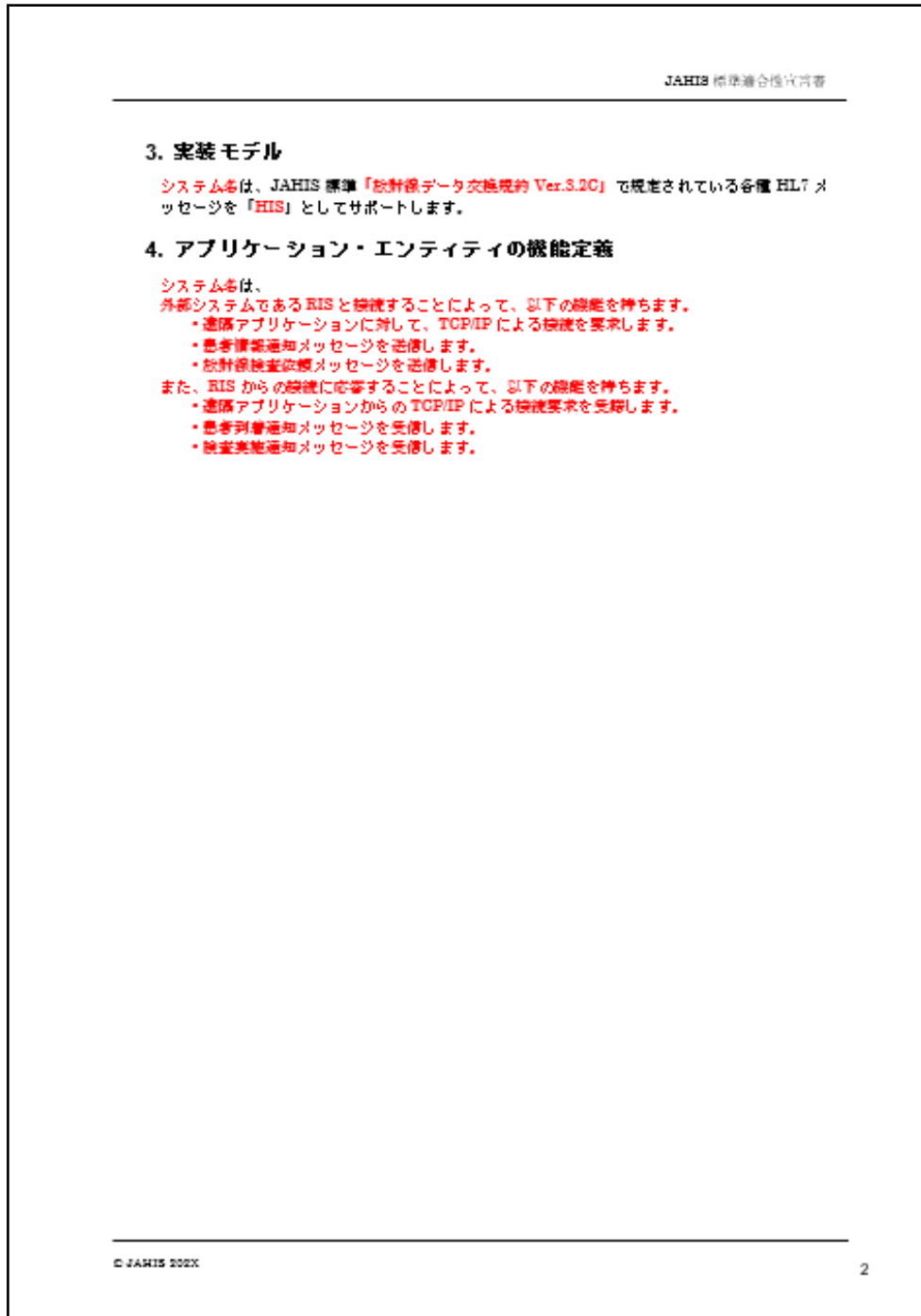
© JAHIS 202X 1

### 「3. 実装モデル」に記述する内容

- 製品が準拠する JAHIS 標準（データ交換規約個別編）の名称、およびその標準の「5.2 対象範囲」に記載されている内容から製品がサポートするシステムを選択して記述する。

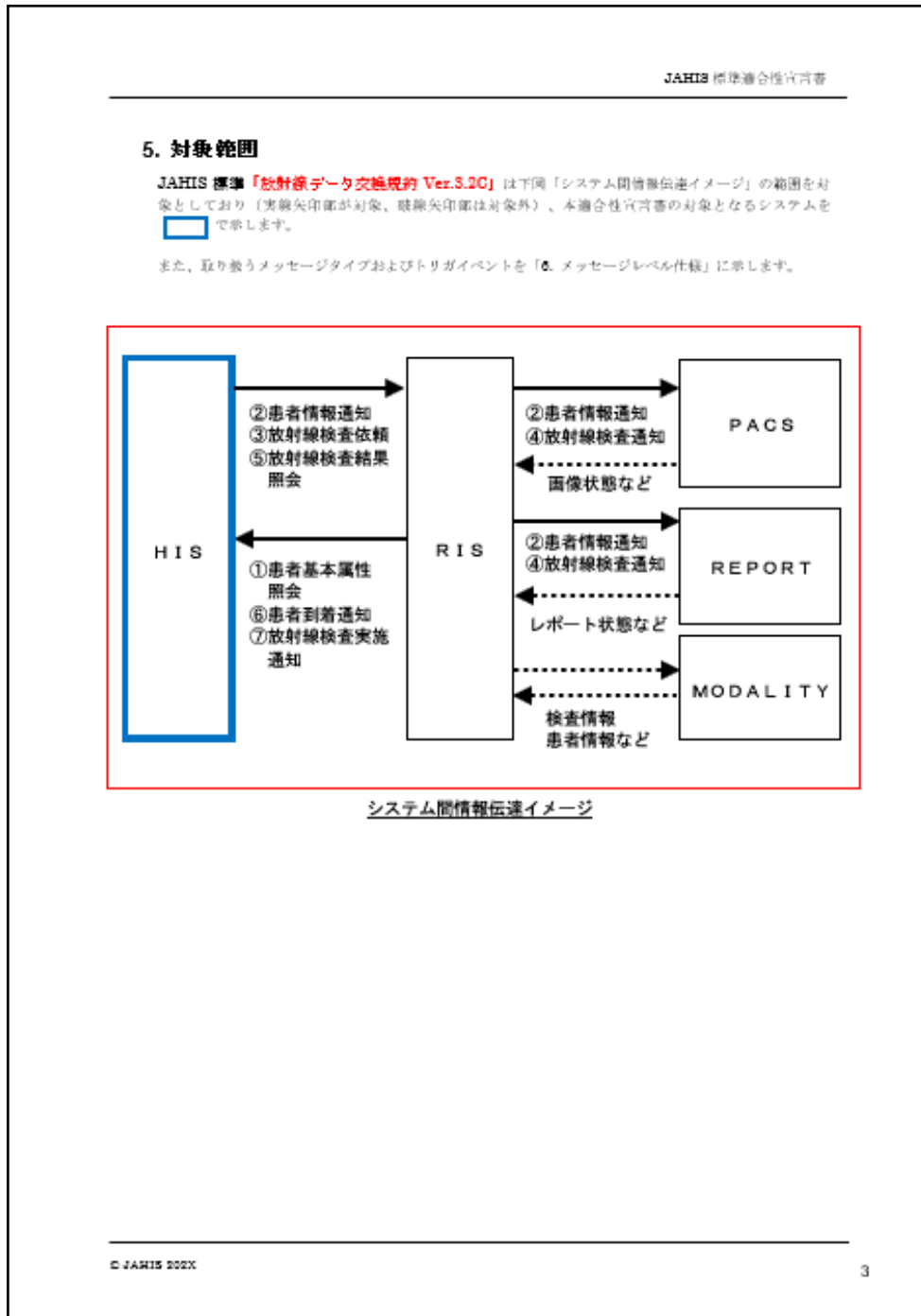
### 「4. アプリケーション・エンティティの機能定義」に記述する内容

- 製品が準拠する JAHIS 標準（データ交換規約個別編）「5.2 対象範囲」に記載されているメッセージ定義と応答関係を参考に、提供するアプリケーション・エンティティの機能を、接続対象となるシステム毎に箇条書きで記述する。



## 「5. 対象範囲」に記述する内容

- 製品が準拠する JAHIS 標準（データ交換規約個別編）の名称を記述する。
  - 赤枠内に、製品が準拠する JAHIS 標準（データ交換規約個別編）「5.2 対象範囲」に記載されている「システム間情報伝達イメージ」の図をコピーし、製品がサポートするシステムが分かるように明示する。
- (※) サンプルでは、製品がサポートするシステムを  で囲って明示している。サポートするシステムが複数の場合は複数  で囲う。



## 「6. メッセージレベル仕様」に記述する内容

- 製品が準拠する JAHIS 標準 (データ交換規約個別編) の名称と、サポートするシステムを記述する。
- 赤枠内に、製品が準拠する JAHIS 標準 (データ交換規約個別編) 「5.2 対象範囲」に記載されている「メッセージとトリガイイベント」の表からサポートするシステムの列をコピーし、その右横に適合性を追加してメッセージ定義に対する適合性評価を記述する。製品が複数のシステムをサポートしているときは複数枚作成する。

JAHIS 標準適合性宣言書

### 6. メッセージレベル仕様

システム名は、JAHIS 標準「放射線データ交換規約 Ver.3.20」で定義されているメッセージに対し「HIS」として下表のような適合性を提供します。

メッセージとトリガイイベント

メッセージ定義	メッセージタイプ	トリガイイベント	イベントタイプ	R/O (HIS)	適合性 (Y/N)
①患者基本属性照会	QBP→ ←RSP	患者基本属性照会/応答 患者基本情報の所在の照会	Q22/K22 ZV1/ZV2	O	N
②患者情報通知	ADT→ ←ACK	入院/来院の通知	A01	O*	Y
		患者転送	A02	O*	Y
		退院/来院終了	A03	O*	Y
		患者の登録	A04	O*	Y
		入院予約	A05	O*	Y
		外来・入院変更	A06	O*	Y
		入院・外来変更	A07	O*	Y
		患者情報の更新	A08	R	Y
		入院/来院の通知 (A01) の取消	A11	O*	Y
		患者転送 (A02) の取消	A12	O*	Y
		退院/来院終了 (A03) の取消	A13	O*	Y
		患者の外出・外泊開始	A21	O*	Y
		患者の帰院	A22	O*	Y
		患者情報の関連付け	A24	O	N
		個人情報の追加	A28	O*	Y
		個人情報の更新	A31	O*	Y
		患者情報の関連付けの解除	A37	O	N
		入院予約の取消	A38	O*	Y
		患者情報のマージIDリスト	A40	O	N
		患者IDリストの変更	A47	O*	Y
患者の外出・外泊開始 (A21) の取消	A52	O	N		
患者の帰院 (A22) の取消	A53	O	N		
担当医の変更を通知	A54	O*	Y		
副作用情報の更新	A60	O	N		
③放射線検査依頼 (HIS→RIS)	OMG→ ←ORG	一般オーダーメッセージ	O19/O20	R	Y
④放射線検査通知 (RIS→FACS/REPORT)	OMI→ ←ORI	イメージングオーダーメッセージ	O23/O24	-	-
⑤放射線検査結果照会	QRY→ ←ORF	検査結果の照会	R02/ R04	O	N
⑥患者到着通知 (RIS→HIS)	OMG→ ←ORG	一般オーダーメッセージ	O19/O20	R	Y
⑦放射線検査実施報告 (RIS→HIS)	ORU→ ←ACK	検査結果メッセージ	R01	R	Y

© JAHIS 2022 4

## 「7. 拡張仕様」に記述する内容

- 製品が準拠する JAHIS 標準（データ交換規約個別編）に対して変更あるいは拡張した内容の概要を記述することを推奨する。

JAHIS 標準適合検査書

---

### 7. 拡張仕様

システム者は、放射線検査依頼メッセージの ORC-1 の値が「PA」の ORC セグメントに続く OBX セグメントにより、以下の検査付随情報を送信します。

データ項目	OBX-2	OBX-3	OBX-5	OBX-6	備考
依頼者名	ST	0001^依頼者名^99ZSM	<依頼者名>	なし	
検査目的	ST	0002^検査目的^99ZSM	<検査目的>	なし	
依頼コメント	ST	0003^依頼コメント^99ZSM	<依頼コメント>	なし	

例：OBX11STI0001^依頼者名^99ZSM肺がんの疑い|||||F  
OBX12STI0002^検査目的^99ZSMスクリーニング|||||F  
OBX13STI0003^依頼コメント^99ZSM右肺上葉部を 2mm 厚で|||||F

また、IHE Radiology の統合プロフィール SWF.b に準拠するため、オーダー変更時には放射線検査依頼メッセージの ORC-1 に「FXO」をセットし、ORC-2 は変更前の値を引き継ぎます。

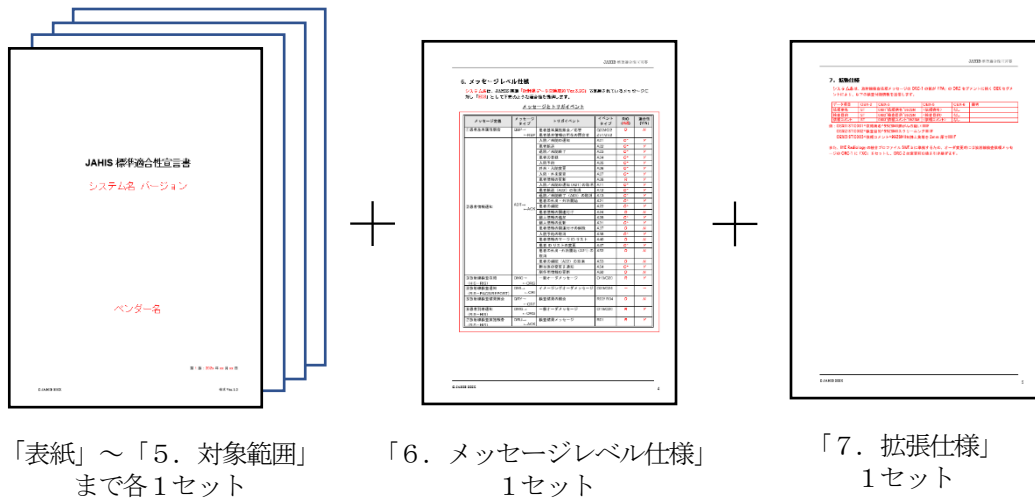
---

© JAHIS 2022 5

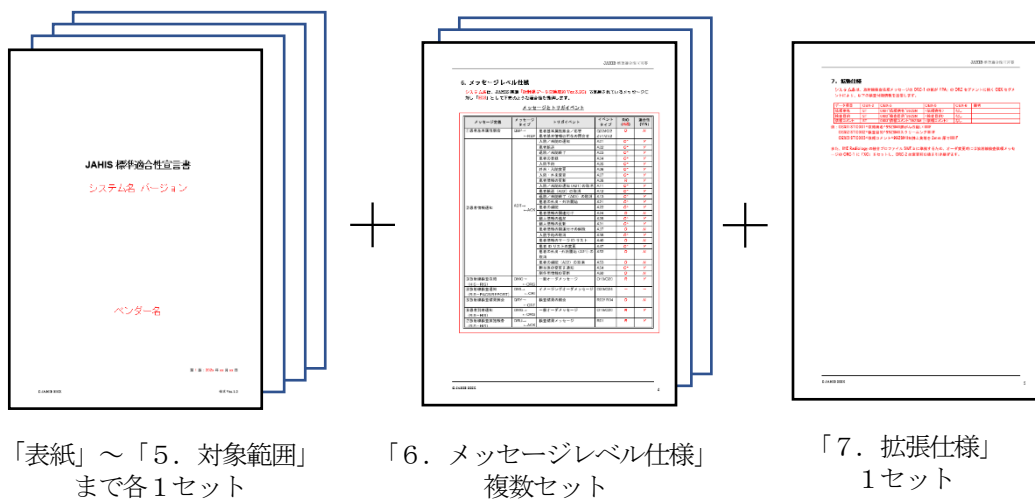


## 8. 適合性宣言書の具体的な構成例

### 1) 対応するシステムが1つの場合



### 2) 対応するシステムが複数の場合



## 付録 - 3. 本規約及び個別編関連 OID

### 付録 - 3.1. OID 採番ルール

本規約及び個別編に関連するOIDの採番ルールは、レベル7までのコード体系を以下のようにすることとする。  
 レベル7を共通編及び個別編として割り当てる。  
 レベル8以降は各交換規約内で定めることとする。  
 データ交換規約を改版しても root となるOIDは変更しないこととする。

付録3.1-1 - 関連OID利用体系

OID	説明
1.2.392.200270	JAHIS OID root
1.2.392.200270.4	JAHIS 標準OIDカテゴリ(コード表)
1.2.392.200270.4.4	JAHIS データ交換規約で定義するコード体系
1.2.392.200270.4.4.1	データ交換規約(共通編) root
1.2.392.200270.4.4.2	臨床検査データ交換規約 root
1.2.392.200270.4.4.3	処方データ交換規約 root
1.2.392.200270.4.4.4	放射線データ交換規約 root
1.2.392.200270.4.4.5	生理検査データ交換規約 root
1.2.392.200270.4.4.6	病名情報データ交換規約 root
1.2.392.200270.4.4.7	内視鏡データ交換規約 root
1.2.392.200270.4.4.8	注射データ交換規約 root
1.2.392.200270.4.4.9	病理・臨床細胞データ交換規約 root
1.2.392.200270.4.4.10	放射線治療データ交換規約 root

### 付録 - 3.2. 本規約で定義される OID

1.2.392.200270.4.4.1 を本規約の root となるOIDとし、レベル8を枝番としてそれぞれのオブジェクトのOIDを連番で採番していくこととする。

付録3.2-1 - 本規約内で採番されているOID

OID	説明	補足
1.2.392.200270.4.4.1	データ交換規約(共通編) root	
1.2.392.200270.4.4.1.1	患者プロフィール ABO 血液型 (JHSC0001)	患者プロフィールに用いる ABO 血液型を示すコード体系
1.2.392.200270.4.4.1.2	患者プロフィール Rh 血液型 (JHSC0002)	患者プロフィールに用いる Rh 血液型を示すコード体系
1.2.392.200270.4.4.1.3	患者プロフィール 消毒アレルギー (JHSC0003)	患者プロフィールに用いる消毒アレルギーを示すコード体系
1.2.392.200270.4.4.1.4	患者プロフィール 妊娠情報 (JHSC0004)	患者プロフィールに用いる妊娠情報を示すコード体系
1.2.392.200270.4.4.1.5	患者プロフィール 障害情報 (JHSC0005)	患者プロフィールに用いる障害情報を示すコード体系
1.2.392.200270.4.4.1.6	患者プロフィール 飲酒習慣 (JHSC0006)	患者プロフィールに用いる飲酒習慣を示すコード体系
1.2.392.200270.4.4.1.7	患者プロフィール 飲酒頻度 (JHSC0007)	患者プロフィールに用いる飲酒頻度を示すコード体系
1.2.392.200270.4.4.1.8	患者プロフィール 飲酒量 (JHSC0008)	患者プロフィールに用いる飲酒量を示すコード体系
1.2.392.200270.4.4.1.9	患者プロフィール 喫煙習慣 (JHSC0009)	患者プロフィールに用いる喫煙習慣を示すコード体系
1.2.392.200270.4.4.1.10	患者プロフィール 喫煙有無 (JHSC0010)	患者プロフィールに用いる喫煙有無を示すコード体系
1.2.392.200270.4.4.1.11	患者プロフィール 食物アレルギー (JHSC0011)	患者プロフィールに用いる食物アレルギーを示すコード体系

## 付録 - 4. 作成者名簿

作成者（社名五十音順）

千葉 信行	(株)エイアンドティー
川田 剛	(株)NTT データ
尾崎 孝史	オリンパスメディカルシステムズ(株)
塩川 康成	キヤノンメディカルシステムズ(株)
日高 浩敦	三栄メディシス(株)
近藤 恵美	シスメックス CNA(株)
鈴木 昭俊	(株)ニコン
川元 秀一	日本電気(株)
中田 英男	日本電気(株)
西岡 太郎	日本電気(株)
木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
越後 洋一	日本光電工業(株)
藤咲 喜丈	日本光電工業(株)
村松 和彦	日本光電工業(株)
佐藤 慶宜	(株)日立製作所
山口 慶太	(株)日立製作所
窪田 成重	富士通 Japan(株)

改定履歴		
日付	バージョン	内容
2013/12/20	Ver. 1.0	初版
2015/7/14	Ver.1.1	主な改定内容は以下の通り。 (1) 外部有識者から指摘された不適切な日本語訳の修正 (2) IN1 セグメントの追加 (3) QAK セグメントの追加 (4) RCP セグメントの追加
2020/4/14	Ver.1.2	主な改定内容は以下の通り。 (1) 患者プロフィール項目の共通化 (2) データ交換規約における固有事項についての追加 (3) 日本語訳の見直し
2022/x/x	Ver.1.3	主な改定内容は以下の通り。 (1) 「適合性宣言書」の策定 (2) 被保険者証の枝番対応 (3) 患者プロフィール項目の感染レベル見直し (4) 参照している他規約のまとめ (5) 本規約及び個別編関連 OID の付与

(JAHIS標準 22-XXX)

2022年x月発行

JAHIS データ交換規約(共通編) Ver. 1. 3

発行元 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会  
〒105-0004 東京都港区新橋2丁目5番5号  
(新橋2丁目MTビル5階)

電話 03-3506-8010 FAX 03-3506-8070

(無断複写・転載を禁ず)